千葉県文化財センター調査報告第489集

東関東自動車道(木更津・富津線)
埋蔵文化財調査報告書 2

－木更津市金二矢台遺跡・南羽鳥遺跡－

平成16年 3 月

日　本　道　路　公　団

財団法人　千葉県文化財センター

東関道報告書２　金二矢台・南羽鳥遺跡　正誤表

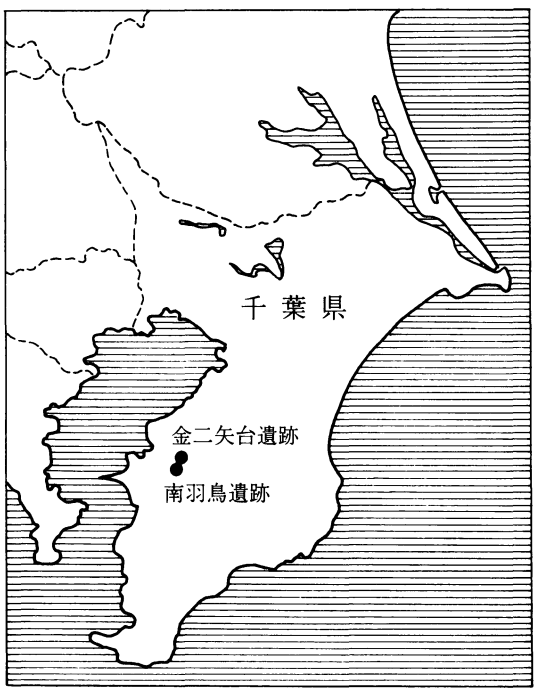
報告書　Ｐ２・５・６　訂正箇所

第２節　遺跡周辺の歴史的環境

	現		変更	
金二矢台遺跡	（１）	…	（１）	ママ
南羽鳥遺跡	（２）	…	（２）	ママ
金鈴塚古墳	（３）	…	（４）	
永井作貝塚	（４）	…	（５）	
祇園貝塚	（５）	…	（６）	
中尾城跡	（６）	…	（７）	
貝渕陣屋	（７）	…	（８）	
千束台遺跡	（８）	…	（９）	
塚原遺跡	（９）	…	（10）	
真武根陣屋	（10）	…	（11）	
請西城跡	（11）	…	（12）	
中台遺跡	（12）	…	（13）	
中郷谷遺跡	（13）	…	（14）	
鹿島塚Ａ遺跡	（14）	…	（15）	
野焼Ｂ遺跡	（15）	…	（16）	
大山台遺跡	（16）	…	（17）	
山伏作遺跡	（17）	…	（18）	
大畑台遺跡	（18）	…	（19）	
北谷窯	（19）	…	（20）	
銭賦遺跡	（20）	…	（21）	
小谷遺跡	（21）	…	（22）	
練木遺跡	（22）	…	（23）	
峯ノ台貝塚	（23）	…	（24）	
大坪城跡	（24）	…	（25）	
天神前遺跡	（25）	…	（26）	
蓮華寺遺跡	（26）	…	（27）	
池ノ谷２号墳	（27）	…	（28）	
峯遺跡	（28）	…	（29）	
山神遺跡	（29）	…	（30）	
マミヤク遺跡	（30）	…	（31）	
中越遺跡	（31）	…	（32）	
葭ヶ作貝塚	（33）	…	（33）	ママ
象ヶ谷窯	（34）	…	（34）	ママ
九十九坊廃寺	（36）	…	（36）	ママ
三直貝塚	（37）	…	（37）	ママ
金二矢台窯	（37）	…	（38）	

東関東自動車道(木更津・富津線)
埋蔵文化財調査報告書 2

－木更津市金二矢台遺跡・南羽鳥遺跡－



序　　文

財団法人千葉県文化財センターは，埋蔵文化財の調査研究，文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立されて以来，数多くの遺跡の発掘調査を実施し，その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび，千葉県文化財センター調査報告第489集として，日本道路公団の東関東自動車道（木更津・富津線）建設事業に伴って実施した木更津市金二矢台遺跡・南羽鳥遺跡の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では，金二矢台遺跡で旧石器時代の石器が多数検出され、南羽鳥遺跡では縄文時代早期の遺物包含層を形成した土器と礫群を初め，奈良・平安時代の石櫃や骨蔵器が検出されるなど，この地域の歴史を知る上で貴重な成果が得られております。

刊行に当たり，この報告書が学術資料として，また地域の歴史解明の資料として広く活用されることを願っております。

終わりに，調査に際し御指導，御協力をいただきました地元の方々を初めとする関係の皆様や関係機関，また，発掘から整理まで御苦労をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成16年３月25日

財団法人千葉県文化財センター
理事長　清水新次

凡　　例

1　本書は，日本道路公団による東関東自動車道千葉富津線（木更津・富津線）建設事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。

2　本書は，下記の遺跡を収録したものである。

　金二矢台遺跡　千葉県木更津市矢那字大門口4115－１ほか　（遺跡コード206-006(2)）

　南羽鳥遺跡　　千葉県木更津市畑沢字小袖1461－１ほか　　（遺跡コード206-022）

3　発掘調査から報告書作成に至る業務は，日本道路公団の委託を受け，財団法人千葉県文化財センターが実施した。

4　発掘調査及び整理作業の担当者，実施期間は本文中に記載した。

5　本書の執筆は，金二矢台遺跡は副所長　土屋治雄と上席研究員　田島　新が，南羽鳥遺跡は上席研究員　伊藤智樹が担当した。

6　発掘調査から報告書の刊行に至るまで，千葉県教育庁教育振興部文化財課，日本道路公団，木更津市教育委員会の御指導，御協力を得た。

7　本書で使用した地図は，下記のとおりである。

第１図	国土地理院発行	1/50,000地形図「木更津」（ＮＩ－54－25－４－２）
		1/25,000地形図「鹿野山」（ＮＩ－54－26－１－１）
第２図	参謀本部陸軍部測量局	1/20,000地形図「上村」（明治15年測量）
第３図	国土地理院発行	1/50,000地形図「木更津」（ＮＩ－54－25－４）
	国土地理院発行	1/50,000地形図「富　津」（ＮＩ－54－26－１）
第４図	木更津市発行	1/2,500地形図Ⅸ－LE32－４（昭和60年測量・平成６年修正）
第48図	木更津市発行	1/2,500地形図Ⅸ－LE32－４（昭和60年測量・平成６年修正）

8　周辺地形航空写真は，京葉測量株式会社による昭和48年３月撮影のものを使用した。

9　本書で使用した図面の方位は，すべて座標北である。

10　本書で使用した遺構番号は，基本的に調査時の番号を踏襲した。

11　図面等におけるスクリーントーン及び記号等の用例は本文中に掲載した。

本文目次

序文
凡例
第１章　はじめに……1
　第１節　調査の概要……1
　　1　調査に至る経緯……1
　　2　調査経過……1
　第２節　遺跡周辺の歴史的環境……2
第２章　金二矢台遺跡……7
　第１節　調査の方法と概要……7
　第２節　旧石器時代……9
　第３節　縄文時代……67
第３章　南羽鳥遺跡……69
　第１節　調査の方法と概要……69
　第２節　縄文時代……69
　第３節　弥生時代……95
　第４節　古墳時代～奈良・平安時代……95
　第５節　中・近世……112
第４章　まとめ……117
報告書抄録……巻末

挿図目次

第１図　遺跡の位置と周辺の地形(1/50,000)
第２図　遺跡周辺地形図(1/20,000)
第３図　周辺遺跡分布図(1/25,000)
　(金二矢台遺跡)
第４図　金二矢台遺跡周辺地形図(1/2,500)
第５図　上層確認トレンチ配置と遺構検出状況
第６図　下層確認グリッド配置
第７図　基本土層図
第８図　下層確認グリッド配置と本調査範囲
第９図　下層石器・礫分布状況(1/200)
第10図　5F-95ブロック石器分布図(1)器種別
第11図　5F-95ブロック石器分布図(2)母岩別
第12図　5F-95ブロック出土石器(1)
第13図　5F-95ブロック出土石器(2)
第14図　5F-95ブロック出土石器(3)
第15図　5F-95ブロック出土石器(4)
第16図　5F-95ブロック出土石器(5)
第17図　6F-37ブロック石器分布図(1)器種別
第18図　6F-37ブロック石器分布図(2)母岩別
第19図　6F-37ブロック出土石器
第20図　5G-45ブロック石器分布図(1)器種別
第21図　5G-45ブロック石器分布図(2)母岩別

第22図　5G-45ブロック出土石器
第23図　7G-33ブロック石器分布図(1)器種別
第24図　7G-33ブロック石器分布図(2)母岩別
第25図　7G-33ブロック出土石器(1)
第26図　7G-33ブロック出土石器(2)
第27図　7G-33ブロック出土石器(3)
第28図　ブロック外出土石器分布図(1)器種別
第29図　単独出土石器分布図(1)器種別
第30図　ブロック外出土石器分布図(2)母岩別
第31図　単独出土石器分布図(2)母岩別
第32図　ブロック外出土石器(1)
第33図　ブロック外出土石器(2)
第34図　単独出土石器
第35図　接合資料１(1)
第36図　接合資料１(2)
第37図　接合資料２(1)
第38図　接合資料２(2)
第39図　接合資料３
第40図　礫群１分布図(1)分類別
第41図　礫群１分布図(2)石材別
第42図　礫群２分布図(1)分類別
第43図　礫群２分布図(2)石材別
第44図　礫群３分布図(1)分類別
第45図　礫群３分布図(2)石材別
第46図　SK-001
第47図　遺構外出土縄文土器

（南羽鳥遺跡）

第48図　遺跡周辺地形図(1/2500)
第49図　確認調査及び本調査範囲(上層)
第50図　遺構配置図(全体)
第51図　遺構配置図(調査区北側・西側)
第52図　遺構配置図(調査区西側)
第53図　遺構配置図(調査区東側)
第54図　基本土層柱状図
第55図　042実測図
第56図　土坑実測図(1)
第57図　土坑実測図(2)
第58図　土坑実測図(3)
第59図　土坑実測図(4)
第60図　土坑実測図(5)
第61図　ピット実測図(1)
第62図　ピット実測図(2)
第63図　遺構外出土縄文土器(1)
第64図　遺構外出土縄文土器(2)
第65図　縄文時代石器(1)
第66図　縄文時代石器(2)
第67図　縄文時代石器(3)
第68図　縄文時代石器(4)
第69図　遺構外出土礫集計(1)　礫の破損率
第70図　遺構外出土礫集計(2)　礫の赤化率
第71図　遺構外出土礫グリット毎質量分布
第72図　礫の石材比率(完形礫・破損礫)
第73図　遺構外出土弥生土器
第74図　004号実測図
第75図　004号出土土器
第76図　005号実測図
第77図　006・007号実測図及び出土土器
第78図　遺構外出土土師器・須恵器
第79図　003・008・009実測図
第80図　003・009土層断面図
第81図　010実測図
第82図　中・近世遺物

表 目 次

（金二矢台遺跡）
第１表　5F-95ブロック石器属性表
第２表　6F-37ブロック石器属性表
第３表　5G-45ブロック石器属性表
第４表　7G-33ブロック石器属性表
第５表　ブロック外石器属性表
第６表　単独出土石器属性表
第７表　礫群属性表(1)
第８表　礫群属性表(2)
第９表　礫群属性表(3)
第10表　礫群属性表(4)
第11表　礫群属性表(5)

（南羽鳥遺跡）
第12表　石器観察表

図 版 目 次

（金二矢台遺跡）
図版１　金二矢台遺跡周辺航空写真
図版２　調査前遠景・近景
　　陥穴・土層断面
　　Ａ区遺物出土状況
図版３　Ａ・Ｂ・Ｃ区遺物出土状況
図版４　5F-95ブロック出土石器(1)(4)
図版５　5F-95ブロック出土石器(2)
図版６　5F-95ブロック出土石器(3)
図版７　5F-95(5),6F-37,5G-45ブロック出土石
図版８　7G-33ブロック出土石器
図版９　ブロック外出土・単独出土石器石器
図版10　接合資料１
図版11　節後資料２,３
図版12　遺構外出土縄文土器

（南羽鳥遺跡）
図版13　南羽鳥遺跡周辺航空写真
図版14　１．調査区北側調査前近景
　　２．調査区西側調査前近景
図版15　縄文時代遺構(1)
図版16　縄文時代遺構(2)
図版17　縄文時代遺構(3)
図版18　縄文時代遺構(4)
図版19　縄文時代遺構(5)
図版20　縄文時代遺構(6)
図版21　火葬墓(1)
図版22　火葬墓(2)
図版23　溝状遺構・調査区北側全景
図版24　遺構外出土縄文土器(1)
図版25　遺構外出土縄文土器(2)
図版26　縄文時代石器(1)
図版27　縄文時代石器(2)，弥生土器
図版28　004号出土土器
図版29　006号・007号出土土器，中・近世遺物
図版30　火葬墓出土人骨

第1章　は　じ　め　に

第1節　調査の概要

1　調査に至る経緯

日本道路公団では，千葉市から富津市に至る高速自動車道である館山自動車道（路線名：東関東自動車道　千葉富津線）を計画した。この路線のうち，先に建設が終わった千葉市から木更津市に続く路線として木更津市から君津市を経て富津市に至る21.6kmの区間が事業化され，木更津～富津線として建設が行われることとなった。

用地内には数多くの遺跡が所在することから，その取扱いについて，千葉県教育委員会と日本道路公団との慎重な協議が重ねられた。その結果，現状保存が困難な部分については，やむを得ず発掘調査による記録保存の措置を講ずることで協議が整い，財団法人千葉県文化財センターが発掘調査を実施することとなった。

2　調査経過

今回報告する金二矢台遺跡及び南羽鳥遺跡は，木更津市内に所在する。金二矢台遺跡の発掘調査は，平成12年４月１日から平成12年５月31日までの２か月間にわたって上層の確認調査，下層の確認調査及び本調査を実施した。

整理作業は，平成15年度に実施した。発掘調査及び整理作業を行った組織と担当者は以下のとおりである。

発掘調査　平成12年度　所長　高田　博

上席研究員　鈴木良征

第１図　遺跡の位置と周辺の地形(1/50,000)

整理作業　平成15年度　所長　鈴木定明

副所長　土屋治雄，上席研究員　田島　新

南羽鳥遺跡の発掘調査は，平成12年６月16日から平成12年８月31日の期間に上層の確認調査・本調査，下層の確認調査を実施した。

整理作業は，平成15年度に実施した。発掘調査及び整理作業を行った組織と担当者は以下のとおりである。

発掘調査　平成12年度　所長　高田　博

上席研究員　渡邊昭宏

整理作業　平成15年度　所長　鈴木定明

上席研究員　伊藤智樹

第２節　遺跡周辺の歴史的環境（第３図）

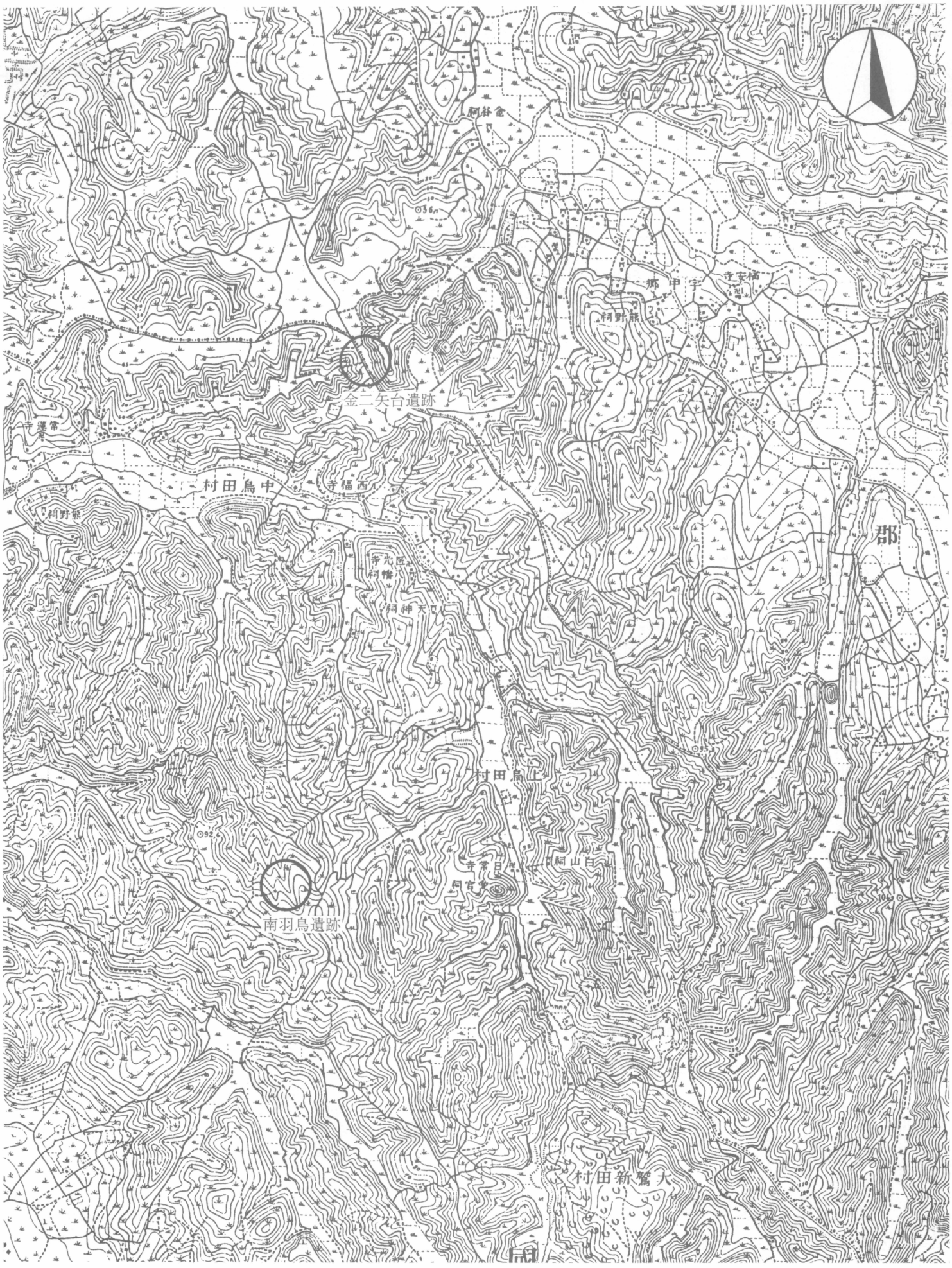
金二矢台遺跡（１），南羽鳥遺跡（２）周辺は，古くは明治時代末期から昭和40年代にかけて葭ヶ作貝塚（34），祇園貝塚（５），永井作貝塚（４）などの縄文時代の貝塚や金鈴塚古墳（３）などの学術調査が若干行われてきた[1,2]が，昭和50年代から大規模な区画整理事業が進められており，主に財団法人君津郡市文化財センターによって発掘調査が実施されている。よって，以下，既調査遺跡の成果を中心に周辺の歴史的状況を概観することとしたい。なお，金二矢台遺跡・堀ノ内台遺跡から烏田川を挟んだ南部の台地上については，古くから宅地開発が進んだため，発掘調査は行われておらず，考古学的資料の空白地域である。

旧石器時代は，東関東自動車道建設に伴って当センターが調査した金二矢台遺跡[3]，堀ノ内台遺跡[3]，中越遺跡（31）[4]の他，マミヤク遺跡（30）[5]，大畑台遺跡（18）[6,7]，天神前遺跡（25）[8]，蓮華寺遺跡（26）[9]などで石器ブロックが検出されている。

縄文時代は，金二矢台遺跡，堀ノ内台遺跡のほか，請西遺跡群の野焼Ｂ遺跡（15）[10]，塚原遺跡（９）[11]，千束台遺跡（８）[12]，大畑台遺跡群の小谷遺跡（21）[13,14]，銭賦遺跡（20）[13]，大畑台遺跡で早期の礫群が検出されている。また，早期の炉穴は野焼Ｂ遺跡，天神前遺跡，陥穴は天神前遺跡，中越遺跡，前期の竪穴住居跡は大畑台遺跡で検出されている。中期以降については，練木遺跡（22）で中期の集落が検出されている。さらに，三直貝塚（37）では縄文後期に作られた環状土盛遺構や斜面整形遺構をはじめ大形の竪穴住居跡，土坑，貝層などが発見されている。また，マミヤク遺跡では，草創期から後期の土器が，永井作貝塚（４），葭ヶ作貝塚（33）では堀之内式，加曽利Ｂ式，安行式などの後期の土器が，祇園貝塚（５），峯ノ台貝塚（23)では阿玉台式，勝坂式，加曽利Ｅ式，称名寺式，加曽利Ｂ式，安行式など中・後期の土器が採集されている。

弥生時代は，中期に請西遺跡群の鹿島塚Ａ遺跡（14）[15]，大山台遺跡（16）[16]，山伏作遺跡（17）[17]，野焼遺跡（15）[10,18]，千束台遺跡に集落が出現し，そのうち，環濠集落は鹿島塚Ａ遺跡，千束台遺跡で検出されている。なお，小櫃川流域の沖積地である菅生遺跡では水田が検出されている。後期には請西遺跡群の中郷谷遺跡（13）[10]，大山台遺跡，野焼遺跡，千束台遺跡群，天神前遺跡，塚原遺跡，小浜遺跡群のマミヤク遺跡，俵ヶ谷遺跡で集落を形成する。なお，方形周溝墓は野焼遺跡，大畑台遺跡に見られる。

古墳時代は，請西をはじめとする台地上の縁辺部では集落が，内部では古墳群が形成される傾向が見ら



第２図　遺跡周辺地形図(1/20,000)

第3図　周辺遺跡分布図(1/25,000)

れる。また，沖積地の砂丘列上においても金鈴塚古墳をはじめとする現木更津市街地や君津市南子安地域で見られる。また，百谷地域と畑沢地域の丘陵斜面には横穴墓群が形成されている。前期には，大畑台遺跡群の中台遺跡（12）[19]，大畑台遺跡，請西遺跡群の野焼遺跡，千束台遺跡群，蓮華寺遺跡（26），中越遺跡，マミヤク遺跡，俵ヶ谷遺跡で集落が検出され，中越遺跡の住居跡からは小銅鐸が出土している。前期古墳は大畑台遺跡，請西遺跡群の野焼古墳群，小浜遺跡群の手古塚古墳で検出されている。中期には大畑台遺跡群の大畑台遺跡，千束台遺跡群，塚原遺跡（９）[11]，天神前遺跡，小浜遺跡群のマミヤク遺跡，俵ヶ谷遺跡に集落が営まれる。後期には，集落は大畑台遺跡群の小谷遺跡，銭賦遺跡，中台遺跡，大畑台遺跡，請西遺跡群の中郷谷遺跡，山神遺跡（29）[20,21]，中越遺跡，峯遺跡（28）[22]，マミヤク遺跡，俵ヶ谷遺跡と主に鳥田川沿いに展開する。後期古墳は，集落が消えた請西遺跡群の鹿島塚古墳群（14）[10]，千束台遺跡群，小浜古墳群の関田塚古墳に造営される。

奈良・平安時代は，当地域は『和名抄』記載の周准郡域に，北側の小櫃川流域の沖積地は望陀郡域に推定されている。集落は，鳥田川に面した台地縁辺に多く分布する。大畑台遺跡群の大畑台遺跡で８世紀後半～９世紀前半集落と掘立柱建物跡，銭賦遺跡で８世紀以降の火葬墓，方形墳墓，小谷遺跡で８世紀～９世紀の集落，基壇建物，火葬墓，方形墳墓，中台遺跡で８世紀後半～９世紀前半の集落が検出されている。また，請西遺跡群の鹿島塚遺跡で集落，野焼遺跡で集落，円形周溝状遺構が検出されている。ほかに，天神前遺跡で方形周溝状遺構，中越遺跡，山神遺跡で集落が検出されている。このうち，小谷遺跡は瓦葺基壇建物跡が検出され，瓦塔，瓦堂などの仏教関連遺物が出土し，周辺遺跡からは火葬墓が多く検出されている。南羽鳥遺跡もその一つであり，集落，寺院，墓地の有機的な関係が窺われる。なお，石櫃については，現在までに千葉県内でも多く検出されており，そのほとんどが市原市武士遺跡の９基を筆頭に上総国西部地域に集中している。軟質砂岩や凝灰岩質砂岩製が多い。当地域では，金二矢台遺跡[3]，堀ノ内台遺跡[3]，大畑台遺跡で３基，マミヤク遺跡，さらに東関東自動車道（木更津・富津線）建設に伴う調査で練木遺跡（22），踊ヶ作遺跡，などでも１基検出されている[23,24]。また，古代寺院としては，小櫃川流域の川原寺系軒丸瓦の上総大寺，小安地域の山田寺系軒丸瓦の九十九坊廃寺（36）が調査され，後者は周准郡の郡寺に推定されている。また，瓦窯には象ヶ谷窯（34）・大鷲窯，須恵器窯では北谷窯（19），金二矢台窯（37）が確認されている。

中世は，当地域は周東郡域に推測される。当地域の中世前期については不明な点が多いが，政治的には，北側の小櫃川流域の沖積地では12世紀から14世紀にかけて菅生荘が藤原家や近衛家によって継承されており，菅生遺跡の発掘調査でも当該期の遺物を伴う館跡の堀が検出されている。生産の面では，矢那川流域の大野五郎右衛門遺跡は平安末期以来の鋳物師として文書を伝え，屋敷周辺で鉄滓が採集される。また，交通面では，堀ノ内台遺跡の北約150ｍの三叉路（大字中鳥田・下鳥田・請西・真舟の境界）に江戸初期と伝えられる「北ハかまくらみち・右ハからす田道・左ハ高くら道」の石製道標が存在し，西方へ伸びる道路は鎌倉街道にも推定されており[25]，中・近世の主要道路であった。中世後期（戦国時代）には，15世紀後半から真里谷城を本拠とした真里谷武田氏が領域化し，16世紀中頃以降同氏は衰亡し，後北条氏と里見氏の領域紛争の地域となる。中世城館跡としては，中尾城跡（６），請西城跡（11），大坪城跡（24）が台地上に存在する。

近世には，貝渕藩の貝渕陣屋（７），それを継承した請西藩の真武根陣屋（10）が造られた。また，塚は，矢那川・烏田川沿いに多く点在することから，中世以降は，谷津を生産基盤とした集落が営まれたよ

うである。

中・近世の調査された遺跡としては，天神前遺跡の14世紀後半～15世紀前半の墓域，小浜遺跡群の西谷塚（近世）[26]，池ノ谷２号墳（近世）（27）[27]などがある。

注１　木更津市　1972　『木更津市史』

２　角川書店　1984　『角川日本地名大辞典 12 千葉県』

３　井上哲朗・豊田秀治・小笠原永隆　2000　『東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書６－木更津市金二矢台遺跡・堀之内台遺跡－』財団法人千葉県文化財センター

４　麻生正信　1994　「木更津市中越遺跡出土の小銅鐸について」『研究連絡誌』42　財団法人千葉県文化財センター

５　小沢　洋・野口行雄他　1989　『小浜遺跡群Ⅱ　マミヤク遺跡』財団法人君津郡市文化財センター

６　井上　賢他　1996　『大畑台遺跡群発掘調査報告書Ⅰ－大畑台遺跡－』木更津市教育委員会

７　當眞嗣史　1997　『大畑台遺跡群発掘調査報告書Ⅱ－大畑台遺跡－』木更津市教育委員会

８　小高幸男　1992　『天神前遺跡発掘調査報告書』財団法人君津郡市文化財センター

９　松本　勝　1994　『蓮華寺遺跡Ⅱ』財団法人君津郡市文化財センター

10　稲葉昭智・當眞嗣史・豊巻幸正　1991　『請西遺跡群発掘調査報告書Ⅲ－野焼Ｂ遺跡・野焼古墳群第２号墳・鹿島Ｂ遺跡・中郷谷遺跡－』木更津市教育委員会

11　財団法人君津郡市文化財センター　1996　「千束台遺跡」「塚原遺跡」『年報№13』

12　財団法人君津郡市文化財センター　1995　「千束台遺跡」『年報№12』

13　今泉　潔・笹生　衛　1994　『大畑台遺跡群遺跡発掘事前総合調査報告書－銭賦遺跡・小谷遺跡－』木更津市教育委員会

14　甲斐博幸　1998　『大畑台遺跡群発掘調査報告書Ⅲ－小谷遺跡－』木更津市教育委員会

15　岡野祐二　1994　『請西遺跡群Ⅲ－鹿島塚Ａ遺跡－』財団法人君津郡市文化財センター

16　豊巻幸正　1990　『請西遺跡群発掘調査報告書Ⅱ－大山台遺跡－』木更津市教育委員会

17　山形美智子　1994　『請西遺跡群発掘調査報告書Ⅴ－山伏作遺跡－』木更津市教育委員会

18　酒巻忠史・山形美智子　1995　『請西遺跡群発掘調査報告書Ⅵ－野焼Ａ遺跡－』木更津市教育委員会

19　小石　誠　1983　『中台遺跡発掘調査報告書』中台遺跡発掘調査委員会

20　財団法人千葉県文化財センター　1993　「山神遺跡」『千葉県文化財センター年報№18』

21　財団法人千葉県文化財センター　1994　「山神遺跡」『千葉県文化財センター年報№19』

22　浅野雅則　1983　『峯遺跡発掘調査報告書』峯遺跡発掘調査団

23　當眞嗣史他　1995　「千葉県－上総・安房－」『東日本における奈良・平安時代の墓制－墓制をめぐる諸問題－』第Ⅱ分冊　東日本埋蔵文化財研究会

24　笹生　衛　1993　「第６章　古代の信仰」『房総考古学ライブラリー７　歴史時代（１）』財団法人千葉県文化財センター

25　小熊吉蔵　1993　「鎌倉街道」『史蹟名勝天然記念物調査』第十輯　千葉県

26　小沢　洋他　1990　『小浜遺跡群Ⅲ－浜ヶ谷古墳・西谷塚・浜清水遺跡・二十歩古墳・丸山塚・関田塚古墳群－』財団法人君津郡市文化財センター

27　松本明子　1997　『池ノ谷２号塚』財団法人君津郡市文化財センター

第２章　金二矢台遺跡

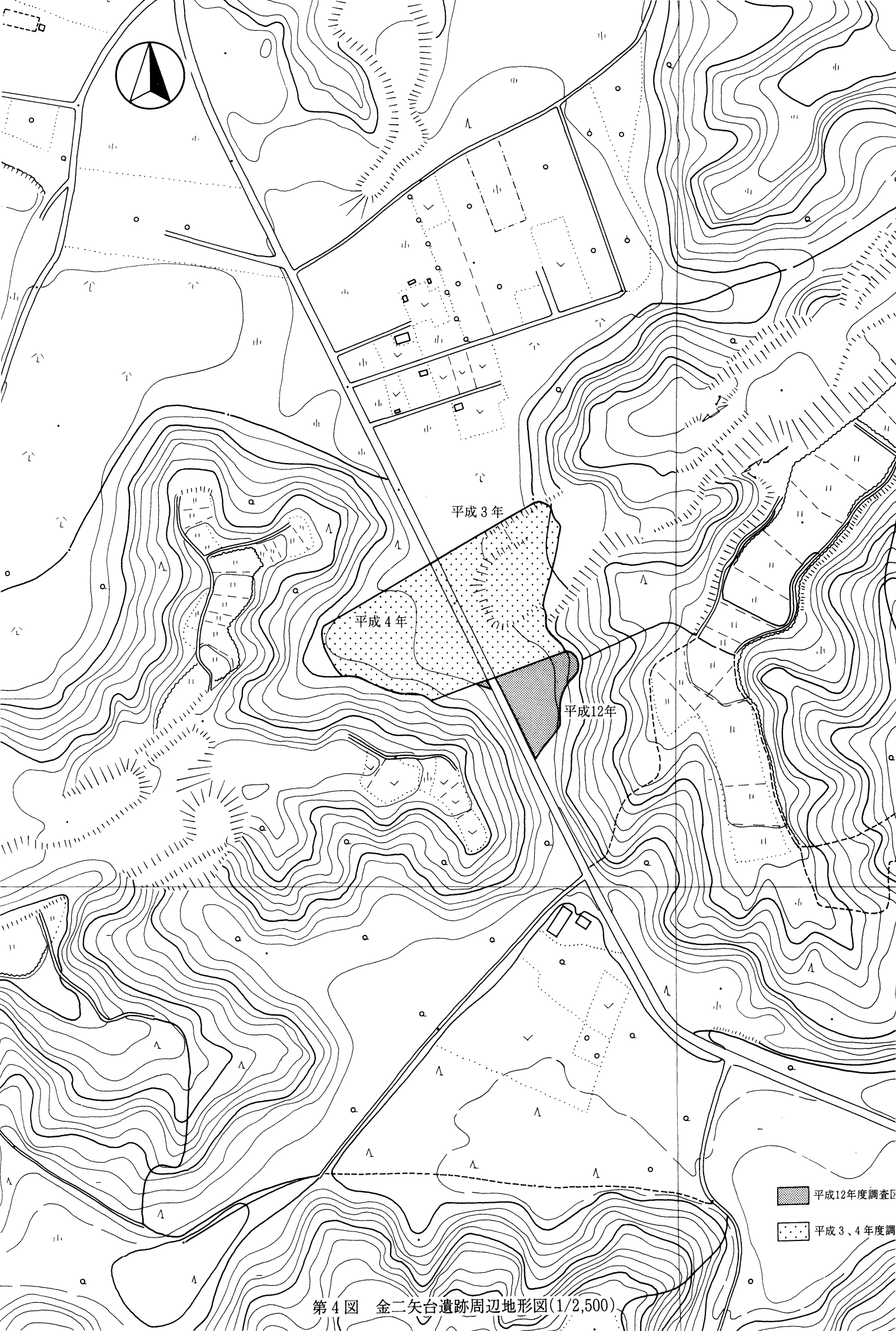
第１節　調査の方法と概要（第４図～第８図）

金二矢台遺跡の位置は，東から北は小櫃川，南は小糸川という清澄山系を源流とし東京湾へ注ぐ河川に挟まれた木更津台地の南部にあたる。木更津台地は，更に小河川によって樹枝状に開析されており，金二矢台遺跡は，北東側を矢那川により，南側を烏田川により開析された樹枝状谷に面し，標高60ｍほどの台地上に位置する。

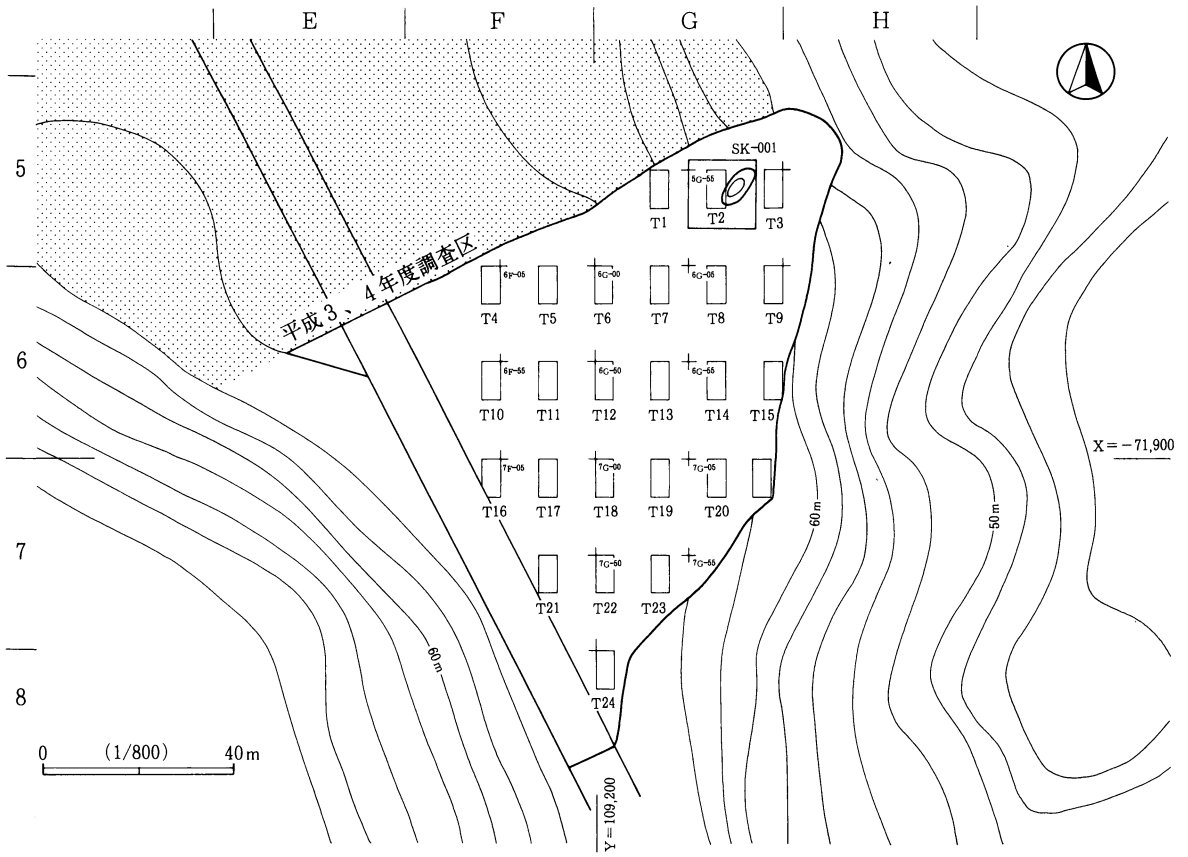
発掘調査の開始に際して，対象となる区域を包括するように国土地理院国家座標（第Ⅸ座標）を基準とした発掘区の設定を行った。大グリッドとして一辺20ｍとする区画を設定し，北西隅のグリッドを起点に西から東へＡ・Ｂ・Ｃ…とアルファベットの大文字を付し，北から南へは１・２・３…と数字を付し，数字とアルファベットの組み合わせで大グリッドの名称とした。さらにその大グリッドを一辺２ｍの小グリッドに分割し，大グリッドの北西隅に位置する小グリッドを00とし，東へ向かって01，02，03…と，南へ向かって10，20，30…と命名し，100の小グリッドに分割して最小区域の調査区とした。

上層の確認調査は，調査開始時に行い，幅２ｍのトレンチを調査区の状況に合わせて調査対象面積2,000㎡の10％に当たる200㎡を設定し，遺構・遺物の分布状況及び表土等の堆積状況などを把握する作業を行った。その結果，陥穴が１基検出され周辺を拡張したが，その他の遺構は確認するができなかったため，併せて216㎡の面積で確認調査を終了した。

下層の確認調査は，上層の本調査終了に引き続いて一辺２ｍの方形グリッドを，調査対象面積2,000㎡の4.8％にあたる96㎡について一定間隔を持って24か所について設定し，遺構，遺物の分布状況などを把握する作業を行った。その結果，遺物が発見された４か所の周辺536㎡について確認調査に引き続き本調査を行った。



第４図　金二矢台遺跡周辺地形図(1/2,500)



第5図　上層確認トレンチ配置と遺構検出状況(1/1,000)

第2節　旧石器時代

概要（第8・9・10図）

旧石器時代の石器ブロック4か所，礫ブロック3か所が検出された。

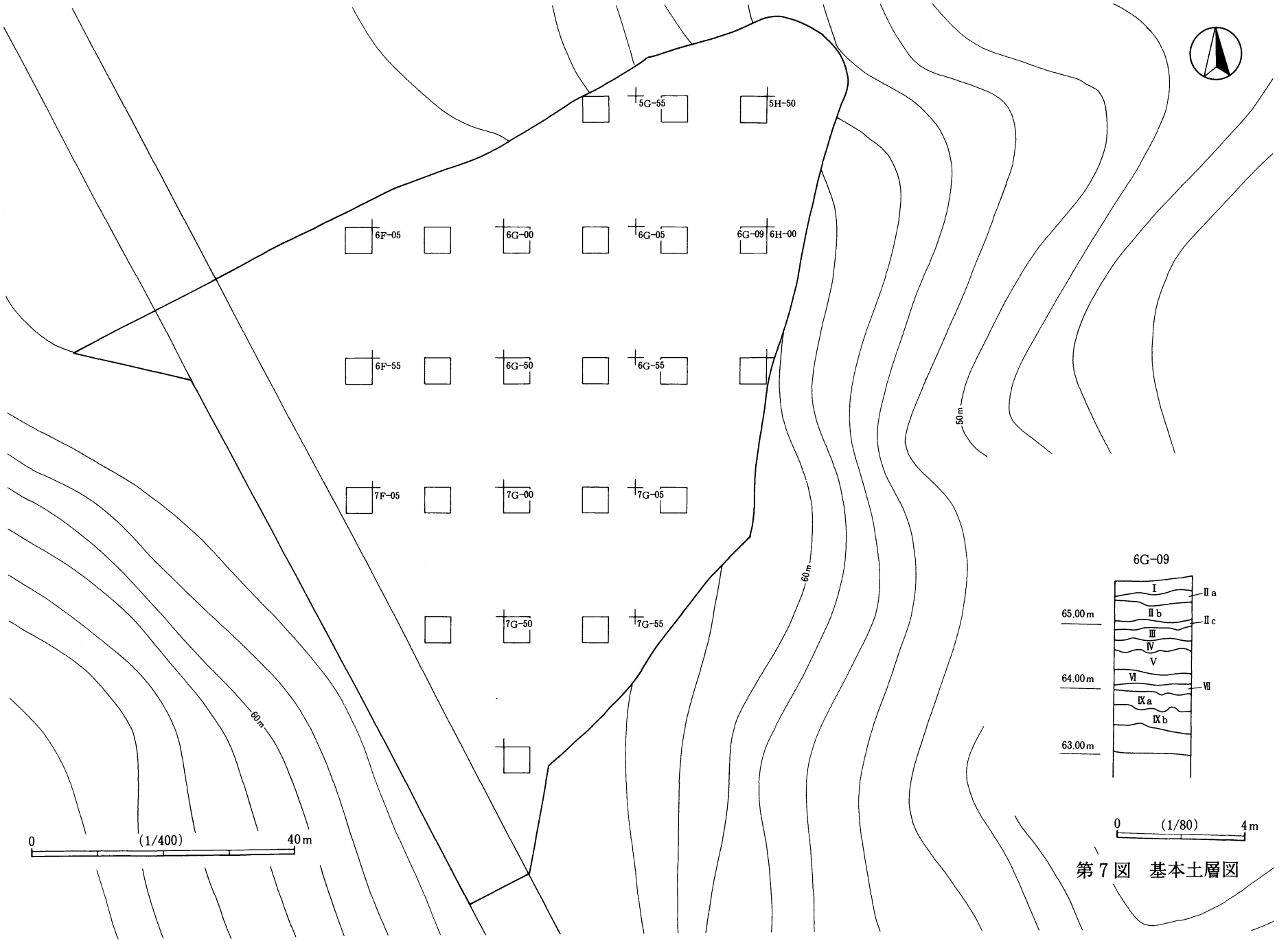
1　検出した遺構と遺物

（1）　5F-95ブロック（第10図～第16図，第1表，図版4～7）

出土状況　5F-95，6F-06・14・15・16・17・24・25・26・27・34・35・36・44グリッドに位置し，南北約9.3m，東西約7.6mの範囲に，ナイフ形石器1点，削器1点，楔形石器1点，石核7点，剥片・砕片74点，計84点が集中して分布する。垂直分布は64.252m～64.820mの約0.568mの間に分布する。出土層位は概ねⅢ層～Ⅳ層にあたるものと思われる。

石材は黒曜石38点，頁岩31点，安山岩15点で，黒曜石45%，頁岩37%，安山岩18%を占める。

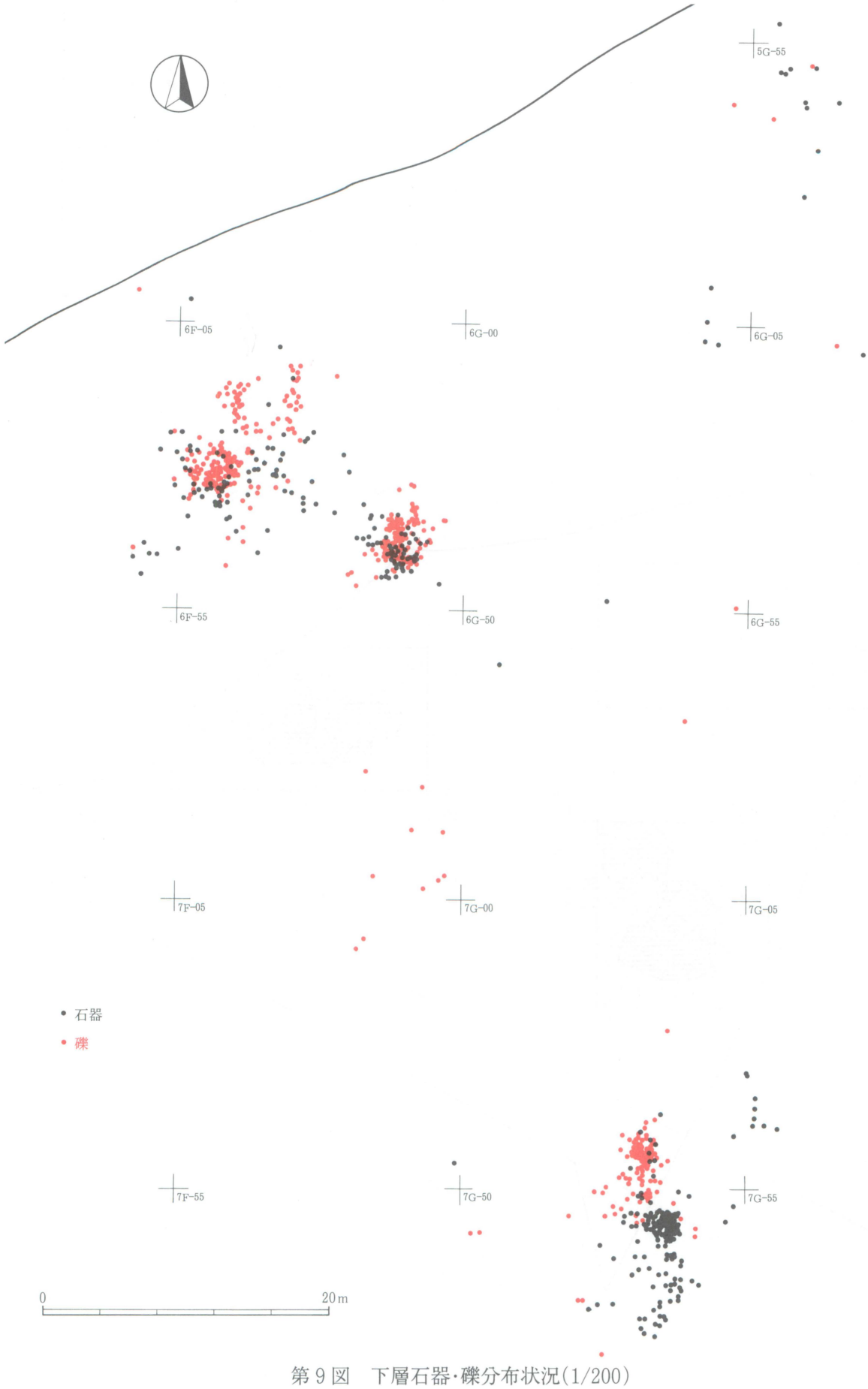
遺　物　1は黒曜石の微細剥離痕剥片である。刃器状剥片で，先端部は折断されている。背面には上方向からの4条以上の剥離面を残す。両側縁には使用痕とおぼしき微細な小剥離痕が見られる。2は黒曜石の楔形石器である。黒曜石は所謂細かな夾雑物が多く入るやや不透明で黒みの強いものである。背面に複数の上方向の剥離面が見られる横長の剥片を使用している。主剥離面には上面に打撃時に生じた細かな剥離痕が数多く見られる。3は石核3点の接合するものである。折断し，さらに小さな剥離を行うものと



第7図　基本土層図

第6図　下層確認グリッド配置(1/400)

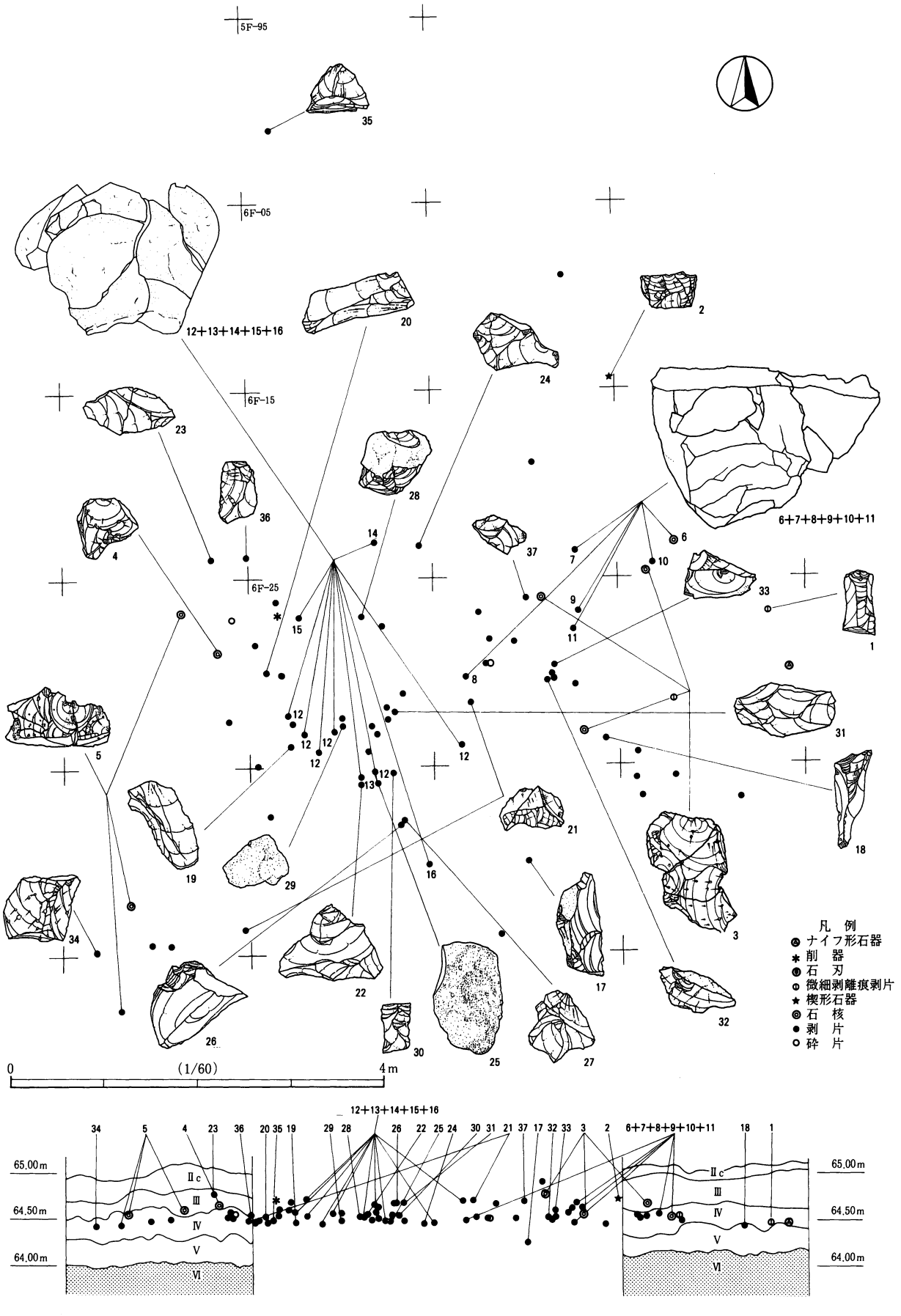
第8図　下層確認グリッド配置と本調査範囲



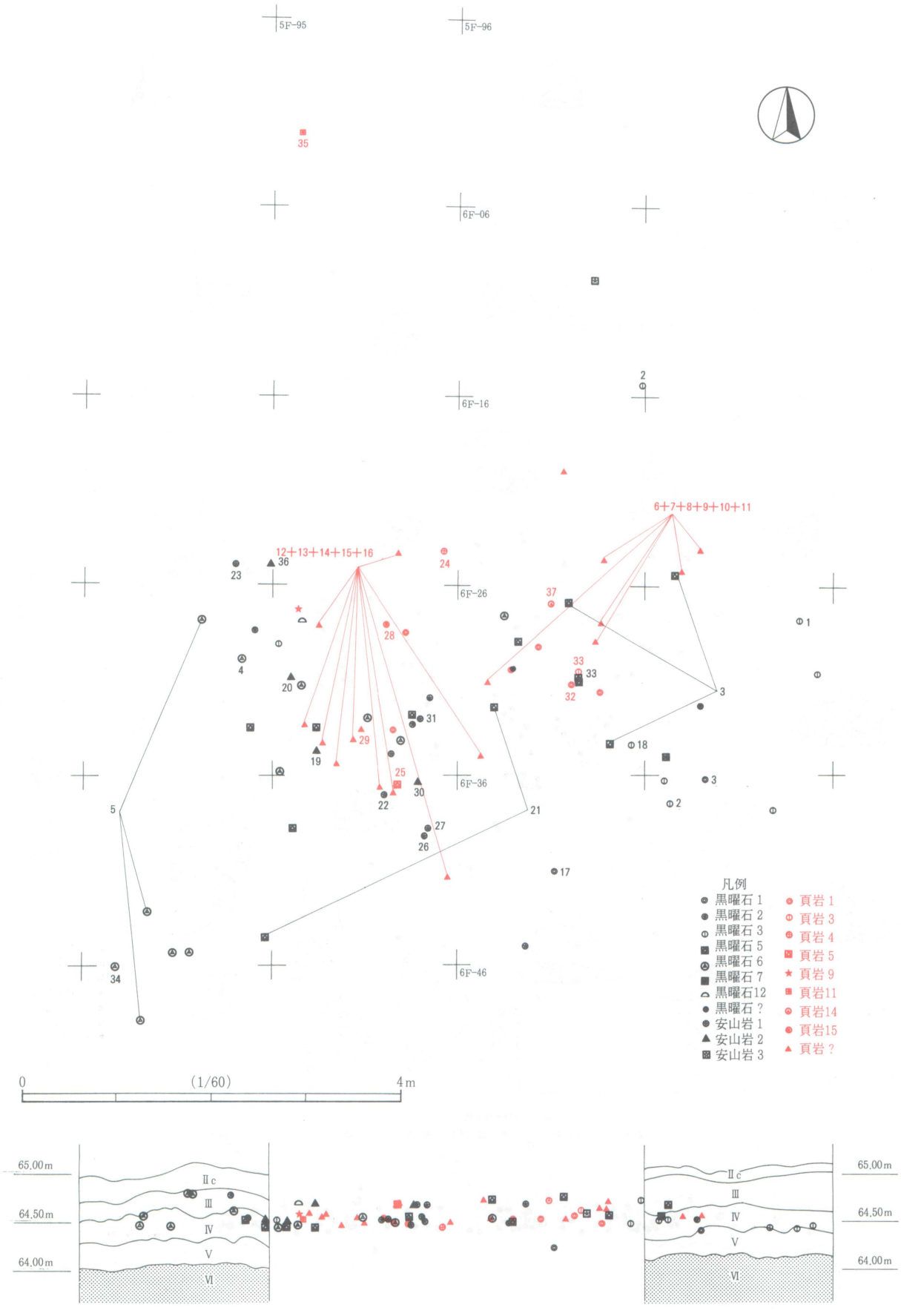
第９図　下層石器･礫分布状況(1/200)

も考えられる。石材は黒曜石である。4は黒曜石の石核である。黒味の強い夾雑物の見られる黒曜石の小角礫を使用して，任意の方向から小剥片を剥離している。礫面を打面としているのが特徴で，上面側にはなお，礫面を残している。5は石核2点と剥片1点の接合するものである。比較的小さな剥片を剥いでいった工程が窺われる資料である。石材は黒曜石を用いている。6は珪質頁岩の石核である。濃い灰色のややガラス質が弱い珪質頁岩である。所謂嶺岡産の珪質頁岩と思われる。一部に原礫面を残すものである。やや角礫の一面を打撃面にして，やや縦長の不整形な剥片を複数回，ほぼ同一方向から剥離している。その後打面転移を繰り返し，より小さな剥片を剥離しているようである。7は頁岩の剥片である。横長の薄手の剥片で，背面には上方向からの剥離面を残す。8は頁岩の剥片である。比較的大形の厚みのある剥片で，一部礫面を残す。打面部は細かな剥離痕を残す。9は頁岩の剥片である。背面には礫面及び小剥離面が残されている。平面はほぼ三角形になる。10は頁岩の小形の剥片である。打撃面は礫面で背面には左右横方向からの剥離面が残る。11は頁岩の剥片である。やや縦長の剥片で，背面には右下方向から1面の剥離面が残る。12a・12bは接合資料で，頁岩の元々1枚の剥片が剥片剥離作業の際割れてしまったものである。背面は下半分は礫面で覆われている。打面側は細かな調整のための剥離痕が見られる。13a・13b・13c・13d・13eは接合資料で，頁岩の剥片が1～2度の剥片剥離作業で剥ぎ取られたものと思われる。どちらかといえばa～cについては打撃の際の砕片と思われる。dについても剥離面の状況からほぼ同時に剥がされたものと思われる。先端部分は扇状に広がり，中程から礫面側に折れて剥がされたものと思われる。これらの背面はほぼ礫面で覆われている。14は頁岩の剥片である。背面には礫面が残されている。垂直方向の剥離面を使用して打撃面としている。15は頁岩の剥片である。背面には礫面が残されている。分厚い形態と剥離面の残された状態から，直前まで石核として使用していたものと思われる。16は頁岩の剥片再生の石核である。背面は礫面で覆われている。ただ，剥離後に小さな剥片剥離を行っている。17は黒曜石の剥片である。背面左側に一部礫面を残す縦長の剥片である。さらに右側から複数回の剥離面が認められるため，比較的早い段階で石核から剥離された剥片であると思われる。18は黒曜石の剥片である。先端部にかけてやや細くなる縦長の剥片で，縁辺部には微細な剥離痕も見られる。19は安山岩の剥片である。背面に左横方向と上方向からの剥離面が見られる縦長の剥片である。20は安山岩の剥片である。背面は上方向と右方向からの剥離面が複数回残されている。横方向に長い剥片で，断面は比較的分厚く，先端部はやや薄くなる傾向が窺われる。21は剥片2点の接合するものである。元々は1度の剥離で剥がされた剥片であると思われる。石材は黒曜石である。22は安山岩の剥片である。背面は上方向からの剥離と複数の右方向の剥離面が残されている。23は剥片2点の接合するものである。元々は背面に多方位の剥離面を持つ横長の剥片が折断されたものである。石材は安山岩である。24は頁岩の剥片である。やや横長の不整な剥片である。背面には上方向の剥離が3面残されている。また，打撃面には剥離痕が多く残されており，打面調整された剥片とも考えられる。25は頁岩の剥片である。背面がほぼ礫面で覆われている比較的縦長の剥片である。17と同様に比較的早い段階で石核から剥離された剥片であると思われる。26は安山岩の剥片である。背面は上方から細かな打面上の剥離や左右からの大きな剥離面が残されている。形態は先端部が細くなる。中央部分が厚みのあるやや不整な三角形になる。27は安山岩の剥片である。背面は上方向の剥離面が残されている。打撃面側は厚みがあり，先端部分は薄くなる。形状はやや不整形な台形になる。28は頁岩の剥片である。背面は礫面で覆われ，上下に打撃時の剥離痕を残す。打撃面を形成するために剥離された調整の剥片と思われる。29は頁岩の剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。平面形状はほぼ三

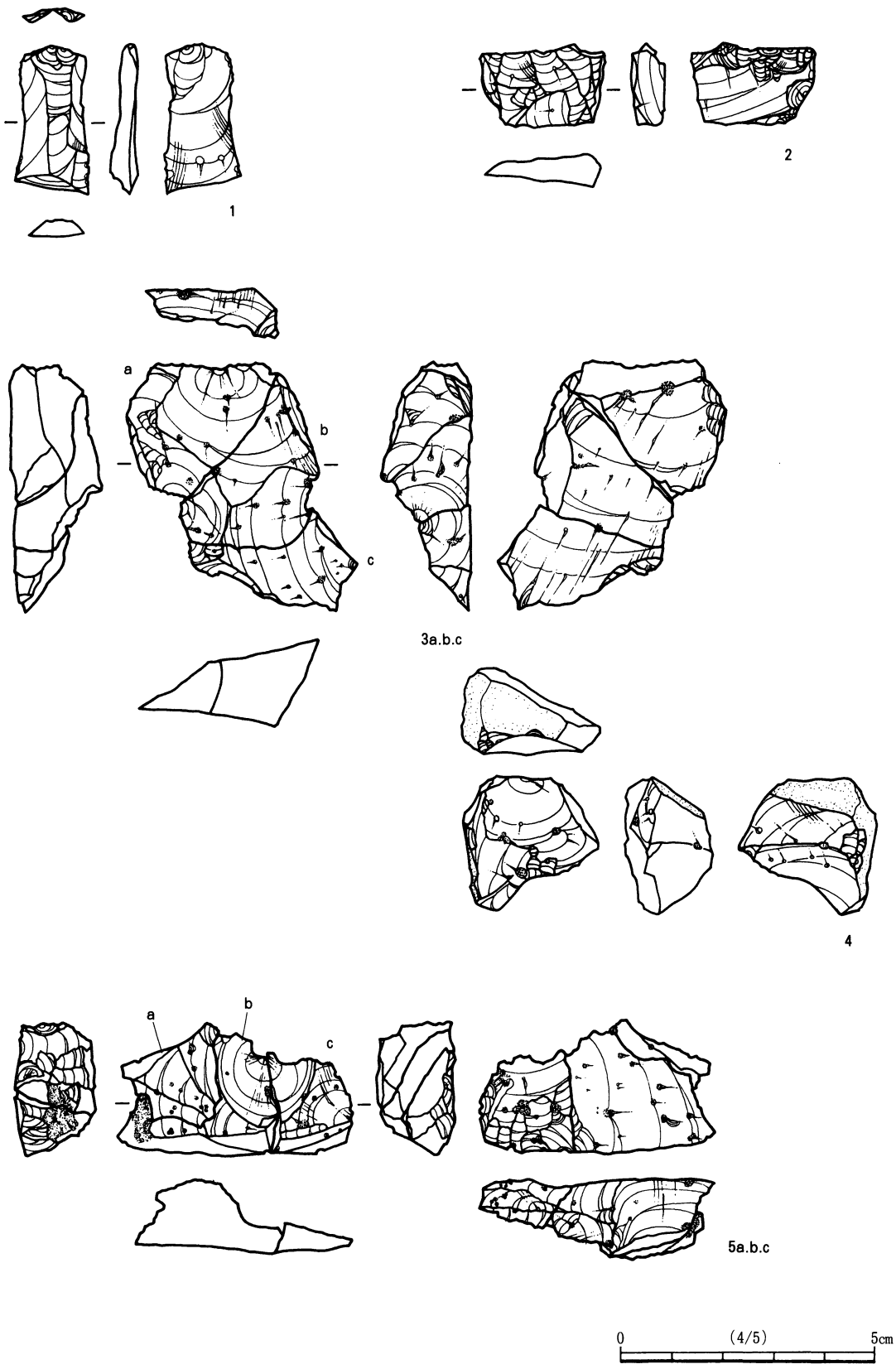
角形になる。石核調整の初期の段階の剥片と思われる。30は安山岩の剥片である。背面はやや不規則な上方からの2面の剥離面が残されている。縦長の小剥片で，打面は礫面で先端部側は折れているようである。31は安山岩の剥片である。横長の剥片である。背面上左右3方向からの数回の剥離面が見られ，比較的分厚いのが特徴である。32は頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同様な方向の剥離面が認められる。先端部は薄くなる。33は頁岩の剥片である。背面には少なくとも上方向からの剥離面が2面以上残されている。断面形はやや三角形で分厚く，やや不整な台形に近い形状である。34は黒曜石の剥片である。背面は右斜め方向からの剥離痕が認められる。断面は三角形で，先端部は折断して現況は方形になる。35は黒味のあるややざらざらした感の強い頁岩の剥片である。背面には上方向からの剥離面を2面残し，先端部は折れて分厚い。平面形状は三角形を呈する。36は安山岩の剥片である。背面には左方向と上方向の2方向からの剥離面が残されている。やや縦長の剥片で，縁辺部は薄く刃器として使用可能なものである。37は頁岩の小剥片である。背面は左方向と上方向の剥離痕が残されている。断面は打撃面側が薄く，中程が厚くなる三角形を呈する。



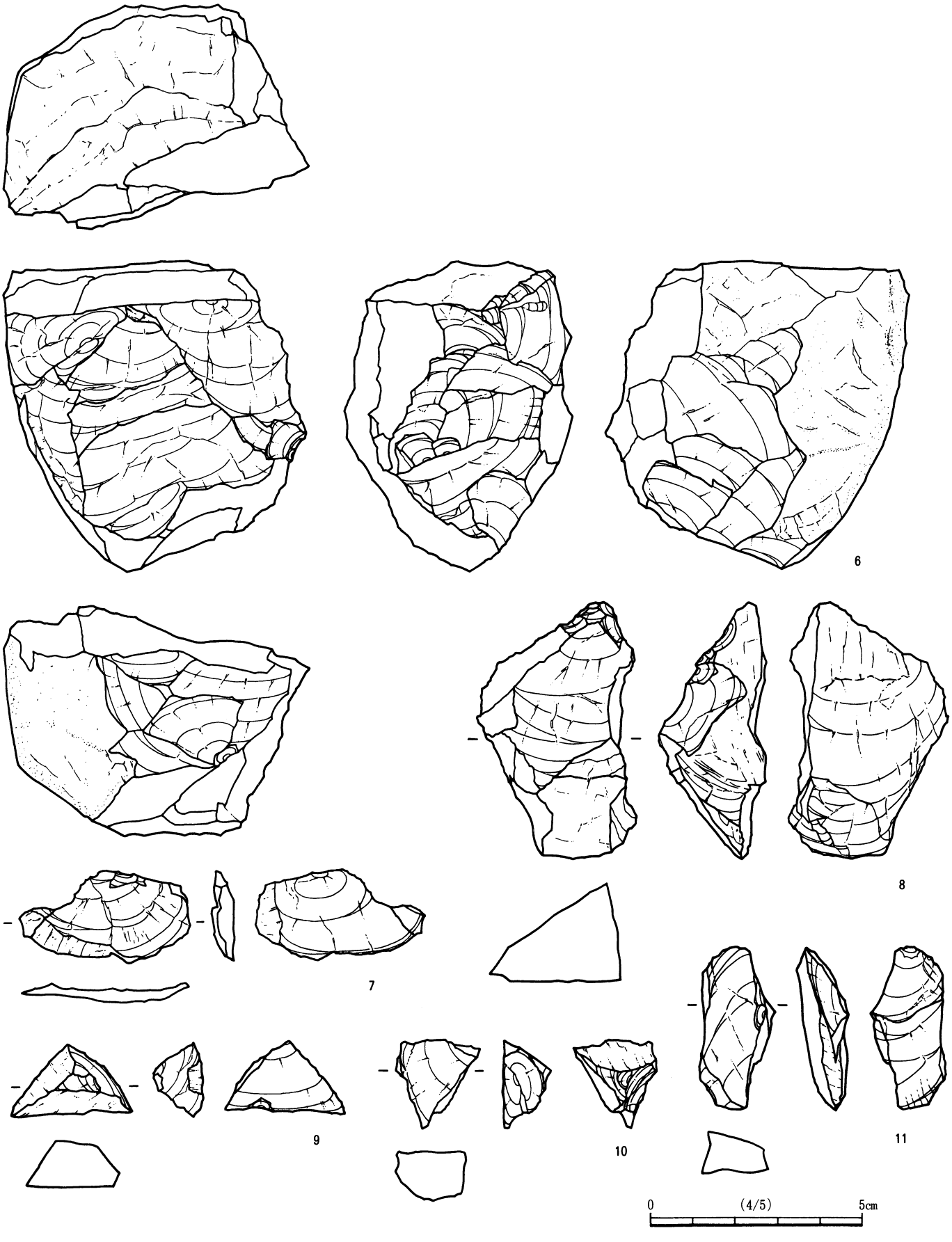
第10図　5F-95ブロック石器分布図(1)器種別



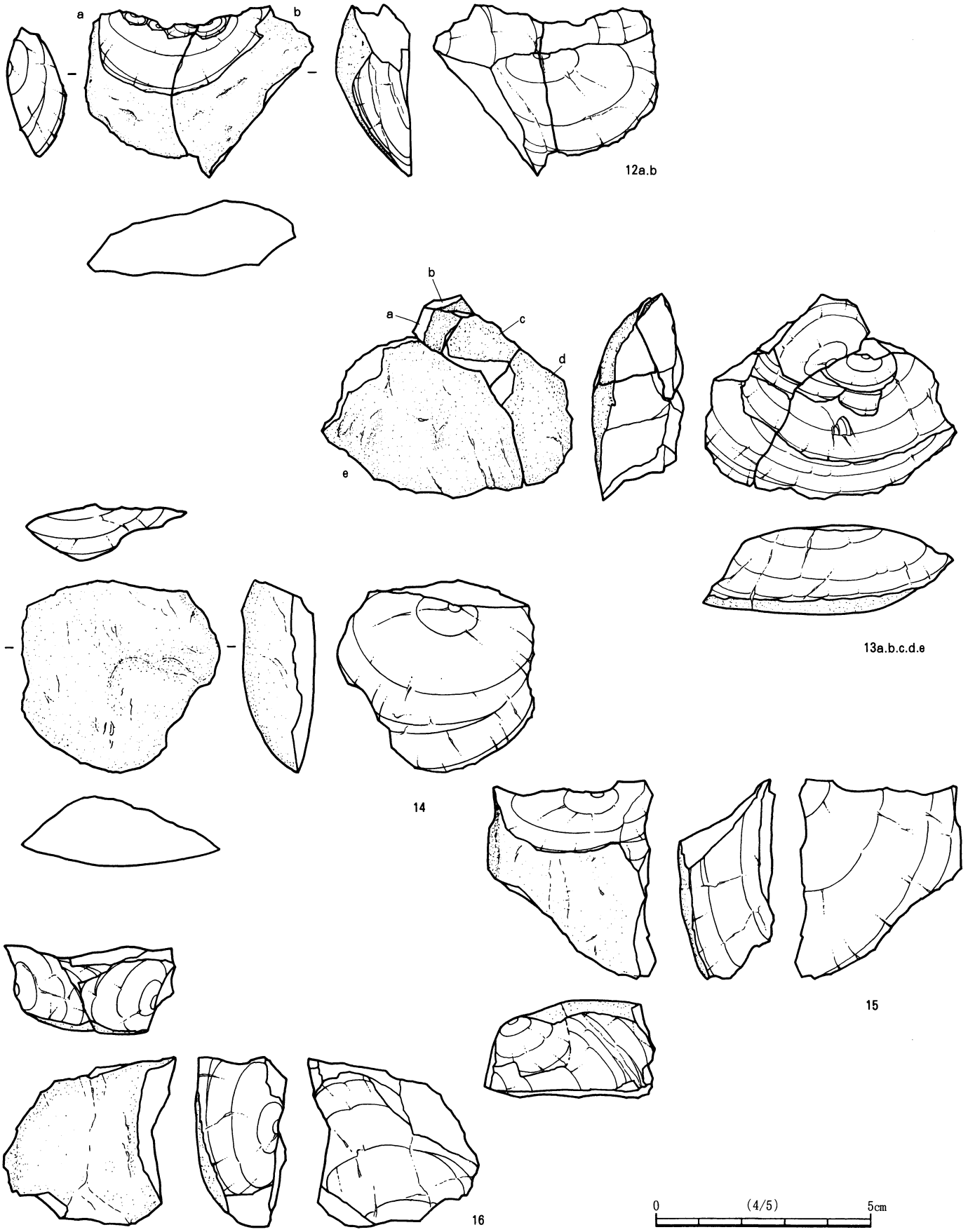
第11図　5F-95ブロック石器分布図(2)母岩別



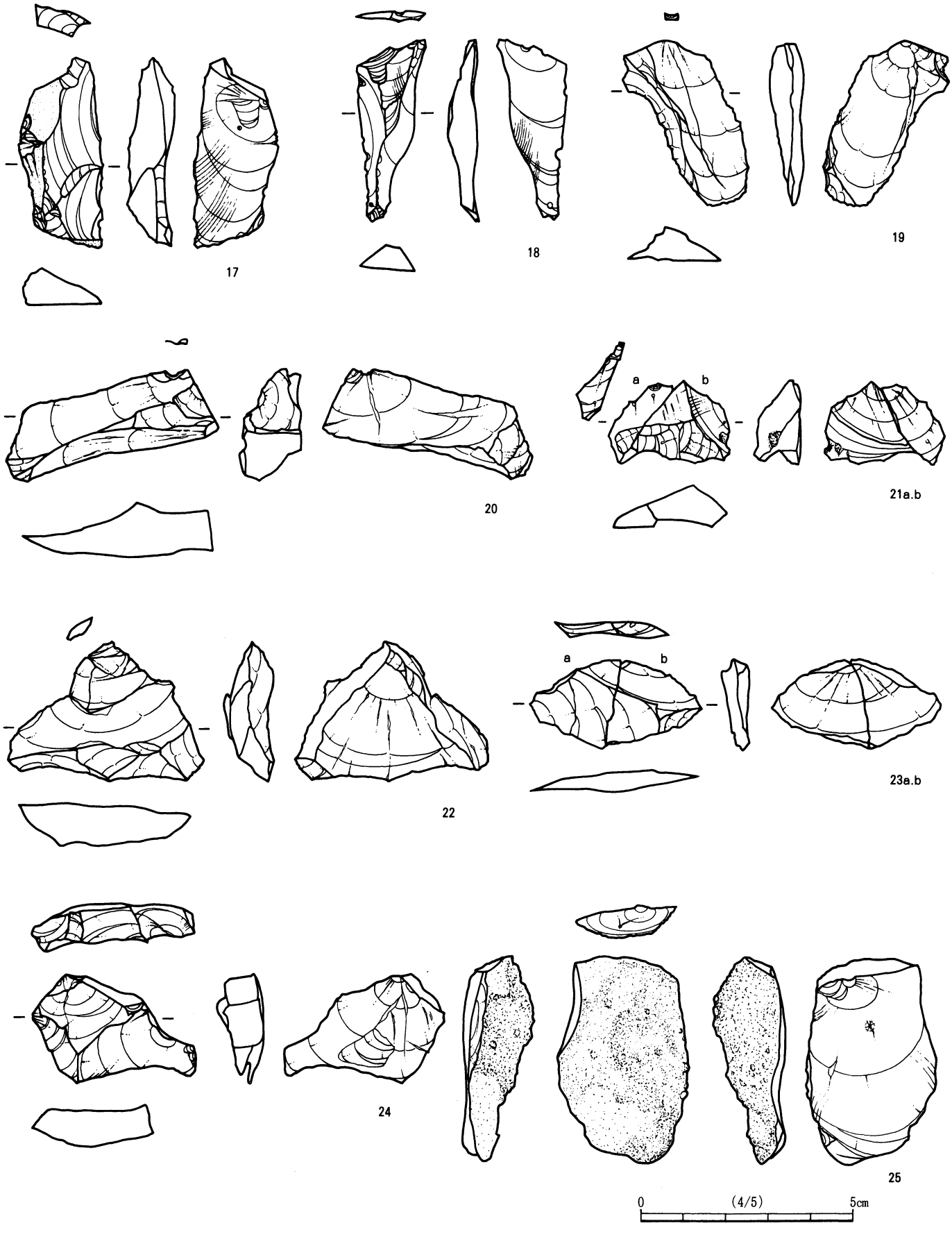
第12図　5F-95ブロック出土石器(1)



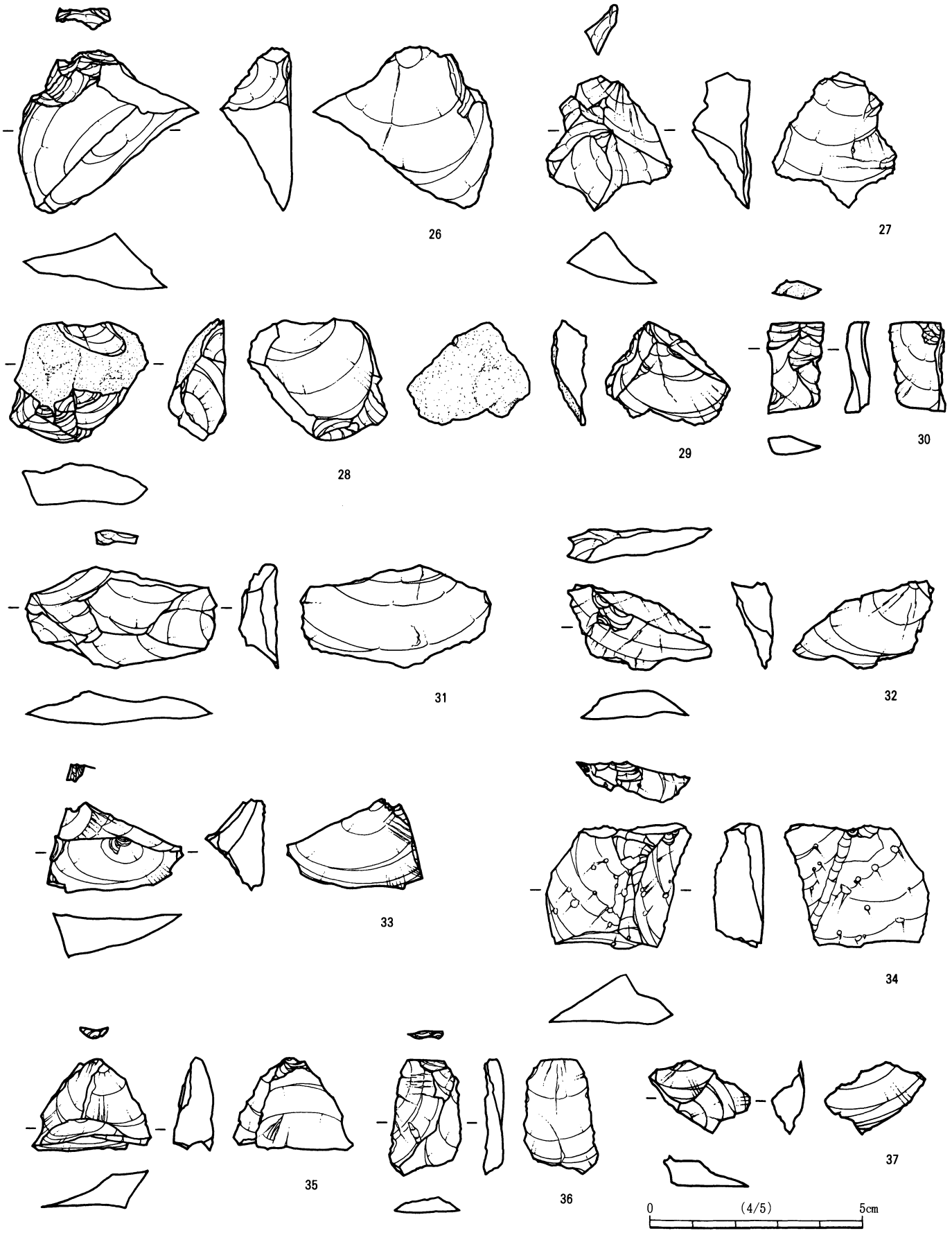
第13図　5F-95ブロック出土石器(2)



第14図　5F-95ブロック出土石器(3)



第15図　5F-95ブロック出土石器(4)



第16図　5F-95ブロック出土石器(5)

第１表　５Ｆ-95ブロック石器属性表

グリッド	遺物No.	枝番	挿図No.	器　種	母　岩	番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	備　考	標　高
5F-95	0001		35	剥片	頁岩	11	21.80	28.40	9.50	3.79		64.575
6F-06	0002			剥片	安山岩	3	12.05	9・7	2.85	0.40		64.595
6F-06	0006			楔形石器	黒曜石	3	15.65	24.33	5.50	2.73		64.719
6F-14	0001		36	剥片	安山岩	2	27.30	17.40	4.90	2.15		64.539
6F-14	0002		23-a	剥片	安山岩	1	40.80	21.00	6.90	3.84		64.770
6F-15	0013		24	剥片	頁岩	4	24.86	38.49	9.37	3.84		64.461
6F-15	0014		15	剥片	頁岩	?	46.10	39.40	22.10	37.80	接合資料１	64.575
6F-16	0007			剥片	頁岩	?	18.40	14.69	8.91	1.54		64.516
6F-16	0019		7	剥片	頁岩	?	21.50	40.50	5.30	3.52	接合資料２	64.698
6F-17	0001		6	石核	頁岩	?	72.00	71.50	53.50	291.40	接合資料２	64.550
6F-17	0003		3-c	石核	黒曜石	5	27.70	20.03	12.02	4.35		64.679
6F-17	0004		10	剥片	頁岩	?	21.00	20.50	11.50	3.48	接合資料２	64.551
6F-24	0001			砕片	黒曜石	2	6.13	9.83	1.73	0.12		64.545
6F-24	0002		4	石核	黒曜石	6	24.79	27.21	15.45	9.07		64.630
6F-24	0003		5-c	石核	黒曜石	6	19.88	19.48	9.45	2.81		64.581
6F-24	0005			剥片	黒曜石	5	6.72	13.09	11.09	0.81		64.530
6F-25	0001			削器	黒曜石	12	22.18	15.09	9.86	3.37		64.685
6F-25	0002			剥片	頁岩	9	39.25	27.00	13.29	11.40		64.514
6F-25	0003		14	剥片	頁岩	?	44.90	46.30	17.00	34.90	接合資料１	64.531
6F-25	0014		20	剥片	安山岩	2	25.90	50.00	14.90	12.01		64.520
6F-25	0029			剥片	安山岩	1	25.49	21.05	9.00	4.06		64.697
6F-25	0036		31	剥片	安山岩	1	24.00	45.30	9.10	8.08		64.680
6F-25	0042		13-a	剥片	頁岩	?	22.40	16.10	7.08	3.13	接合資料１	64.590
6F-25	0053		12-b	剥片	頁岩	?	40.50	33.10	15.75	14.96	接合資料１	64.710
6F-25	0054		19	剥片	安山岩	2	39.50	29.90	8.10	5.19		64.694
6F-25	0059		28	剥片	頁岩	15	28.20	39.95	18.90	12.36		64.507
6F-25	0061			剥片	頁岩	1	13.20	16.18	7.90	1.09		64.465
6F-25	0086			剥片	黒曜石	5	11.36	12.87	3.70	0.47		64.546
6F-25	0087		23-b	剥片	安山岩	1	6F-14　2に接合した数値を記載					64.488
6F-25	0092			剥片	黒曜石	6	14.48	11.19	6.24	0.96		64.501
6F-25	0093			剥片	頁岩	1	9.87	15.79	2.90	0.50		64.495
6F-25	0094	1		剥片	安山岩	1	14.44	16.79	3.70	0.82	6F-25　94-2と接合	64.539
6F-25	0094	2		剥片	安山岩	1	6F-25　94-1に接合した数値を記載				6F-25　94-1と接合	64.539
6F-25	0101		13-e	剥片	頁岩	?	37.50	47.20	19.20	37.06	接合資料１	64.531
6F-25	0105		29	剥片	頁岩	?	24.50	29.20	8.20	4.81		64.490
6F-25	0106			剥片	黒曜石	6	15.06	10.28	2.53	0.27		64.569
6F-25	0123			剥片	黒曜石	3	14.51	7.45	1.26	0.12		64.538
6F-25	0124			剥片	黒曜石	6	11.07	17.56	10.45	2.35		64.491
6F-25	0125			剥片	黒曜石	5	12.21	12.59	6.52	0.63		64.445
6F-25	0126		13-c	剥片	頁岩	?	16.18	17.71	10.00	2.66	接合資料１	64.457
6F-25	0127			剥片	黒曜石	6	21.33	19.66	10.56	4.26		64.469
6F-26	0001		3-b	石核	黒曜石	5	39.04	22.53	16.90	11.53		64.775
6F-26	0002		37	剥片	頁岩	14	17.00	28.90	7.50	1.25		64.714
6F-26	0003			剥片	黒曜石	6	19.38	23.37	8.85	3.68		64.518
6F-26	0006			剥片	黒曜石	5	16.61	21.89	11.29	2.04		64.500
6F-26	0008			剥片	頁岩	1	22.70	17.09	13.28	4.60		64.514
6F-26	0009		9	剥片	頁岩	?	17.50	28.50	11.50	3.90	接合資料２	64.607
6F-26	0010		11	剥片	頁岩	?	38.50	17.80	11.70	6.90	接合資料２	64.630
6F-26	0011		33	剥片	頁岩	3	22.03	33.06	14.10	5.39		64.605
6F-26	0012		32	剥片	頁岩	1	19.95	34.00	9.80	3.42		64.548
6F-26	0014		8	剥片	頁岩	?	59.80	38.00	25.30	37.90	接合資料２	64.516
6F-26	0015	1		剥片	黒曜石	?	12.98	13.72	3.29	0.29		64.510
6F-26	0015	2		砕片	黒曜石	?	7.30	7.35	2.43	0.13		64.510
6F-26	0015	3		砕片	黒曜石	?	5.37	6.15	1.04	0.04		64.510
6F-26	0015	4		砕片	頁岩	1	8.36	6.18	1.13	0.07		64.510
6F-26	0016			剥片	頁岩	1	12.45	24.50	6.58	1.53		64.479
6F-26	0017		21-a	剥片	黒曜石	5	21.72	9.51	6.06	1.03		64.729
6F-26	0018		13-d	剥片	頁岩	?	31.15	21.91	15.59	8.63	接合資料１	64.719
6F-26	0023		3-a	石核	黒曜石	5	35.06	22.97	10.44	7.87		64.577
6F-26	0024		18	剥片	黒曜石	3	35.96	32.67	6.67	2.66		64.481
6F-26	0025			剥片	黒曜石	5	18.86	9.66	7.00	0.63		64.550
6F-26	0027			剥片	黒曜石	5	20.64	29.21	8.08	4.62		64.540
6F-27	0001		1	微細剥離痕剥片	黒曜石	3	28.88	13.89	5.38	1.88		64.493
6F-27	0002			ナイフ形石器	黒曜石	3	15.06	11.11	1.98	0.37		64.487
6F-27	0003			微細剥離痕剥片	黒曜石	2	15.35	7.68	2.29	0.24		64.530
6F-27	0004			剥片	黒曜石	7	12.56	25.40	3.16	0.67		64.544
6F-34	0001		21	剥片	黒曜石	5	21.01	23.37	10.42	3.10		64.457
6F-34	0002			剥片	黒曜石	6	18.66	17.08	8.63	1.73		64.820
6F-34	0003			剥片	黒曜石	6	23.91	13.87	8.04	1.97		64.470
6F-34	0004		34	剥片	黒曜石	5	11.37	7.88	5.48	0.29		64.445
6F-34	0004			剥片	黒曜石	6	28.80	33.76	12.63	9.28		
6F-34	0006		5-b	石核	黒曜石	6	25.28	32.43	13.60	8.24		64.560
6F-35	0001		30	剥片	安山岩	2	21.40	13.10	5.50	1.46		
6F-35	0002		25	剥片	頁岩	5	47.64	30.80	16.66	21.47		64.675
6F-35	0004		12-a	剥片	頁岩	?	35.10	27.80	15.05	12.85	接合資料１	64.530
6F-35	0005		22	剥片	安山岩	1	33.00	46.90	11.80	11.57		64.514
6F-35	0006		27	剥片	安山岩	1	32.00	29.95	13.40	6.83		64.500
6F-35	0007		26	剥片	安山岩	1	38.40	42.50	21.50	12.47		64.550
6F-35	0008		16	剥片	頁岩	?	40.10	39.20	21.00	35.52	接合資料１	64.494
6F-35	0010		13-b	剥片	頁岩	?	14.20	21.05	9.29	1.74	接合資料１	64.650
6F-35	0013			剥片	黒曜石	5	11.24	14.12	10.16	1.39		64.460
6F-36	0005			剥片	安山岩	1	39.05	15.51	13.02	4.66		64.681
6F-36	0006		17	剥片	黒曜石	1	26.53	34.58	10.16	7.73		64.252
6F-44	0001		5-a	剥片	黒曜石	6	20.79	21.56	11.74	3.28		64.439

（２）　６Ｆ-37ブロック（第17図～第19図，第２表，図版３・７）

出土状況　６Ｆ-37・38・39・48グリッドに位置し，南北約3.0ｍ，東西約5.0ｍの範囲に，石核２点，微細剥離痕剥片３点，剥片・砕片60点，計65点が集中して分布する。垂直分布は64.314ｍ～64.566ｍの約0.252ｍの間に分布する。出土層位は概ねⅣ層～Ⅴ層にあたるものと思われる。

石材は，黒曜石61点，頁岩4点で黒曜石が91％を占める。

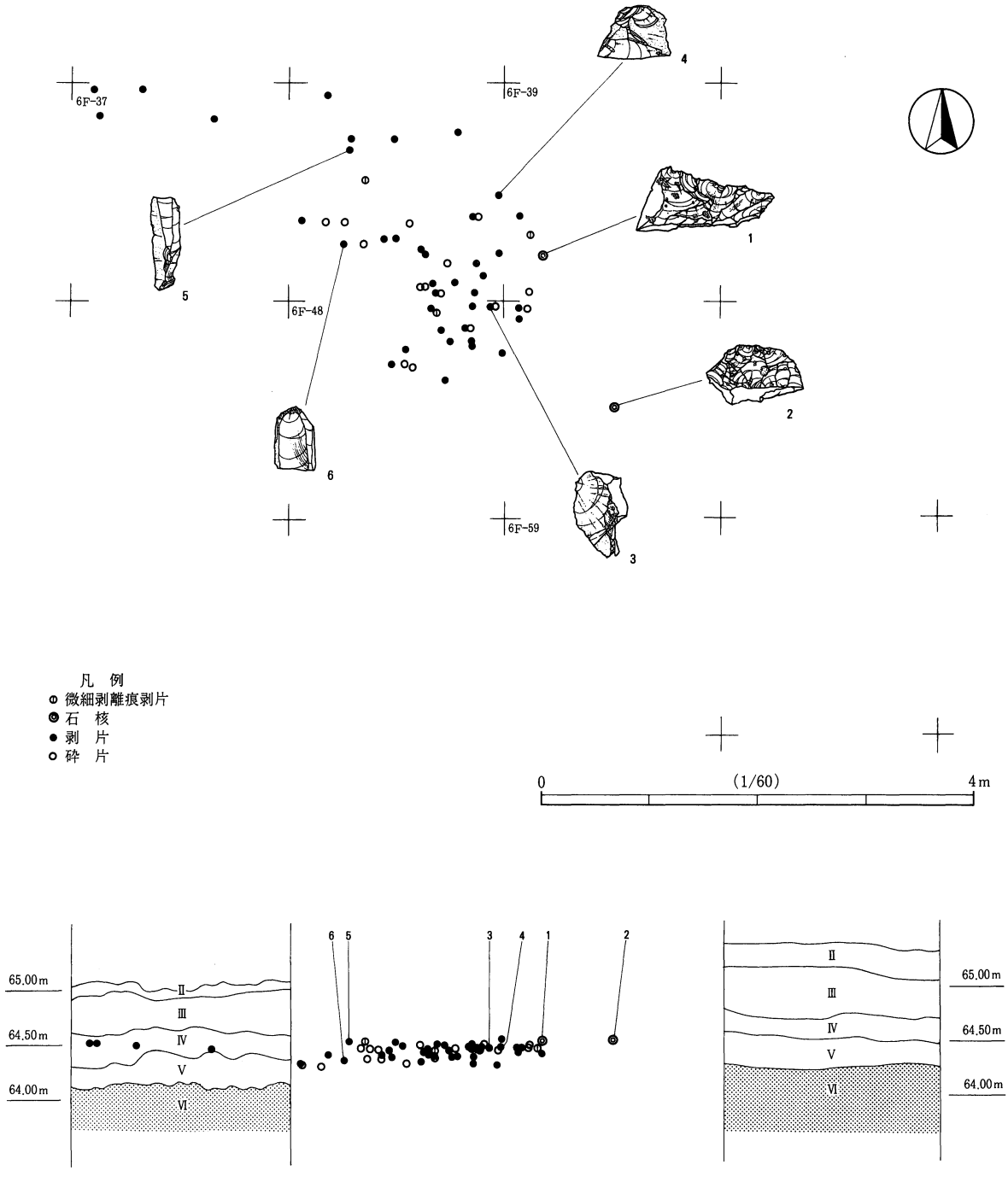
遺　　物　１は黒曜石の石核である。黒曜石は所謂細かな夾雑物が多く入る，やや不透明で黒みの強いものである。背面に複数の上方向の剥離面が見られる横長の剥片を使用している。主剥離面には上面に打撃時に生じた細かな剥離痕が数多く見られる。２は黒曜石の石核である。１と同様の石材と思われる。打面転移を繰り返し，比較的短小な剥片を剥離していたと思われる。３は頁岩の剥片である。背面には一部礫面が残る。左方向から１面，背面から縁辺部方向に１面の剥離面が残されている。先端部は先細りの形態である。４は黒曜石の剥片である。背面は約１／２程度礫面を残す。また，横方向から小さな剥離が複数見られる。５は黒曜石の剥片である。背面左側には礫面が残されている。また，上方からの２面の剥離面が残されている刃器状剥片である。打撃面は剥離時に折断したものと思われる。縁辺部には加工もしくは使用のための細かな剥離痕が認められる。６は黒曜石の剥片である。背面には一部礫面が残るものの上方からの２面の剥離面が認められ，所謂刃器状の剥片になると思われる。なお，先端部は折断されている。縁辺部には加工もしくは使用のための細かな剥離痕が認められる。

（３）　５Ｇ-45ブロック（第20図～第22図，第３表，図版３・７）

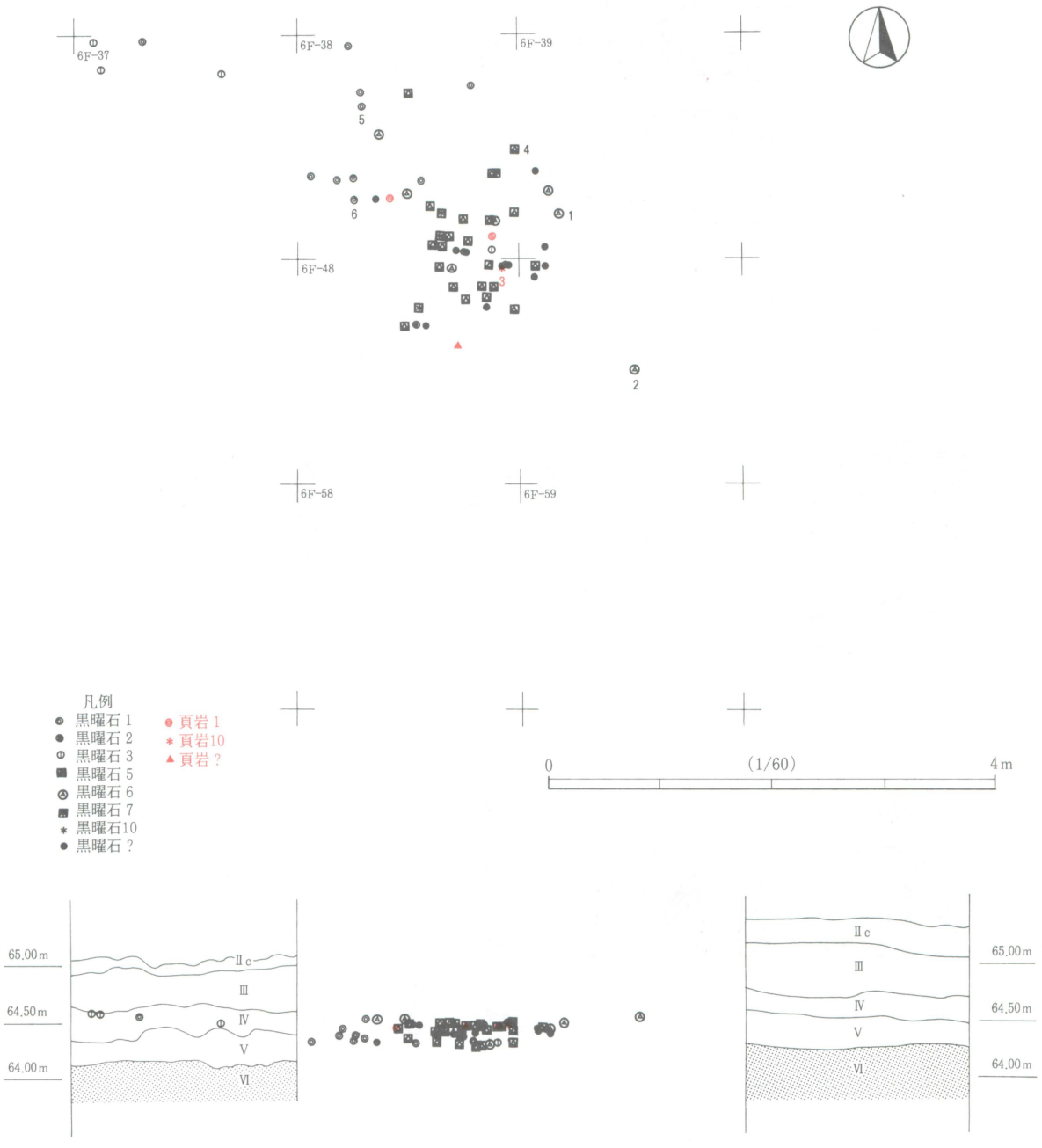
出土状況　５Ｇ-45・55・56・65・66・75グリッドに位置し，南北約6.2ｍ，東西約2.2ｍの範囲に，ナイフ形石器２点，原石１点，微細剥離痕剥片１点，剥片７点，計11点が集中して分布する。垂直分布は64.049ｍ～64.580ｍの約0.531ｍの間に分布する。出土層位は概ねⅢ層にあたるものと思われる。

石材は黒曜石７点，頁岩３点，チャート１点で，黒曜石が63％を占める。

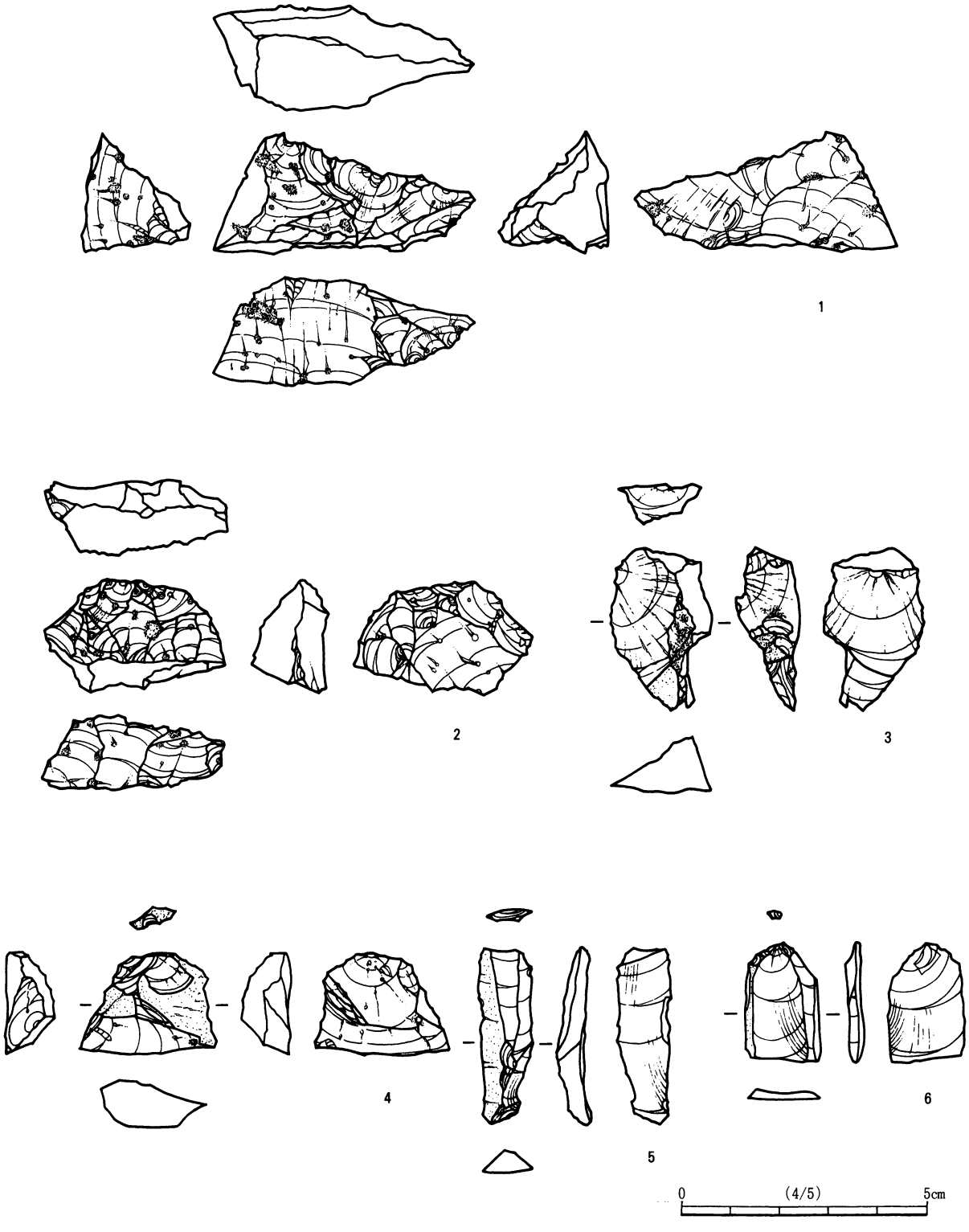
遺　　物　１は剥片１点とナイフ形石器１点の接合するものである。元々は縦長剥片の片側に調整が施されたナイフ形石器であるもので，折断後も短い状態で使用していたものと思われる。石材は黒曜石である。２は黒曜石のナイフ形石器である。縦長の剥片を素材にして作られている。先端部が折断している。片側縁と基部には細かな調整が施されている。３は頁岩の剥片である。背面には右方向と上方向からの剥離面が２面と1/2程度の礫面が残されている。４はチャートの剥片である。縦長の剥片で，背部は上方向と左方向からの剥離面が残されている。比較的厚みのある剥片である。



第17図　6F-37ブロック石器分布図(1)器種別



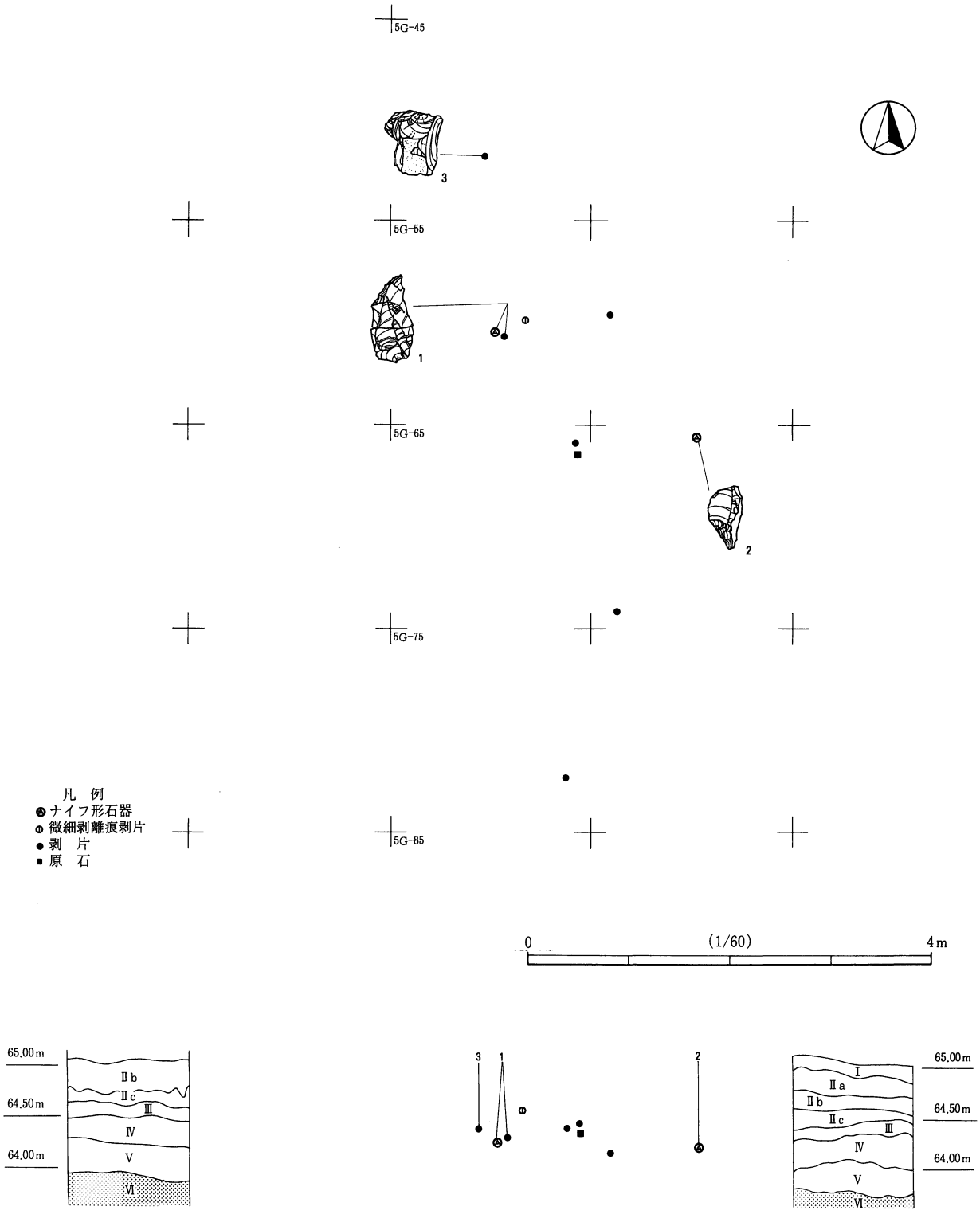
第18図　6F-37ブロック石器分布図(2)母岩別



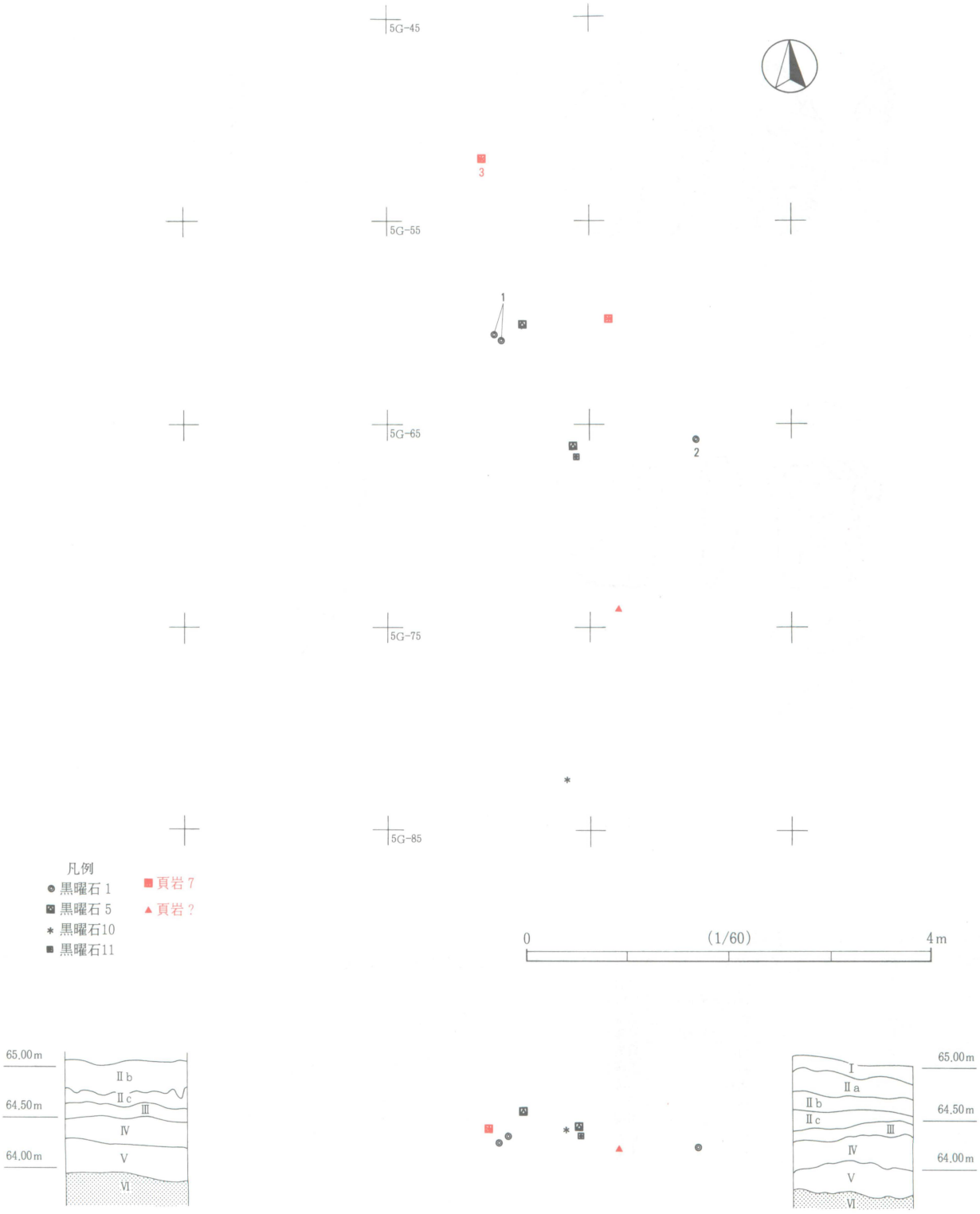
第19図　6F-37ブロック出土石器

第２表　６Ｆ-37ブロック石器属性表

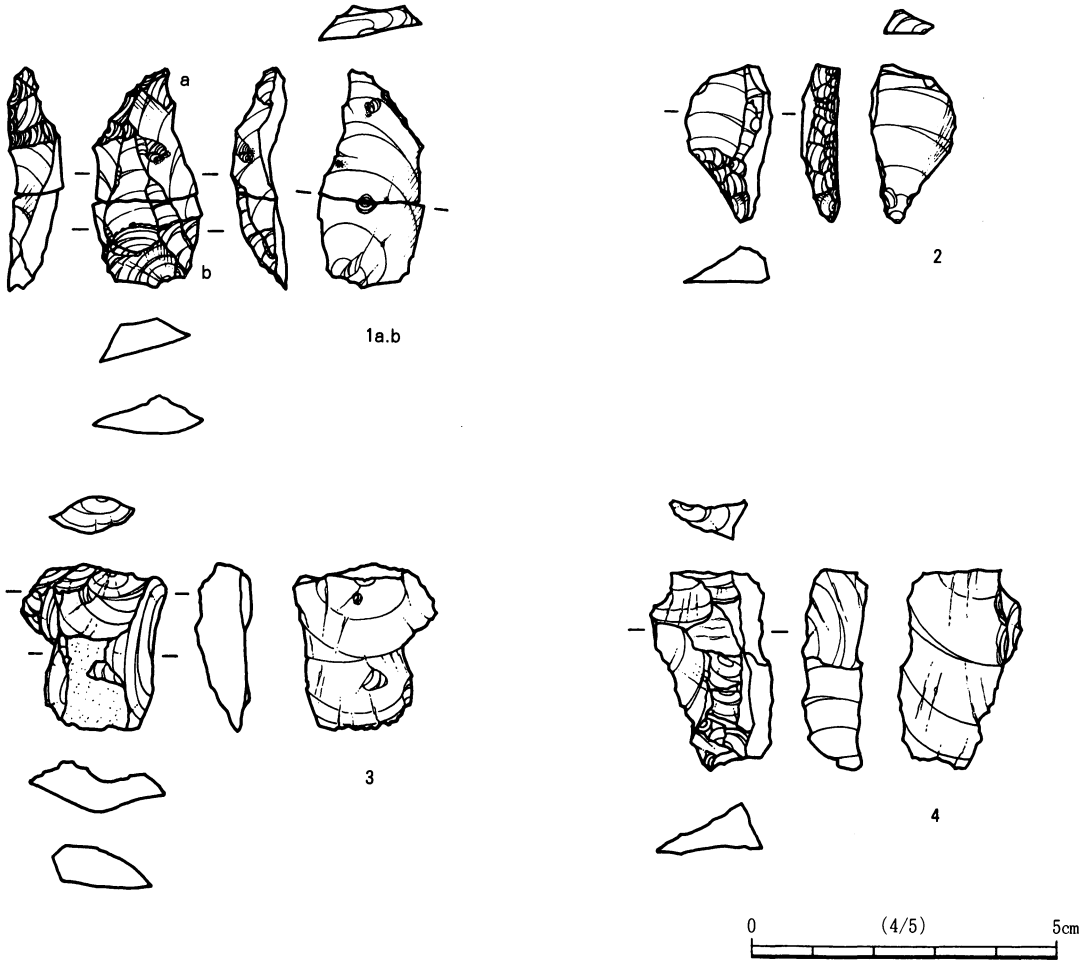
グリッド	遺物No.	枝番	挿図No.	器　種	母　岩	番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	備　考	標　高
6F-37	0001			剥片	黒曜石	3	10.52	15.26	1.83	0.19		64.515
6F-37	0002			剥片	黒曜石	3	17.22	11.35	2.38	0.44		64.536
6F-37	0003			剥片	黒曜石	1	23.93	29.53	3.23	1.53		64.490
6F-37	0004			剥片	黒曜石	3	20.87	7.31	4.13	0.42		64.458
6F-38	0001		5	剥片	黒曜石	1	35.42	11.09	6.41	1.72		64.513
6F-38	0002			微細剥離痕剥片	黒曜石	6	24.07	23.89	9.06	4.41		64.510
6F-38	0004			剥片	黒曜石	6	12.08	18.63	3.67	0.59		64.510
6F-38	0037		4	剥片	黒曜石	5	20.49	28.21	10.46	4.97		64.485
6F-38	0044			砕片	黒曜石	5	6.11	8.78	2.41	0.14		64.460
6F-38	0050			剥片	黒曜石	7	8.86	10.07	1.03	0.07		64.436
6F-38	0054			剥片	頁岩	1	16.60	9.31	1.80	0.23		64.476
6F-38	0070	1		剥片	黒曜石	5	9.07	13.37	2.35	0.13		64.460
6F-38	0070	2		砕片	黒曜石	7	5.50	7.76	1.03	0.04		64.460
6F-38	0076			剥片	頁岩	1	15.89	12.74	2.60	0.62		64.400
6F-38	0078			剥片	黒曜石	1	10.59	13.24	0.60	0.15		64.413
6F-38	0078			剥片	黒曜石	1	15.77	5.95	1.19	0.17		64.413
6F-38	0079			剥片	黒曜石	1	24.79	17.02	5.87	1.38		64.355
6F-38	0080			剥片	黒曜石	5	14.50	17.79	2.29	0.45		64.375
6F-38	0081			剥片	黒曜石	1	32.42	20.06	6.95	1.97		64.379
6F-38	0082			剥片	黒曜石	1	15.60	9.38	2.68	0.31		64.310
6F-38	0083			砕片	黒曜石	1	4.89	6.97	1.50	0.05		64.385
6F-38	0084			砕片	黒曜石	1	6.77	8.27	2.43	0.16		64.325
6F-38	0085		6	剥片	黒曜石	1	23.30	15.59	1.79	1.10		64.370
6F-38	0086			砕片	黒曜石	1	7.43	10.51	1.29	0.05		64.381
6F-38	0087			剥片	黒曜石	5	11.97	10.78	3.42	0.34		64.350
6F-38	0088			砕片	黒曜石	5	9.48	9.95	1.71	0.10		64.331
6F-38	0089	1		剥片	黒曜石	5	13.57	7.26	1.24	0.09		64.344
6F-38	0089	2		剥片	黒曜石	6	7.79	17.17	11.54	1.28		64.344
6F-38	0090			剥片	黒曜石	3	8.58	10.94	2.15	0.12		64.381
6F-38	0091			剥片	黒曜石	5	8.33	13.11	1.75	0.16		64.357
6F-38	0092			剥片	黒曜石	5	5.32	12.01	1.70	0.09		64.408
6F-38	0092			剥片	黒曜石	7	10.75	4.29	1.07	0.02		64.408
6F-38	0093			剥片	黒曜石	5	10.95	9.46	4.30	0.28		64.314
6F-38	0094	1		剥片	黒曜石	?	15.16	5.99	5.80	0.31		64.415
6F-38	0094	2		砕片	黒曜石	?	7.01	5.16	0.95	0.03		64.415
6F-38	0094	3		砕片	黒曜石	?	5.43	4.41	2.91	0.08		64.415
6F-38	0095			砕片	黒曜石	?	4.47	8.11	1.09	0.02		64.308
6F-38	0096			砕片	黒曜石	5	9.98	9.49	1.35	0.13		64.352
6F-39	0012			剥片	黒曜石	?	9.46	10.10	2.86	0.18		64.473
6F-39	0013			微細剥離痕剥片	黒曜石	6	14.66	36.45	8.46	3.45		64.493
6F-39	0014		1	石核	黒曜石	6	24.51	50.84	25.75	18.79		64.529
6F-39	0016			砕片	黒曜石	?	7.86	3.98	1.69	0.07		64.478
6F-48	0002		3	剥片	頁岩	10	32.80	20.90	13.00	5.92		64.475
6F-48	0004			剥片	黒曜石	5	12.78	9.50	2.92	0.38		64.468
6F-48	0009			剥片	黒曜石	5	13.69	16.36	4.28	0.80		64.499
6F-48	0009			砕片	黒曜石	5	9.55	9.91	3.14	0.19		64.499
6F-48	0014			剥片	黒曜石	5	12.37	15.43	2.98	0.45		64.486
6F-48	0016			剥片	黒曜石	5	8.71	9.14	1.93	0.14		64.480
6F-48	0017			剥片	黒曜石	?	3.47	11.25	3.74	0.10		64.480
6F-48	0018			剥片	黒曜石	5	11.07	10.82	0.97	0.11		64.566
6F-48	0022			剥片	頁岩	?	14.53	6.92	7.70	0.84		64.485
6F-48	0023			砕片	黒曜石	?	7.86	5.74	1.37	0.06		64.486
6F-48	0024			砕片	黒曜石	2	7.90	7.13	2.61	0.11	被熱？	64.485
6F-48	0025			剥片	黒曜石	7	5.00	12.77	2.73	0.12		64.480
6F-48	0026			剥片	黒曜石	5	11.86	16.13	2.13	0.37		64.441
6F-48	0035			剥片	黒曜石	5	8.51	13.77	3.75	0.31		64.449
6F-48	0037			剥片	黒曜石	5	6.23	12.84	2.55	0.14		64.426
6F-48	0039			微細剥離痕剥片	黒曜石	6	8.27	14.84	5.84	0.58		64.436
6F-48	0040			砕片	黒曜石	?	7.87	9.88	1.83	0.10		64.440
6F-48	0040			砕片	黒曜石	?	7.87	8.67	1.63	0.10		64.440
6F-48	0040			砕片	黒曜石	?	4.17	5.84	0.68	＜0.01		64.440
6F-49	0002			砕片	黒曜石	?	6.85	2.24	2.04	0.02		64.457
6F-49	0003			剥片	黒曜石	5	5.06	12.39	5.94	0.41		64.466
6F-49	0008		2	石核	黒曜石	6	21.10	37.55	15.97	10.45		64.538
6F-49	0009			剥片	黒曜石	?	3.84	14.93	4.24	0.14		64.474



第20図　5G-45ブロック石器分布図(1)器種別



第21図　5G-45ブロック石器分布図(2)母岩別



第22図　5G-45ブロック出土石器

第3表　5G-45ブロック石器属性表

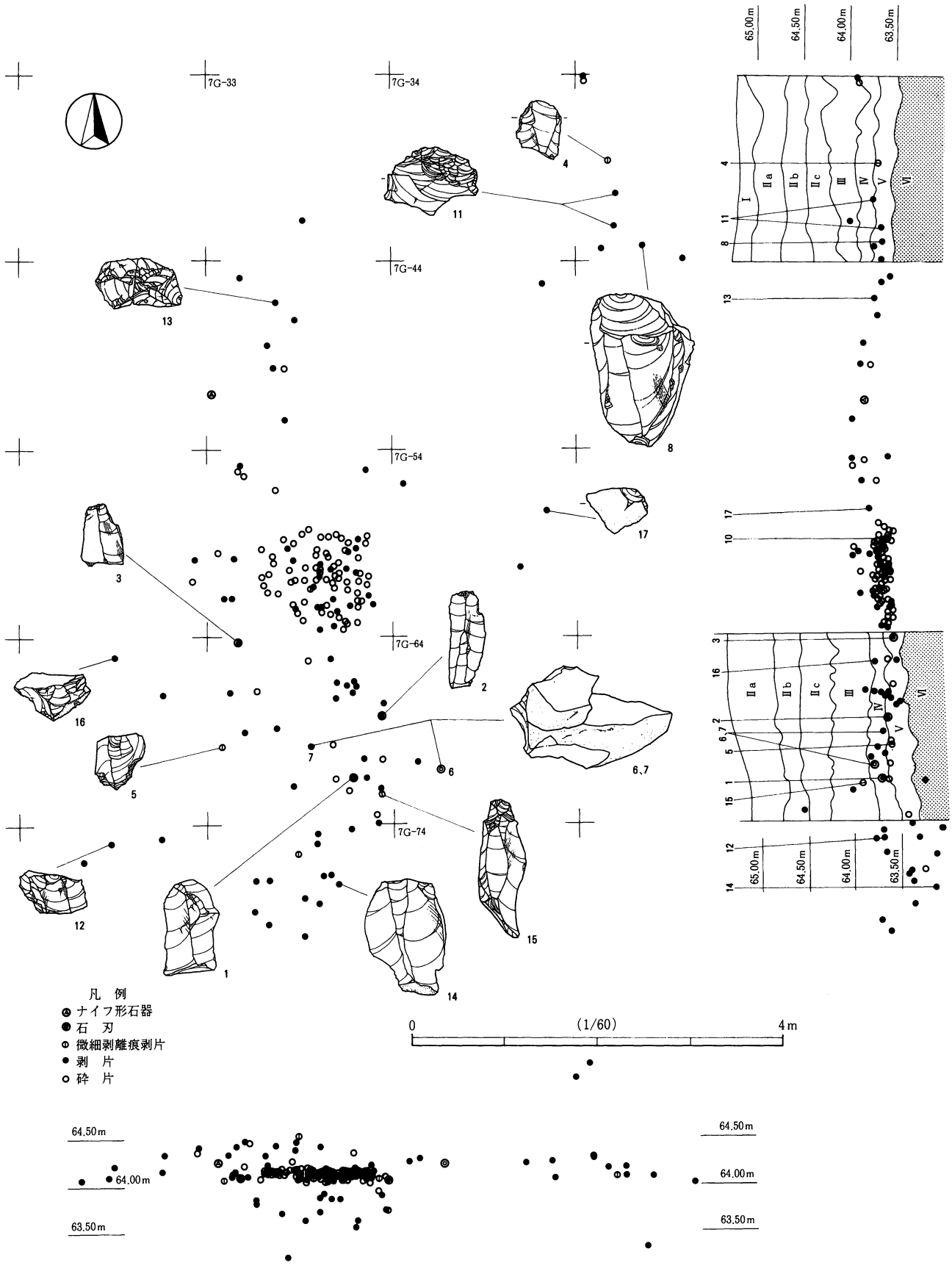
グリッド	遺物No.	枝番	挿図No.	器　種	母　岩	番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	備　考	標　高
5G-45	0002		3	剥片	頁岩	7	26.90	23.50	9.00	4.35		64.403
5G-55	0003			微細剥離痕剥片	黒曜石	5	28.85	20.30	6.22	2.50		64.580
5G-55	0004		1-b	剥片	黒曜石	1	14.91	18.69	4.56	1.48		64.338
5G-55	0005		1-a	ナイフ形石器	黒曜石	1	22.30	17.03	7.96	2.04		64.284
5G-56	0001			剥片	頁岩	7	43.20	23.19	12.54	13.42		
5G-65	0002			剥片	黒曜石	5	30.43	14.17	12.14	7.90		64.440
5G-65	0003			原石	黒曜石	11	16.39	29.87	6.18	2.53		64.428
5G-65	0006		4	剥片	チャート	6	32.85	19.95	11.00	4.79		64.049
5G-66	0002		2	ナイフ形石器	黒曜石	1	26.36	13.68	6.00	1.88		64.225
5G-66	0003			剥片	頁岩	?	36.39	22.11	23.00	12.59		64.186
5G-75	0001			剥片	黒曜石	10	14.93	35.92	12.85	3.92		64.405

（4）　7G-33ブロック（第23図～第27図，第4表，図版3・8）

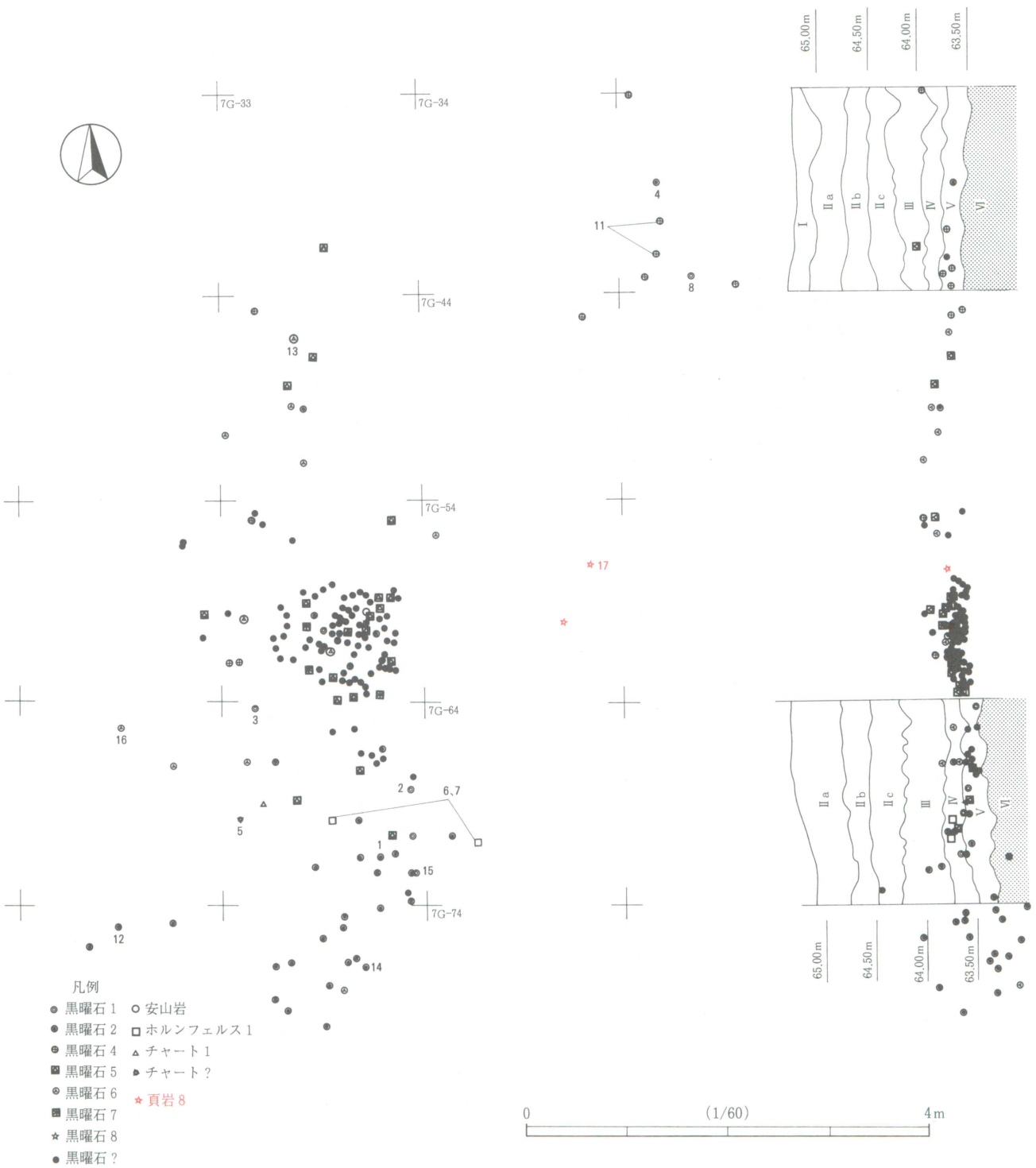
出土状況　7G-33・35・43・44・52・53・54・62・63・64・72・73グリッドに位置し，南北約8.3m，東西約5.8mの範囲に，ナイフ形石器1点，削器1点，石刃3点，微細剥離痕剥片6点，石核1点，剥片・砕片186点，計198点が集中して分布する。垂直分布は63.006m～64.020mの約1.014mの間に分布する。出土層位は概ねⅢ層～Ⅳ層にあたるものと思われる。

石材は，黒曜石190点，頁岩3点，チャート2点，ホルンフェルス3点で，黒曜石が約96%を占める。

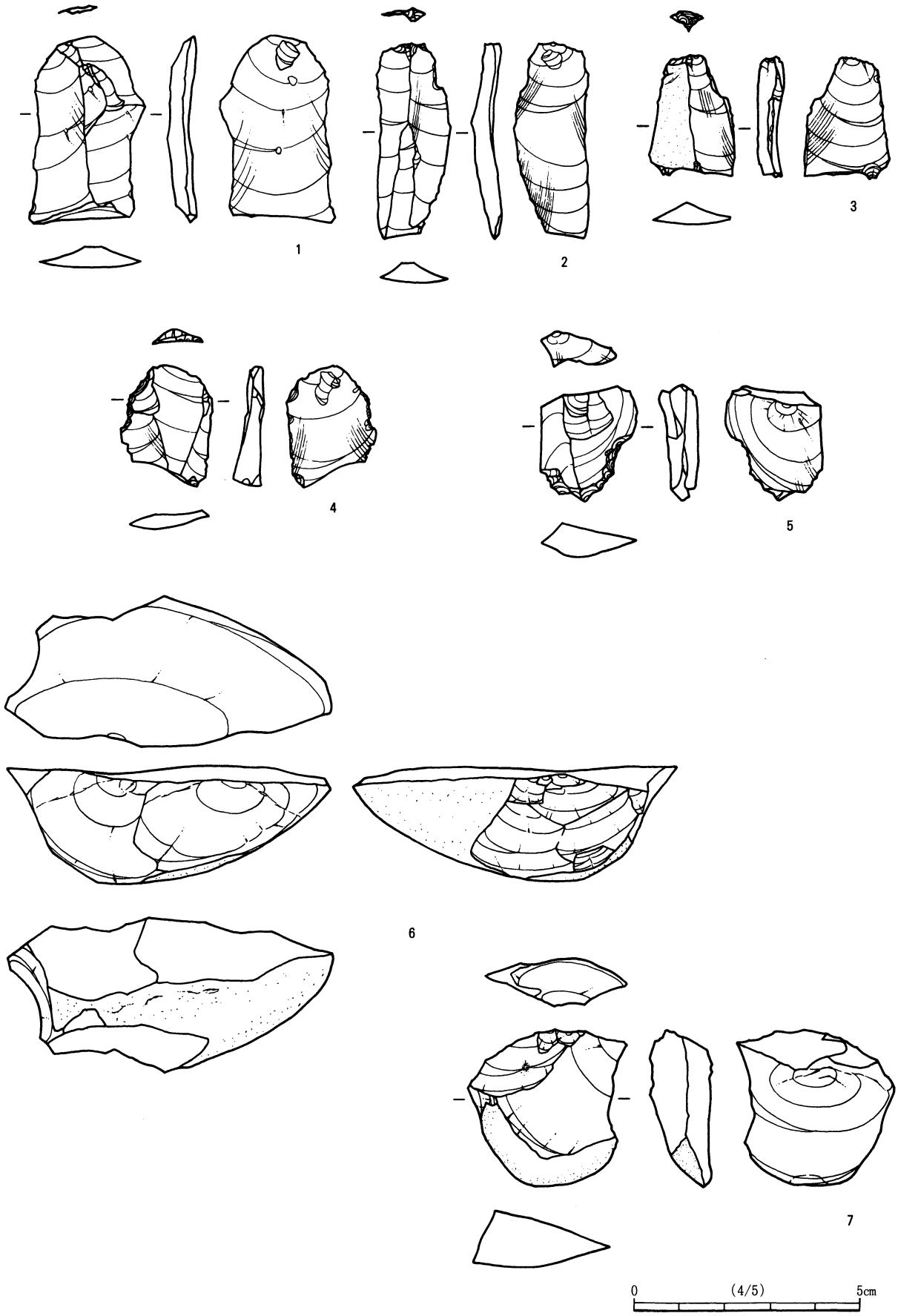
遺　物　1は黒曜石の石刃である。背面には上方からの剥離面が3面残されている。2と同様に縁辺部は鋭く，刃器として使用されたものと思われる。2は黒曜石の石刃である。背面には上方向からの剥離面が3面残されている。縁辺部は鋭く，刃器として使用されたものと思われる。3は黒曜石の石刃である。背面には上方からの剥離面1面と礫面が残されている。先端部は折断されている。縁辺部は両側縁ともに鋭く，刃器として使用されていたものと思われる。4は黒曜石の微細剥離痕剥片である。背面には上方からの剥離面が4面残されている。先端部と左側縁部に連続的な細かな調整が見られる。5はチャートの微細剥離痕剥片である。小形の剥片の先端部側の縁辺部に沿って比較的細かな調整を連続的に施している。6は黒曜石の石核である。楕円礫から剥がされた大形剥片を素材に剥片剥離を行っている。剥がされたものはいずれも横長のやや不整形の剥片になると思われる。7はホルンフェルスの剥片である。背面には上方からの剥離面を2面と先端部分に礫面が残されている。8は黒曜石の剥片である。大形の縦長の剥片で，上方からの剥離面が5面残されている。大きな石核素材の存在を予見させる剥片である。9はホルンフェルスの剥片である。背面には横方向の剥離面が残されている。10は黒曜石の石核である。厚みのある小剥片を素材として石核に転用している。11は剥片2点の接合するものである。大形剥片の一部が剥離したものと思われる。石材は黒曜石である。12は黒曜石の石核である。剥片を素材として石核に転用している。小さな剥片を2～3枚剥離している。13は剥片2点の接合するものである。元々一度の打撃で剥離された剥片で，折断されたものである。石材は黒曜石である。14は黒曜石の剥片である。大形の縦長の剥片で，背面には上方からの剥離面が3面と先端部に若干の礫面が残されている。15は黒曜石の剥片である。縦長の石刃と呼べるような剥片で，背面には上方向からの剥離面が4面以上残されている。16は黒曜石の剥片である。背面には礫面と細かな上方からの小剥離が多く見られる。打面調整のための剥片と思われる。17は頁岩の剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。



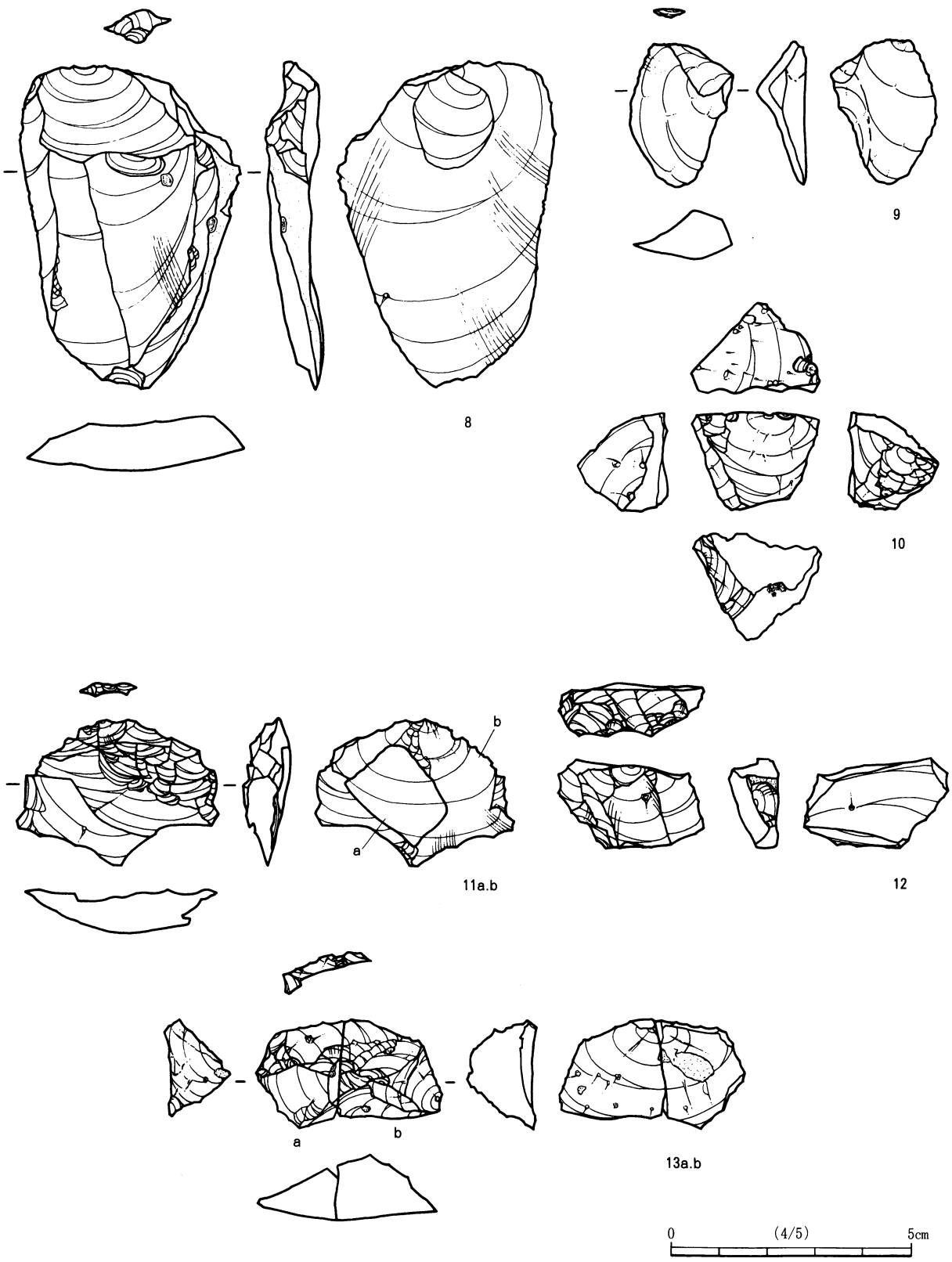
第23図　7G-33ブロック石器分布図(1)器種別



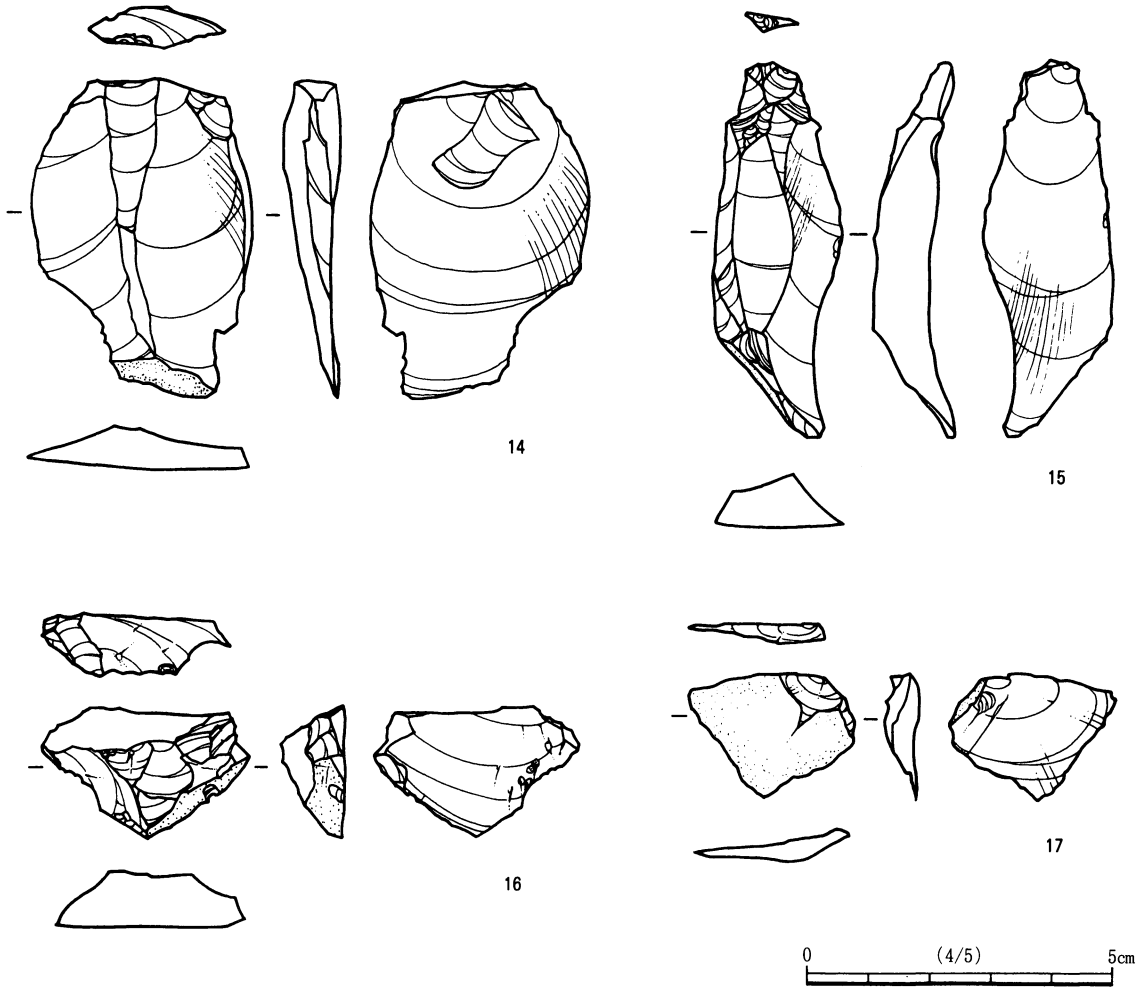
第24図　7G-33ブロック石器分布図(2)母岩別



第25図　7G-33ブロック出土石器(1)



第26図　7G-33ブロック出土石器(2)



第27図　7G-33ブロック出土石器(3)

第4表　7G-33ブロック石器属性表

グリッド	遺物No.	枝番	挿図No.	器　種	母　岩	番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量g	備　考	標高
7G-33	0005			剥片	黒曜石	5	21.41	23.07	4.41	1.57		63.895
7G-35	0002			剥片	黒曜石	4	28.27	26.06	6.06	2.54		63.800
7G-35	0002			砕片	黒曜石	4	5.57	8.49	2.08	0.09		63.800
7G-35	0003		11-b	剥片	黒曜石	4	21.40	22.71	2.39	0.70		63.695
7G-35	0004			剥片	黒曜石	4	24.52	20.68	6.51	1.77		63.682
7G-35	0005		11-a	剥片	黒曜石	4	30.59	42.06	7.62	6.27		63.613
7G-35	0006		8	剥片	黒曜石	1	64.14	46.52	10.95	25.57		63.592
7G-35	0007		4	微細剥離痕剥片	黒曜石	2	25.26	19.19	4.27	2.47		63.610
7G-35	0008			剥片	黒曜石	4	7.59	17.26	3.33	0.43		63.539
7G-43	0003			剥片	黒曜石	6	22.13	19.14	10.05	3.25		63.937
7G-43	0008			剥片	黒曜石	5	14.63	11.74	5.20	0.54		63.614
7G-43	0013		13-b	剥片	黒曜石	6	20.72	22.80	13.84	5.40		63.726
7G-43	0029			剥片	黒曜石	5	16.09	30.57	8.50	3.59		63.658
7G-43	0046			ナイフ形石器	黒曜石	6	27.98	15.69	7.28	2.90		63.792
7G-43	0052			剥片	黒曜石	6	14.90	22.73	6.71	2.20		63.827
7G-43	0054			砕片	黒曜石	2	8.94	7.42	3.91	0.21		63.760
7G-43	0065			剥片	黒曜石	5	22.80	10.27	5.45	0.87		63.815
7G-44	0002			剥片	黒曜石	4	23.02	11.06	4.26	0.80		63.563
7G-52	0012			剥片	黒曜石	5	7.98	18.14	6.63	0.50		63.932
7G-52	0013			砕片	黒曜石	?	7.10	5.84	1.18	0.06		63.865
7G-53	0001			剥片	黒曜石	2	9.23	10.97	4.35	0.27		一括
7G-53	0001	1		剥片	黒曜石	5	17.86	25.33	7.09	2.21		一括
7G-53	0001	2		剥片	黒曜石	5	16.48	19.74	5.45	1.49		一括
7G-53	0001	3		剥片	黒曜石	5	14.35	15.53	4.01	0.97		一括
7G-53	0001	4		剥片	黒曜石	5	7.22	18.93	6.63	0.77		一括
7G-53	0001	5		剥片	黒曜石	5	12.57	12.02	3.94	0.56		一括
7G-53	0001	6		剥片	黒曜石	5	11.70	13.28	3.53	0.49		一括
7G-53	0001	7		砕片	黒曜石	5	7.53	9.25	6.37	0.22		一括
7G-53	0001	8	13-a	剥片	黒曜石	6	24.21	19.73	12.10	3.81		一括
7G-53	0001	9	10	剥片	黒曜石	6	22.04	23.96	16.90	7.32		一括
7G-53	0001	10		剥片	黒曜石	6	15.28	21.55	9.64	2.10		一括
7G-53	0001	11		削器	黒曜石	8	26.79	19.18	9.64	3.83		一括
7G-53	0001			砕片	黒曜石	?	3.42	4.43	1.55	0.02		一括
7G-53	0002			剥片	黒曜石	5	10.18	11.91	2.88	0.26		63.730
7G-53	0005			砕片	黒曜石	?	5.11	9.93	2.10	0.08		63.972
7G-53	0006			剥片	黒曜石	4	15.17	23.52	4.84	1.22		63.978
7G-53	0007			砕片	黒曜石	?	4.59	9.29	2.80	0.10		63.682
7G-53	0008			砕片	黒曜石	?	2.58	4.12	1.45	0.02		63.684
7G-53	0009			砕片	黒曜石	?	3.16	2.78	0.84	<0.01		63.685
7G-53	0010			砕片	黒曜石	?	3.09	3.85	1.50	0.02		63.670
7G-53	0011			剥片	黒曜石	5	10.31	11.81	4.20	0.61		63.674
7G-53	0012			砕片	黒曜石	?	3.66	2.27	0.88	0.01		63.658
7G-53	0014			砕片	黒曜石	?	4.78	4.60	0.95	0.01		63.682
7G-53	0015			剥片	黒曜石	2	11.65	11.29	0.99	0.08		63.632
7G-53	0016			砕片	黒曜石	7	5.50	8.68	1.29	0.06		63.685
7G-53	0017			砕片	黒曜石	1	8.08	8.55	1.45	0.08		63.663
7G-53	0018			砕片	黒曜石	?	4.28	4.68	2.26	0.02		63.661
7G-53	0019			砕片	黒曜石	?	6.00	1.19	1.03	0.02		63.664
7G-53	0020			剥片	黒曜石	5	9.40	13.23	3.88	0.37		63.685
7G-53	0021			砕片	黒曜石	?	5.03	4.07	1.47	0.02		63.679
7G-53	0022			剥片	黒曜石	2	10.53	8.36	1.98	0.10		63.655
7G-53	0023			砕片	黒曜石	?	5.35	7.40	2.08	0.10		63.664
7G-53	0024			砕片	黒曜石	?	3.85	4.44	0.50	0.02		63.666
7G-53	0025			剥片	黒曜石	6	10.48	18.67	6.03	1.02		63.669
7G-53	0026			砕片	黒曜石	?	4.11	4.38	0.65	0.01		63.618
7G-53	0027			砕片	黒曜石	?	6.23	4.78	1.94	0.07		63.644
7G-53	0028			砕片	黒曜石	?	3.38	4.44	0.40	<0.01		63.632
7G-53	0029			砕片	黒曜石	?	5.46	2.50	0.68	0.01		63.651
7G-53	0030			砕片	黒曜石	?	6.76	7.11	2.32	0.09		63.650
7G-53	0031			砕片	黒曜石	?	3.52	3.52	0.75	0.01		63.659
7G-53	0032			砕片	黒曜石	?	4.57	9.94	2.02	0.11		63.642
7G-53	0033			砕片	黒曜石	?	7.82	4.22	1.77	0.05		63.647
7G-53	0034			砕片	黒曜石	7	5.84	8.80	1.24	0.07		63.642
7G-53	0035			砕片	黒曜石	?	6.01	4.17	0.55	0.02		63.646
7G-53	0036			剥片	黒曜石	5	8.17	14.55	1.86	0.14		63.647
7G-53	0037			砕片	黒曜石	?	6.77	2.07	1.02	0.01		63.645
7G-53	0038			剥片	黒曜石	2	12.56	13.62	2.23	0.23		63.659
7G-53	0039			砕片	黒曜石	?	3.65	5.38	0.99	0.01		63.638
7G-53	0040			砕片	黒曜石	?	4.35	1.80	0.72	<0.01		63.658
7G-53	0041			砕片	黒曜石	?	2.06	3.61	0.54	<0.01		63.664
7G-53	0042			砕片	黒曜石	?	4.23	7.67	1.64	0.02		63.652
7G-53	0043			砕片	黒曜石	?	6.08	7.83	1.13	0.04		63.653
7G-53	0044			剥片	黒曜石	5	7.77	11.35	4.37	0.17		63.646
7G-53	0045			剥片	黒曜石	5	15.58	26.42	5.37	1.50		63.645
7G-53	0046			剥片	黒曜石	2	10.66	6.26	2.06	0.12		63.651
7G-53	0047			剥片	黒曜石	5	18.21	8.24	2.79	0.37		63.661
7G-53	0048			砕片	黒曜石	?	6.29	5.97	3.16	0.05		63.670
7G-53	0049			砕片	黒曜石	?	5.56	6.44	1.86	0.06		63.622
7G-53	0050			砕片	黒曜石	7	4.29	2.86	0.73	<0.01		63.618
7G-53	0051			砕片	黒曜石	?	6.89	5.81	1.53	0.08		63.662
7G-53	0052			剥片	黒曜石	5	10.72	13.18	5.22	0.60		63.663
7G-53	0053			砕片	黒曜石	?	4.25	2.45	1.42	0.03		63.655
7G-53	0054			剥片	黒曜石	5	9.15	14.81	3.86	0.43		63.657
7G-53	0056			砕片	黒曜石	?	3.49	4.92	0.63	<0.01		63.935

7G-53	0057			剥片	黒曜石	6	7.56	11.01	2.81	0.24		63.925
7G-53	0058			剥片	黒曜石	4	11.95	9.38	4.26	0.31		63.841
7G-53	0060			砕片	黒曜石	?	9.98	9.11	2.04	0.11		63.712
7G-53	0061			砕片	黒曜石	?	4.77	3.01	0.60	<0.01		63.617
7G-53	0062			砕片	黒曜石	?	6.71	8.19	2.38	0.09		63.615
7G-53	0063			剥片	黒曜石	5	17.15	10.15	4.36	0.79		63.640
7G-53	0064			砕片	黒曜石	?	4.47	3.31	1.21	0.02		63.630
7G-53	0065			砕片	黒曜石	?	2.64	1.71	0.88	<0.01		63.633
7G-53	0066			砕片	黒曜石	?	4.68	7.14	1.11	0.03		63.580
7G-53	0067			砕片	黒曜石	?	6.75	7.19	2.22	0.09		63.652
7G-53	0068			砕片	安山岩	?	6.69	3.36	2.88	0.06		63.640
7G-53	0069			砕片	黒曜石	?	10.50	6.05	0.86	0.06		63.610
7G-53	0070			砕片	黒曜石	?	3.16	4.89	0.40	<0.01		63.597
7G-53	0071			砕片	黒曜石	?	6.14	4.85	0.70	<0.01		63.697
7G-53	0072			砕片	黒曜石	?	4.47	3.90	0.85	0.01		63.642
7G-53	0073			砕片	黒曜石	?	4.34	4.19	0.89	0.02		63.656
7G-53	0074			砕片	黒曜石	?	3.08	4.64	0.60	<0.01		63.642
7G-53	0075			砕片	黒曜石	?	4.48	1.66	1.10	0.02		63.637
7G-53	0076			砕片	黒曜石	?	5.05	3.21	0.60	<0.01		63.650
7G-53	0077			砕片	黒曜石	?	8.79	4.72	0.67	0.04		63.654
7G-53	0078	1		砕片	黒曜石	?	8.89	9.92	2.72	0.17		63.636
7G-53	0078	2		砕片	黒曜石	?	5.45	6.46	0.84	0.02		63.636
7G-53	0079			砕片	黒曜石	?	6.49	4.37	0.71	0.03		63.635
7G-53	0080			剥片	黒曜石	5	9.24	16.15	5.30	0.35		63.610
7G-53	0081			砕片	黒曜石	?	5.36	4.76	0.46	0.01		63.595
7G-53	0082			砕片	黒曜石	?	7.74	2.36	1.74	0.03		63.628
7G-53	0083			砕片	黒曜石	2	4.12	6.95	0.75	0.05		63.600
7G-53	0084			砕片	黒曜石	?	6.00	3.50	1.10	0.02		63.622
7G-53	0085			砕片	黒曜石	?	3.75	3.44	0.62	0.01		63.642
7G-53	0086			砕片	黒曜石	?	9.37	6.78	3.02	0.15		63.620
7G-53	0087			砕片	黒曜石	?	9.22	5.42	2.04	0.05		63.606
7G-53	0088			砕片	黒曜石	?	6.52	6.93	1.76	0.06		63.618
7G-53	0089			砕片	黒曜石	?	4.31	3.33	0.67	<0.01		63.578
7G-53	0090			砕片	黒曜石	?	5.81	9.10	2.58	0.12		63.620
7G-53	0091			砕片	黒曜石	?	7.56	9.74	2.44	0.13		63.610
7G-53	0092			砕片	黒曜石	?	5.18	9.20	0.95	0.02		63.622
7G-53	0093			微細剥離痕剥片	黒曜石	5	13.61	23.89	5.26	1.27		63.605
7G-53	0094			砕片	黒曜石	?	6.82	8.74	2.39	0.11		63.616
7G-53	0095			剥片	黒曜石	?	5.25	10.66	1.98	0.09		63.575
7G-53	0096			砕片	黒曜石	?	5.57	8.74	1.87	0.08		63.550
7G-53	0097			砕片	黒曜石	?	8.19	7.04	1.77	0.06		63.635
7G-53	0098			剥片	黒曜石	?	13.29	10.46	5.50	0.45		63.618
7G-53	0099	1		剥片	黒曜石	?	12.34	6.23	2.36	0.15		63.565
7G-53	0099	2		砕片	黒曜石	?	5.49	3.15	1.70	<0.01		63.565
7G-53	0099	3		砕片	黒曜石	?	3.79	1.37	0.25	<0.01		63.565
7G-53	0100			剥片	黒曜石	?	10.70	8.96	2.17	0.13		63.562
7G-53	0102	1		剥片	黒曜石	?	15.08	14.35	6.00	0.76		63.590
7G-53	0102	2		剥片	黒曜石	?	13.30	14.01	3.13	0.39		63.590
7G-53	0102	3		砕片	黒曜石	?	8.53	2.61	1.89	0.02		63.590
7G-53	0102	4		砕片	黒曜石	?	3.79	7.77	3.69	0.06		63.590
7G-53	0103			砕片	黒曜石	?	5.17	5.16	0.87	0.03		63.635
7G-53	0104			砕片	黒曜石	?	3.25	6.16	1.20	0.02		63.575
7G-53	0105			剥片	黒曜石	5	9.75	17.54	3.32	0.40		63.580
7G-53	0106			砕片	黒曜石	?	5.97	4.92	0.56	0.04		63.543
7G-53	0118			剥片	黒曜石	4	17.48	23.13	7.32	1.57		63.680
7G-53	0120		9	剥片	ホルンフェルス	?	29.95	21.80	9.90	3.83		63.699
7G-54	0003		17	剥片	頁岩	8	27.20	20.10	5.30	1.60		63.774
7G-54	0004			剥片	頁岩	8	15.30	12.67	4.25	0.53		63.761
7G-54	0007			剥片	黒曜石	6	15.20	17.14	8.49	2.56		63.761
7G-62	0002			剥片	黒曜石	6	10.20	11.73	4.66	0.69		63.832
7G-62	0004		16	剥片	黒曜石	6	22.09	33.99	10.41	6.41		63.717
7G-63	0002		2	石刃	黒曜石	1	42.24	16.09	3.98	2.76		63.642
7G-63	0003	1		砕片	黒曜石	?	4.92	5.49	1.76	0.02		63.630
7G-63	0003	2		砕片	黒曜石	?	3.75	4.40	2.14	0.03		63.630
7G-63	0004			剥片	黒曜石	5	18.04	22.28	7.53	1.53		63.656
7G-63	0005			剥片	黒曜石	5	18.54	37.48	6.69	4.31		63.606
7G-63	0006			砕片	黒曜石	?	4.75	5.07	0.86	0.02		63.627
7G-63	0007			剥片	黒曜石	5	16.09	18.91	8.34	1.85		63.638
7G-63	0008		7	剥片	ホルンフェルス	1	34.30	35.50	14.00	14.82	接合資料3	63.648
7G-63	0009			砕片	黒曜石	2	9.78	5.19	1.24	0.06		63.628
7G-63	0010		1	石刃	黒曜石	2	40.51	24.25	4.63	4.79	被熱	63.646
7G-63	0011			砕片	黒曜石	2	9.57	6.72	3.65	0.18	ブランティングチップか	63.848
7G-63	0012			剥片	黒曜石	2	18.70	6.00	1.79	0.19		63.966
7G-63	0013			剥片	黒曜石	6	17.23	21.80	3.99	1.26		63.768
7G-63	0014			剥片	頁岩	?	10.51	7.21	4.34	0.32		63.850
7G-63	0015		3	石刃	黒曜石	1	28.47	19.37	5.07	2.55		63.588
7G-63	0016			剥片	黒曜石	?	12.61	7.48	1.43	0.12		63.555
7G-63	0017			砕片	黒曜石	?	4.07	3.47	1.83	0.02		63.570
7G-63	0018			剥片	黒曜石	?	8.37	16.61	2.00	0.26		63.595
7G-63	0019			剥片	黒曜石	?	11.46	5.24	1.88	0.09		63.600
7G-63	0020			砕片	黒曜石	?	8.38	9.16	2.55	0.21		63.560
7G-63	0021			剥片	黒曜石	?	6.72	11.99	4.03	0.20		63.550
7G-63	0022			砕片	黒曜石	2	8.48	5.37	2.13	0.08		63.580
7G-63	0023			砕片	黒曜石	2	9.64	9.74	1.24	0.09		63.562
7G-63	0024			剥片	チャート	?	13.90	11.13	3.13	0.38		63.600
7G-63	0025			剥片	黒曜石	6	19.52	19.39	8.82	2.12		63.603

7G-63	0026			剥片	黒曜石	2	8.71	12.23	1.63	0.11		63.608
7G-63	0027			砕片	黒曜石	?	5.59	2.90	1.25	0.02		63.424
7G-63	0028			剥片	黒曜石	2	13.21	9.31	4.08	0.33		63.405
7G-63	0029		5	微細剥離痕剥片	チャート？	1	23.89	22.74	9.03	3.87		63.558
7G-63	0031		15	剥片	黒曜石	1	62.22	20.22	8.49	9.40		63.237
7G-63	0031			微細剥離痕剥片	黒曜石	2	8.27	17.68	2.06	0.36		63.237
7G-63	0032			剥片	黒曜石	2	3.31	10.91	3.20	0.12		63.564
7G-63	0033			剥片	黒曜石	2	16.15	11.81	3.42	0.50		63.120
7G-64	0004			剥片	黒曜石	2	31.96	11.35	2.82	0.85		63.782
7G-64	0005		6	石核	ホルンフェルス	1	53.20	71.50	23.90	56.37	接合資料３	63.727
7G-72	0002		12	剥片	黒曜石	2	18.53	31.88	9.43	5.68		63.660
7G-72	0003			剥片	黒曜石	2	25.48	14.57	9.85	2.05		63.602
7G-72	0006			剥片	黒曜石	2	10.88	13.97	4.90	0.54		63.567
7G-73	0001			微細剥離痕剥片	黒曜石	2	9.44	9.55	2.31	0.22		一括
7G-73	0002			微細剥離痕剥片	黒曜石	2	19.26	16.51	2.66	0.90		64.020
7G-73	0003			剥片	黒曜石	6	14.08	11.53	4.89	0.61		63.895
7G-73	0004			剥片	黒曜石	2	25.85	12.52	5.03	0.91		63.670
7G-73	0005			剥片	黒曜石	2	16.10	16.80	1.62	0.34		63.574
7G-73	0006			剥片	黒曜石	2	15.86	7.32	1.28	0.10		63.415
7G-73	0007			剥片	黒曜石	2	22.48	10.94	2.90	0.57		63.306
7G-73	0008			剥片	黒曜石	2	13.99	6.26	1.40	0.10		63.340
7G-73	0009		14	剥片	黒曜石	2	51.53	36.19	9.39	13.02	被熱	63.355
7G-73	0010			剥片	黒曜石	2	22.08	21.31	3.13	1.19		63.368
7G-73	0011			剥片	黒曜石	2	4.97	10.89	2.35	0.12		63.375
7G-73	0012			剥片	黒曜石	2	11.32	4.07	4.23	0.24		63.227
7G-73	0013			砕片	黒曜石	2	7.44	5.87	4.61	0.17		63.213
7G-73	0014			剥片	黒曜石	2	8.62	15.63	2.14	0.18		63.130
7G-73	0015			剥片	黒曜石	2	9.37	6.59	2.09	0.11		63.006

（５）　ブロック外（第28・30・32・33図，第５表，図版９）

出土状況　６Ｆ-00，５Ｇ-94，６Ｇ-04・06・13・43・59・63，７Ｇ-00・03・07グリッドにナイフ形石器１点，削器１点，石刃３点，微細剥離痕剥片１点，剥片・砕片22点，計28点が各グリッドから分散して検出された。

石材は黒曜石20点，頁岩７点，ホルンフェルス１点である。

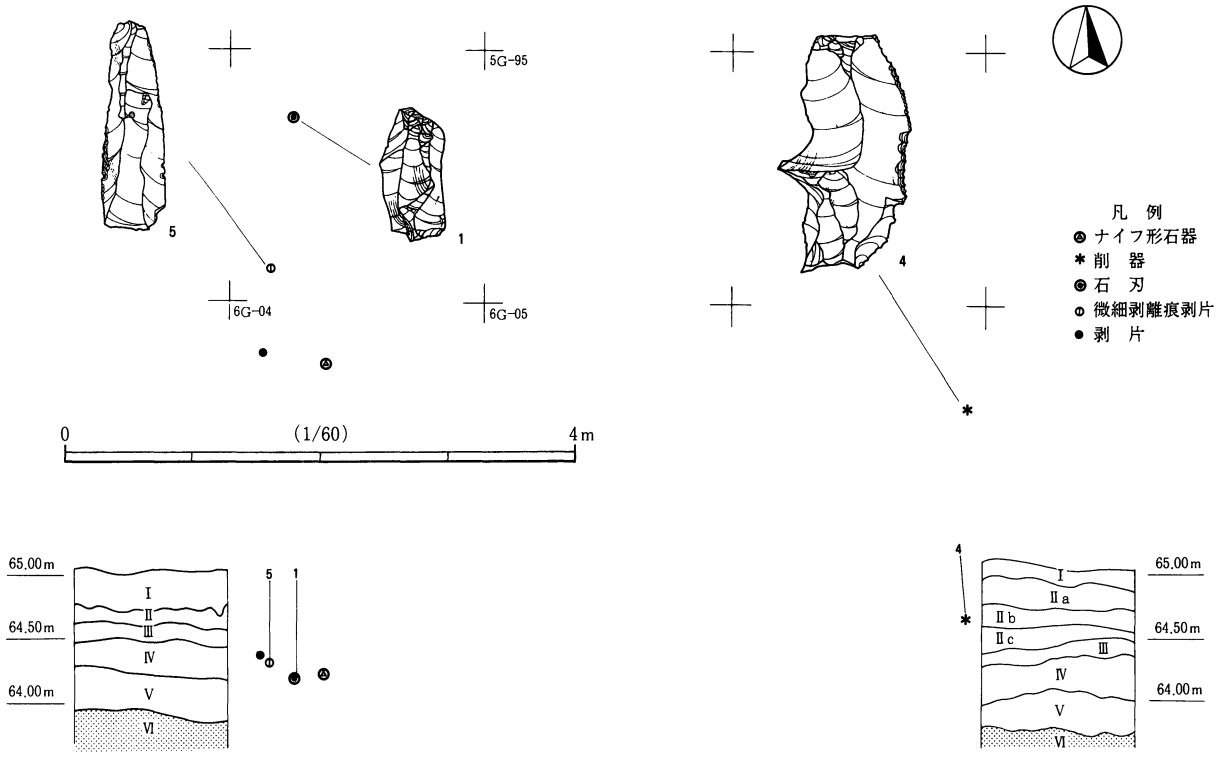
遺　　物　１は黒曜石の剥片である。背面には上方からの剥離面が４面以上残されている。２は黒曜石の石刃である。背面には上方からの剥離面が３面残されている。３は黒曜石の石刃である。背面には上方からの剥離面が２面と左方向からの剥離面が１面残されている。先端部分は折断されている。１～３はいずれも縁辺部分が鋭く，刃器として使用した可能性が高い。４は頁岩の削器である。大形の縦長の石刃の右側縁辺部分と先端部分が比較的規則的な小剥離で調整されている。５は黒曜石の微細剥離痕剥片である。縦長の石刃を素材にして，左側縁部分に使用痕もしくは加工されたと思われるやや不連続の微細な剥離痕が見られる。６はホルンフェルスの剥片である。大形の剥片で，背面は上方向からの剥離面と右方向からの剥離面が残されている。７は頁岩の剥片である。背面に礫面を残すものの，基部と右側に大きめの剥離で調整を行っている。８は頁岩の剥片である。背面には上方向からの剥離面が３面残されている。やや横長の剥片である。９は頁岩の剥片である。背面は左方向と上方向の剥離面が残されている。やや横長の剥片である。10は頁岩の石核である。剥片を素材に石核に転用して小さな剥片を剥離している。

（６）　単独出土石器（第29・31・34・35図，第６表，図版９）

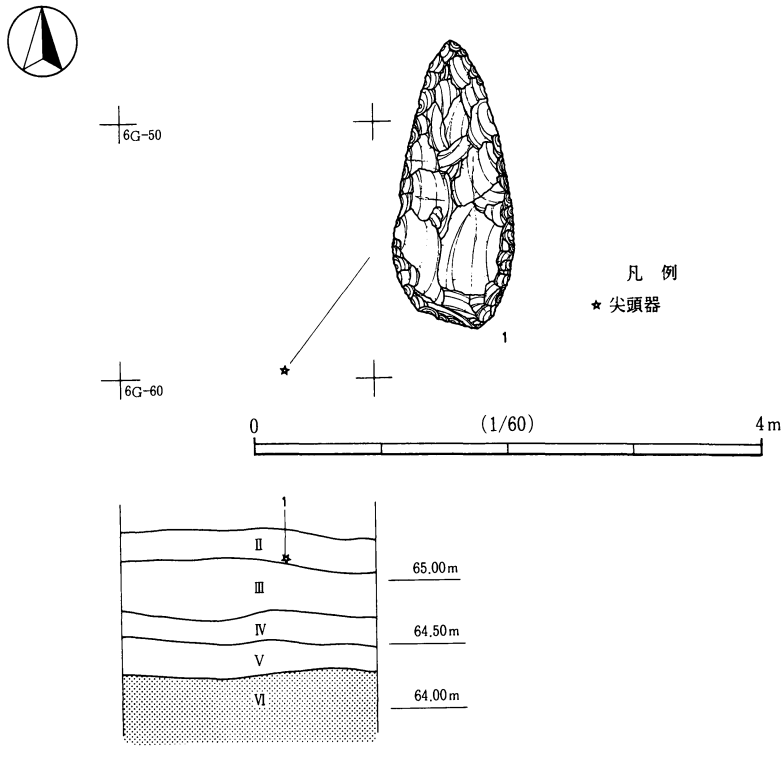
遺　　物　１は６Ｇ-50から出土したチャートの木葉形の尖頭器である。大形の剥片を素材にして大きな剥離で両面を薄く仕上げた後に周辺部分を細かい剥離で仕上げてある。

２　接合資料（第36図～第40図，図版10・11）

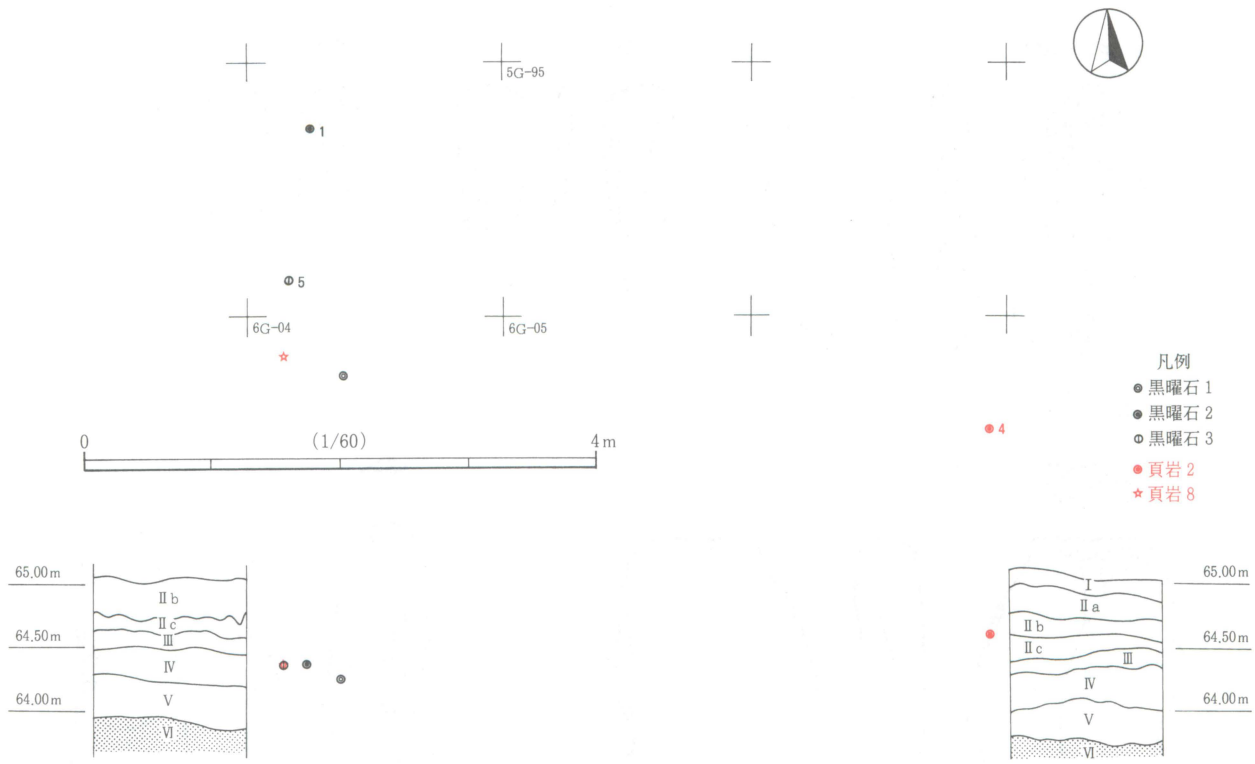
本遺跡において，34点10個体の接合関係が認められた。すべて同一ブロック内での接合であった。内訳は５Ｆ-95ブロックが26点６個体，７Ｇ-33ブロックが６点３個体，５Ｇ-45ブロックが２点１個体である。



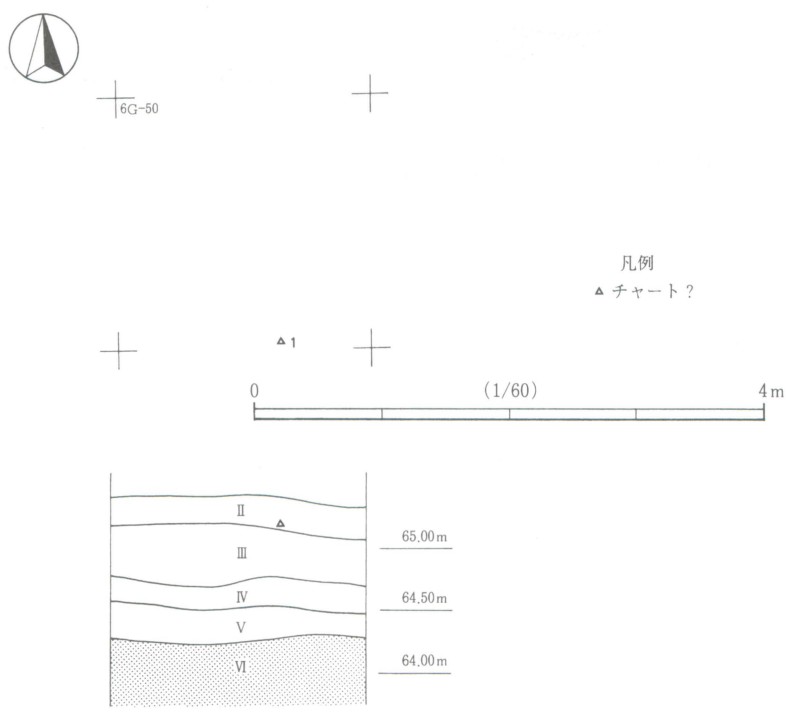
第28図　ブロック外出土石器分布図(1)器種別



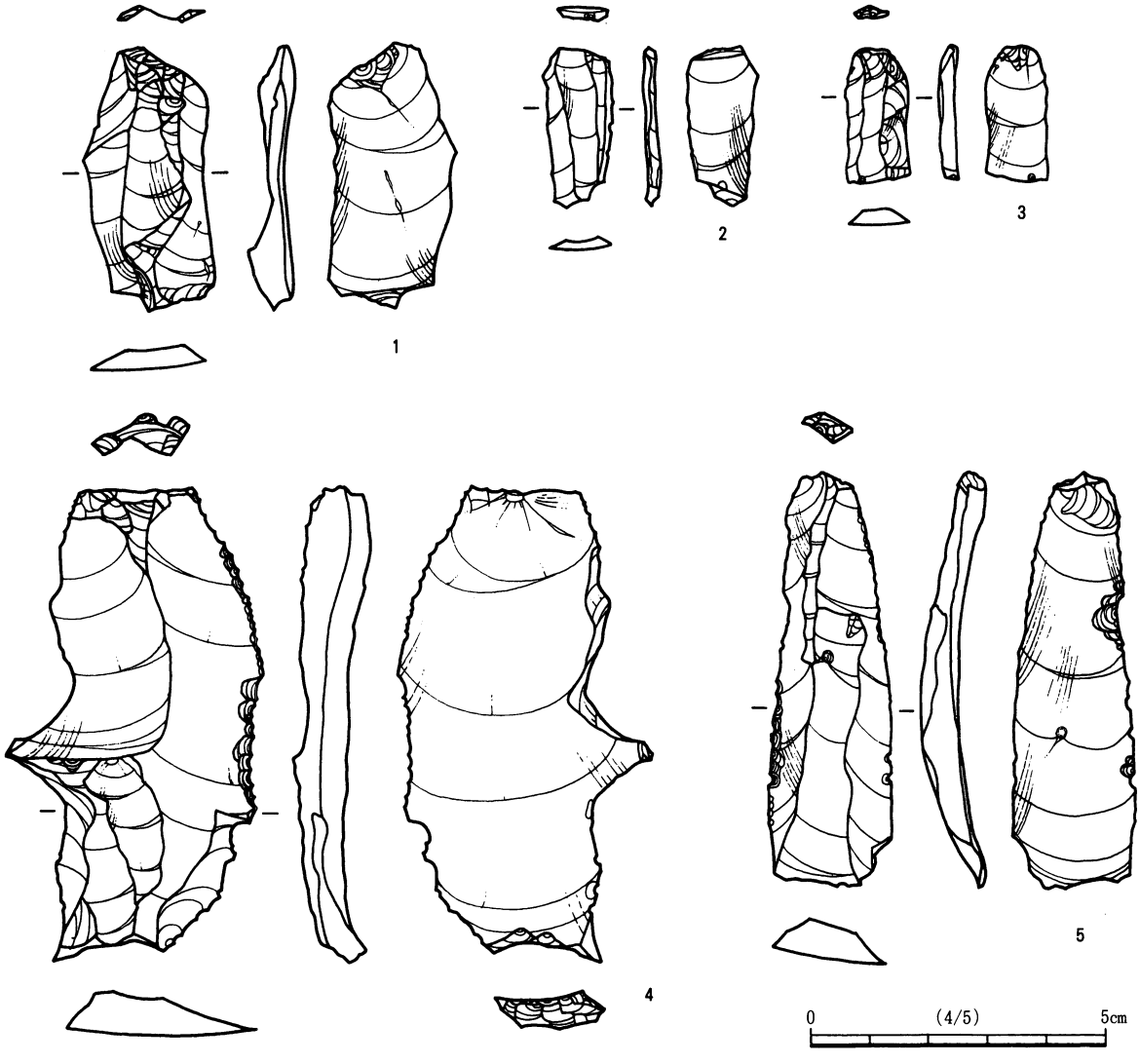
第29図　単独出土石器分布図(1)器種別



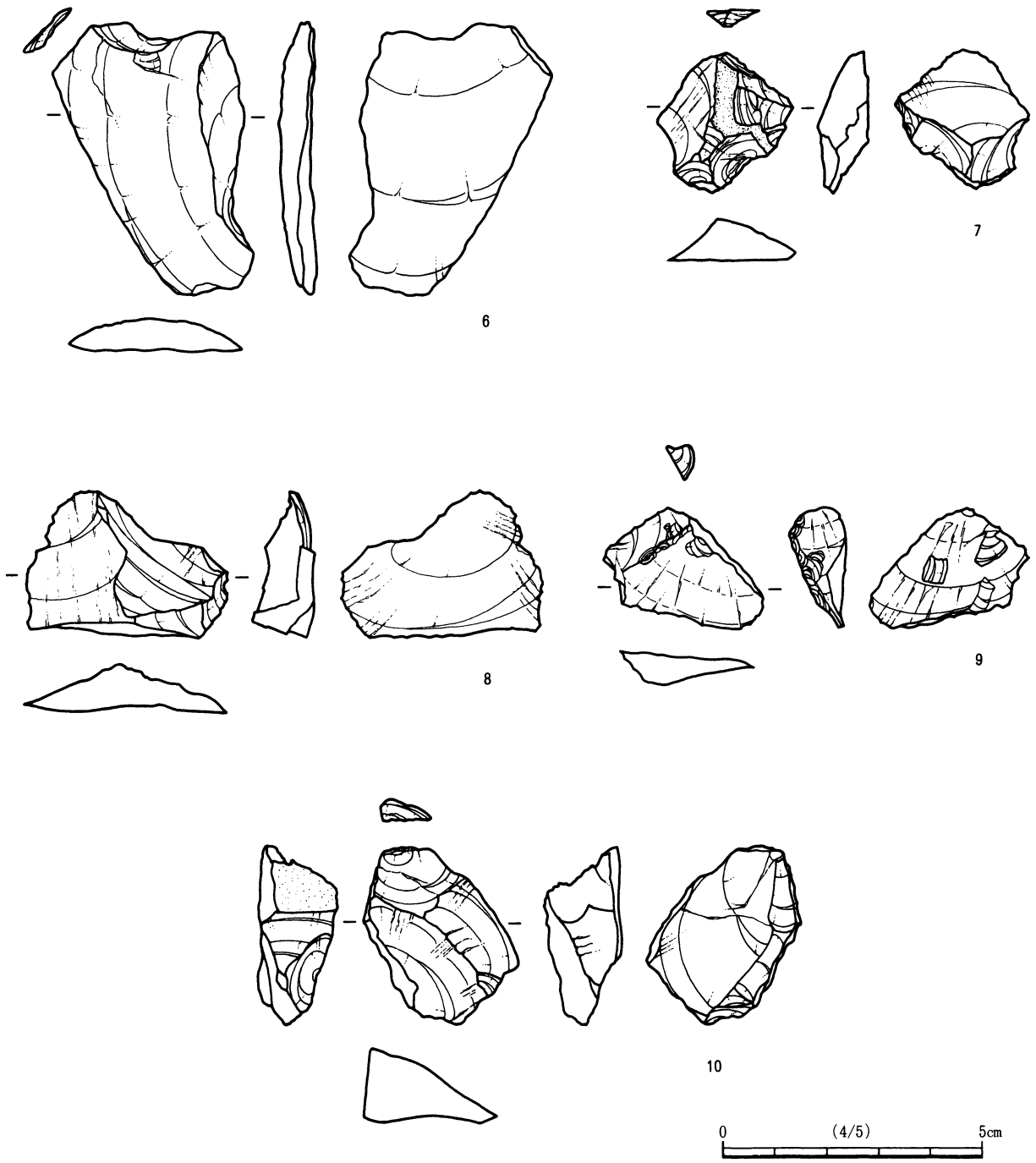
第30図　ブロック外出土石器分布図(2)母岩別



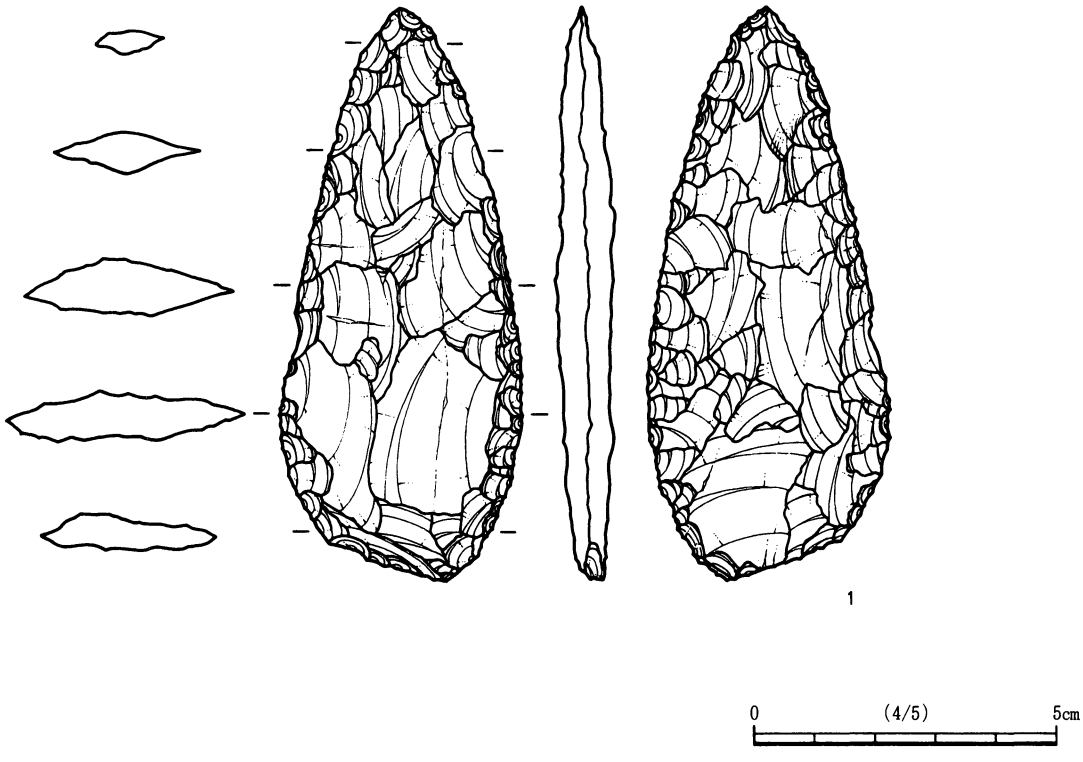
第31図　単独出土石器分布図(2)母岩別



第32図　ブロック外出土石器(1)



第33図　ブロック外出土石器(2)



第34図　単独出土石器

第５表　ブロック外出土石器属性表

グリッド	遺物No.	枝番	挿図No.	器　種	母　岩	番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	備　考	標　高
6F-00	0001		3	石刃	黒曜石	3	23.60	10.44	3.35	0.87		一括
6F-00	0001		2	石刃	黒曜石	3	27.08	11.23	2.28	0.88		一括
6F-00	0001			剥片	黒曜石	3	22.11	7.86	2.02	0.31		一括
6F-00	0001			剥片	黒曜石	3	11.91	4.75	1.82	0.06		一括
6F-00	0001	1		剥片	黒曜石	5	12.43	11.43	5.20	0.49		一括
6F-00	0001	2		剥片	黒曜石	5	8.54	14.68	3.96	0.38		一括
6F-00	0001	3		砕片	黒曜石	5	7.84	9.75	5.97	0.47		一括
6F-00	0001	4		砕片	黒曜石	5	7.28	8.48	2.91	0.13		一括
6F-00	0001	5		砕片	黒曜石	5	4.25	9.09	3.91	0.24		一括
6F-00	0001	6		砕片	黒曜石	5	6.35	9.22	1.29	0.07		一括
6F-00	0001	7		剥片	黒曜石	6	10.84	18.46	4.83	0.89		一括
6F-00	0001	8		剥片	黒曜石	6	10.36	10.76	5.47	0.37		一括
6F-00	0001	9		剥片	黒曜石	7	12.08	12.81	2.94	0.32		一括
6F-00	0001	10		剥片	黒曜石	7	9.33	12.95	2.23	0.22		一括
6F-00	0001	11		剥片	黒曜石	7	7.77	10.93	0.96	0.06		一括
7F-49	0001			剥片	頁岩	1	13.65	13.24	4.89	1.26		65.890
5G-94	0001		1	石刃	黒曜石	2	44.69	20.53	6.54	5.30		64.205
5G-94	0002		5	微細剥離痕剥片	黒曜石	3	68.91	21.97	5.92	7.68		64.385
6G-04	0001			剥片	頁岩	8	14.14	12.80	5.35	0.91		64.459
6G-04	0002			ナイフ形石器	黒曜石	1	23.31	8.97	3.57	0.77		64.288
6G-06	0002		4	削器	頁岩	2	80.16	43.06	9.70	29.74		64.728
6G-13	0001		10	剥片	頁岩	9	27.80	31.10	10.60	5.19		
6G-43	0001			剥片	黒曜石	9	25.03	25.71	6.61	3.04		64.186
6G-50	0002		6	尖頭器	チャート	?	90.40	40.10	10.10	36.29		65.244
6G-59	0002		8	剥片	頁岩	12	27.40	26.50	9.80	5.09		一括
6G-63	0001		9	剥片	頁岩	13	28.10	38.90	12.00	8.01		一括
7G-00	0001		11	剥片	頁岩	6	34.20	30.10	15.00	10.02		
7G-03	0001			剥片	黒曜石	5	20.03	12.62	8.01	1.73		一括
7G-07	0001		7	剥片	ホルンフェルス	3	53.80	45.10	7.80	15.03		

第６表　単独出土石器属性表

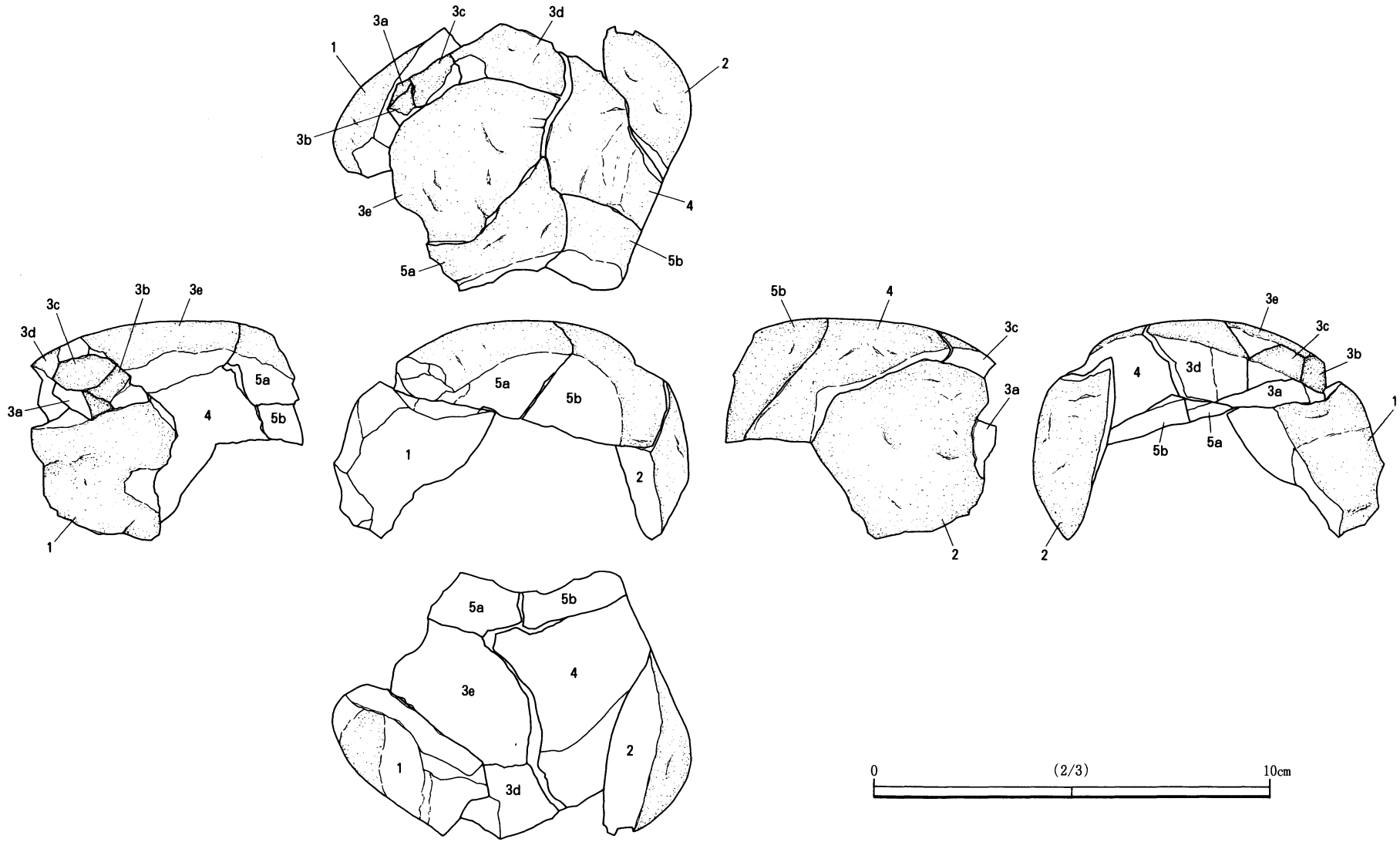
グリッド	遺物No.	枝番	挿図No.	器　種	母　岩	番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	備　考	標　高
6G-50	0002		6	尖頭器	チャート	?	90.40	40.10	10.10	36.29		65.244

下記以外の接合資料は各ブロックに掲載した。

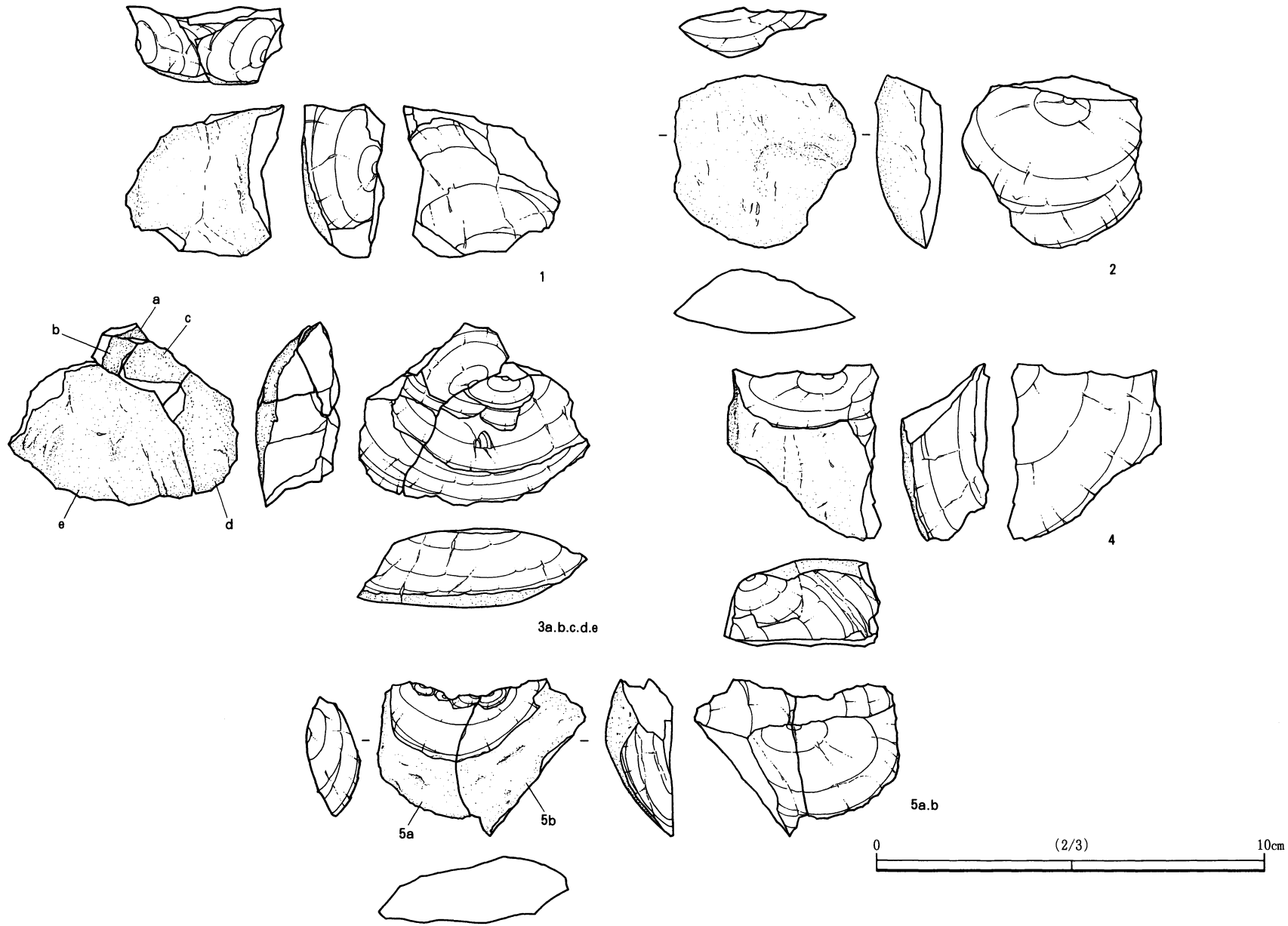
接合資料１　５Ｆ-95ブロックにおいて認められた剥片10点の接合するものである。石核になる中心の残核がブロック外に搬出されていると思われるが，外側周辺より剥片剥離された様子が良くく判る資料である。石材は頁岩である。

接合資料２　５Ｆ-95ブロックにおいて認められた石核１点と剥片５点の接合するものである。石核の周りに大小５点の剥片が接合し，途中の比較的良さそうな剥離面から作出された剥片は欠落していて，持ち出された可能性があるが，非常に剥片剥離作業の工程が判る資料である。石材は頁岩である。

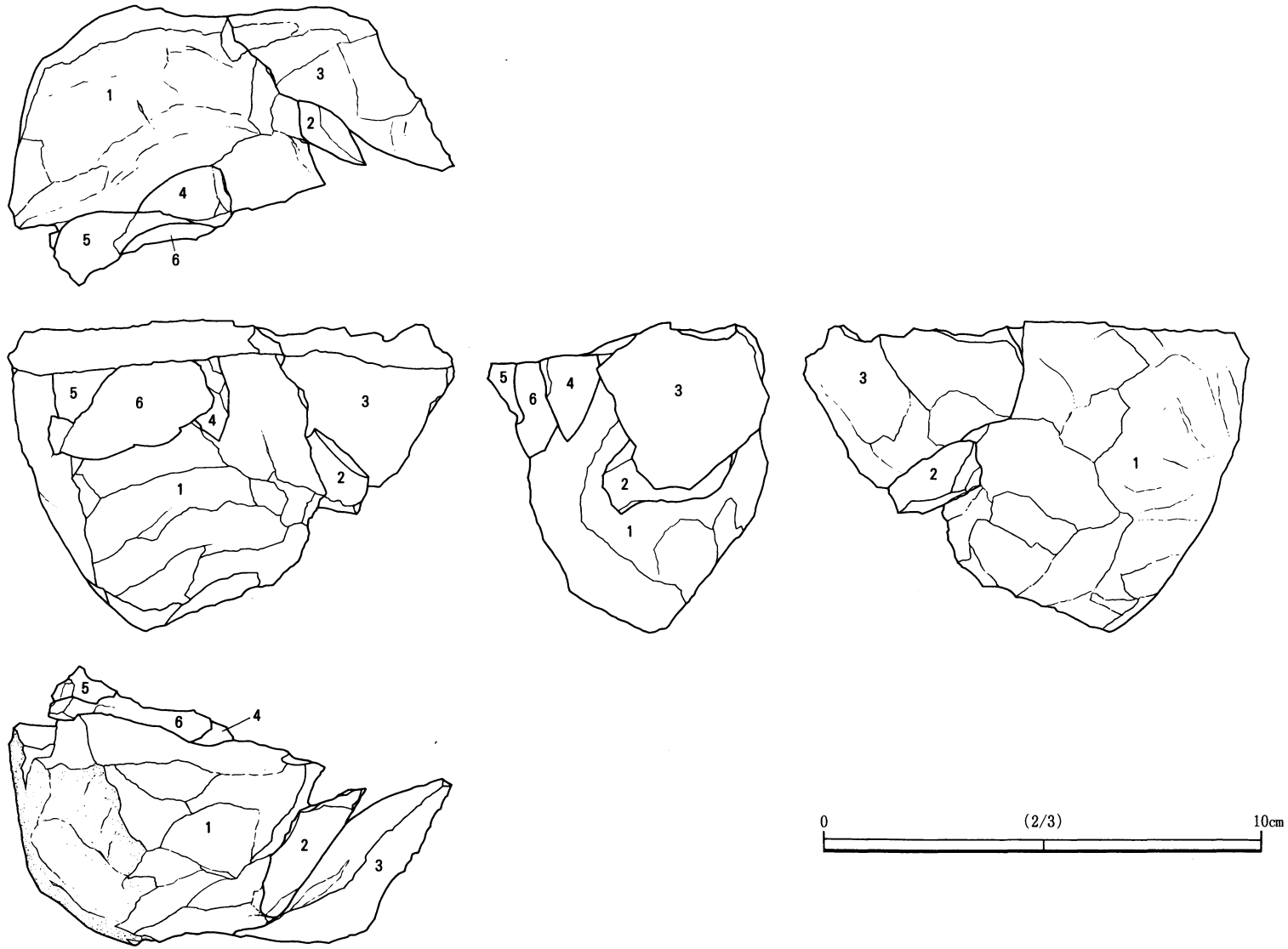
接合資料３　７Ｇ-33ブロックにおいて認められた石核１点と剥片１点の接合するものである。円礫を半切し，剥離面から打撃されている様子が良く判る資料である。石材はホルンフェルスである。



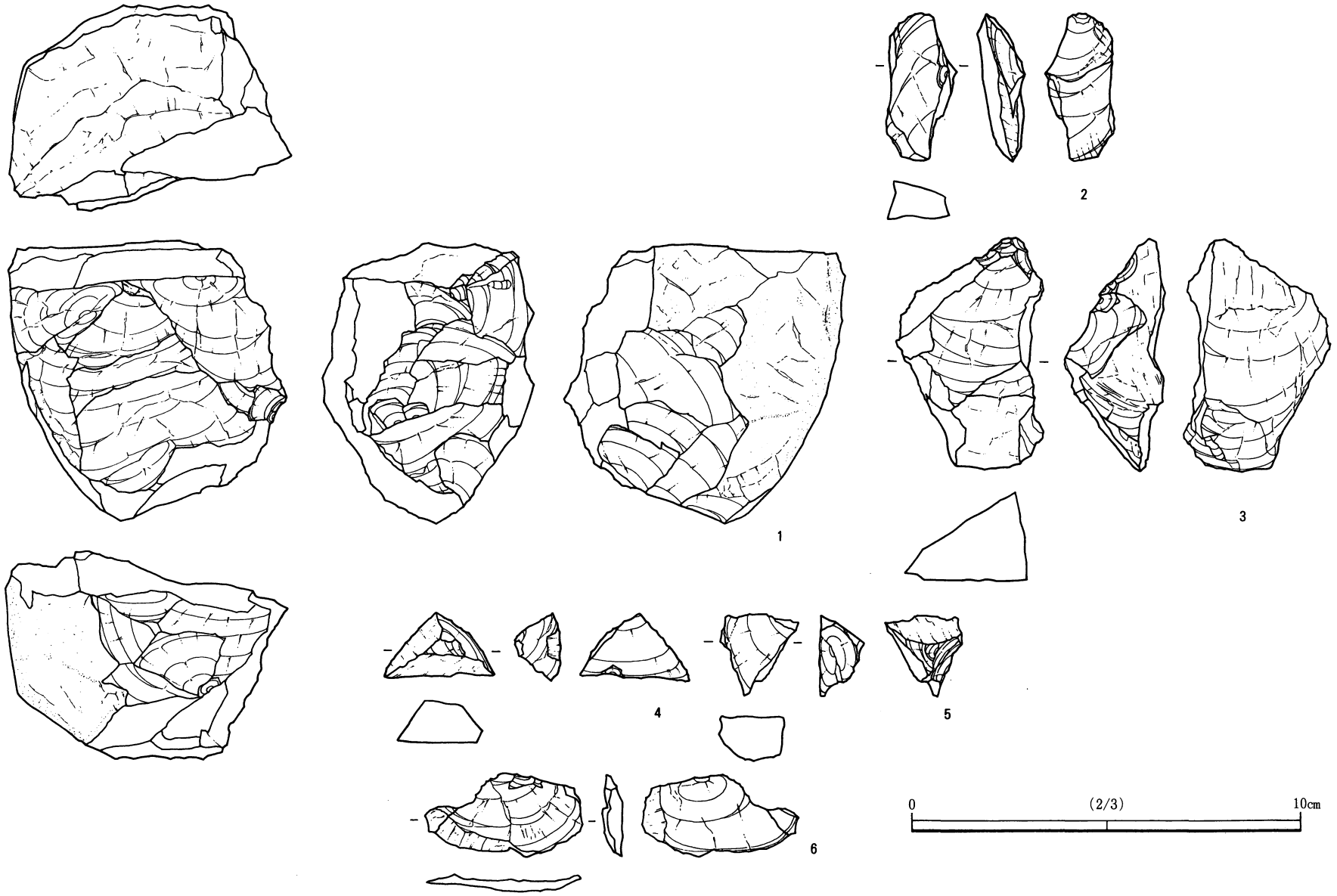
第35図　接合資料１(1)〈5F-95ブロック〉



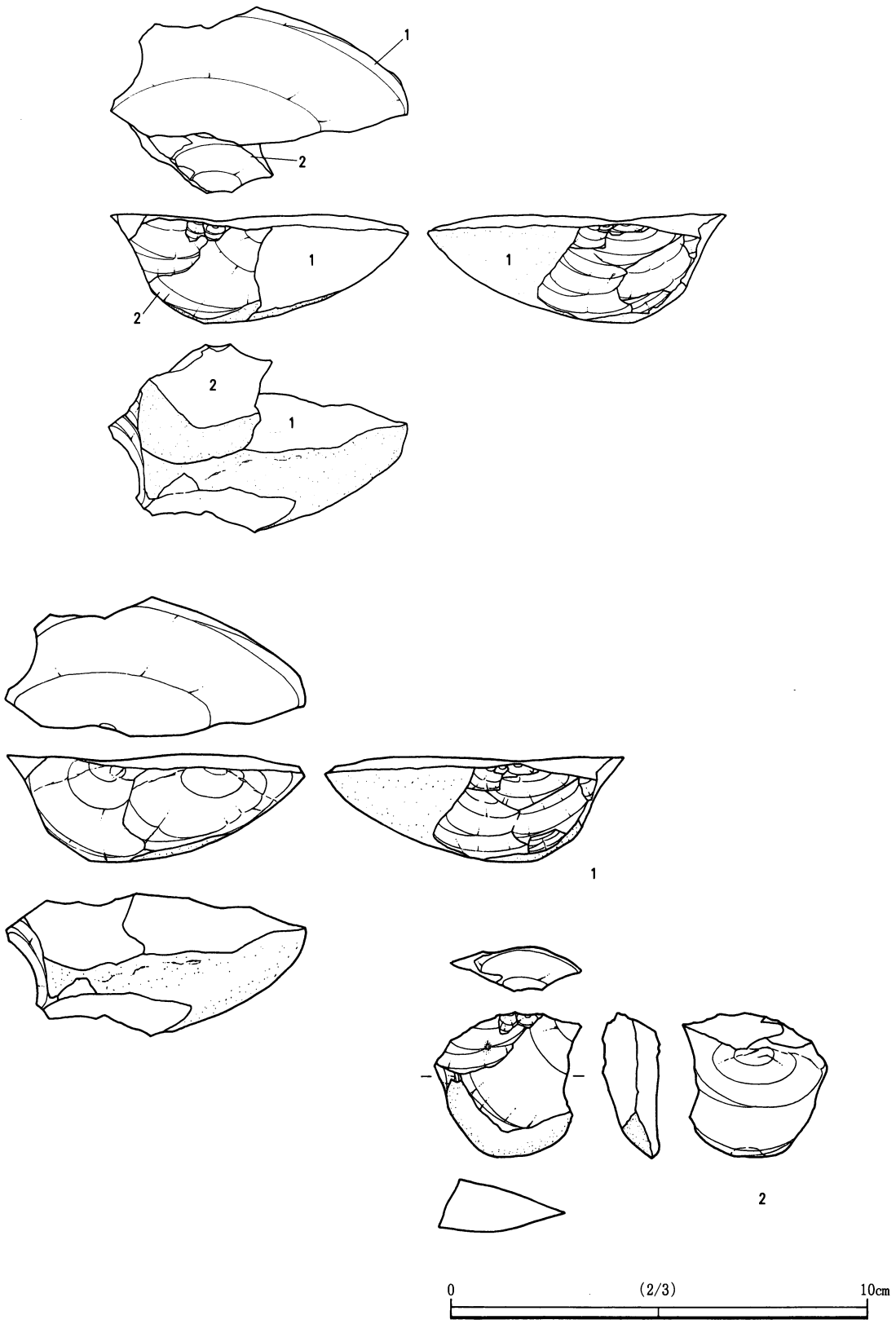
第36図　接合資料１(2)〈5F-95ブロック〉



第37図　接合資料２(1)〈5F-95ブロック〉



第38図　接合資料２(２)〈5F-95ブロック〉



第39図　接合資料３〈7G-33ブロック〉

3　礫群

概要（第９図）

金二矢台遺跡で検出された礫は総個数551個，総重量16.66kgである。礫が検出された範囲は，東西約40ｍ，南北46ｍで，グリッド数は64グリッドである。グリッド内での検出個数は，最少１個（1.0ｇ）から最多105個（3439.1ｇ）である。礫は256個が63個体に接合した。最少２個，最多13個である。接合状況は同一グリッド内が32個体－116個，同一礫群内接合が19個体－88個，他の礫群あるいは他グリッドとの接合が11個体－183個あった。母岩別では砂岩27個体－120個，チャート13個体－41個，流紋岩14個体－58個，安山岩６個体－25個，凝灰岩1個体－４個，花崗岩２個体－８個が接合した。出土状況から群としてのまとまりが３か所に認められた。それぞれに整理作業の段階で第１号から第３号までの番号を付した。なお，分類は焼成完形礫，焼成破損礫，自然礫，無焼成破損礫の４分類とした。遺存度は100％をＡ，80％以上100％未満をＢ，50％以上80未満をＣ，50％未満をＤとした。付着物についてはその有無と付着物について観察を行った。以下それぞれの礫群について概要を述べたい。

礫群１（第40・41図，第７～11表，図版２）

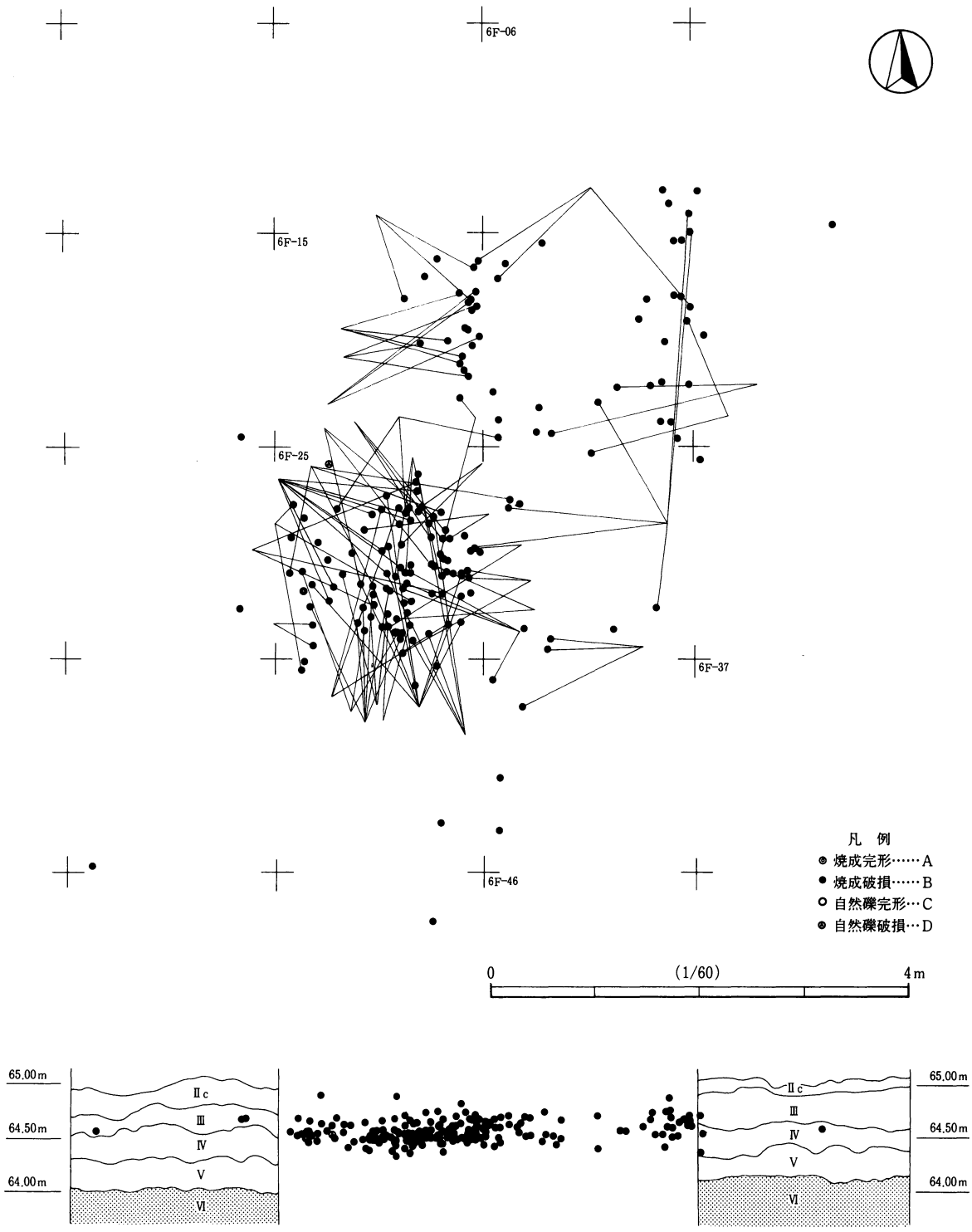
６Ｆ-25グリッドを中心に14グリッド，東西約８ｍ，南北10ｍの範囲に総数185個，総重量4978.4ｇの礫が検出された。検出された礫の標高は64.438ｍ～64.760ｍである。焼成完形礫２個，無焼成破損礫１個以外の182個が焼成破損礫である。母岩は砂岩，チャートで75％である。遺存度はＤランクが98％である。12個にスス状付着物が認められた。

礫群２（第42・43図，第７～11表，図版２）

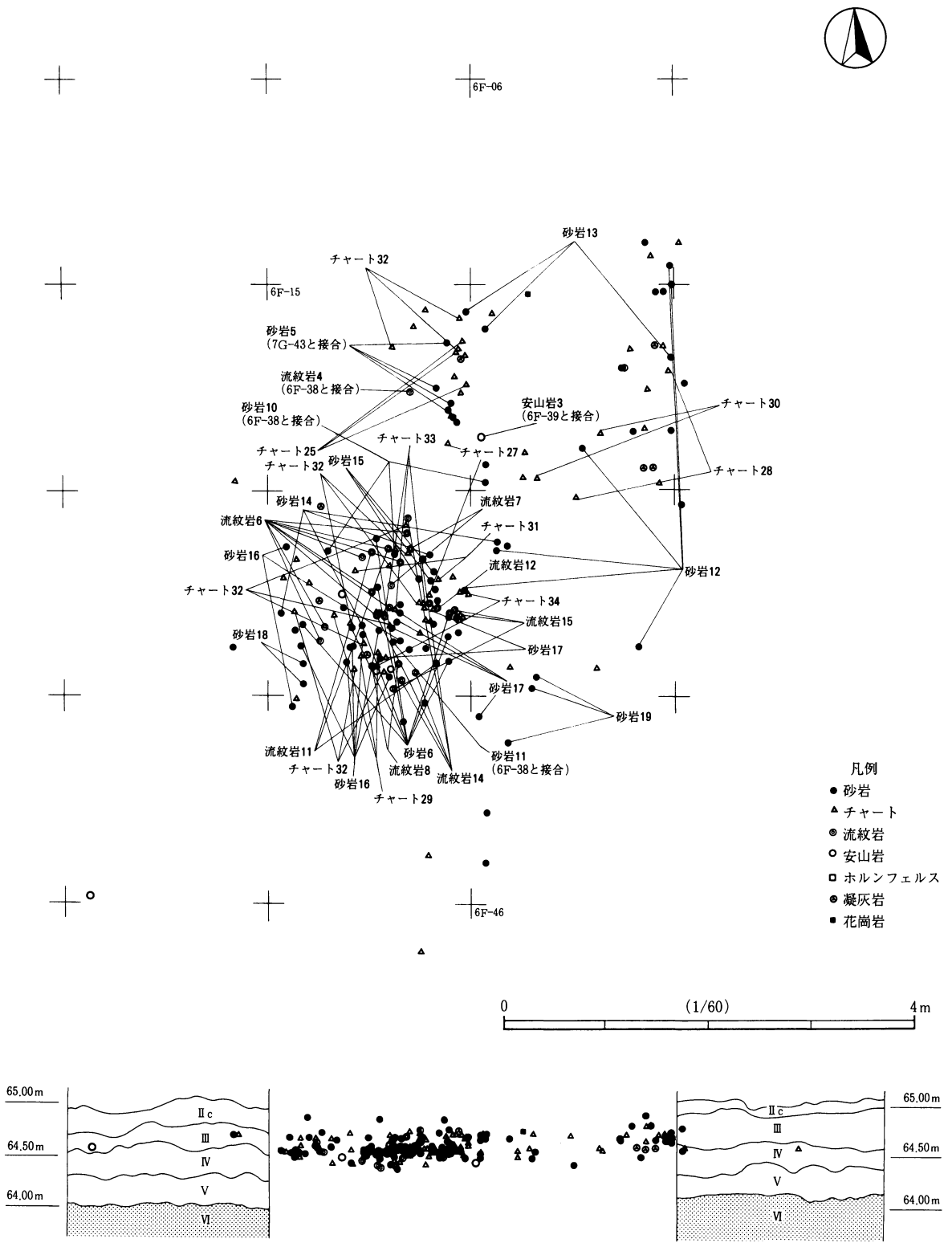
６Ｆ-38グリッドを中心に10グリッド，東西約８ｍ，南北10ｍの範囲に総数152個，総重量6133.4ｇの礫が検出された。検出された礫の標高は64.146ｍ～64.576ｍである。焼成完形礫１個，無焼成破損礫１個以外の150個が焼成破損礫である。母岩は砂岩57個，安山岩38個，流紋岩29個が多く，約81％を占める。遺存度はＤランクが97％である。19個にスス状付着物が認められた。

礫群３（第44・45図，第７～11表）

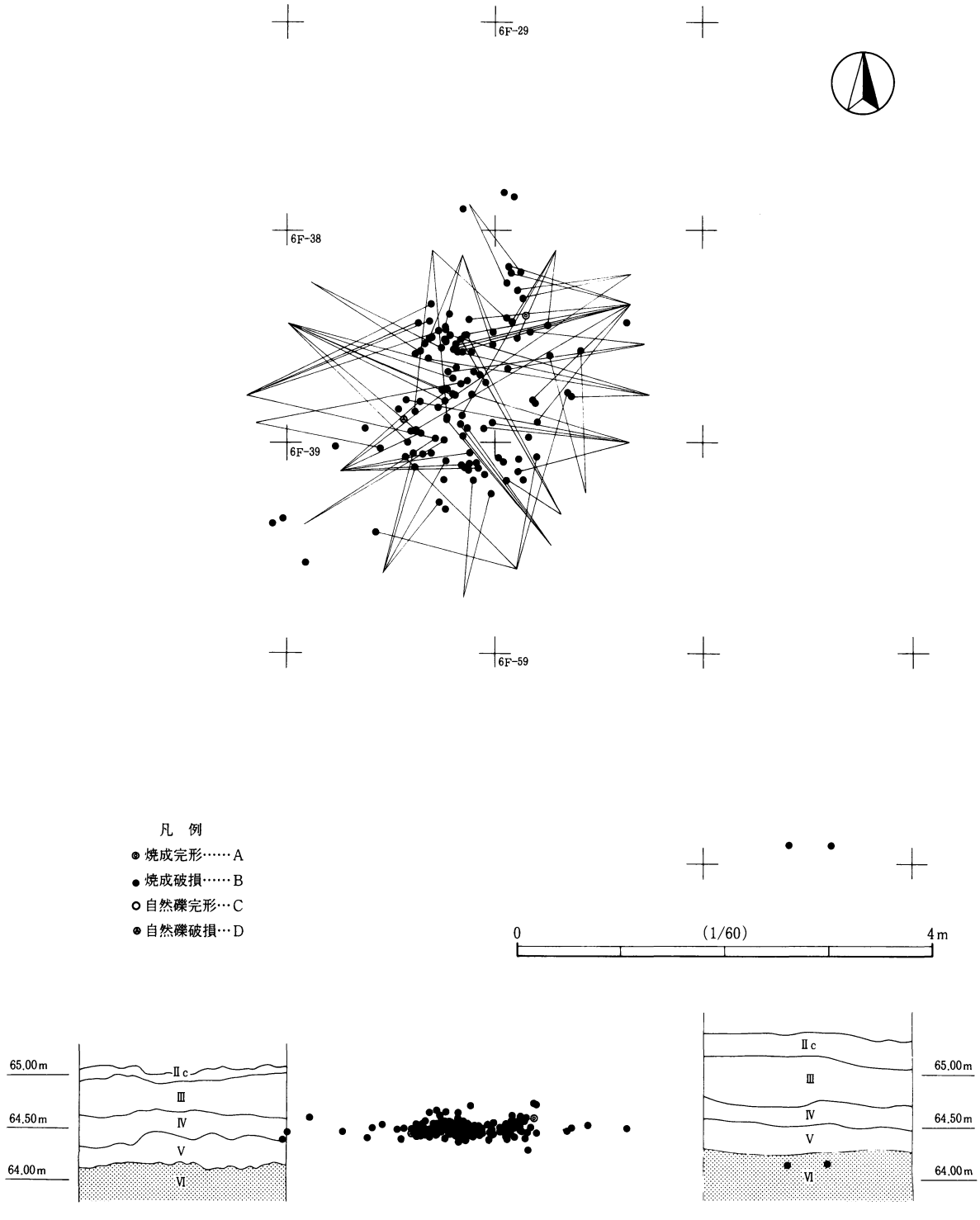
７Ｇ-43グリッドを中心に14グリッド，東西約10ｍ，南北16ｍの範囲に総数124個，総重量1827.5ｇの礫が検出された。検出された礫の標高は63.543ｍ～65.720ｍである。焼成完形礫２個，無焼成破損礫１個以外の182個が焼成破損礫である。母岩は砂岩，チャートが75％である。遺存度はＤランクが98％である。12個にスス状付着物が認められた。



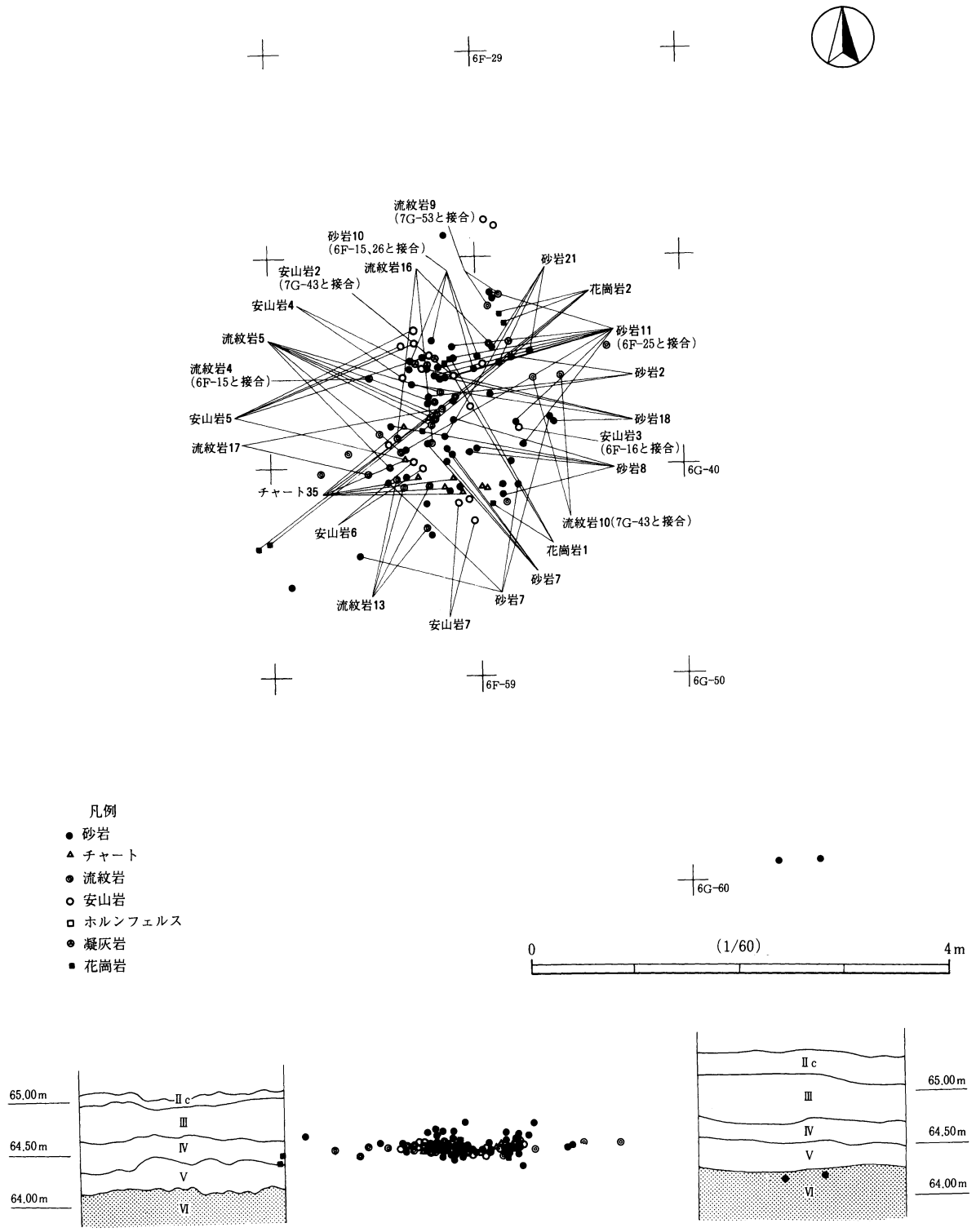
第40図　礫群１分布図(1)分類別



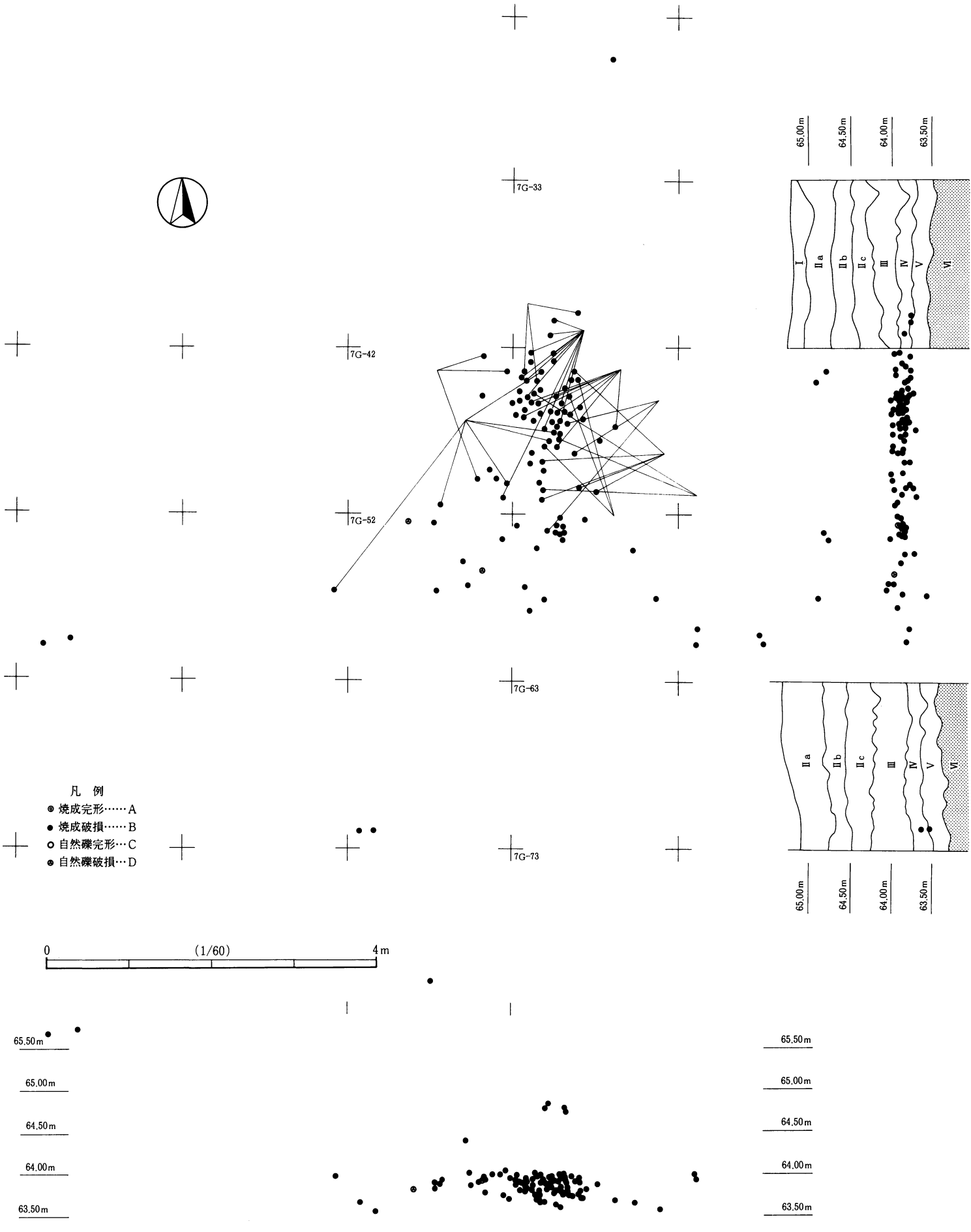
第41図　礫群１分布図(2)石材別



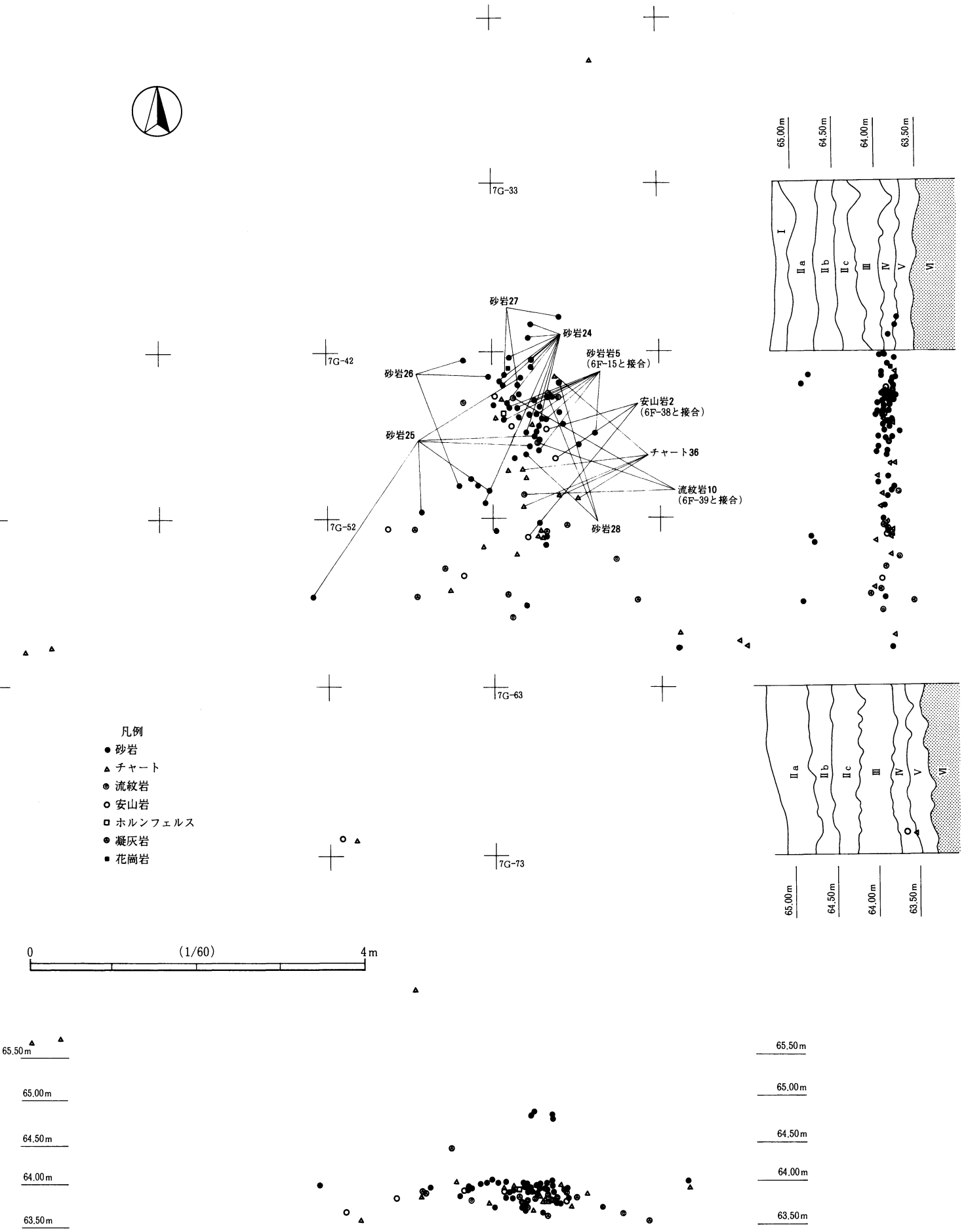
第42図　礫群２分布図(1)分類別



第43図　礫群２分布図(2)石材別



第44図　礫群3分布図(1)分類別



第45図　礫群３分布図(2)石材別

第７表　礫群属性表(1)

	番号	グリッド	遺物No.	分類	母岩番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	遺存	表面赤化	割面赤化	付着	備考	標高
礫群１	1	6F-25	0039	A	砂岩1	98.2	65.0	38.7	307.8	A	a	－	s		64.500
	1	6G-13	0001	A	砂岩2	64.1	52.5	40.0	179.9	A	b	－	－		－
	1	6G-63	0001	A	砂岩3	39.8	29.7	24.5	40.9	A	c	－	－		－
	1	6G-66	0001	A	砂岩4	27.1	22.0	13.9	12.4	A	b	－	－		－
礫群１	1	6F-15	0009	B	砂岩5	38.9	26.0	18.2	15.8	D	a	a	－		64.720
礫群１	2	6F-15	0011	B		37.4	39.5	31.3	53.7	D	c	a	－		64.634
礫群１	3	6F-15	0018	B		50.3	43.3	28.0	59.8	D	c	a	s		64.586
礫群１	4	6F-15	0019	B		35.0	22.4	20.7	12.8	D	c	c	－		64.577
礫群１	5	6F-15	0022	B		40.2	28.7	25.7	37.5	D	a	a	s		64.525
礫群３	6	7G-43	0015	B		49.7	39.8	17.8	42.7	D	b	a	－		63.776
礫群３	7	7G-43	0022	B		52.8	46.7	21.3	41.5	D	b	a	－		63.863
礫群３	8	7G-43	0025	B		45.8	27.3	17.5	17.1	D	b	a	－		63.874
礫群３	9	7G-43	0027	B		36.8	30.2	17.0	15.3	D	b	a	－		63.874
礫群３	10	7G-43	0036	B		52.5	36.0	18.3	48.9	D	b	a	－		63.874
礫群３	11	7G-43	0042	B		50.8	29.5	10.0	17.3	D	b	a	－		63.874
礫群３	12	7G-43	0056	B		22.4	17.3	7.8	3.4	D	b	a	－		63.874
礫群３	13	7G-43	0060	B		45.2	43.4	12.1	28.8	D	b	a	－		63.874
				B	砂岩5	130.1	65.3	44.3	394.6	B	a	－	s	1～13接合	
礫群１	1	6F-25	0038	B	砂岩6	58.1	56.7	28.6	94.2	D	c	a	－		64.515
礫群１	2	6F-25	0060	B		21.3	20.9	17.0	9.9	D	b	a	－		64.584
礫群１	3	6F-25	0071	B		24.3	23.3	22.0	15.0	D	b	c	－		64.500
礫群１	4	6F-25	0077	B		50.1	26.3	10.6	16.9	D	c	a	－		64.511
礫群１	5	6F-25	0088	B		59.0	54.5	29.5	107.8	D	c	a	－		64.500
礫群１	6	6F-25	0089	B		26.0	18.7	14.5	6.0	D	b	a	－		64.491
礫群１	7	6F-25	0107	B		52.4	26.5	21.2	29.6	D	b	a	－		64.514
礫群１	8	6F-25	0113	B		29.5	19.7	18.1	10.9	D	c	a	－		64.510
				B	砂岩6	83.2	58.4	44.1	290.3	B	c	－	－	1～8接合	
礫群２	1	6F-38	0049	B	砂岩7	51.6	40.5	14.0	25.7	D	a	a	s		64.454
礫群２	2	6F-38	0051	B		65.8	46.8	20.4	55.8	D	a	c	s		64.467
礫群２	3	6F-38	0051	B		54.7	50.0	23.1	47.7	D	a	c	s		64.467
礫群２	4	6F-38	0051	B		22.8	11.5	6.5	1.5	D	a	c	s		64.467
礫群２	5	6F-38	0052	B		58.1	39.7	20.0	50.6	D	a	a	s		64.465
礫群２	6	6F-38	0053	B		35.0	33.6	16.4	17.3	D	a	c	s		64.457
				B	砂岩7	83.4	53.9	29.7	198.6	B	a	－	s	1～6接合	
	1	6F-38	0030	B	砂岩8	54.7	43.0	31.5	75.3	D	b	b	－		64.500
	2	6F-38	0034	B		57.5	48.7	18.5	53.7	D	a	c	－		64.485
	3	6F-38	0048	B		48.3	23.6	14.4	13.1	D	a	c	－		64.504
	4	6F-38	0055	B		48.8	30.0	28.3	37.4	D	c	b	－		64.518
	5	6F-49	0005	B		45.5	34.9	20.6	23.9	D	a	b	－		64.501
	6	6F-38	0073	B		40.2	28.9	11.6	14.5	D	a	b	－		64.427
				B	砂岩8	62.9	61.6	51.9	217.9	B	a	－	－	1～5接合	
	1	B区プレ陥し穴	0001	B	砂岩9	61.5	55.7	49.8	189.6	C	b	b	－		－
	2	B区プレ陥し穴	0001	B		54.4	48.5	38.3	76.2	D	b	b	－		－
				B	砂岩9	101.2	61.6	49.8	265.8	B	b	－	－	1・2接合	
礫群１	1	6F-16	0027	B	砂岩10	67.6	37.6	26.2	65.0	D	a	b	－		64.720
礫群１	2	6F-25	0009	B		44.8	37.0	19.0	26.7	D	b	b	s		64.611
礫群１	3	6F-25	0116	B		39.5	27.5	20.6	17.0	D	a	c	s		64.510
礫群２	4	6F-38	0009	B		29.0	24.2	18.0	16.0	D	a	a	－		64.544
礫群２	5	6F-38	0011	B		55.4	36.5	34.1	71.1	D	c	c	－		64.531
礫群２	6	6F-38	0012	B		50.0	37.8	31.8	77.4	D	a	c	－		64.526
礫群２	7	6F-38	0035	B		53.9	51.0	36.5	98.1	D	a	c	－		64.488
礫群２	8	6F-38	0036	B		46.3	42.1	26.6	47.7	D	a	c	－		64.462
				B	砂岩10	92.2	68.1	57.9	419.0	C	a	－	s	1～8接合	
礫群１	1	6F-25	0045	B	砂岩11	58.5	49.5	27.4	77.1	D	a	a	－		64.478
礫群２	2	6F-38	0018	B		30.5	18.1	15.2	9.9	D	a	a	－		64.530
礫群２	3	6F-38	0020	B		54.6	44.5	29.4	76.4	D	c	c	－		64.511
礫群２	4	6F-38	0020	B		36.0	22.6	15.9	15.9	D	c	c	－		64.511
礫群２	5	6F-38	0021	B		41.2	24.7	24.6	26.1	D	c	c	－		64.535
礫群２	6	6F-38	0056	B		49.5	47.5	27.3	54.2	D	c	a	－		64.514
礫群２	7	6F-38	0071	B		40.0	28.0	25.3	19.1	D	－	a	－		64.480
礫群２	8	6F-39	0001	B		55.6	54.2	33.7	97.8	D	a	a	－		64.520
礫群２	9	6F-39	0015	B		88.0	70.0	27.0	158.6	D	a	a	s		64.500
礫群２	10	6F-39	0017	B		57.5	52.0	20.2	49.4	D	a	a	s		64.480
礫群２	11	6F-39	0026	B		36.2	33.3	20.0	19.4	D	a	b	s		64.505
				B	砂岩11	149.9	68.2	67.1	603.9	C	a	－	s	1～11接合	
礫群１	1	6F-06	0005	B	砂岩12	42.4	22.4	20.4	16.0	D	a	c	－		64.614
礫群１	2	6F-16	0021	B		28.6	15.5	7.7	3.4	D	a	b	－		64.438
礫群１	3	6F-16	0029	B		33.3	24.0	15.0	11.9	D	a	c	－		64.619
礫群１	4	6F-25	0022	B		47.8	33.0	21.0	31.9	D	a	a	－		64.527
礫群１	5	6F-26	0013	B		35.1	27.9	19.4	17.3	D	a	a	－		64.497
礫群１	6	6F-26	0026	B		45.2	26.9	23.9	17.9	D	a	a	s		64.475
				B	砂岩12	60.6	54.9	26.6	98.4	D	a	－	s	1～6接合	
礫群１	1	6F-15	0001	B	砂岩13	25.4	24.5	12.9	10.8	D	c	b	－		64.657
礫群１	2	6F-16	0006	B		34.9	29.5	14.0	15.4	D	a	c	－		64.686
礫群１	3	6F-16	0012	B		31.0	16.3	10.6	5.5	D	a	a	－		64.715
				B	砂岩13	61.2	31.8	13.5	31.7	D	a	－	－	1～3接合	
礫群１	1	6F-25	0006	B	砂岩14	56.6	33.3	19.2	34.0	D	a	c	－		64.550
礫群１	2	6F-25	0034	B		29.5	21.7	8.4	5.2	D	c	c	s		64.658
礫群１	3	6F-25	0037	B		80.3	49.8	31.8	130.1	D	a	c	s		64.518
礫群１	4	6F-26	0005	B		45.5	24.1	13.6	9.6	D	a	a	－		64.625
				B	砂岩14	75.5	72.4	30.8	178.9	D	a	－	s	1～4接合	
礫群１	1	6F-25	0010	B	砂岩15	48.4	38.9	27.0	51.0	D	a	a	－		64.557
礫群１	2	6F-25	0019	B		23.3	14.5	11.7	3.0	D	a	a	－		64.523
礫群１	3	6F-25	0118	B		44.3	28.8	16.7	21.0	D	a	a	s		64.532
				B	砂岩15	61.7	51.1	26.2	75.0	D	a	－	－	1～3接合	

	番号	グリッド	遺物No.	分類	母岩番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	遺存	表面赤化	割面赤化	付着	備考	標高
礫群 1	1	6F-25	0012	B	砂岩16	20.0	17.0	16.7	6.3	D	—	b	—		64.497
礫群 1	2	6F-25	0047	B		25.7	25.6	19.6	14.5	D	c	b	—		64.500
礫群 1	3	6F-35	0012	B		27.8	25.7	19.0	12.9	D	c	b	—		64.575
				B	砂岩16	42.9	36.4	25.9	33.9	D	c	—	—	1～3接合	
礫群 1	4	6F-25	0043	B	砂岩16	28.9	25.4	18.3	18.2	D	a	a	—		64.586
礫群 1	5	6F-25	0046	B		52.0	31.0	27.1	48.0	D	a	b	—		64.488
礫群 1	6	6F-25	0102	B		50.0	36.4	30.3	46.2	D	a	a	s		64.499
礫群 1	7	6F-25	0103	B		29.4	20.8	21.8	14.4	D	c	a	—		64.490
礫群 1	8	6F-25	0120	B		31.0	20.1	19.2	13.8	D	a	b	—		64.468
				B	砂岩16	64.1	55.7	36.2	140.6	D	a	—	—	4～8接合	
礫群 1	9	6F-25	0034	B	砂岩16	27.1	23.1	12.0	7.0	D	a	b	—		64.568
	1	6F-25	0028	B	砂岩17	32.1	24.7	22.7	18.3	D	b	b	—		64.568
	2	6F-25	0095	B		27.3	19.6	16.2	10.8	D	b	b	—		64.545
				B	砂岩17	42.0	31.1	27.4	29.1	D	b	—	—	1・2接合	
礫群 1	3	6F-25	0035	B	砂岩17	28.2	24.9	18.5	15.0	D	b	b	—		64.645
礫群 1	4	6F-25	0050	B		30.3	30.6	16.3	14.2	D	b	a	—		64.670
礫群 1	5	6F-25	0083	B		30.7	30.0	18.8	17.7	D	b	a	—		64.536
礫群 1	6	6F-36	0001	B		29.8	22.0	18.5	12.6	D	b	b	—		64.614
				B	砂岩17	48.6	47.1	28.8	59.5	D	b	—	—	3～6接合	
礫群 1	1	6F-25	0055	B	砂岩18	20.7	14.9	11.9	4.5	D	c	a	—		64.655
礫群 1	2	6F-25	0056	B		26.4	18.3	9.8	6.1	D	c	c	—		64.670
				B	砂岩18	31.1	26.2	11.9	10.6	D	c	—	—	1・2接合	
礫群 2	3	6F-38	0010	B	砂岩18	42.5	25.3	21.3	15.9	D	c	c	s		64.540
礫群 2	4	6F-38	0019	B		39.0	38.0	21.8	30.2	D	c	c	s		64.513
礫群 2	5	6F-38	0022	B		27.5	22.5	19.1	10.4	D	c	c	s		64.484
礫群 2	6	6F-39	0019	B		35.3	25.2	12.5	10.4	D	c	c	s		64.499
				B	砂岩18	71.6	47.6	21.8	66.9	D	c	—	—	3～6接合	
礫群 1	1	6F-26	0020	B	砂岩19	34.5	21.4	19.4	10.2	D	c	a	s		64.490
礫群 1	2	6F-26	0021	B		50.8	37.9	32.6	63.4	D	c	a	s		64.505
礫群 1	3	6F-36	0002	B		37.7	19.6	16.0	11.0	D	c	a	—		64.697
				B	砂岩19	63.8	49.1	33.8	84.6	D	c	—	s	1～3接合	
礫群 2	1	6F-38	0024	B	砂岩20	50.8	35.0	28.6	63.8	D	c	c	—		64.480
礫群 2	2	6F-39	0009	B		61.0	58.1	34.7	137.6	D	c	c	—		64.485
礫群 2	3	6F-39	0011	B		43.3	37.2	34.9	66.3	D	c	c	—		64.494
				B	砂岩20	72.9	65.7	53.7	267.7	D	c	—	—	1～3接合	
礫群 2	1	6F-38	0031	B	砂岩21	40.3	30.3	17.1	21.6	D	b	b	—		64.491
礫群 2	2	6F-39	0007	B		49.0	22.8	22.7	30.9	D	b	b	—		64.575
礫群 2	3	6F-39	0010	B		53.5	28.0	22.0	33.2	D	b	b	—		64.488
礫群 2	4	6F-39	0028	B		38.6	28.6	23.7	33.4	D	b	b	—		64.498
				B	砂岩21	81.0	56.3	29.1	119.1	D	b	—	—	1～4接合	
礫群 2	1	6F-39	0020	B	砂岩22	39.3	30.9	25.0	36.0	D	c	a	s		64.491
礫群 2	2	6F-48	0027	B		22.4	19.7	19.7	7.3	D	c	c	—		64.500
礫群 2	3	6F-48	0030	B		43.8	37.9	35.4	52.4	D	c	a	—		64.430
礫群 2	4	6F-49	0001	B		35.9	30.2	17.5	15.1	D	c	a	s		64.540
	5	不明	不明	B		30.0	25.1	22.3	14.7	D	c	a	s		—
				B	砂岩22	67.5	41.7	50.3	125.5	D	c	—	s	1～5接合	
	1	6G-66	0001	B	砂岩23	95.4	57.7	38.6	267.9	D	c	c	—		—
	2	6G-66	0001	B		23.6	23.5	14.7	10.2	D	c	c	—		—
	3	6G-66	0001	B		27.8	20.8	14.0	6.9	D	c	c	—		—
	4	6G-66	0001	B		25.1	15.3	11.6	5.5	D	c	c	—		—
	5	6G-66	0001	B		15.0	14.0	10.9	1.8	D	c	c	—		—
				B	砂岩23	95.4	57.7	38.6	292.3	D	c	—	—	1～4接合	
礫群 3	1	7G-33	0002	B	砂岩24	22.3	16.2	15.0	4.8	D	b	c	—		63.869
礫群 3	2	7G-33	0003	B		24.0	23.0	11.3	5.7	D	—	c	—		63.774
礫群 3	3	7G-42	0011	B		33.3	27.1	11.0	13.3	D	c	b	—		63.669
礫群 3	4	7G-42	不明	B		19.0	17.0	13.2	4.5	D	b	b	—		—
礫群 3	5	7G-43	0005	B		33.2	28.8	18.1	17.2	D	—	b	—		63.945
礫群 3	6	7G-43	0009	B		41.2	27.2	22.8	24.9	D	c	c	—		63.861
礫群 3	7	7G-43	0010	B		31.3	25.8	14.3	7.8	D	c	c	—		63.807
礫群 3	8	7G-43	0018	B		38.0	34.9	22.5	27.0	D	c	b	—		64.854
礫群 3	9	7G-43	0019	B		32.6	17.5	13.3	6.3	D	c	b	—		63.895
礫群 3	10	7G-43	0026	B		28.6	25.6	16.7	14.0	D	c	c	—		63.859
礫群 3	11	7G-43	0032	B		43.1	24.3	19.3	22.1	D	c	b	—		63.902
礫群 3	12	7G-43	0033	B		27.2	19.5	14.8	8.2	D	c	c	—		63.960
礫群 3	13	7G-43	0038	B		23.0	22.8	10.3	8.7	D	—	c	—		63.887
礫群 3	14	7G-43	0023	B		32.7	30.6	13.5	13.7	D	b	—	—		63.907
				B	砂岩24	86.0	73.3	39.5	164.6	D	c	—	—	1～13接合	
礫群 3	1	7G-42	0005	B	砂岩25	24.7	22.4	18.9	7.6	D	c	b	—		63.930
礫群 3	2	7G-42	0010	B		28.9	28.2	11.2	9.1	D	c	b	—		63.778
礫群 3	3	7G-43	0016	B		16.8	10.5	7.2	1.1	D	c	b	—		63.700
礫群 3	4	7G-43	0039	B		40.2	19.1	15.2	8.5	D	c	a	—		63.832
礫群 3	5	7G-43	0040	B		58.3	33.9	12.7	31.8	D	c	b	—		63.850
礫群 3	6	7G-51	0002	B		23.4	20.5	10.2	5.1	D	c	b	—		63.920
礫群 3	7	不明	不明	B		22.7	15.7	8.3	3.0	D	c	b	—		—
礫群 3	8	7G-43	0043	B		28.0	26.3	8.7	7.8	D	c	—	—		63.975
				B	砂岩25	73.2	46.8	21.6	66.2	D	c	—	—	1～7接合	

	番号	グリッド	遺物No.	分類	母岩番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	遺存	表面赤化	割面赤化	付着	備考	標高
礫群 3	1	7G-42	0006	B	砂岩26	47.3	36.4	27.0	56.8	D	c	c	s		63.769
礫群 3	2	7G-42	0006	B		31.3	22.9	19.3	12.1	D	c	c	s		63.769
礫群 3	3	7G-42	0007	B		29.0	21.6	18.5	13.4	D	c	c	s		63.725
礫群 3	4	7G-42	0009	B		18.7	11.0	6.9	1.6	D	c	c	s		63.778
				B	砂岩26	55.7	27.8	38.9	83.9	D	c	—	—	1～4接合	
礫群 3	1	7G-43	0007	B	砂岩27	31.0	24.9	20.3	12.8	D	b	b	—		63.925
礫群 3	2	7G-43	0017	B		31.8	21.8	14.0	9.1	D	b	b	—		63.709
礫群 3	3	7G-33	0004	B	砂岩27	41.9	24.6	20.4	22.6	D	b	—	—		63.794
				B	砂岩27	58.9	24.9	24.6	21.9	D	b	—	—	1・2接合	
礫群 3	1	7G-43	0012	B	砂岩28	49.8	20.2	16.1	19.0	D	c	c	—		63.767
礫群 3	2	7G-43	0058	B		68.4	58.8	27.5	145.9	D	c	c	—		63.780
礫群 3	3	7G-43	0043	B		41.3	37.0	13.4	17.3	D	c	—	—		63.975
				B	砂岩28	68.4	62.1	33.2	164.9	D	c	—	—	1・2接合	
	1	7G-07	0001	B	砂岩29	68.1	36.5	26.3	84.1	B	b	b	—		—
	1	7G-16	0001	B	砂岩30	79.9	37.4	18.9	79.0	B	b	b	—		—
	1	7G-16	0001	B	砂岩31	30.1	21.8	12.5	10.7	B	b	b	—		—
礫群 2	1	6F-38	0006	B	砂岩32	64.9	52.7	37.3	148.9	C	b	b	s		64.508
	1	6G-03	0001	B	砂岩33	85.5	57.0	37.2	285.7	C	b	b	—		—
	1	6G-53	0001	B	砂岩34	31.9	26.4	23.0	20.6	C	b	b	—		—
	1	6G-53	0001	B	砂岩35	20.7	23.1	8.3	6.5	C	b	b	—		—
	1	7G-16	0001	B	砂岩36	52.4	44.1	29.1	84.7	C	b	b	—		—
	1	6F-00	0001	B	砂岩37	22.3	14.9	7.4	2.8	D	b	b	—		—
	1	6F-00	0001	B	砂岩38	21.4	15.4	10.8	3.9	D	b	b	—		—
	1	6F-00	0001	B	砂岩39	20.4	16.2	8.6	2.1	D	b	b	—		—
礫群 1	1	6F-06	0003	B	砂岩40	27.1	15.7	14.7	6.1	D	b	b	—		64.587
礫群 1	1	6F-16	0001	B	砂岩41	26.7	20.2	7.8	4.2	D	c	b	—		64.626
礫群 1	1	6F-16	0002	B	砂岩42	23.3	10.9	9.6	2.9	D	b	b	—		64.649
礫群 1	1	6F-16	0014	B	砂岩43	14.9	12.5	2.9	0.6	D	b	b	—		64.657
礫群 1	1	6F-16	0016	B	砂岩44	28.7	22.2	17.0	9.5	D	b	b	—		64.547
礫群 1	1	6F-16	0026	B	砂岩45	32.9	27.0	23.6	14.2	D	c	b	—		64.450
礫群 1	1	6F-17	0002	B	砂岩46	21.1	20.2	12.9	5.7	D	a	a	—		64.545
礫群 1	1	6F-24	0004	B	砂岩47	19.8	16.0	15.0	5.0	D	c	b	—		64.665
礫群 1	1	6F-25	0045	B	砂岩48	60.8	33.8	32.1	69.6	D	c	c	—		64.478
礫群 1	1	6F-25	0048	B	砂岩49	43.3	36.8	25.5	42.3	D	b	b	—		64.495
礫群 1	1	6F-25	0075	B	砂岩50	51.1	46.4	23.7	56.5	D	c	c	—		64.518
礫群 1	1	6F-25	0079	B	砂岩51	35.8	23.0	24.4	17.1	D	b	c	—		64.527
礫群 1	1	6F-25	0098	B	砂岩52	59.6	40.9	27.4	46.5	D	b	c	—		64.492
礫群 1	1	6F-25	0099	B	砂岩53	51.0	45.3	26.1	62.2	D	c	c	—		64.493
礫群 1	1	6F-25	0108	B	砂岩54	24.4	18.1	12.7	6.3	D	b	b	—		64.505
礫群 1	1	6F-25	0112	B	砂岩55	15.0	11.7	10.6	1.7	D	b	b	—		64.475
礫群 1	1	6F-26	0007	B	砂岩56	18.0	17.2	7.1	1.9	D	b	b	—		64.695
礫群 1	1	6F-27	0005	B	砂岩57	29.5	18.0	17.8	8.5	D	c	c	—		64.512
礫群 2	1	6F-28	0001	B	砂岩58	37.6	24.5	17.8	13.4	D	b	c	—		64.498
礫群 1	1	6F-35	0001	B	砂岩59	17.5	13.2	12.0	2.5	D	b	b	—		64.510
礫群 1	1	6F-35	0003	B	砂岩60	16.5	14.5	12.4	2.9	D	b	c	—		64.678
礫群 1	1	6F-36	0003	B	砂岩61	24.9	18.3	10.8	5.2	D	c	b	—		64.680
礫群 1	1	6F-36	0004	B	砂岩62	20.4	11.7	8.2	1.5	D	c	b	—		64.681
礫群 2	1	6F-38	0024	B	砂岩63	35.3	29.5	17.7	13.9	D	b	c	—		64.480
礫群 2	1	6F-38	0029	B	砂岩64	33.5	29.2	17.8	22.8	D	c	b	—		64.527
礫群 2	1	6F-38	0033	B	砂岩65	12.8	11.3	11.0	1.3	D	b	a	—		64.532
礫群 2	1	6F-38	0059	B	砂岩66	48.6	37.8	24.7	46.5	D	c	c	s		64.505
礫群 2	1	6F-39	0016	B	砂岩67	82.9	54.0	30.7	109.9	D	c	b	—		64.478
礫群 2	1	6F-48	0003	B	砂岩68	14.8	9.9	6.9	0.8	D	b	c	—		64.485
礫群 2	1	6F-48	0007	B	砂岩69	28.2	22.0	17.3	14.7	D	b	b	—		64.495
礫群 2	1	6F-48	0012	B	砂岩70	34.9	35.3	32.1	48.2	D	b	b	—		64.459
礫群 2	1	6F-48	0015	B	砂岩71	82.0	46.7	38.0	161.6	D	c	c	—		64.490
礫群 2	1	6F-48	0031	B	砂岩72	14.9	10.4	3.4	7.0	D	b	b	—		64.481
礫群 2	1	6F-48	0034	B	砂岩73	51.0	37.9	36.3	61.9	D	c	c	—		64.448
礫群 2	1	6F-49	0004	B	砂岩74	21.5	21.4	8.6	3.3	D	b	b	—		64.558
	1	7F-49	0002	B	砂岩75	24.1	15.7	10.8	2.8	D	b	b	—		65.802
	1	5G-56	0004	B	砂岩76	62.2	41.1	28.8	76.7	D	c	c	—		64.408
	1	6G-06	0001	B	砂岩77	63.2	41.6	26.0	61.5	D	c	c	—		—
	1	6G-50	0001	B	砂岩78	43.3	32.0	13.8	15.2	D	b	c	—		—
礫群 2	1	6G-50	0005	B	砂岩79	53.6	44.3	17.3	32.1	D	c	b	—		64.525
	1	6G-56	0001	B	砂岩80	54.7	52.0	26.5	77.9	D	b	b	s		—
	1	6G-66	0001	B	砂岩81	22.6	19.0	5.1	2.7	D	b	b	—		—
	1	7G-03	0001	B	砂岩82	46.6	38.6	19.6	31.6	D	b	c	—		—
	1	7G-03	0001	B	砂岩83	42.5	45.2	10.3	22.3	D	b	b	—		—
	1	7G-06	0001	B	砂岩84	37.8	32.0	17.4	21.0	D	b	b	—		—
	1	7G-07	0001	B	砂岩85	33.4	26.8	20.8	22.8	D	b	b	—		—
礫群 3	1	7G-42	0003	B	砂岩86	21.9	20.5	10.4	4.0	D	—	b	—		63.995
礫群 3	1	7G-42	0004	B	砂岩87	14.2	11.7	8.4	1.2	D	b	b	—		63.994
礫群 3	1	7G-43	0021	B	砂岩88	32.7	20.3	18.5	13.1	D	b	b	s		63.920
礫群 3	1	7G-43	0024	B	砂岩89	19.4	13.6	8.6	2.2	D	b	b	—		63.879
礫群 3	1	7G-43	0028	B	砂岩90	29.7	18.3	12.8	5.3	D	b	b	s		63.839
礫群 3	1	7G-43	0030	B	砂岩91	15.7	13.4	5.5	1.2	D	b	b	—		63.799
礫群 3	1	7G-43	0031	B	砂岩92	41.2	28.5	10.5	12.6	D	c	c	—		63.879
礫群 3	1	7G-43	0034	B	砂岩93	23.2	14.5	10.5	3.8	D	b	b	—		63.971
礫群 3	1	7G-43	0044	B	砂岩94	43.7	33.8	27.1	35.4	D	b	b	—		63.822
礫群 3	1	7G-43	0053	B	砂岩95	24.1	14.9	9.8	2.9	D	b	b	—		63.922
礫群 3	1	7G-43	0064	B	砂岩96	23.3	16.9	7.9	2.8	D	b	b	—		63.785
礫群 3	1	7G-53	0004	B	砂岩97	11.3	6.5	2.6	0.2	D	b	b	—		63.900
礫群 3	1	7G-53	0107	B	砂岩98	33.8	20.7	12.2	8.6	D	c	c	—		63.890
礫群 3	1	7G-53	0111	B	砂岩99	35.3	16.7	7.8	5.0	D	c	c	—		64.725
礫群 3	1	7G-53	0112	B	砂岩100	26.2	16.5	6.0	2.7	D	b	b	—		64.780
礫群 3	1	7G-53	0117	B	砂岩101	21.9	16.8	4.5	1.5	D	b	b	—		64.866
礫群 3	1	7G-54	0006	B	砂岩102	21.8	19.1	12.2	4.6	D	b	c	—		63.775

第８表　礫群属性表(2)

	番号	グリッド	遺物No.	分類	母岩番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	遺存	表面赤化	割面赤化	付着	備考	標高
	1	6F-00	0001	C	チャート1	16.8	11.1	6.7	1.6	A	−	−	−		−
	1	7F-38	0002	A	チャート2	60.0	48.5	37.1	126.4	A	b	−	−		65.670
	1	7F-39	0003	A	チャート3	26.3	15.8	7.9	3.9	A	b	−	−		65.838
	1	6G-06	0001	A	チャート4	66.8	38.9	26.2	88.7	A	a	−	−		−
	1	6G-53	0001	A	チャート5	18.1	15.6	8.1	3.2	A	b	−	−		−
	1	6G-63	0001	A	チャート6	21.9	17.0	7.2	3.6	A	b	−	−		−
	1	6G-63	0002	A	チャート7	75.0	66.2.	39.9	263.4	A	b	−	−		65.139
	1	7G-03	0001	A	チャート8	37.2	34.2	23.7	37.9	A	b	−	−		−
	1	7G-06	0001	A	チャート9	52.5	40.9	38.9	123.4	A	c	−	−		−
	1	7G-06	0001	A	チャート10	56.8	40.2	20.7	68.8	A	b	−	−		−
	1	7G-06	0001	A	チャート11	44.8	20.4	20.1	28.3	A	b	−	−		−
	1	7G-06	0001	A	チャート12	23.6	16.6	8.7	5.1	A	a	−	−		−
	1	7G-06	0001	C	チャート13	25.9	20.7	10.8	8.0	A	−	−	−		−
	1	7G-10	0001	A	チャート14	28.3	15.7	9.4	8.3	A	b	−	−		−
	1	7G-13	0001	A	チャート15	20.9	17.0	9.9	6.2	A	b	−	−		−
	1	7G-13	0001	A	チャート16	18.7	17.6	14.5	8.1	A	b	−	−		−
	1	7G-13	0001	A	チャート17	16.9	16.3	14.7	4.7	A	b	−	−		−
	1	7G-13	0001	A	チャート18	26.2	14.7	8.5	4.6	A	b	−	−		−
	1	7G-13	0001	A	チャート19	21.7	17.6	10.1	4.1	A	b	−	−		−
	1	7G-13	0001	A	チャート20	18.9	13.2	9.0	2.5	A	b	−	−		−
	1	7G-16	0001	A	チャート21	52.2	45.3	25.5	80.9	A	a	−	−		−
	1	7G-03	0001	B	チャート22	39.2	30.8	19.0	35.1	B	b	b	−		−
	1	7G-13	0001	B	チャート23	48.4	25.2	14.6	27.4	B	c	b	−		−
	1	7F-39	0002	B	チャート24	27.1	20.2	19.9	13.3	B	b	b	−		65.792
	1	7F-39	0002	B	チャート24	14.5	9.9	6.3	0.9	D	b	b	−		65.792
礫群１	1	6F-15	0006	B	チャート25	39.0	35.0	18.0	34.7	D	c	c	−		64.650
礫群１	2	6F-15	0016	B		38.0	37.0	28.2	45.9	D	c	b	−		64.600
礫群１	3	6F-15	0020	B		39.7	29.7	17.3	17.9	D	c	c	−		64.508
				B	チャート25	69.4	40.2	33.4	98.5	D	c	−	−	1～3接合	
礫群１	1	6F-15	0007	B	チャート26	38.4	29.4	26.5	26.9	D	a	b	−		64.657
礫群１	2	6F-15	0017	B		26.1	18.7	7.7	4.2	D	a	b	−		64.696
礫群１	3	6F-15	0023	B		14.7	11.0	6.3	1.3	D	a	b	−		64.565
礫群１	4	6F-16	0026	B		26.1	20.1	18.7	14.1	D	−	b	−		64.450
				B	チャート26	45.3	32.9	26.6	46.5	D	a	−	−	1～4接合	
礫群１	1	6F-15	0012	B	チャート27	45.1	37.7	17.4	34.3	D	a	a	−		64.530
礫群１	2	6F-25	0020	B		60.8	30.5	18.2	25.9	D	a	a	−		64.525
				B	チャート27	61.8	48.9	27.6	60.2	D	a	−	−	1・2接合	
礫群１	1	6F-16	0010	B	チャート28	41.2	34.9	33.5	63.6	D	c	c	−		64.670
礫群１	2	6F-26	0004	B		47.9	39.7	28.8	60.5	D	c	c	−		64.700
				B	チャート28	73.0	41.1	33.7	124.1	D	c	−	−	1・2接合	
礫群１	1	6F-25	0013	B	チャート29	25.5	19.1	13.3	7.2	D	a	c	−		64.500
礫群１	2	6F-25	0057	B		30.0	27.2	21.8	14.4	D	a	a	−		64.675
礫群１	3	6F-25	0058	B		30.5	27.2	25.0	28.6	D	a	a	−		64.484
				B	チャート29	61.2	32.4	28.7	50.2	D	a	−	−	1～3接合	
礫群１	1	6F-16	0017	B	チャート30	38.4	25.3	12.2	16.4	D	b	c	−		64.586
礫群１	2	6F-16	0023	B		34.3	26.5	16.3	17.8	D	b	c	−		64.695
				B	チャート30	51.1	40.5	19.3	34.2	D	b	−	−	1・2接合	
礫群１	1	6F-25	0017	B	チャート31	22.5	19.1	17.8	7.6	D	b	b	−		64.523
礫群１	2	6F-25	0018	B		23.3	18.5	9.7	4.7	D	b	b	−		64.500
				B	チャート31	28.1	25.1	19.4	12.3	D	b	−	−	1・2接合	
礫群１	1	6F-25	0033	B	チャート32	27.3	21.6	16.8	12.1	D	c	b	−		64.736
礫群１	2	6F-25	0068	B		41.2	24.5	22.5	19.3	D	c	b	−		64.565
礫群１	3	6F-25	0078	B		31.2	24.3	19.3	15.2	D	c	b	−		64.535
礫群１	4	6F-25	0111	B	チャート32	37.6	32.2	30.4	49.6	D	c	b	−		64.490
礫群１	5	6F-25	0111	B		36.7	33.1	29.2	42.1	D	c	b	−		64.490
	6	6F-00	0001	B	チャート32	13.5	12.2	9.1	1.6	D	c	b	−		−
礫群１	7	6F-15	0004	B	チャート32	22.1	14.9	14.9	4.6	D	c	b	−		64.554
礫群１	8	6F-15	0015	B	チャート32	21.9	19.9	19.0	9.0	D	c	b	−		64.498
礫群１	9	6F-15	0021	B	チャート32	14.3	10.3	8.7	1.3	D	b	b	−		64.605
礫群１	10	6F-25	0032	B	チャート32	26.3	17.5	11.0	5.8	D	c	b	−		64.658
礫群１	11	6F-25	0104	B	チャート32	16.0	14.0	12.4	3.2	D	c	b	−		64.502
礫群１	12	6F-35	0011	B	チャート32	26.9	13.9	13.6	5.0	D	b	b	−		64.580
				B	チャート32	52.4	36.5	26.4	46.6	D	c	−	−	1～3接合	
				B	チャート32	56.1	38.7	30.7	91.7	D	c	−	−	4・5接合	
礫群１	1	6F-25	0081	B	チャート33	38.0	27.0	19.2	27.3	D	a	b	−		64.520
礫群１	2	6F-25	0114	B		26.7	23.6	10.6	7.1	D	a	b	−		64.480
礫群１	3	6F-25	0115	B		28.0	26.1	13.3	10.3	D	a	b	−		64.499
				B	チャート33	41.0	38.8	27.5	44.7	D	a	−	−	1～3接合	
礫群１	1	6F-25	0074	B	チャート34	51.0	48.8	38.6	120.1	D	c	b	−		64.500
礫群１	2	6F-25	0098	B		17.9	13.8	8.7	1.9	D	c	b	−		64.492
				B	チャート34	53.7	53.2	37.8	122.0	D	c	−	−	1・2接合	
礫群２	1	6F-38	0046	B	チャート35	38.5	34.7	15.8	25.3	D	c	b	−		64.475
礫群２	2	6F-38	0069	B		33.6	21.7	16.9	10.8	D	c	b	−		64.463
礫群２	3	6F-38	0074	B		25.1	20.5	14.9	9.7	D	a	b	−		64.401
礫群２	4	6F-48	0003	B		43.6	37.5	23.3	40.1	D	c	b	−		64.485
礫群２	5	6F-48	0003	B		23.5	23.3	15.0	8.2	D	c	c	−		64.485
礫群２	6	6F-48	0005	B		36.7	22.2	19.2	19.1	D	c	b	−		64.532
礫群２	7	6F-48	0006	B		38.0	21.4	13.9	14.0	D	c	b	−		64.509
礫群２	8	6F-48	0039	B	チャート35	37.3	21.5	20.8	18.3	D	a	b	−		64.436
				B	チャート35	73.5	52.6	36.1	127.2	D	c	−	−	1～7接合	

	番号	グリッド	遺物No.	分類	母岩番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	遺存	表面赤化	割面赤化	付着	備考	標高
礫群3	1	7G-43	0002	B	チャート36	27.3	19.2	13.0	6.6	D	a	c	−		63.914
礫群3	2	7G-43	0004	B		19.2	9.3	8.1	1.7	D	a	c	−		63.865
礫群3	3	7G-43	0011	B		29.1	16.8	14.8	7.0	D	a	c	−		64.599
礫群3	4	7G-43	0045	B		35.3	32.7	20.2	23.6	D	a	c	−		63.747
礫群3	5	7G-43	0050	B		27.5	29.9	19.4	20.8	D	a	c	−		63.917
	6	不明	不明	B		22.2	20.1	17.1	6.5	D	a	c	−		−
				B	チャート36	48.3	46.5	33.6	66.2	D	a	−	−	1〜6接合	
礫群1	1	6F-07	0003	B	チャート37	40.5	27.7	16.4	15.4	D	c	c	−		64.580
礫群1	2	6F-16	0011	B	チャート37	38.8	25.3	19.7	17.2	D	c	c	−		64.716
礫群1	1	6F-16	0015	B	チャート38	31.5	17.2	16.0	6.3	D	b	c	−		64.619
礫群1	2	6F-25	0021	B	チャート38	41.3	30.4	21.4	27.9	D	a	c	−		64.688
礫群1	3	6F-25	0024	B	チャート38	30.0	19.8	10.5	6.6	D	a	c	−		64.530
礫群1	1	6F-25	0027	B	チャート39	40.8	24.6	14.0	10.8	D	c	b	−		64.548
礫群1	2	6F-26	0019	B	チャート39	44.7	34.2	26.2	39.9	D	c	c	−		64.521
	1	6F-00	0001	B	チャート40	25.4	17.8	12.7	5.8	D	c	c	−		−
礫群1	1	6F-06	0004	B	チャート41	30.7	20.9	14.5	6.0	D	a	c	−		64.579
礫群1	1	6F-07	0002	B	チャート42	45.3	39.0	20.8	26.3	D	c	c	−		64.735
礫群1	1	6F-14	0003	B	チャート43	24.2	13.8	5.6	1.7	D	a	a	−		64.622
礫群1	1	6F-15	0002	B	チャート44	40.0	30.1	23.6	23.7	D	a	b	−		64.655
礫群1	1	6F-15	0003	B	チャート45	43.7	33.0	23.5	30.1	D	a	b	−		64.650
礫群1	1	6F-15	0008	B	チャート46	28.8	18.1	16.3	9.5	D	c	b	−		64.668
礫群1	1	6F-16	0005	B	チャート47	15.3	10.2	4.7	0.6	D	−	b	−		64.544
礫群1	1	6F-16	0006	B	チャート48	18.8	9.1	6.8	1.2	D	a	a	−		64.686
礫群1	1	6F-16	0008	B	チャート49	59.7	38.0	16.5	40.1	D	b	c	−		64.675
礫群1	1	6F-16	0013	B	チャート50	34.0	20.4	20.4	6.5	D	b	c	−		64.760
礫群1	1	6F-16	0020	B	チャート51	41.4	21.9	13.9	11.4	D	a	b	s		64.681
礫群1	1	6F-16	0022	B	チャート52	28.8	19.2	11.2	7.7	D	a	c	−		64.519
礫群1	1	6F-16	0024	B	チャート53	23.3	15.5	4.4	1.3	D	b	b	−		64.470
礫群1	1	6F-25	0008	B	チャート54	28.4	13.6	12.0	4.8	D	a	b	−		64.744
礫群1	1	6F-25	0011	B	チャート55	29.0	16.0	7.5	2.9	D	c	c	−		64.497
礫群1	1	6F-25	0015	B	チャート56	32.9	28.2	10.7	11.1	D	a	a	−		64.694
礫群1	1	6F-25	0022	B	チャート57	14.4	11.1	6.4	0.9	D	b	b	−		64.527
礫群1	1	6F-25	0023	B	チャート58	35.3	27.4	17.6	18.9	D	a	a	−		64.525
礫群1	1	6F-25	0067	B	チャート59	43.8	29.5	15.9	21.3	D	a	c	−		64.532
礫群1	1	6F-25	0085	B	チャート60	20.5	11.8	11.2	2.2	D	−	b	−		64.545
礫群1	1	6F-26	0022	B	チャート61	33.3	30.4	19.5	20.4	D	a	a	−		64.555
礫群1	1	6F-35	0009	B	チャート62	29.0	23.2	13.9	10.3	D	a	c	−		64.680
礫群1	1	6F-45	0001	B	チャート63	31.0	23.6	16.3	10.6	D	b	b	−		64.695
礫群2	1	6F-49	0010	B	チャート64	17.8	12.9	10.4	2.9	D	−	c	−		64.446
礫群2	1	6F-49	0011	B	チャート65	20.3	16.7	9.5	3.3	D	a	b	−		64.446
	1	6F-57	0001	B	チャート66	26.5	25.0	18.4	5.4	D	b	b	−		−
	1	6F-57	0001	B	チャート67	19.9	10.8	6.2	1.3	D	−	b	−		−
	1	6F-67	0001	B	チャート68	39.8	33.5	23.3	33.3	D	c	b	−		−
	1	7F-38	0001	B	チャート69	27.7	21.4	16.4	10.2	D	b	b	−		65.680
	1	7F-49	0003	B	チャート70	23.3	16.6	7.8	3.3	D	b	b	−		65.766
	1	7F-49	0004	B	チャート71	21.4	14.3	12.3	4.8	D	b	b	−		65.667
	1	5G-65	0004	B	チャート72	33.0	19.8	16.3	10.3	D	b	b	−		63.855
	1	6G-53	0001	B	チャート73	23.4	17.0	4.0	2.1	D	b	b	−		−
	1	6G-63	0001	B	チャート74	37.4	23.6	9.7	7.3	D	b	b	−		−
	1	6G-66	0001	B	チャート75	28.0	23.4	11.8	6.1	D	b	b	−		−
	1	6G-69	0001	B	チャート76	41.2	32.8	29.9	41.7	D	b	b	−		−
	1	7G-03	0001	B	チャート77	26.7	21.8	11.8	9.0	D	b	b	−		−
	1	7G-03	0001	B	チャート78	26.2	20.2	16.3	6.6	D	b	b	−		−
	1	7G-06	0001	B	チャート79	46.1	31.1	16.3	22.7	D	b	b	−		−
	1	7G-06	0001	B	チャート80	45.7	30.9	19.2	25.9	D	b	b	−		−
	1	7G-06	0001	B	チャート81	40.5	20.0	16.2	17.7	D	b	b	−		−
	1	7G-06	0001	B	チャート82	26.5	23.0	12.8	9.0	D	b	b	−		−
	1	7G-06	0001	B	チャート83	22.8	23.3	18.8	10.9	D	b	b	−		−
	1	7G-06	0001	B	チャート84	21.4	15.9	10.4	4.8	D	b	b	−		−
	1	7G-06	0001	B	チャート85	18.2	14.8	15.5	1.8	D	b	b	−		−
	1	7G-13	0001	B	チャート86	38.3	17.3	11.0	6.9	D	a	a	−		−
	1	7G-13	0001	B	チャート87	23.6	21.2	12.0	3.6	D	b	b	−		−
	1	7G-16	0001	B	チャート88	40.5	25.8	17.6	23.5	D	c	b	−		−
礫群3	1	7G-23	0002	B	チャート89	27.5	23.4	19.9	17.8	D	c	c	−		64.820
礫群3	1	7G-43	0037	B	チャート90	38.8	38.0	17.9	38.1	D	c	a	−		63.864
礫群3	1	7G-43	0047	B	チャート91	25.0	23.0	11.8	6.5	D	c	c	−		63.815
礫群3	1	7G-43	0048	B	チャート92	16.6	10.8	7.5	1.8	D	c	a	−		63.859
礫群3	1	7G-43	0061	B	チャート93	13.4	7.8	7.2	0.5	D	b	b	−		63.885
礫群3	1	7G-43	0063	B	チャート94	33.4	24.4	18.5	19.5	D	b	a	−		63.755
礫群3	1	7G-50	0001	B	チャート95	17.9	13.9	12.3	4.1	D	b	b	−		65.688
礫群3	1	7G-50	0002	B	チャート96	14.9	13.8	9.9	1.8	D	b	b	−		65.720
礫群3	1	7G-52	0004	B	チャート97	26.3	15.5	11.5	4.6	D	b	c	−		64.015
礫群3	1	7G-52	0009	B	チャート98	21.2	21.0	8.6	4.1	D	c	c	−		64.090
礫群3	1	7G-53	0109	B	チャート99	25.5	11.8	7.7	2.6	D	c	a	−		63.768
礫群3	1	7G-53	0113	B	チャート100	28.4	21.8	13.1	7.7	D	b	c	−		63.770
礫群3	1	7G-53	0115	B	チャート101	24.6	18.3	13.5	5.6	D	c	c	−		63.765
礫群3	1	7G-53	0116	B	チャート102	18.6	12.3	9.5	1.6	D	c	c	−		63.735
礫群3	1	7G-54	0005	B	チャート103	10.6	7.5	4.5	0.5	D	b	b	−		63.838
礫群3	1	7G-62	0007	B	チャート104	10.5	9.5	3.1	0.3	D	−	b	−		63.558
礫群3	1	7G-63	0001	B	チャート105	25.7	25.0	18.9	12.7	D	a	a	−		−
礫群3	1	7G-72	0005	B	チャート106	25.1	16.0	10.0	4.5	D	c	b	−		63.743
	1	不明	不明	B	チャート107	39.0	31.3	24.9	32.3	D	−	c	−		−

第９表　礫群属性表(3)

	番号	グリッド	遺物No.	分類	母岩番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	遺存	表面赤化	割面赤化	付着	備考	標高
	1	6G-09	0001	A	流紋岩1	102.3	66.8	40.7	332.8	A	c	−	−		−
	1	6G-50	0003	A	流紋岩2	67.0	45.0	24.5	97.3	A	b	−	−		−
	1	7G-06	0001	A	流紋岩3	55.1	40.2	20.5	53.5	A	b	−	−		−
礫群 1	1	6F-15	0010	B	流紋岩4	65.2	65.0	39.5	177.3	C	c	b	−		64.552
礫群 2	2	6F-38	0003	B		61.0	50.0	35.6	112.5	D	c	b	−		64.501
				A	流紋岩4	96.9	65.2	39.5	289.8	A	c	−	−	1・2接合	−
	1	6F-00	0001	B	流紋岩5	23.7	15.7	14.0	6.4	D	b	b	−		−
礫群 2	2	6F-38	0023	B		52.8	25.8	22.6	37.9	D	b	b	−		64.445
礫群 2	3	6F-38	0025	B		50.1	42.2	35.6	76.0	D	c	b	−		64.499
礫群 2	4	6F-38	0027	B		53.1	28.3	25.4	30.9	D	b	b	−		64.523
礫群 2	5	6F-38	0042	B		59.1	27.0	25.9	50.9	D	a	c	−		64.465
礫群 2	6	6F-38	0062	B		41.5	27.6	25.4	31.8	D	a	c	−		64.456
礫群 2	7	6F-38	0069	B		37.1	32.4	25.4	27.9	D	b	b	−		64.463
礫群 2	8	6F-38	0072	B		33.6	29.4	22.3	17.1	D	b	b	−		64.479
	9	不明	不明	B		15.0	13.5	10.8	2.2	D	a	c	−		−
				B	流紋岩5	99.6	76.7	48.8	281.1	B	a	−	−	1～9接合	
礫群 1	1	6F-25	0005	B	流紋岩6	36.2	24.1	22.2	18.0	D	c	b	−		64.685
礫群 1	2	6F-25	0040	B		38.4	35.0	28.5	50.8	D	b	b	−		64.512
礫群 1	3	6F-25	0041	B		36.6	33.9	31.0	53.8	D	c	c	−		64.510
礫群 1	4	6F-25	0062	B		21.3	16.6	15.9	4.7	D	c	b	−		64.461
礫群 1	5	6F-25	0065	B		39.0	35.2	30.7	48.5	D	c	b	−		64.535
礫群 1	6	6F-25	0066	B		33.4	33.2	19.0	25.2	D	b	c	−		64.538
礫群 1	7	6F-25	0072	B		23.5	16.0	15.0	5.0	D	b	b	−		64.485
礫群 1	8	6F-25	0080	B		51.5	46.0	41.4	132.2	D	b	b	−		64.501
礫群 1	9	6F-25	0081	B		47.9	42.5	32.7	67.0	D	c	c	−		64.520
				B	流紋岩6	113.4	66.1	48.1	405.2	B	c	−	−	1～9接合	
礫群 1	1	6F-25	0070	B	流紋岩7	37.0	29.1	15.1	19.8	D	b	b	−		64.505
礫群 1	2	6F-25	0117	B		48.3	32.6	24.2	48.3	D	c	b	s		64.530
礫群 1	3	6F-39	0025	B		61.2	51.2	31.5	131.6	C	c	b	s		64.500
				B	流紋岩7	99.8	53.6	31.5	199.7	B	c	−	s	1～3接合	
礫群 1	1	6F-25	0109	B	流紋岩8	45.0	35.7	30.5	51.0	D	b	b	−		64.475
礫群 1	2	6F-25	0110	B		67.6	49.9	34.6	140.2	C	b	b	−		64.504
				B	流紋岩8	106.7	49.9	34.6	191.2	B	b	−	−	1・2接合	
礫群 2	1	6F-39	0002	B	流紋岩9	73.4	46.9	34.7	188.3	B	c	c	−		64.528
礫群 2	2	6F-39	0003	B		57.7	43.9	26.8	80.6	B	c	c	−		64.534
礫群 3	3	7G-53	0059	B		39.2	38.7	35.1	76.4	B	c	b	s		63.995
礫群 3	4	7G-53	0059	B		30.7	15.2	12.3	4.5	B	c	b	−		63.995
				B	流紋岩9	108.5	60.5	46.4	349.8	B	c	−	s	1～4接合	
礫群 2	1	6F-39	0022	B	流紋岩10	30.8	28.9	26.4	18.9	D	a	b	−		64.490
礫群 2	2	6F-39	0023	B		52.1	45.7	40.6	111.9	D	c	b	−		64.501
礫群 3	3	7G-43	0041	B		29.5	21.2	12.0	5.8	D	b	b	−		63.840
礫群 3	4	7G-43	0049	B		35.7	22.5	9.8	7.8	D	c	c	−		63.711
礫群 3	5	7G-43	0066	B		45.8	30.5	13.0	19.2	D	c	c	−		63.789
				B	流紋岩10	71.9	53.2	44.7	163.6	B	a	−	−	1～5接合	
礫群 1	1	6F-25	0049	B	流紋岩11	52.2	48.0	31.5	100.2	D	c	b	−		64.495
礫群 1	2	6F-25	0063	B		37.7	27.7	22.2	21.9	D	c	b	−		64.528
礫群 1	3	6F-25	0064	B		47.3	39.2	28.8	55.8	D	c	b	−		64.537
				B	流紋岩11	98.0	50.2	31.6	177.9	C	c	−	−	1～3接合	
礫群 1	1	6F-25	0076	B	流紋岩12	58.8	52.9	42.2	124.9	D	c	a	−		64.497
礫群 1	2	6F-25	0076	B		55.3	33.4	37.2	88.8	D	c	a	−		64.497
				B	流紋岩12	76.4	53.2	42.6	213.7	C	c	−	−	1～2接合	
礫群 2	1	6F-48	0008	B	流紋岩13	68.0	52.2	38.2	124.5	D	b	c	−		64.467
礫群 2	2	6F-48	0013	B		54.8	45.7	31.7	66.8	D	b	c	−		64.433
礫群 2	3	6F-48	0013	B		62.3	37.1	30.0	59.1	D	b	c	−		64.433
礫群 2	4	6F-48	0020	B		43.1	26.6	24.5	22.2	D	b	c	−		64.460
礫群 2	5	6F-48	0036	B		20.8	15.8	14.2	3.5	D	b	c	−		64.437
	6	不明	不明	B		49.4	43.9	34.5	59.7	D	b	c	−		−
				B	流紋岩13	84.2	71.0	54.4	335.8	C	b	−	−	1～6接合	
礫群 1	1	6F-25	0004	B	流紋岩14	19.6	16.8	11.7	6.3	D	c	b	−		64.496
礫群 1	2	6F-25	0007	B		34.5	30.0	24.9	37.4	D	c	b	−		64.615
礫群 1	3	6F-25	0051	B		33.5	27.0	19.4	25.7	D	c	c	−		64.551
礫群 1	4	6F-25	0082	B		22.0	15.4	14.7	6.5	D	c	b	−		64.469
礫群 1	5	6F-25	0091	B		53.6	32.6	25.4	44.7	D	c	b	−		64.508
				B	流紋岩14	72.9	49.7	40.8	120.6	D	c	−	−	1～5接合	
礫群 1	1	6F-25	0025	B	流紋岩15	47.8	42.5	31.7	52.1	D	c	c	−		64.524
礫群 1	2	6F-25	0026	B		50.1	38.7	28.8	85.3	D	c	c	−		64.529
礫群 1	3	6F-25	0052	B		28.5	27.3	16.0	13.4	D	b	b	−		64.590
				B	流紋岩15	67.8	49.0	31.3	150.8	D	c	−	−	1～3接合	
礫群 2	1	6F-38	0063	B	流紋岩16	34.1	30.2	23.9	28.6	D	b	c	−		64.441
礫群 2	2	6F-38	0064	B		44.0	40.4	27.9	40.1	D	b	c	−		64.463
礫群 2	3	6F-39	0027	B		51.3	46.5	28.8	95.0	D	b	c	−		64.497
				B	流紋岩16	81.1	50.5	31.0	163.7	D	b	−	−	1～3接合	
礫群 2	1	6F-38	0075	B	流紋岩17	46.8	37.9	26.0	41.1	D	a	a	−		64.146
礫群 2	2	6F-48	0028	B		43.3	36.1	27.2	26.4	D	a	a	−		64.487
				B	流紋岩17	59.7	38.3	28.6	67.5	D	c	−	−	1・2接合	

	番号	グリッド	遺物No.	分類	母岩番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重 量 g	遺存	表面赤化	割面赤化	付着	備　　考	標高
	1	6F-00	0001	B	流紋岩18	17.6	15.7	9.6	2.2	D	c	b	−		−
礫群 1	1	6F-16	0009	B	流紋岩19	18.5	16.7	6.5	2.1	D	b	b	−		64.680
礫群 1	1	6F-25	0030	B	流紋岩20	34.8	20.8	9.7	8.9	D	c	b	−		64.740
礫群 1	1	6F-25	0084	B	流紋岩21	25.1	16.7	12.9	4.6	D	b	b	−		64.625
礫群 2	1	6F-38	0033	B	流紋岩22	26.6	25.7	9.6	6.6	D	b	b	−		64.532
礫群 2	1	6F-38	0041	B	流紋岩23	40.5	25.3	21.8	23.9	D	b	b	−		64.497
礫群 2	1	6F-38	0047	B	流紋岩24	29.4	24.1	13.6	8.6	D	b	b	−		64.480
礫群 2	1	6F-48	0029	B	流紋岩25	31.2	30.0	14.5	16.0	D	c	b	−		64.455
礫群 2	1	6F-49	0007	B	流紋岩26	32.7	21.1	13.8	10.9	D	b	b	−		64.525
	1	7F-28	0001	B	流紋岩27	37.9	30.9	18.3	18.2	D	b	b	−		65.854
	1	7F-39	0001	B	流紋岩28	26.8	17.8	16.9	11.7	D	b	c	−		65.782
	1	6G-13	0001	B	流紋岩29	48.3	43.7	19.5	36.3	D	b	b	−		−
	1	6G-44	0001	B	流紋岩30	90.9	73.4	21.5	166.6	D	c	a	−		64.685
	1	6G-50	0001	B	流紋岩31	45.3	36.5	25.3	37.9	D	b	c	−		−
	1	6G-59	0001	B	流紋岩32	24.6	19.2	13.6	6.6	D	b	b	−		−
	1	6G-63	0001	B	流紋岩33	48.2	26.7	12.5	16.8	D	b	b	−		−
	1	6G-69	0001	B	流紋岩34	37.5	29.7	12.9	14.0	D	b	b	−		−
	1	7G-03	0001	B	流紋岩35	31.2	20.4	15.1	10.4	D	b	b	−		−
	1	7G-06	0001	B	流紋岩36	38.3	38.3	21.3	38.7	D	b	b	−		−
	1	7G-06	0001	B	流紋岩37	41.4	38.7	19.7	30.8	D	b	b	−		−
	1	7G-06	0001	B	流紋岩38	38.9	27.8	14.3	11.9	D	b	b	−		−
	1	7G-07	0001	B	流紋岩39	28.8	24.4	12.1	7.8	D	−	b	−		−
	1	7G-16	0001	B	流紋岩40	45.3	26.5	12.0	13.6	D	c	b	−		−
礫群 3	1	7G-42	0008	B	流紋岩41	33.4	30.2	14.6	15.4	D	c	c	−		63.767
礫群 3	1	7G-43	0014	B	流紋岩42	62.2	27.1	14.8	28.2	D	b	c	−		63.721
礫群 3	1	7G-43	0055	B	流紋岩43	19.3	17.6	7.6	2.7	D	b	b	−		63.699
礫群 3	1	7G-53	0003	B	流紋岩44	34.6	24.4	19.7	17.3	D	c	b	−		63.630

第10表　礫群属性表(4)

	番号	グリッド	遺物No.	分類	母岩番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	遺存	表面赤化	割面赤化	付着	備考	標高
	1	6G-00	0001	A	安山岩1	75.7	61.3	41.1	269.0	A	b	−	−		
礫群 2	1	6F-38	0040	B	安山岩2	73.8	44.7	24.0	107.1	D	c	b	s		64.526
礫群 3	2	7G-43	0051	B		57.3	33.7	25.1	54.2	D	c	b	−		63.857
礫群 3	3	7G-43	0059	B		51.5	42.8	31.2	70.9	D	c	b	−		63.788
礫群 3	4	7G-53	0114	B		68.6	29.1	14.2	35.0	D	c	b	−		63.850
				B	安山岩2	81.6	63.6	45.3	267.2	C	c	−	s	1～4接合	
礫群 1	1	6F-16	0028	B	安山岩3	38.8	33.1	23.1	21.2	D	b	b	−		64.442
礫群 2	2	6F-39	0015	B		66.2	55.2	40.1	144.7	D	b	b	−		64.500
				B	安山岩3	66.5	65.5	44.3	165.9	D	b	−	−	1・2接合	
礫群 2	1	6F-38	0060	B	安山岩4	46.5	40.9	21.2	38.0	D	b	b	−		64.500
礫群 2	2	6F-38	0066	B		32.4	38.4	19.2	15.1	D	b	b	−		64.459
				B	安山岩4	66.7	44.1	21.2	53.1	D	b	−	−	1・2接合	
礫群 2	1	6F-29	0001	B	安山岩5	65.1	54.3	53.5	205.3	D	b	b	−		64.530
礫群 2	2	6F-29	0002	B		40.3	27.6	20.1	16.4	D	b	b	−		64.595
礫群 2	3	6F-38	0005	B		55.7	32.5	27.7	68.6	D	b	b	−		64.520
礫群 2	4	6F-38	0005	B		50.0	31.4	15.4	28.7	D	b	b	−		64.520
礫群 2	5	6F-38	0008	B		38.1	32.2	20.5	24.7	D	b	b	−		64.527
礫群 2	6	6F-38	0057	B		39.7	25.3	18.2	12.9	D	b	b	−		64.483
礫群 2	7	6F-38	0058	B		52.7	41.1	31.2	63.8	D	b	b	−		64.481
礫群 2	8	6F-38	0061	B		40.1	33.5	17.5	18.8	D	b	b	−		64.460
				B	安山岩5	110.3	75.6	58.1	439.2	D	b	−	−	1～8接合	
礫群 2	1	6F-38	0043	B	安山岩6	50.9	46.0	37.0	128.7	D	b	c	−		64.467
礫群 2	2	6F-38	0043	B		24.6	15.8	13.6	6.2	D	b	b	−		64.467
礫群 2	3	6F-38	0043	B		15.2	14.6	13.7	3.7	D	b	b	−		64.467
礫群 2	4	6F-38	0061	B		35.6	32.6	24.7	27.3	D	b	b	−		64.460
礫群 2	5	6F-38	0061	B		26.2	21.3	22.1	18.7	D	b	c	−		64.460
礫群 2	6	6F-38	0061	B		22.2	22.0	16.8	10.2	D	b	b	−		64.460
礫群 2	7	6F-38	0061	B		15.1	13.0	9.4	2.3	D	b	b	−		64.460
				B	安山岩6	69.2	52.5	37.6	197.1	D	b	−	−	1～7接合	
礫群 2	1	6F-48	0032	B	安山岩7	53.7	31.6	25.3	45.9	D	b	b	−		64.446
礫群 2	2	6F-48	0038	B		51.1	22.7	18.0	19.5	D	b	b	−		64.427
礫群 2	3	6F-48	0010	B	安山岩7	47.4	36.5	25.2	35.3	D	b	b	−		64.482
礫群 2	4	6F-48	0010	B	安山岩7	31.6	23.6	18.8	11.0	D	b	b	−		64.482
礫群 2	5	6F-48	0010	B	安山岩7	22.5	20.3	12.1	3.7	D	b	b	−		64.482
礫群 2	6	6F-48	0010	B	安山岩7	22.1	17.4	16.8	4.7	D	b	b	−		64.482
礫群 2	7	6F-48	0010	B	安山岩7	20.7	16.4	13.9	4.3	D	b	b	−		64.482
礫群 2	8	6F-48	0010	B	安山岩7	18.5	17.9	8.2	2.7	D	b	b	−		64.482
礫群 2	9	6F-48	0010	B	安山岩7	17.1	15.7	11.3	2.5	D	b	b	−		64.482
礫群 2	10	6F-48	0010	B	安山岩7	18.0	12.9	10.6	2.2	D	b	b	−		64.482
礫群 2	11	6F-48	0021	B	安山岩7	37.3	28.5	17.6	12.7	D	b	b	−		64.480
				B	安山岩7	53.3	41.0	34.1	65.4	D	b	−	−	1・2接合	
	1	6F-00	0001	B	安山岩8	12.6	10.7	5.4	0.9	D	b	b	−		−
	1	6F-00	0001	B	安山岩9	21.9	16.4	10.5	3.6	D	b	b	−		−
礫群 1	1	6F-25	0073	B	安山岩10	17.8	12.3	6.6	1.4	D	b	b	−		64.475
礫群 1	1	6F-25	009?	B	安山岩11	15.1	11.1	9.4	1.5	D	b	b	−		−
礫群 1	1	6F-25	0096	B	安山岩12	19.8	16.4	14.3	6.0	D	b	b	−		64.592
礫群 1	1	6F-25	0097	B	安山岩13	31.0	27.5	22.7	12.6	D	b	b	−		64.507
礫群 1	1	6F-34	0005	B	安山岩14	22.4	17.6	12.3	4.5	D	b	b	−		64.552
礫群 2	1	6F-38	0007	B	安山岩15	49.2	41.4	37.2	80.2	D	b	b	−		64.528
礫群 2	1	6F-38	0007	B	安山岩16	30.0	19.9	18.8	9.0	D	b	b	−		64.528
礫群 2	1	6F-38	0013	B	安山岩17	36.7	28.4	16.2	14.4	D	−	b	−		64.532
礫群 2	1	6F-38	0038	B	安山岩18	26.8	22.6	10.5	6.1	D	b	b	−		64.465
礫群 2	1	6F-38	0045	D	安山岩19	53.7	41.4	29.2	48.1	D	−	−	−		64.465
礫群 2	1	6F-39	0008	B	安山岩20	47.5	37.0	35.8	58.6	D	b	b	−		64.510
礫群 2	1	6F-48	0011	B	安山岩21	16.5	10.8	7.0	1.0	D	−	b	−		64.473
	1	5G-56	0001	B	安山岩22	8.4	6.2	4.8	0.2	D	b	b	−		63.828
	1	5G-64	0001	B	安山岩23	24.0	17.4	9.1	3.1	D	b	b	−		63.780
	1	6G-06	0003	B	安山岩25	24.5	22.6	5.1	3.2	D	−	b	−		63.700
	1	6G-50	0004	B	安山岩24	47.7	38.1	23.9	34.2	D	b	−	−		64.525
	1	7G-43	0020	B	安山岩26	14.3	7.7	4.5	0.5	D	b	b	−		63.792
礫群 3	1	7G-43	0035	B	安山岩27	37.4	19.5	8.7	7.1	D	b	b	−		63.960
礫群 3	1	7G-52	0002	D	安山岩28	19.5	14.3	8.8	2.9	D	−	−	−		63.815
礫群 3	1	7G-52	0006	D	安山岩29	6.1	4.4	3.9	0.1	D	−	−	−		63.918
礫群 3	1	7G-53	0001	D	安山岩30	43.8	28.6	17.8	18.1	D	−	−	−		−
礫群 3	1	7G-62	0006	B	安山岩31	21.8	17.1	9.5	1.9	D	b	b	−		63.660
		不明	不明	B	安山岩32	63.9	59.5	31.1	109.3	D	b	b	−		−

第11表　礫群属性表(5)

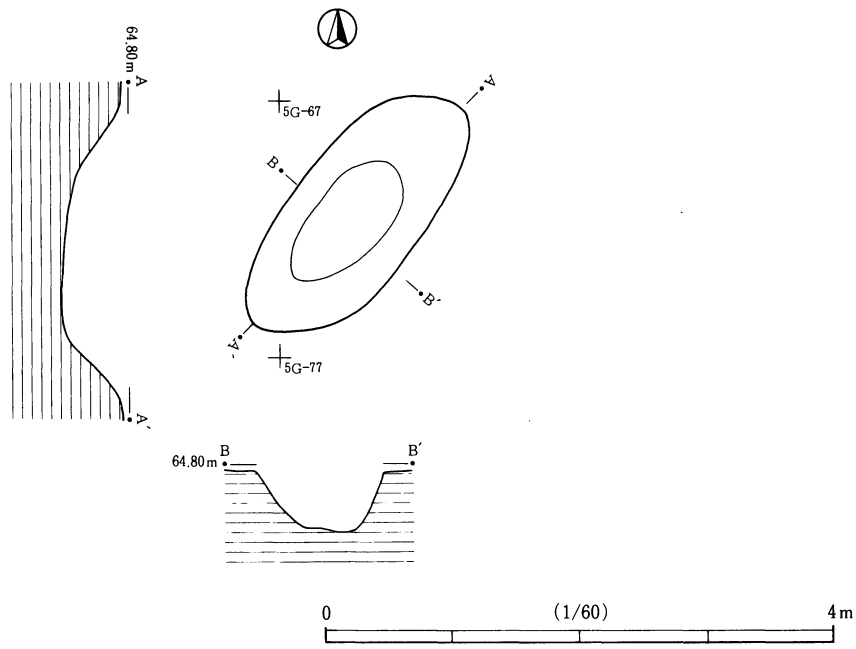
	番号	グリッド	遺物No.	分類	母岩番号	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量 g	遺存	表面赤化	割面赤化	付着	備考	標高
礫群 1	1	6F-07	0001	A	ホルンフェルス1	81.3	49.2	23.0	127.7	A	b	−	−		−
	1	6G-13	0001	A	ホルンフェルス2	83.7	45.0	29.3	153.3	A	c	−	−		−
	1	6G-19	0001	A	ホルンフェルス3	38.8	31.8	27.5	39.3	A	b	−	−		−
	1	6G-69	0001	B	ホルンフェルス4	36.2	35.2	23.9	42.0	D	b	b	−		−
礫群 3	1	7G-43	0062	B	ホルンフェルス5	28.1	27.9	21.6	25.4	D	b	b	−		63.850
礫群 2	1	6F-39	0006	A	凝灰岩1	32.9	29.0	18.4	8.3	A	b	−	−		64.580
礫群 2	1	6F-38	0014	B	凝灰岩2	64.6	52.7	48.2	133.0	D	b	b	−		64.527
礫群 2	2	6F-38	0014	B		38.0	28.7	25.4	23.5	D	b	b	−		64.527
礫群 2	3	6F-38	0014	B		29.0	20.1	12.4	5.8	D	b	b	−		64.527
礫群 2	4	6F-38	0014	B		23.3	22.4	11.0	3.9	D	b	b	−		64.527
				B	凝灰岩2	62.8	65.4	48.2	166.2	D	b	−	−	1～4接合	
	5	6F-00	0001	B	凝灰岩2	16.5	12.7	7.2	1.1	D	b	b	−		−
礫群 2	6	6F-38	0012	B	凝灰岩2	38.5	31.8	27.2	22.2	D	b	b	−		64.526
礫群 2	7	6F-38	0014	B	凝灰岩2	31.8	24.4	17.3	8.9	D	b	b	−		64.527
礫群 2	8	6F-38	0068	B	凝灰岩2	24.1	18.2	12.3	3.3	D	b	b	−		64.514
	1	6F-00	0001	B	凝灰岩3	22.2	14.5	13.6	3.5	D	b	c	−		−
礫群 1	1	6F-15	0005	B	凝灰岩4	35.8	26.0	19.0	9.7	D	b	b	−		64.716
礫群 1	1	6F-16	0018	B	凝灰岩5	18.0	15.4	15.0	1.8	D	b	b	−		64.510
礫群 1	1	6F-16	0030	B	凝灰岩6	25.4	25.1	24.6	7.7	D	b	b	−		64.528
礫群 1	1	6F-16	0032	B	凝灰岩7	23.6	19.2	14.0	4.5	D	b	b	−		64.535
礫群 1	1	6F-25	0016	B	凝灰岩8	26.1	20.2	15.7	6.5	D	b	b	−		64.627
礫群 1	1	6F-25	0100	B	凝灰岩9	22.7	21.7	14.5	4.4	D	b	b	−		64.551
礫群 1	1	6F-25	0121	D	凝灰岩10	26.6	16.4	6.2	3.6	D	−	−	−		64.530
礫群 2	1	6F-38	0026	B	凝灰岩11	39.5	36.1	32.0	27.0	D	b	b	−		64.484
	1	7F-48	0001	B	凝灰岩12	9.7	8.9	6.5	1.0	D	−	b	−		65.658
	1	7G-03	0001	B	凝灰岩13	63.8	36.8	26.9	68.9	D	b	b	−		−
	1	7G-03	0001	B	凝灰岩14	17.0	14.7	8.8	2.6	D	b	b	−		−
礫群 3	1	7G-52	0003	B	凝灰岩15	17.2	13.9	6.9	1.5	D	b	b	−		63.848
礫群 3	1	7G-52	0008	B	凝灰岩16	8.1	4.9	3.5	0.2	D	b	b	−		63.897
礫群 3	1	7G-52	0010	B	凝灰岩17	17.2	15.1	10.0	1.7	D	b	b	−		63.856
礫群 3	1	7G-53	0055	B	凝灰岩18	27.2	20.1	8.8	5.6	D	b	b	−		63.975
礫群 3	1	7G-53	0106	B	凝灰岩19	51.5	38.4	22.1	39.7	D	b	c	−		63.543
礫群 3	1	7G-53	0110	B	凝灰岩20	16.8	9.1	6.8	0.9	D	−	b	−		63.805
礫群 3	1	7G-53	0119	B	凝灰岩21	27.6	21.3	14.9	8.0	D	−	b	−		63.806
礫群 2	1	6F-38	0016	B	カコウ岩1	35.7	30.8	18.0	19.6	D	b	b	−		64.535
礫群 2	2	6F-38	0017	B		44.2	36.8	27.2	44.9	D	b	b	−		64.557
礫群 2	3	6F-49	0006	B		50.0	34.4	20.0	35.5	D	b	b	−		64.499
				B	カコウ岩1	87.9	44.0	34.4	100.0	D	b	−	−	1～3接合	
礫群 2	1	6F-38	0028	B	カコウ岩2	45.0	33.7	29.2	55.9	D	b	b	−		64.497
礫群 2	2	6F-39	0004	B		45.8	33.8	22.5	55.0	D	b	b	−		64.535
礫群 2	3	6F-39	0005	B		28.3	27.4	18.0	19.2	D	b	b	−		64.576
礫群 2	4	6F-47	0001	B		44.1	35.7	23.3	48.4	D	b	b	−		64.417
礫群 2	5	6F-47	0002	B		40.0	29.2	17.1	23.3	D	b	b	−		64.418
				B	カコウ岩2	69.3	63.8	45.6	201.8	D	b	−	−	1～5接合	
	1	6F-00	0001	B	カコウ岩3	16.3	14.4	8.4	1.9	D	b	b	−		−
礫群 1	1	6F-16	0004	B	カコウ岩4	26.0	20.7	9.2	5.9	D	b	b	−		64.727
	1	7G-16	0001	B	カコウ岩5	47.4	40.5	16.1	32.1	D	b	b	−		−
	1	7G-16	0001	B	カコウ岩6	48.9	28.8	13.0	20.3	D	b	b	−		−
礫群 3	1	7G-43	0006	B	カコウ岩7	21.6	12.8	9.5	1.6	D	−	b	−		63.830

第３節　縄文時代（第46図）

縄文時代の遺構は，陥穴１基である。また，調査区全体から縄文土器を検出した。

ＳＫ－００１　５Ｇ-67グリッドで検出された，長さ2.3ｍ，幅1.0ｍ，深さ0.5ｍの陥穴である。

上層の遺構は１基のみであった。

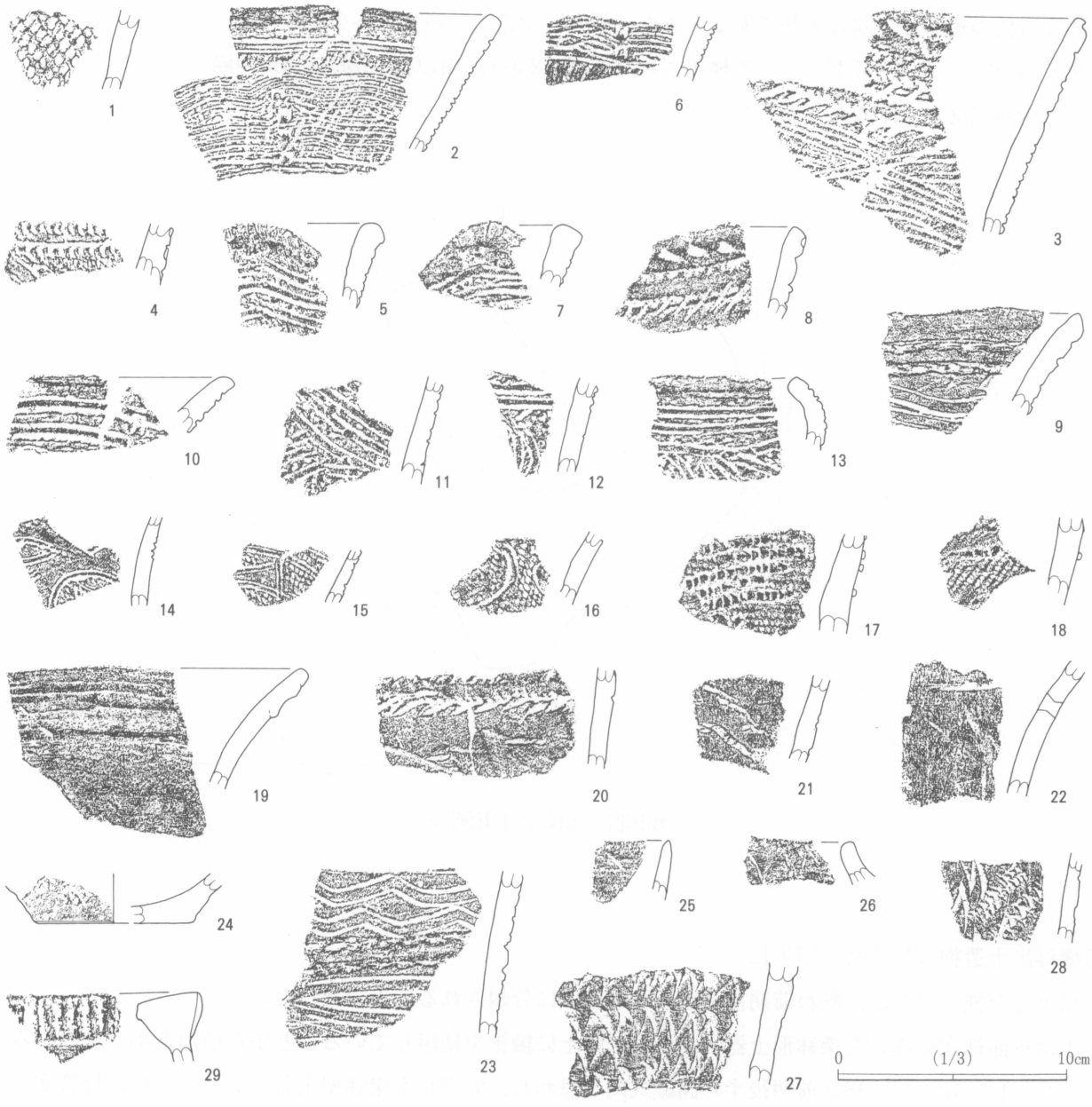


第46図　SK-001実測図

遺構外出土遺物（第47図，図版12）

出土した縄文土器は，概ね前期前半から中期初頭に分類されるものであった。

１は単節縄文を施した深鉢形土器と思われ，胎土に繊維を使用していることから前期前半と思われる。２～９・11・12・14～18は前期後半の諸磯式期と思われ，いずれも深鉢型土器であり，文様は竹管文，爪型文を主体としている。10は朝顔型に開く口縁部を持ち，一部に押引文を施す。13は内湾する口縁部を持つ鉢型土器と思われる。17・18は浮線文を施している。20・21は縄による圧痕が見られる。22は無文である。23・27・28は浮島期と思われ，23は竹管による沈線が施されている。25は無文であり，ミニチュア土器の口縁部の可能性がある。27・28は変形爪形文を施している。29は前期末から中期初頭に属すると思われる。



第47図　遺構外出土縄文土器

第３章　南羽鳥遺跡

第１節　調査の方法と概要

南羽鳥遺跡は，木更津市畑沢字小袖1461-1ほかに所在する。木更津市市街地から南東へ約５㎞，畑沢川の最上流部に位置し，標高は95ｍを測る。調査地のある台地上面は，西から進入する畑沢川の支谷と北側から進入する烏田川水系の支谷によって幅の狭い起伏に富んだ地形を呈しており，傾斜面と平坦部との比高は約10ｍを測る。調査にあたっては，調査範囲全体を覆うように，国土地理院の国土方眼座標を基準としたグリッドの設定を行った。大グリッドは20ｍ×20ｍを基本として，北西隅を起点に西から東へＡ・Ｂ・Ｃ…，北から南に１・２・３…とした。小グリッドは，大グリッドをさらに２ｍ×２ｍに100分割し，北西隅を起点に西から東へ00～09，北から南へ00～90とした。各小グリッド番号は，１Ａ-00，２Ｂ-21と表記した。

上層の確認調査は，調査対象面積の10％を目安に，調査対象区域についてトレンチによる調査を実施した。トレンチは調査地の地形に合わせて設定した。その結果，馬の背状の台地平坦部と傾斜面の一部に縄文時代の竪穴住居跡とピット群，礫群を伴う遺物包含層（Ⅱｂ，Ⅱｂ′層），奈良・平安時代の火葬墓などを検出した。また，遺構・遺物の希薄な部分もあったので，それらの地域を除外し，2,194㎡の範囲を対象として本調査を実施した。遺構の分布は調査区北側の傾斜面と西側と東側の台地平坦部の，大きく３か所の地点に集中する傾向が認められた。本調査の結果，縄文時代早期の遺物集中地点３か所，竪穴住居跡１軒，土坑41基，ピット群６基，ピット19基，古墳時代の方形周溝状遺構１基，奈良・平安時代の火葬墓３基，中・近世の道路跡３条などを調査した。

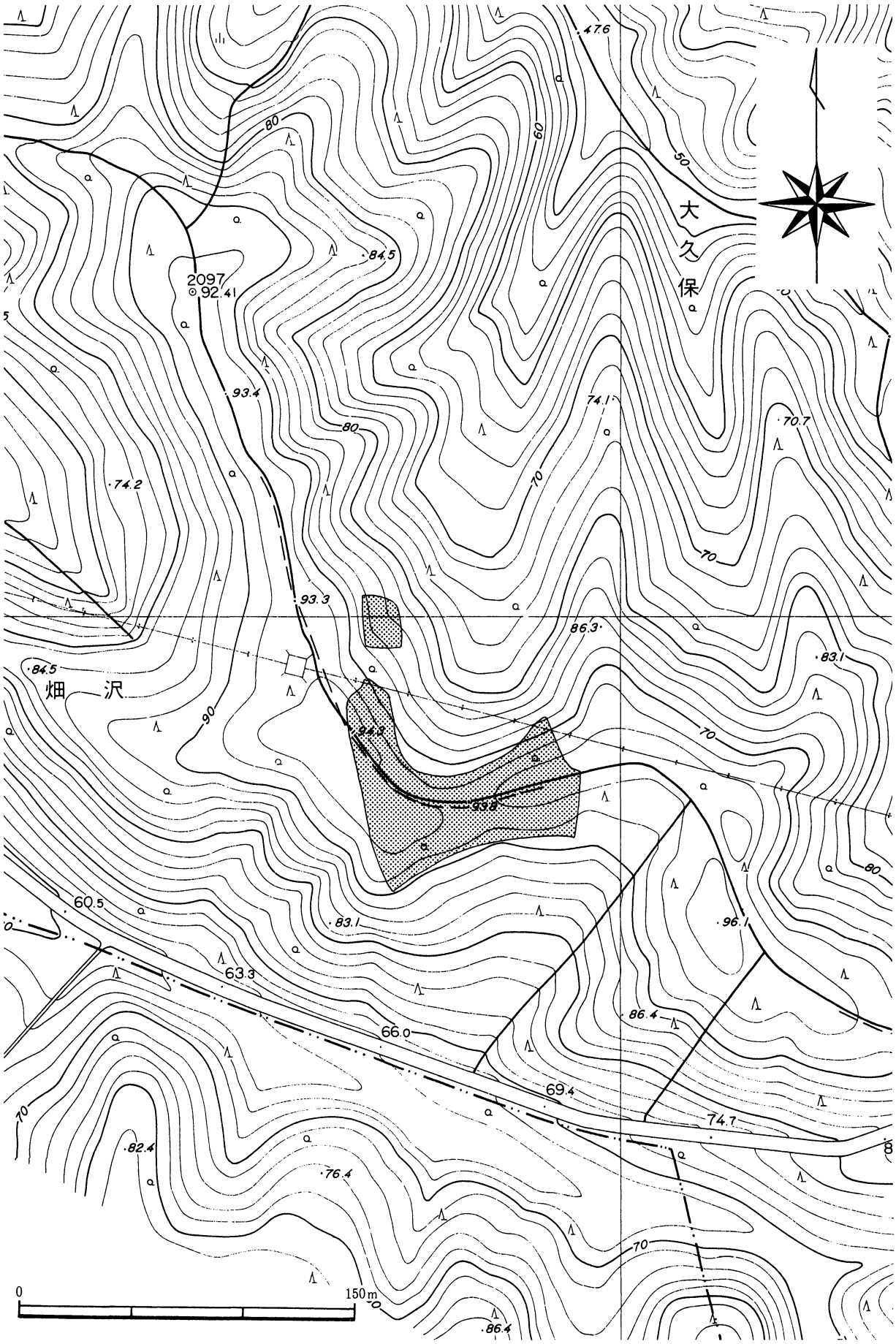
下層の確認調査は，調査対象面積の２％を目安として，２ｍ×２ｍの小グリッドを設定して実施したが遺物等は検出されなかった。

なお，調査にあたっては遺構の種別毎にアルファベットの略号を付し，ＳＩ＝住居跡，ＳＫ＝土坑，ＳＨ＝ピット群及びピット，ＳＳ＝方形周溝状遺構，ＳＤ＝道路跡とした。遺構番号は遺構種別毎の番号ではなく，遺構全体の通し番号を付している。本報告では基本的に調査時の遺構番号を踏襲したが，遺構種別毎の番号を付していないため，遺構種別の略号は省略した。また，土坑とピットについては調査時の遺構分類を尊重したが，整理時の検討を加えた上で変更しているものもある。

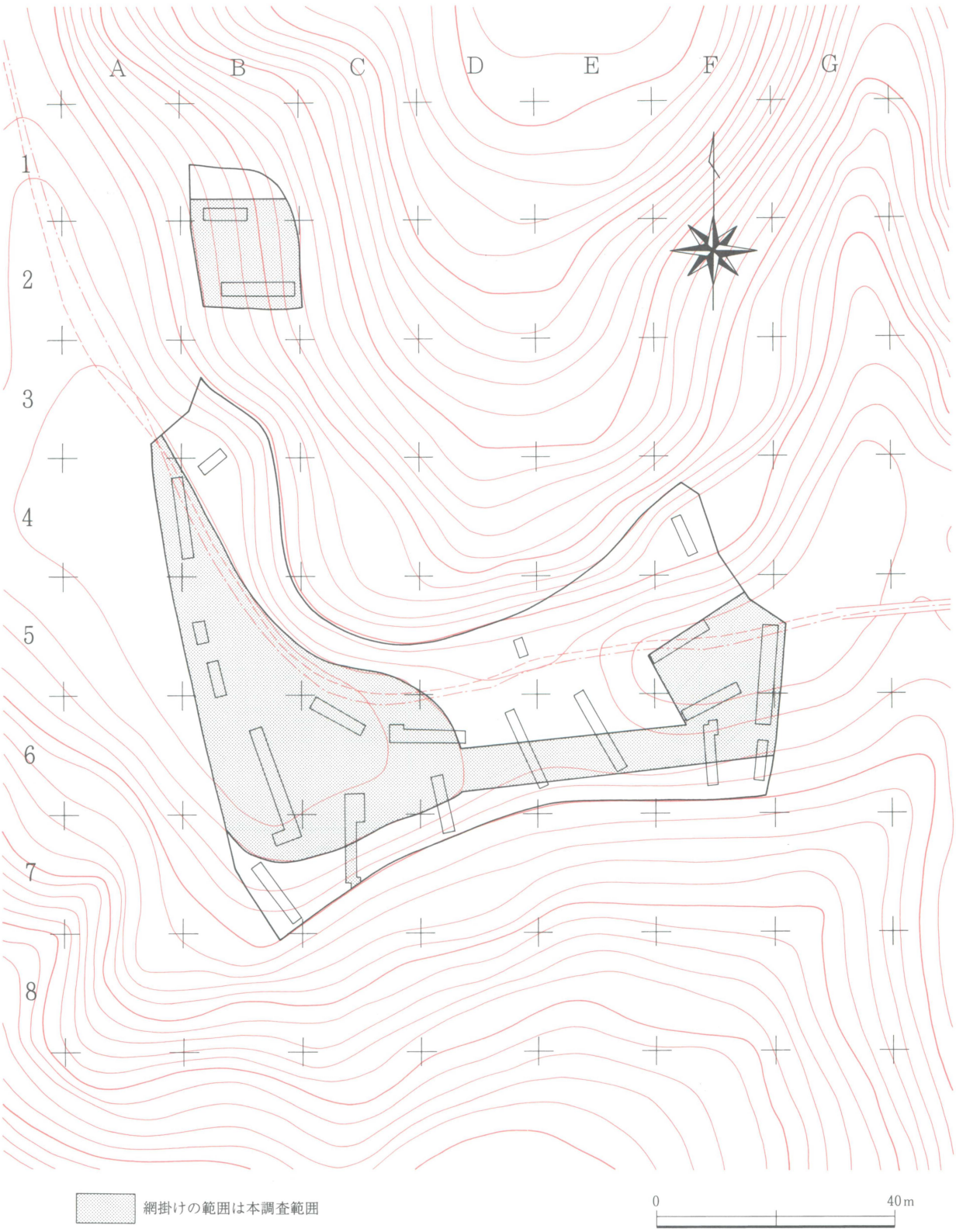
第２節　縄文時代

１　概要

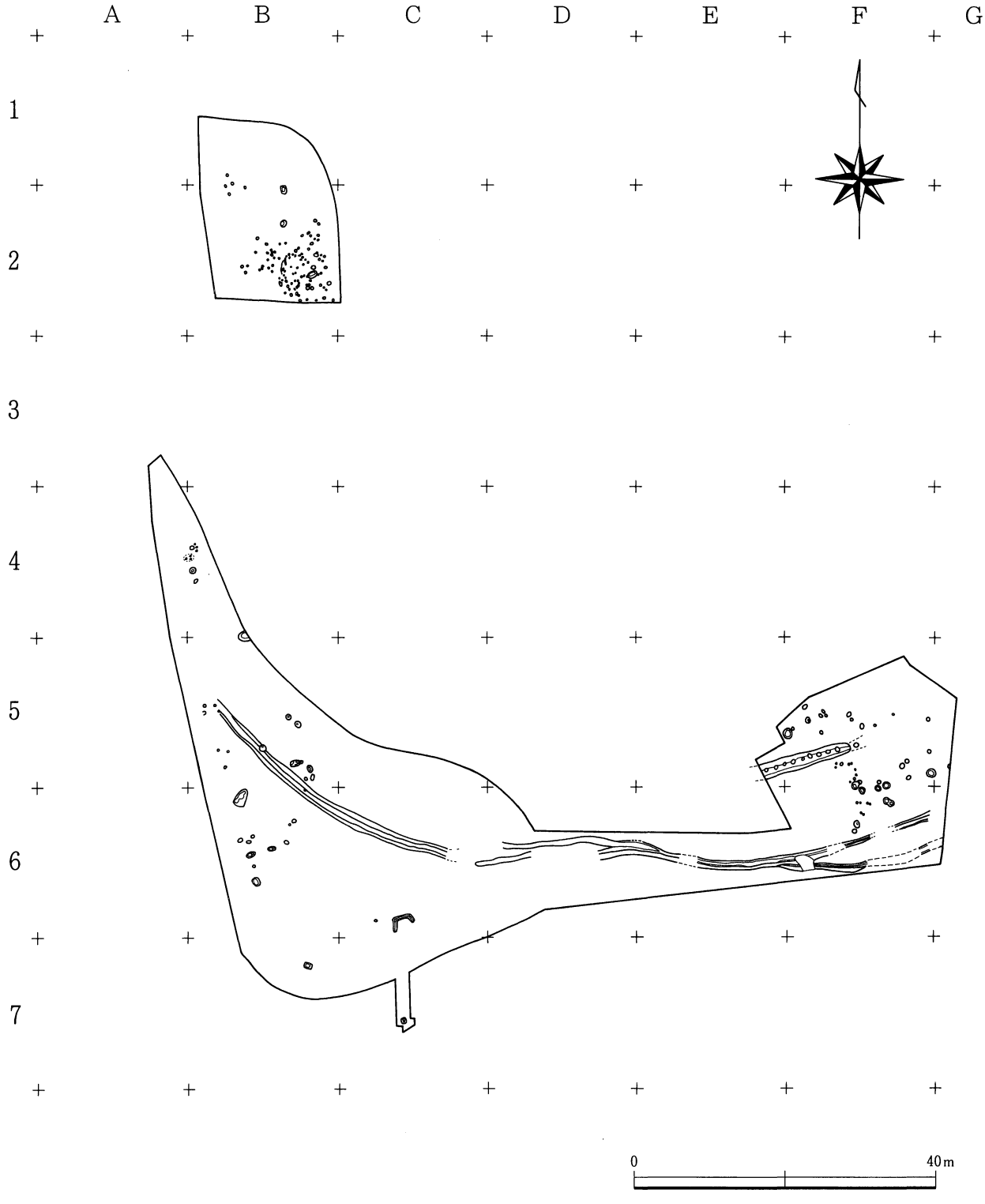
縄文時代の遺構・遺物は，概要でも示したように調査区北側，西側，東側の大きく３か所の地点に分散する傾向があり，早期の撚糸文系土器を伴う礫群と竪穴住居跡１軒，土坑41基・ピット群６群，ピット19基が検出されている。これらの遺構の時期は，遺構の分布と礫群の分布域は必ずしも一致しないが，土坑覆土内から礫や撚糸文系の土器片が出土していることから，早期と位置づけた。他に中期後半と晩期の土器片が出土しているが，量的には微量である。



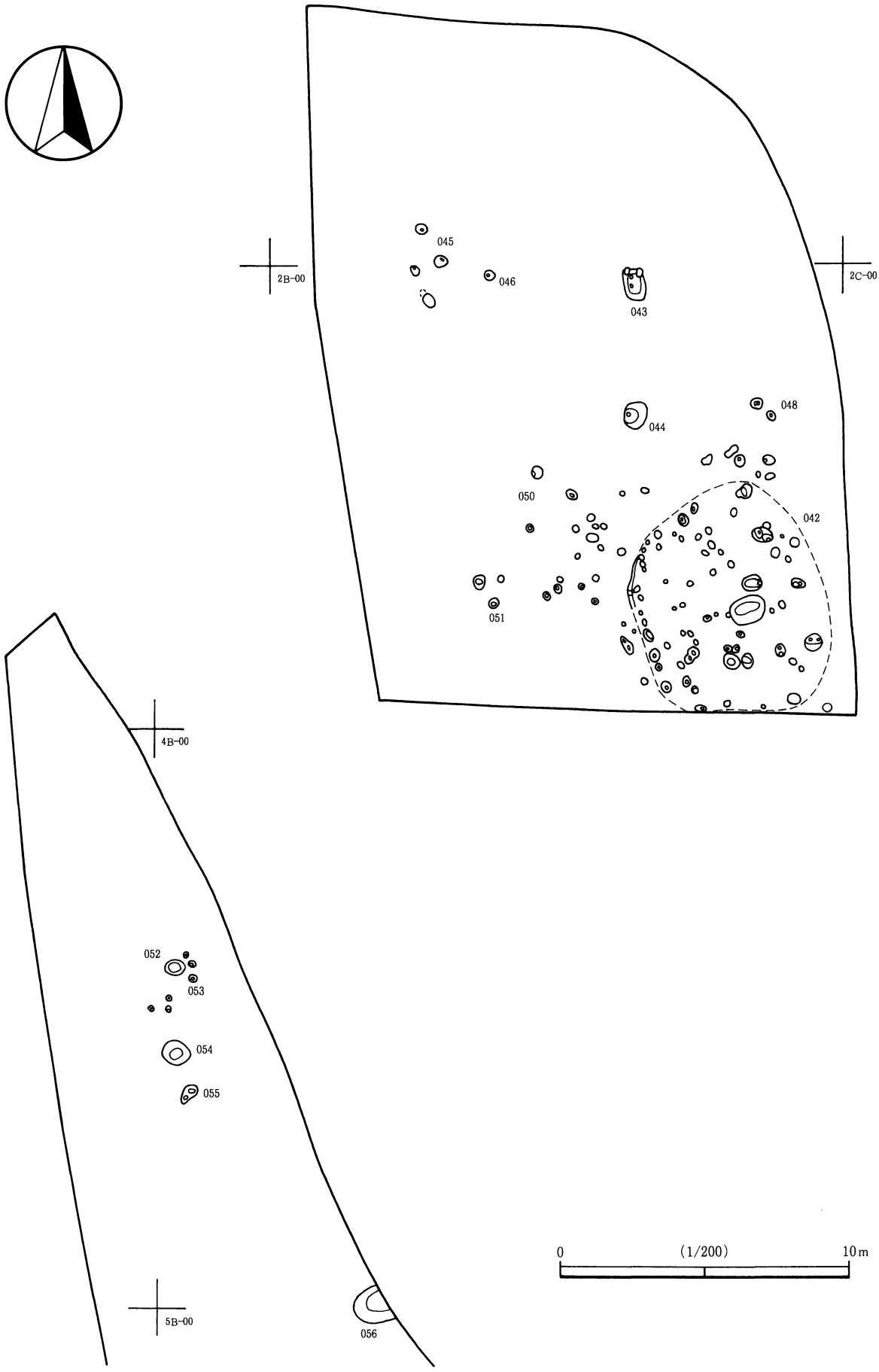
第48図　遺跡周辺地形図(1/2,500)



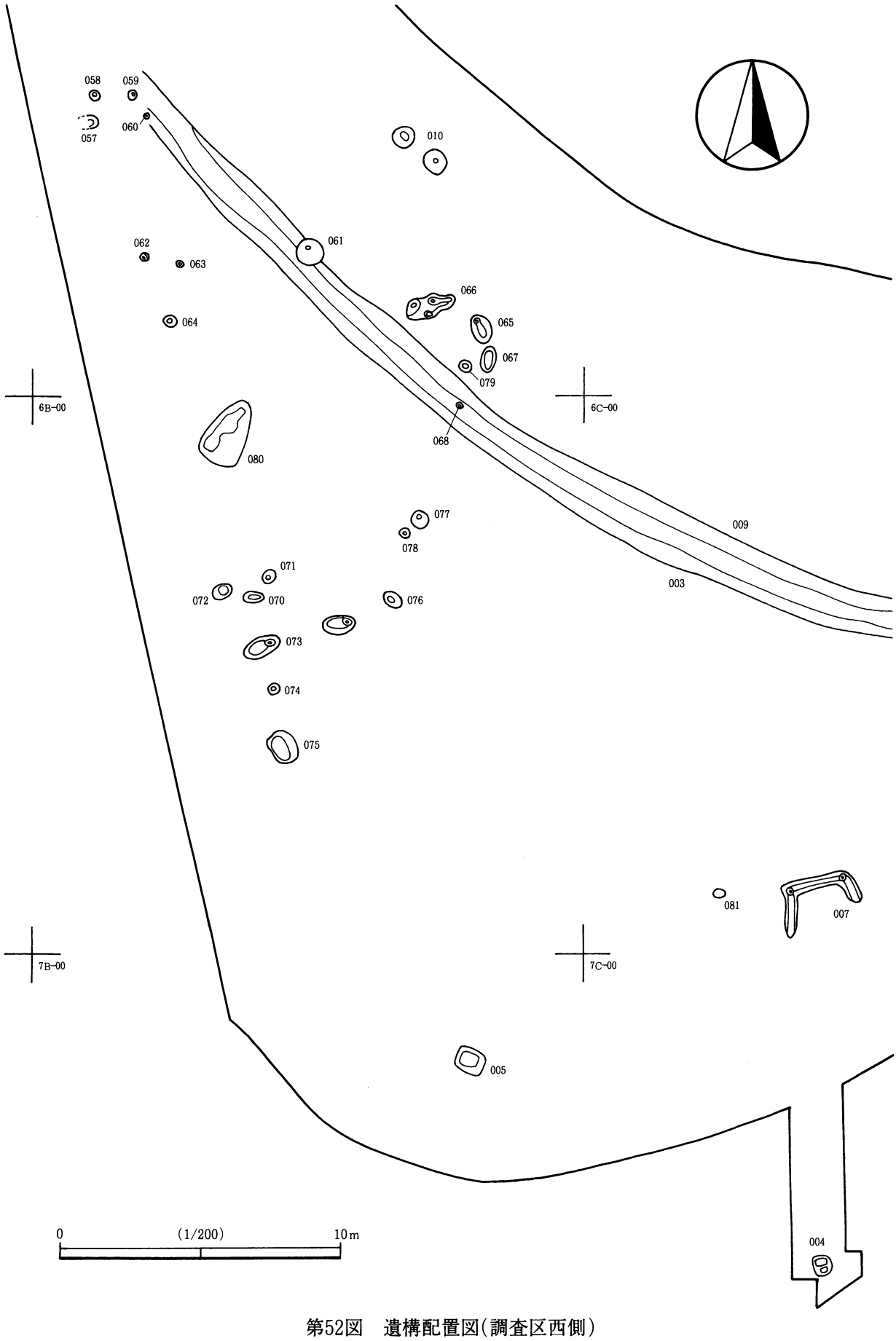
第49図　確認調査及び本調査範囲(上層)(1/1,000)



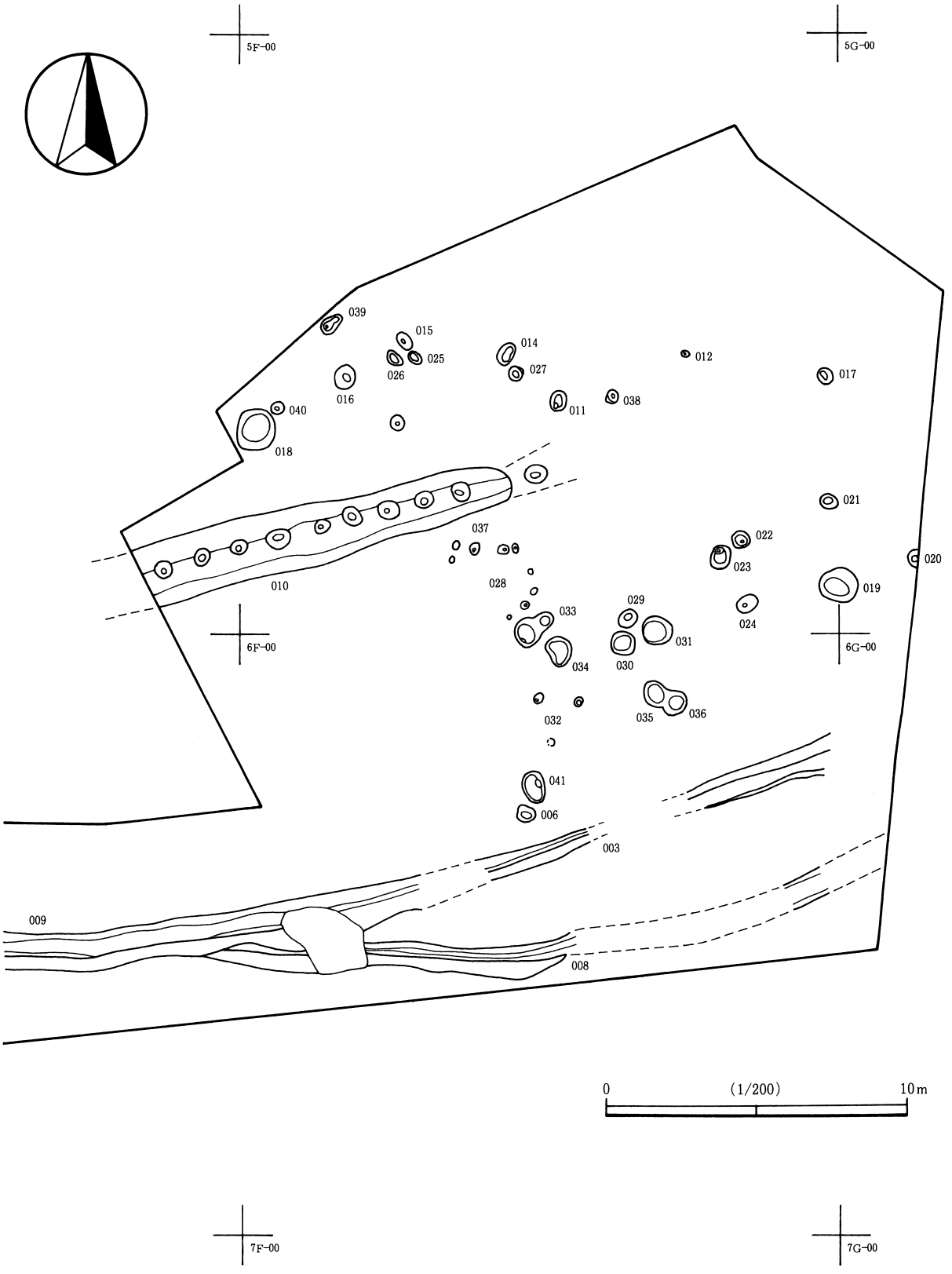
第50図　遺構配置図(全体)(1/800)



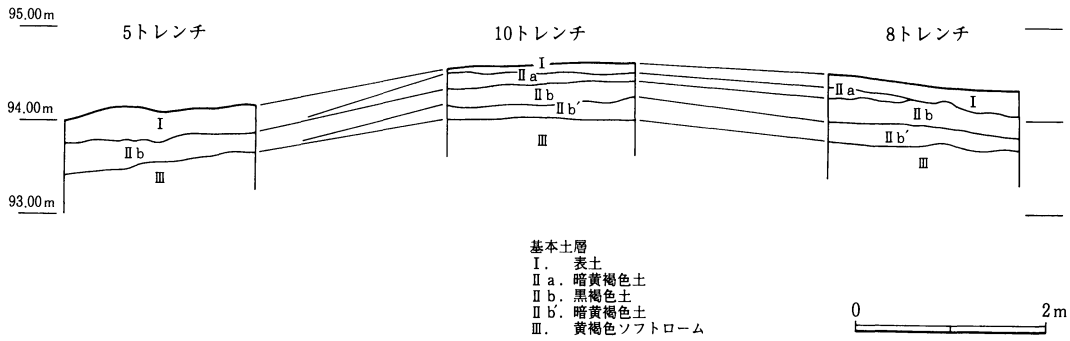
第51図　遺構配置図(調査区北側・西側)



第52図　遺構配置図(調査区西側)



第53図　遺構配置図(調査区東側)



第54図　基本土層柱状図

2　竪穴住居跡

042（第55図，図版15）

北側傾斜面部，2B-67グリッドを中心に検出された。遺構検出面はⅢ層ソフトローム層上面で，西から東へ傾斜している。2基の炉とほぼ同心円上に回るピットが検出され，西側で延長2m程度のわずかな壁面が確認されたことから，住居跡とした。平面形は西壁の状況とピットの分布域を考慮すると楕円形あるいは隅丸方形で，その規模は南北方向で約8m，東西方向で約7mと思われる。床面は遺存していない。2基の炉は北側を1号，南側を2号とした。1号炉は楕円形の掘り方で，長軸75cmである。火床部がやや西に偏っている。東端に径20cm，深さ26cmのピットがあるが，炉に伴うかどうかは判断できない。2号炉は楕円形の掘り方で，長軸136cmである。火床部の一部を掘り過ぎたため，被熱した範囲は不明であるが，5cmほどの厚さで焼土が堆積していた。掘り方の底面全体に粘土が敷かれるのが特徴的である。

ピットは住居推定範囲内とその周辺の047号，050号などのピット群が数多く検出されている。住居推定範囲内でのピットの総数は73基を数えるが，形や径・深さなど，規模は一定していない。炉の西側に径20cm前後，深さ20cm前後の小形のピットが集中する傾向がある。住居推定範囲の内側に沿うピットは深さ20cm～30cm，若しくはは30cmを越えるものが多い。炉の東側のピットは，全体的に深く，掘り方が複数重なる。

ピット内あるいは炉内から出土した遺物はない。確認調査時のトレンチ内から礫と撚糸文土器が出土していることから，本住居跡もほぼ同時期の所産と考えられる。

3　土坑

011（第56図）

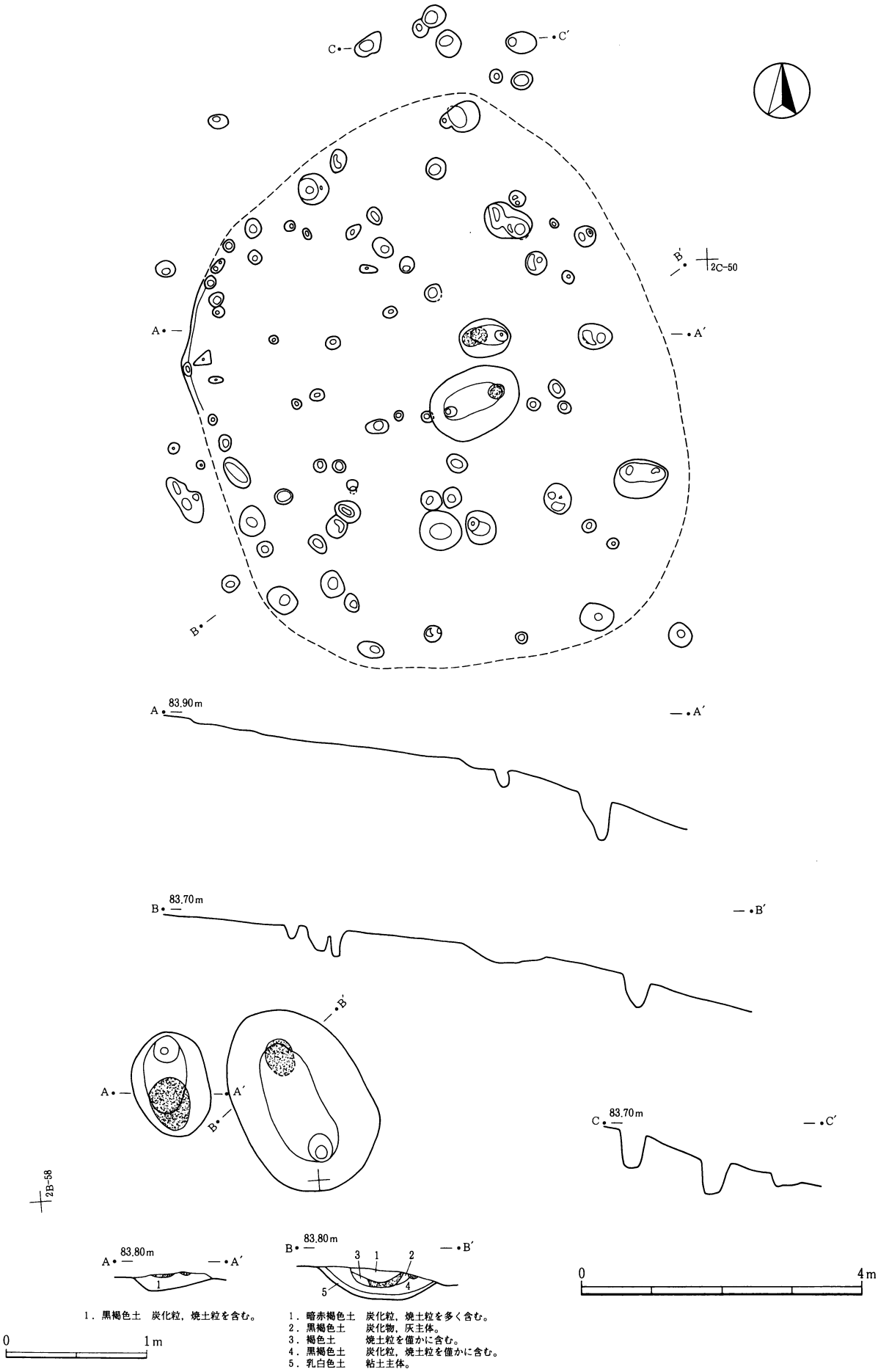
調査区東側，5F-55・65グリッドに位置する。平面形は長軸78cm，短軸56cmの楕円形である。北側から南側に深く掘り込まれており，南壁際はピット状になっている。確認面からの深さは36cmである。

遺物は出土していない。

014（第56図，図版15）

調査区東側，5F-54グリッドに位置する。南側に027が近接して掘り込まれる。平面形は長軸80cm，短軸55cmのほぼ楕円形である。東壁沿いがわずかにテラス状に高くなる。確認面からの深さは33cmである。

遺物は出土していない。



1．黒褐色土　炭化粒，焼土粒を含む。

1．暗赤褐色土　炭化粒，焼土粒を多く含む。
2．黒褐色土　炭化物，灰主体。
3．褐色土　焼土粒を僅かに含む。
4．黒褐色土　炭化粒，焼土粒を僅かに含む。
5．乳白色土　粘土主体。

第55図　042実測図

015（第56図，図版15）

調査区東側，５Ｆ-52グリッドに位置する。南側に025，026が近接して掘り込まれる。平面形は長軸65cm，短軸42cmの楕円形である。底面の幅が狭く，断面形は擂り鉢状である。確認面からの深さは31cmである。

遺物は出土していない。

016（第56図）

調査区東側，５Ｆ-51グリッドに位置する。平面形は長軸85cm，短軸70cmのほぼ楕円形である。断面形は擂り鉢状で，確認面からの深さは32cmである。

遺物は礫片１点が底面からやや上で出土している。

017（第56図，図版15）

調査区東側，５Ｆ-59グリッドに位置する。平面形は長軸58cm，短軸52cmの不整形である。底面中央部より壁際で深く掘り込まれており，確認面からの深さは北側で18cmである。

遺物は出土していない。

018（第56図，図版15）

調査区東側，５Ｆ-60グリッドに位置する。北西側に040が近接している。平面形は長軸1.43ｍ，短軸1.37ｍのほぼ円形である。遺構の掘り込みはしっかりとしており，底面はほぼ平坦である。確認面からの深さは55cmである。

遺物は出土していない。

019（第56図，図版15）

調査区東側，５Ｆ-88・89グリッドに位置する。平面形は長軸1.28ｍ，短軸1.16ｍのほぼ円形である。底面は起伏がなく，ほぼ平坦である。確認面からの深さは29cmである。

遺物は出土していない。

020（第56図，図版16）

調査区東側，５Ｇ-70グリッドに位置する。遺構の一部が調査区外に延びるため，全体の形状，規模は不明である。調査した部分では幅59cm，長さ46cm，確認面からの深さが31cmである。調査区境の土層断面では，縄文時代早期の遺物包含層であるⅡb'層上面から掘り込まれているのが観察されている。

遺物は覆土中から撚糸文系の深鉢胴部片１点が出土している。細片のため図示できないが，本土坑の時期と大差ないと考えられる。

022（第56図）

調査区東側，５Ｇ-77グリッドに位置する。南西側に023が近接する。平面形は長軸63cm，短軸59cmのほぼ円形である。底面はわずかな凹凸が認められる。確認面からの深さは32cmである。

遺物は出土していない。

023（第56図）

調査区東側，５Ｇ-76・77グリッドに位置する。北東側に022が近接する。平面形は長軸83cm，短軸70cmの楕円形である。底面は南から北に向かって傾斜し，北壁際で一段低くピット状に掘り込まれる。確認面からの深さは24cmである。

遺物は出土していない。

029（第57図）

調査区東側，５Ｆ-96グリッドに位置する。南側に030，東側に031が近接する。平面形は長軸66cm，短軸62cmのほぼ円形である。底面は起伏がなく，断面の形状は擂り鉢状である。確認面からの深さは33cmである。

遺物は出土していない。

030（第57図）

調査区東側，６Ｆ-06グリッドに位置する。北側に029，東側に031が近接する。平面形は長軸84cm，短軸80cmのほぼ円形である。底面は起伏がなく，平坦である。確認面からの深さは19cmである。

遺物は出土していない。

031（第57図）

調査区東側，５Ｆ-96，６Ｆ-07グリッドに位置する。西側に029，030が近接する。平面形は長軸108cm，短軸98cmのほぼ円形である。底面はわずかな起伏があるが，ほぼ平坦である。壁は西側で傾斜が強い。確認面からの深さは20cmである。

遺物は出土していない。

033（第57図，図版16）

調査区東側，５Ｆ-94，６Ｆ-04グリッドに位置する。北西側に028のピット⑦・⑧が，南東側に034が近接する。平面形は径１ｍほどの円形の土坑の北東側に，もう一つ土坑が重複しているような形をしている。全体の規模は長軸1.48ｍ，北西側短軸98cm，北東側短軸54cmである。底面は北東側から北西側に向かって傾斜する。北西側壁際に径19cm，深さ10cmのピットが掘り込まれる。確認面からの深さは12cm～24cmである。

遺物は出土していない。

034（第57図，図版16）

調査区東側，６Ｆ-05グリッドに位置する。北西側に034が近接する。平面形は長軸1.02ｍ，短軸70cmの不整形である。底面はほぼ平坦で，確認面からの深さは19cmである。

遺物は出土していない。

035・036（第57図，図版16）

調査区東側，６Ｆ-06・17グリッドに位置する。２基の土坑が重複するが，新旧関係は不明である。

035は東側で036と切り合い，径80cm，確認面からの深さは25cmである。平面形は楕円形になると思われる。

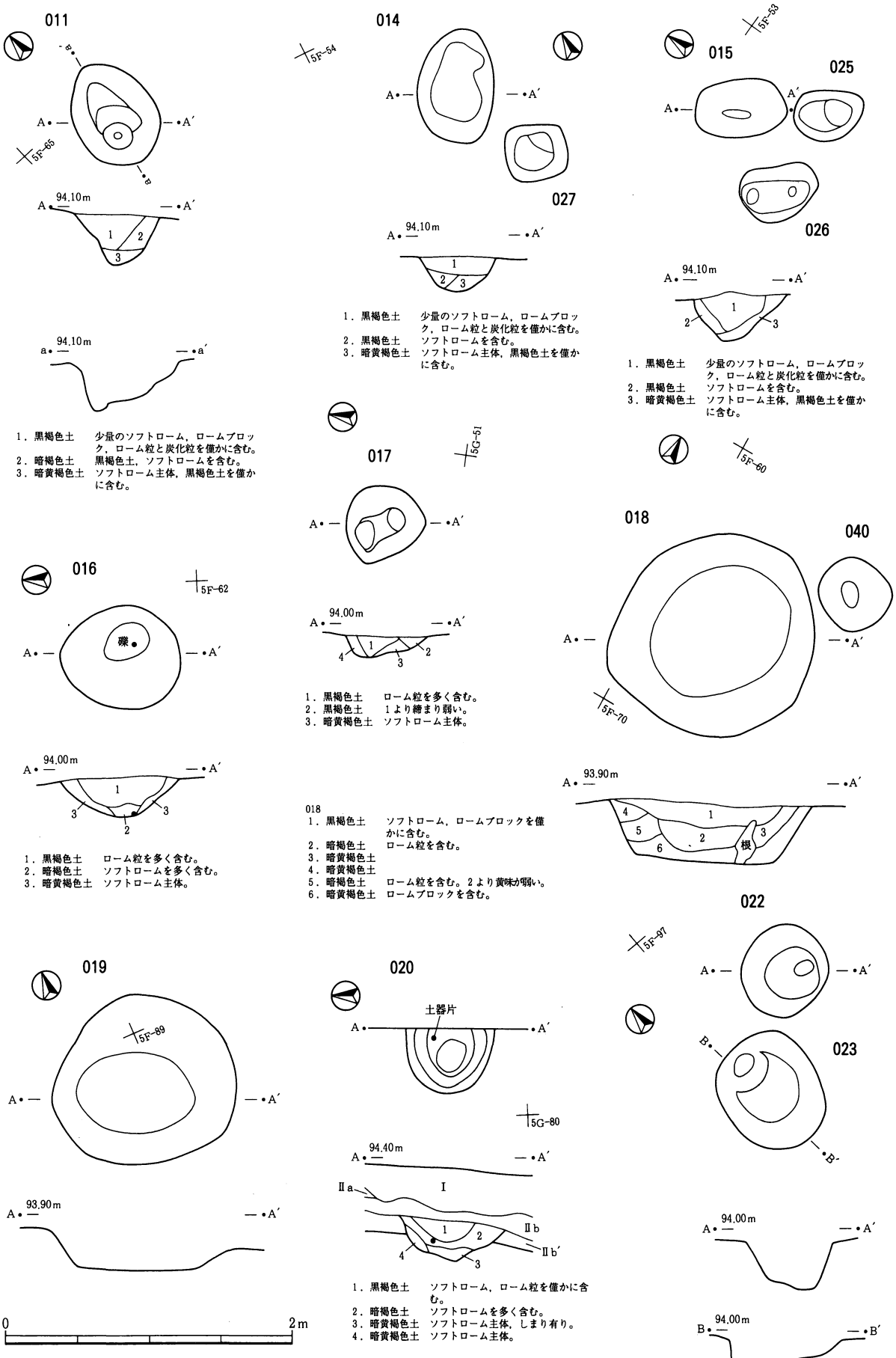
036は西側で035と切り合い，長軸92cmである。平面形は楕円形になると思われる。確認面からの深さは49cmである。

遺物は035，036共に覆土中から出土していないが，035の確認面から５cm程上面で礫２点が出土している。

041（第57図，図版16）

調査区東側，６Ｆ-24グリッドに位置する。平面形は長軸1.12ｍ，短軸79cmの楕円形である。底面は北東側に向かって緩やかに傾斜し，東壁直下に長径31cm，深さ７cmのピットが掘り込まれる。

遺物は出土していない。


011
5F-65
94.10m
1．黒褐色土　少量のソフトローム，ロームブロック，ローム粒と炭化粒を僅かに含む。
2．暗褐色土　黒褐色土，ソフトロームを含む。
3．暗黄褐色土　ソフトローム主体，黒褐色土を僅かに含む。
014
5F-54
027
94.10m
1．黒褐色土　少量のソフトローム，ロームブロック，ローム粒と炭化粒を僅かに含む。
2．黒褐色土　ソフトロームを含む。
3．暗黄褐色土　ソフトローム主体，黒褐色土を僅かに含む。
015
5F-53
025
026
94.10m
1．黒褐色土　少量のソフトローム，ロームブロック，ローム粒と炭化粒を僅かに含む。
2．黒褐色土　ソフトロームを含む。
3．暗黄褐色土　ソフトローム主体，黒褐色土を僅かに含む。
017
5G-51
5F-60
018
040
5F-70
94.00m
1．黒褐色土　ローム粒を多く含む。
2．黒褐色土　1より締まり弱い。
3．暗黄褐色土　ソフトローム主体。
016
5F-62
礫
94.00m
1．黒褐色土　ローム粒を多く含む。
2．暗褐色土　ソフトロームを多く含む。
3．暗黄褐色土　ソフトローム主体。
018
1．黒褐色土　ソフトローム，ロームブロックを僅かに含む。
2．暗褐色土　ローム粒を含む。
3．暗黄褐色土
4．暗黄褐色土
5．暗褐色土　ローム粒を含む。2より黄味が弱い。
6．暗黄褐色土　ロームブロックを含む。
93.90m
根
022
5F-97
023
019
5F-89
93.90m
020
土器片
5G-80
94.40m
Ⅱa
Ⅰ
Ⅱb
Ⅱb′
1．黒褐色土　ソフトローム，ローム粒を僅かに含む。
2．暗褐色土　ソフトロームを多く含む。
3．暗黄褐色土　ソフトローム主体，しまり有り。
4．暗黄褐色土　ソフトローム主体。
94.00m
94.00m
0
2m

第56図　土坑実測図(1)

043（第57図，図版16）

調査区北側斜面，２Ｂ-06グリッドに位置する。平面形は長軸1.24ｍ，短軸74cmの不整形である。底面には径10cm～34cm，深さ５cm～16cmの大小のピットが穿たれる。

遺物は出土していない。

044（第57図，図版17）

調査区北側斜面，２Ｂ-26グリッドに位置する。平面形は長軸95cm，短軸84cmのほぼ楕円形である。底面は二段に掘り込まれ，断面形が漏斗状を呈する。確認面からの深さは97cmである。

遺物は出土していない。

052（第58図，図版17）

調査区西側，４Ｂ-40グリッドに位置する。東側から南西側にピット群053が近接する。平面形は長軸70cm，短軸55cmの楕円形である。底面に小さな窪みが３か所認められる。土坑断面は椀のような形状である。

遺物は出土していない。

054（第58図，図版17）

調査区西側，４Ｂ-50グリッドに位置する。北側に052，053が存在する。平面形は長軸95cm，短軸92cmのほぼ円形である。底面の形状は丸く，壁から緩やかな傾斜で掘り込まれている。確認面からの深さは25cmである。

遺物は出土していない。

056（第58図，図版17）

調査区西側，４Ｂ-93，５Ｂ-03グリッドに位置する。一部調査を行っていないため，全体の形状は不明である。検出面での最大幅は1.35ｍである。底面は二段に掘り込まれ，中央部が幅14cm，深さ10cmの溝状になっている。確認面からの深さは64cmである。

遺物は出土していない。

057・058・059・060（第58図，図版17）

調査区西側，５Ｂ-41・51グリッドに位置する。それぞれ近接して掘り込まれている。

057は調査区外に遺構の一部が延びるため，全体を調査していない。検出面での最大幅は48cmである。底面はほぼ平坦で，確認面からの深さは10cmである。

058は平面形がほぼ円形で，長軸42cm，短軸39cmである。底面はほぼ平坦で，確認面からの深さは10cmである。

059は平面形がほぼ楕円形で，長軸40cm，短軸33cmである。掘り方の断面形は逆台形状を呈し，確認面からの深さは11cmである。

060は平面形がほぼ円形で，長軸28cm，短軸25cmである。確認面からの深さは17cmである。

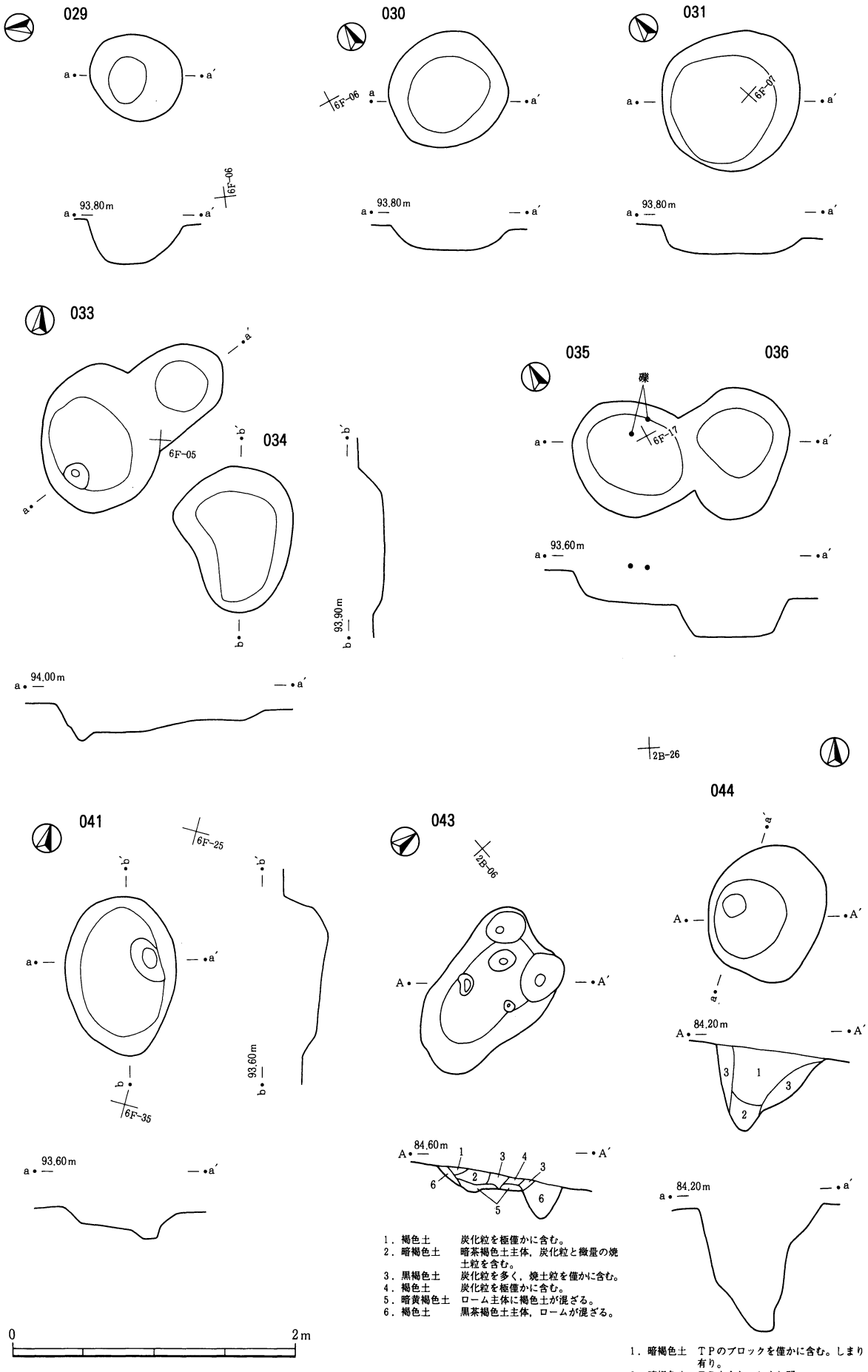
それぞれ，遺物は出土していない。

061（第58図，図版17）

調査区西側，５Ｂ-74・75グリッドに位置する。平面形は長軸50cm，短軸48cmのほぼ円形である。底面は北側に寄り，擂り鉢状に窪んでいる。確認面からの深さは26cmである。

遺物は出土していない。

065（第58図）



1．褐色土　炭化粒を極僅かに含む。
2．暗褐色土　暗茶褐色土主体，炭化粒と微量の焼土粒を含む。
3．黒褐色土　炭化粒を多く，焼土粒を僅かに含む。
4．褐色土　炭化粒を極僅かに含む。
5．暗黄褐色土　ローム主体に褐色土が混ざる。
6．褐色土　黒茶褐色土主体，ロームが混ざる。

1．暗褐色土　TPのブロックを僅かに含む。しまり有り。
2．暗褐色土　TPを含む。しまり弱い
3．褐色土　黄褐色土，TPを含む。

第57図　土坑実測図(2)

調査区西側，５Ｂ-88グリッドに位置する。067，079が南に近接する。平面形は長軸1.04ｍ，短軸72cmのほぼ楕円形である。底面はほぼ平坦で，確認面からの深さは19cmである。北壁際に径24cm，深さ41cmのピットが掘り込まれる。

遺物は出土していない。

066（第59図）

調査区西側，５Ｂ-88・87グリッドに位置する。065が南東側に近接する。平面形は長軸1.85ｍ，短軸80cmの不整形である。底面の起伏が大きく，窪みなど凹凸が認められる。全体の形状や底面の状況から，数基の土坑が重複していると思われるが，詳細は不明である。確認面からの深さは13cm～24cmである。南側の壁際に掘り込まれたピットは径24cm，深さ27cmである。

遺物は出土していない。

067（第58図）

調査区西側，５Ｂ-98グリッドに位置する。065が北に，079が西に近接する。平面形は長軸96cm，短軸50cmのほぼ楕円形である。底面は若干起伏があるものの，概ね平坦である。確認面からの深さは12cmである。

遺物は出土していない。

068（第58図）

調査区西側，６Ｂ-07グリッドに位置する。北側約１ｍに079が存在する。平面形は長軸29cm，短軸25cmのほぼ円形である。底面は平坦で，しっかりとした掘り方である。形態的にはピットとみて良い。

遺物は出土していない。

069（第59図，図版18）

調査区西側，６Ｂ-35・45に位置する。北東側に約1.3ｍ離れて，076が存在する。平面形は長軸1.25ｍ，短軸67cmのやや歪んだ楕円形である。底面は東側壁際が浅く窪むほかは，ほぼ平坦である。確認面からの深さは20cmである。

遺物は出土していない。

070・071・072（第59図，図版18）

調査区西側，６Ｂ-33・34グリッドに位置し，それぞれ近接して掘り込まれている。

070の平面形は長軸80cm，短軸42cmの細長い楕円形である。掘り方は，西側の壁が比較的緩やかなのに対して，東側では垂直に近い立ち上がり方である。底面はほぼ平坦で，確認面からの深さは26cmである。

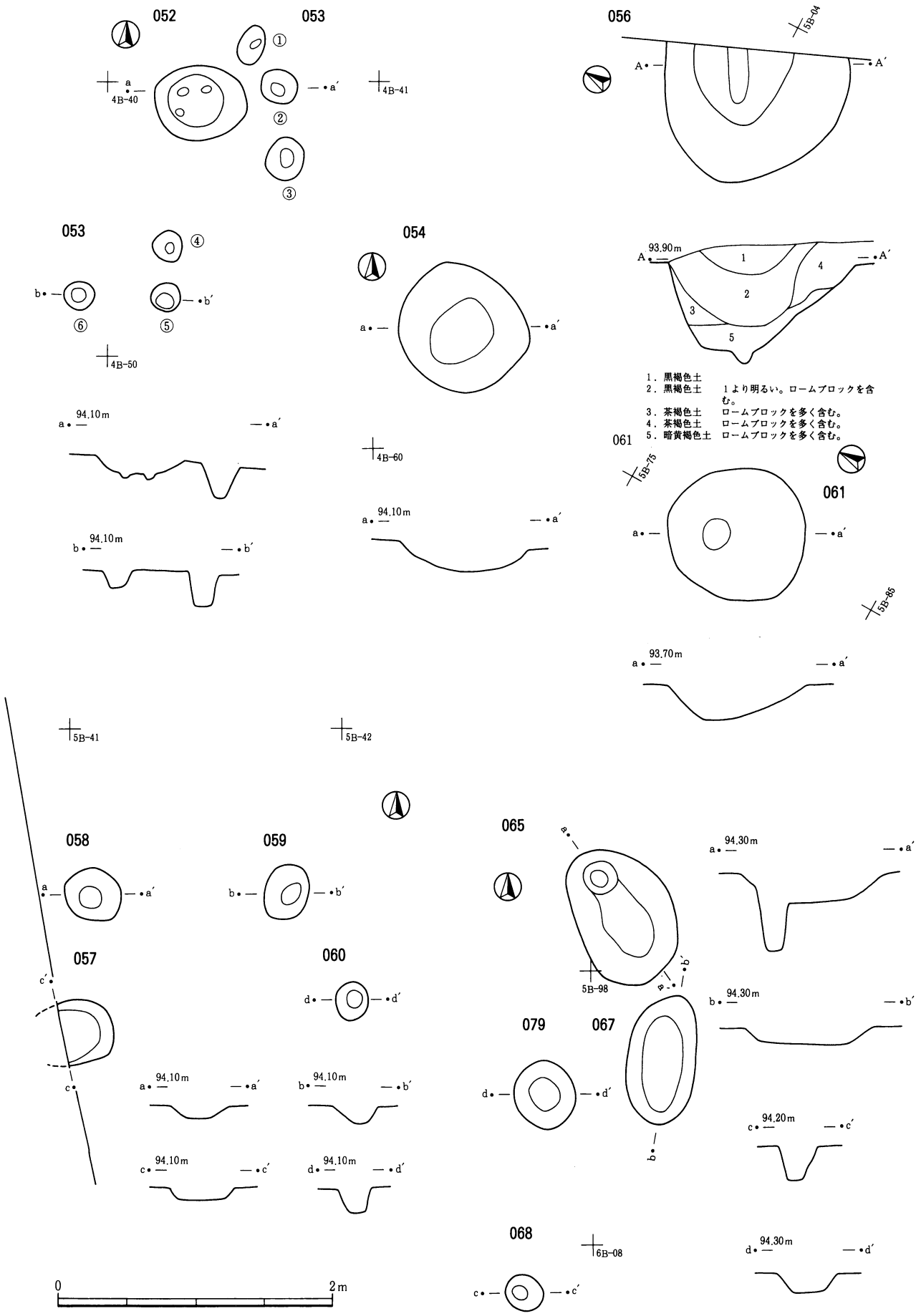
071の平面形は長軸60cm，短軸45cmのほぼ楕円形である。底面は径16cmの円形に掘り込まれ，やや南西側に偏っている。確認面からの深さは22cmである。

072の平面形は長軸78cm，短軸59cmのやや歪んだ楕円形である。底面は平坦で，方形に近い形に掘り込まれる。確認面からの深さは15cmである。

それぞれ，遺物は出土していない。

073（第59図，図版18）

調査区西側，６Ｂ-43・44グリッドに位置する。070の一群から南に約1.2ｍの距離にある。平面形は長軸1.45ｍ，短軸75cmの歪んだ楕円形である。底面は若干起伏が認められ，中央から北東寄りに径30cm，深さ６cmの浅い窪みがある。確認面からの深さは20cmである。


052
053
056
053
054
061
061
058
059
057
060
065
079
067
068
4B-40
4B-41
4B-50
4B-60
5B-04
5B-75
5B-85
5B-41
5B-42
5B-98
6B-08
93.90m
94.10m
93.70m
94.30m
94.20m
1．黒褐色土
2．黒褐色土　1より明るい。ロームブロックを含む。
3．茶褐色土　ロームブロックを多く含む。
4．茶褐色土　ロームブロックを多く含む。
5．暗黄褐色土　ロームブロックを多く含む。
0
2m

第58図　土坑実測図(3)

遺物は出土していない。

074（第59図，図版20）

調査区西側，６Ｂ-54グリッドに位置する。073から南側に約１ｍの距離にある。やや歪んだ方形のピットで，長軸42cm，短軸36cmである。確認面からの深さは41cmである。

遺物は出土していない。

075（第59図）

調査区西側，６Ｂ-65グリッドに位置する。平面形は長軸57cm，短軸47cmの隅丸長方形である。底面は楕円形に近い平面形で，わずかに起伏が認められる。壁は西・北・南側で垂直に近い傾斜だが，東側の壁は，傾斜が緩やかである。確認面からの深さは35cmである。

遺物は出土していない。

076（第59図，図版18）

調査区西側，６Ｂ-36グリッドに位置する。069から北東約1.3ｍの距離にある。平面形は長軸75cm，短軸53cmの楕円形である。底面は平坦で，緩やかに壁が立ち上がる。確認面からの深さは22cmである。

遺物は出土していない。

077・078（第59図，図版18）

調査区西側，６Ｂ-26グリッドに位置し，それぞれ近接して掘り込まれている。

077は，平面形が長軸64cm，短軸56cmのほぼ円形である。上面から北方向に斜めに掘り込まれており，底面が偏っている。確認面からの深さは18cmである。

078は，平面形が長軸38cm，短軸32cmのほぼ円形である。断面は逆台形を呈し，確認面からの深さは15cmである。

それぞれ，遺物は出土していない。

079（第58図）

調査区西側，５Ｂ-97グリッドに位置する。東側に067が近接する。平面形は長軸50cm，短軸45cmのほぼ円形である。底面はほぼ平坦で，断面の形状は，逆台形を呈する。確認面からの深さは13cmである。

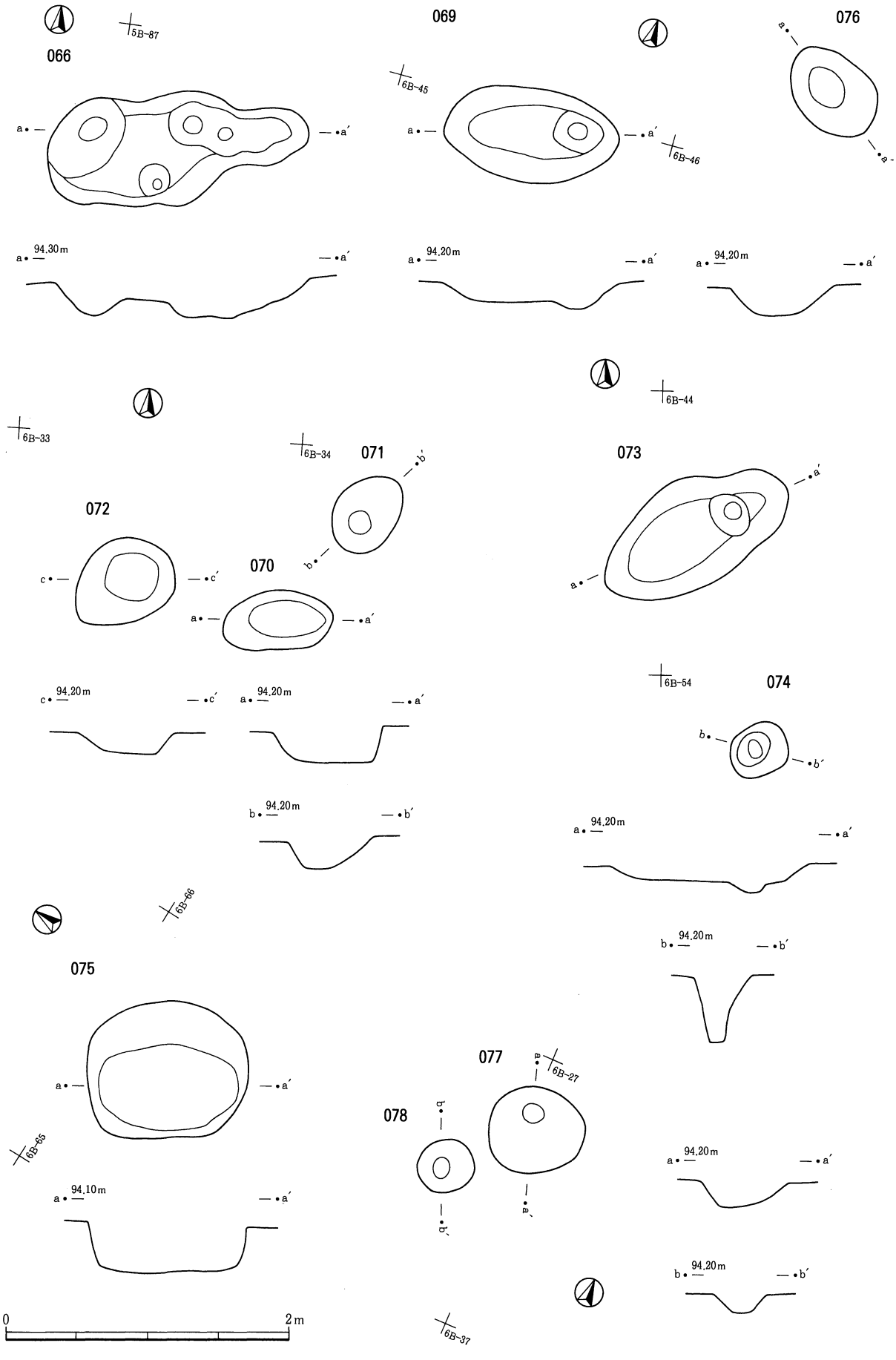
遺物は出土していない。

080（第60図，図版18）

調査区西側，６Ｂ-03・13グリッドに位置する。平面形は長軸2.56ｍ，短軸1.50ｍの不整形である。雰囲気的には，南西－北東に向く長楕円形の掘り方に三角形状の浅い張り出し部が付随するような形状である。土層断面では，長軸方向に２基の土坑が重複していることが観察されたが，遺構確認面での面的な切り合い状況は，明らかにし得なかった。このため，２基の土坑それぞれの規模等は不明である。底面は凹凸が著しく，特に中央部付近は小口側に比べ大きく窪んでいる。掘り込みが明瞭な部分は，この中央部付近と北西側の直線的な壁だけで，南側から東側はだらだらとした立ち上がり方である。確認面からの深さは北東部29cm，中央部57cm，南西部14cmである。

覆土は，ローム粒を含んだ暗茶褐色土と明茶褐色土が主体である。土坑中央からやや西側で円筒状の白色粘土塊が検出されている。調査時の所見によると「暗茶褐色土中にこぶし大の粘土塊が筋状に混入し，掘り進めていくうちに全体として円筒状になった」とのことだが，実体はよく分らない。

遺物は出土していない。


066
069
076
072
071
070
073
074
075
077
078
5B-87
6B-45
6B-46
6B-44
6B-33
6B-34
6B-54
6B-66
6B-65
6B-27
6B-37
94.30m
94.20m
94.10m
0
2m

第59図　土坑実測図(4)

4　ピット群及びピット

013（第61図）

調査区東側，５Ｆ-62グリッドに位置する。径54cm，深さ18cmの円形のピットである。断面の形状は漏斗状を呈する。覆土は黒褐色土，暗褐色土が主体である。遺物は出土していない。

028・037（第61図，図版19）

調査区東側，５Ｆ-82から94にまたがって位置する。南側で033に近接する。028の８基と037，計９基を一群とした。ピットは，全体で半楕円形状に弧を描いて配列しており，建物跡が想定できるような配置だが，南西側の空間では検出されていない。028は径47cm×35cm，深さ56cmと他に比べ規模が大きく，掘り方もしっかりとしている。032の各ピットの規模は，①径25cm×20cm，深さ５cm，②径26cm×23cm，深さ不明，③径37cm×28cm，深さ16cm，④径32cm×25cm，深さ14cm，⑤径20cm×16cm，深さ12cm，⑥径23cm×17cm，深さ８cm，⑦径32cm×31cm，深さ10cm，⑧径15cm×14cm，深さ２cmである。

各ピットとも，遺物は出土していない。

032（第61図，図版19）

調査区東側，６Ｆ-14・15グリッドに位置する。北側約１ｍに034が存在する。平面的に見て三角形状に配置される，３基のピットで構成される一群である。各ピットの規模は，①径44cm×33cm，深さ23cm，②径34cm×29cm，深さ13cm，③径21cm×18cm，深さ９cmである。

各ピットとも，遺物は出土していない。

039（第61図，図版19）

調査区東側，５Ｆ-41グリッドに位置する。南側約１ｍに016が存在する。平面形は長軸79cm，短軸46cmの不整形である。底面は二段階に掘り込まれており，南西壁際で深くなっている。確認面からの深さは東側で18cm，西側で58cmである。

遺物は出土していない。

045・046（第62図，図版19）

調査区北側，１Ｂ-92，２Ｂ-02・03グリッドに位置する。４基のピットを一群とした045と046とは，東西に約1.2ｍの距離を置く。045は南北方向に４基が並ぶが，平面的な配置や規模，掘り方には規則性は認められない。各ピットの規模は，①径45cm×40cm，深さ43cm，②径50cm×45cm，深さ36cm，③径42cm×36cm，深さ42cm，④径56cm×38cm，深さ38cmである。ピット②と④は斜めに掘り込まれ，ピット③は二段に掘り込まれている。覆土は概ね暗褐色土，黒褐色土が主体である。

046は径42cm×35cm，深さ55cmである。045のピット①に近い特徴を持つが，関連はなさそうである。

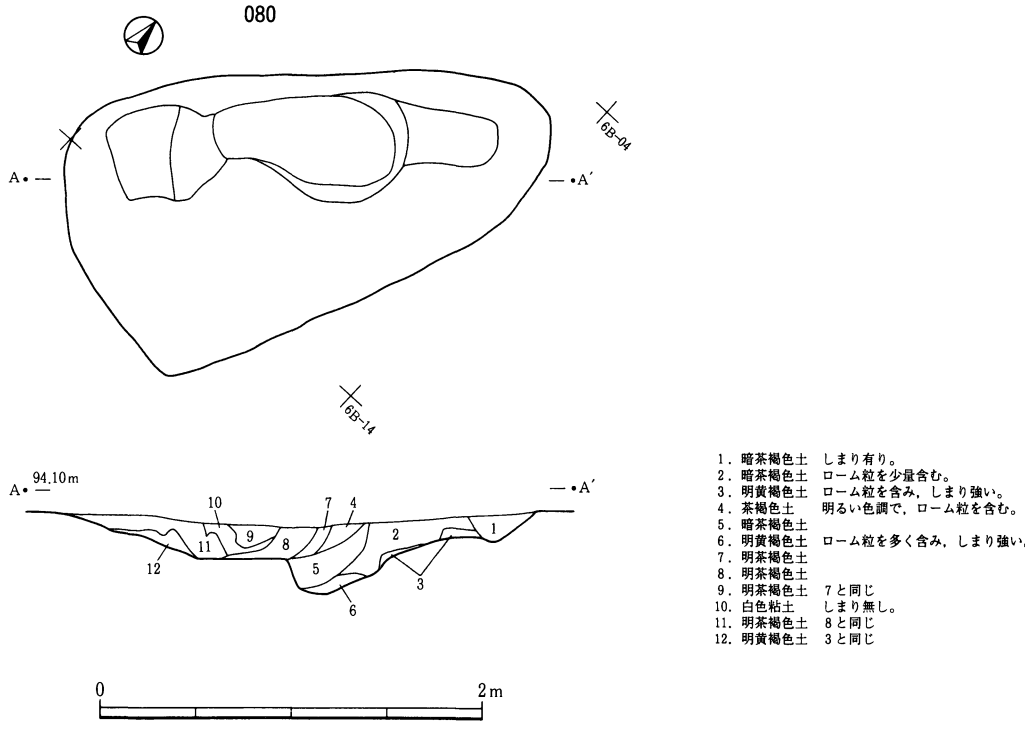
遺物は出土していない。

048（第61図，図版20）

調査区北側，２Ｂ-28グリッドに位置する。南側約２ｍに042とそれに関連するピットの一群が存在する。２基のピットを一群とした。各ピットの規模は，①径47cm×37cm，深さ47cm，②径42cm×36cm，深さ44cmである。双方とも斜面に対して真っ直ぐに掘り込まれている。042北側のピット群に付随して，何らかの施設を構成する柱穴の一群であろうか。

各ピットとも，遺物は出土していない。

050（第62図，図版20）



第60図　土坑実測図(5)

調査区北側，2B-34から2B-55グリッドにまたがって位置するピット群である。17基のピットを一群とした。東に042，西に051のピット群が近接する。平面的にはピット①とピット④が少し北側に偏るが，ピット②からピット⑯にかけて半円を描くように分布している。各ピットの規模は，①径45cm×35cm，深さ14cm，②径39cm×21cm，深さ15cm，③径18cm×14cm，深さ7cm，④径26cm×20cm，深さ33cm，⑤径33cm×31cm，深さ15cm，⑥径30cm×20cm，深さ16cm，⑦径24cm×21cm，深さ24cm，⑧径26cm×19cm，深さ16cm，⑨径42cm×25cm，深さ22cm，⑩径19cm×19cm，深さ15cm，⑪径24cm×22cm，深さ24cm，⑫径29cm×26cm，深さ16cm，⑬径30cm×25cm，深さ23cm，⑭径23cm×22cm，深さ13cm，⑮径36cm×25cm，深さ14cm，⑯径28cm×26cm，深さ23cm，⑰径27cm×27cm，深さ13cmである。

各ピットとも，遺物は出土していない。

051（第62図，図版20）

調査区北側，2B-53・54グリッドに位置する。ピット群050と至近距離にあるが，規模や位置など共通性は窺えない。各ピットの規模は，①径47cm×43cm，深さ20cm，②径42cm×40cm，深さ32cm，③径44cm×32cm，深さ56cmである。

各ピットとも，遺物は出土していない。

053（第58図，図版17）

調査区西側，4B-30，4A-49グリッドに位置するピット群である。052・054が近接する。計6基のピットが北から南に弧を描くように並ぶが，間隔は不揃いである。各ピットの規模は，①径30cm×26cm，深さ

26cm，②径30cm×25cm，深さ26cm，③径32cm×29cm，深さ49cm，④径22cm×22cm，深さ９cm，⑤径22cm×20cm，深さ25cm，⑥径23cm×21cm，深さ13cmである。

遺物は出土していない。

055（第62図，図版17）

調査区西側，４Ｂ-60グリッドに位置する。北側約0.8ｍに054が存在する。平面形は長軸75cm，短軸42cmの不整形で，長軸線上に二つのピット状の掘り込みがある。確認面からの深さは北側が65cm，南側51cmである。

遺物は出土していない。

062・063・064（第62図，図版20）

調査区西側，５Ｂ-71・72・82グリッドに位置する。３基のピットをそれぞれ個別に調査しているが，それぞれ1.7ｍから２ｍの距離にあり，掘り方の規模などが共通するため，一括して扱った。ピット間の距離は062－063間が1.4ｍ，063－064間が2.1ｍとなり，西隅が欠けてはいるが仮に１間×１間の掘立柱建物を想定した場合は，桁行きの割に梁間の詰まった建物となる。各ピットの規模は，062が径40cm×36cm，深さ36cm，063が径32cm×30cm，深さ45cm，064が径45cm×40cm，深さ35cmである。

各ピットとも，遺物は出土していない。

５　遺構外出土遺物

（１）縄文土器（第63・64図，図版24・25）

グリッド出土の縄文土器は総点数408点を数える。時期別の内訳は，早期329点，前期２点，中期16点，後期２点，晩期59点で，圧倒的に早期が多い。早期の土器群の内訳は，概ね撚糸文系土器が53％，次いで撚糸文系に伴うと思われる無文土器が34％，条痕文系土器が13％の割合である。これらは，後述する礫群と同じ分布域を示している。中期の土器と晩期の土器は，調査区西側でも北端付近にまとまって出土している。これらの土器は，時期及び施文の特徴により第１群～第６群に区分した。

第１群土器（第63図１～18・20～21，図版24）

撚糸文系の土器を本群とした。１～10・12・15・16は口唇部直下を横方向にナデて，無文部を作出し，撚糸文を施文する。また，撚糸施文後の磨り消しが認められることも特徴の一つである。口唇部の形態は，１が厚みを増すが，他は丸みのある形態である。縄文は，２・15が撚糸Ｌ，１・３～７・10・12・16，17が撚糸Ｒ，８～９は同一個体で単節ＬＲの縄文を施文する。また，２・３・７は補修孔が開けられる。

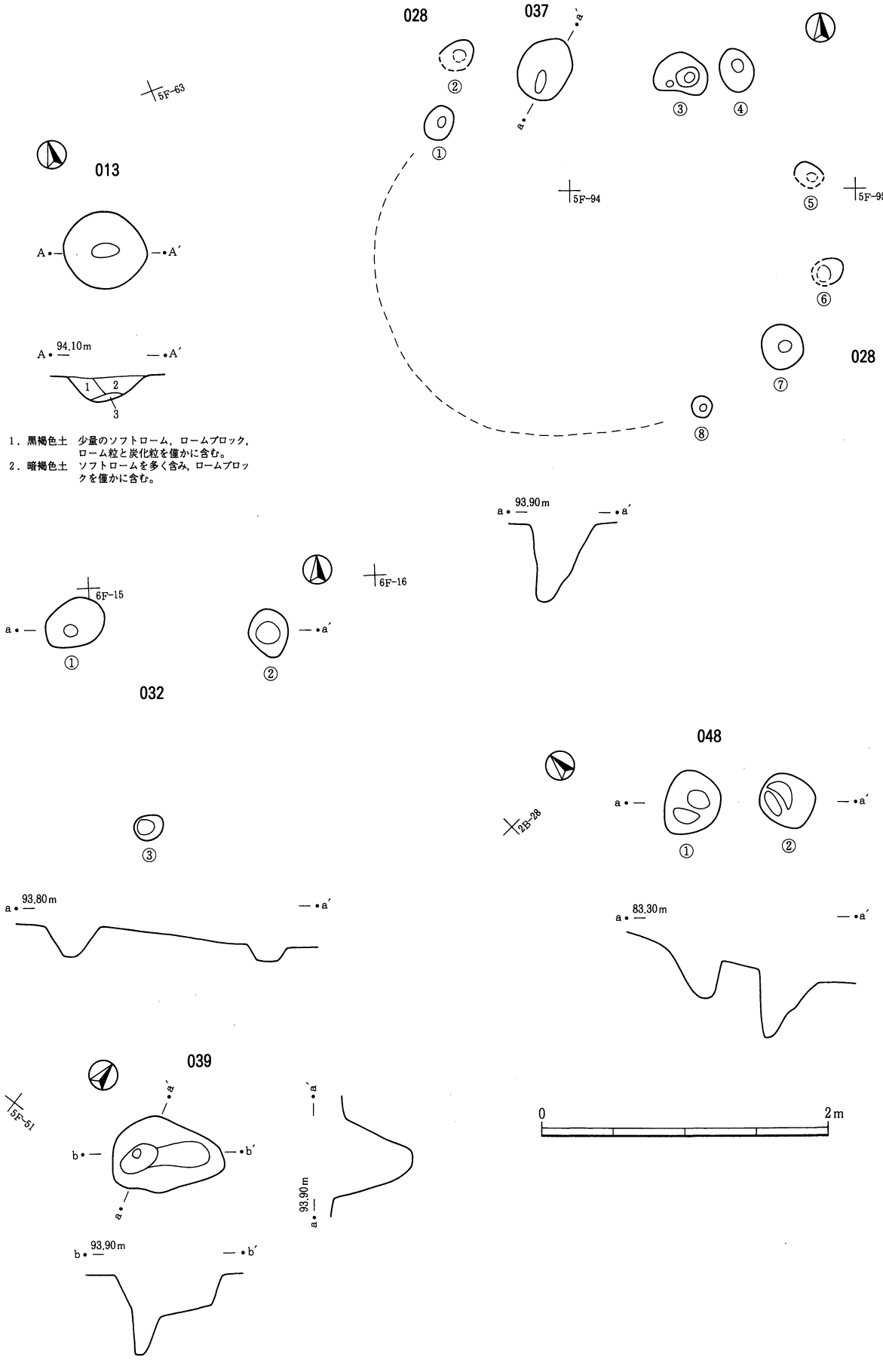
11・13・14は口唇部直下から撚糸文が施文される。口唇の端部は内外面ともに丁寧に面取りがされ，特に11では上端が扁平に削られている。撚糸は11，14がＲ，13がＬである。17は胴部下端の破片である。以上は，稲荷台式土器に比定される。

18・21の口縁部破片は無文である。21は小さな曲線の波状口縁となろう。両方とも器面が剥落しているが，内外面に縦方向の丁寧なナデ整形がされている。胎土に細かな砂粒を多く含む。20，22も同様な特徴であり，これらを撚糸文土器に伴うものと判断した。

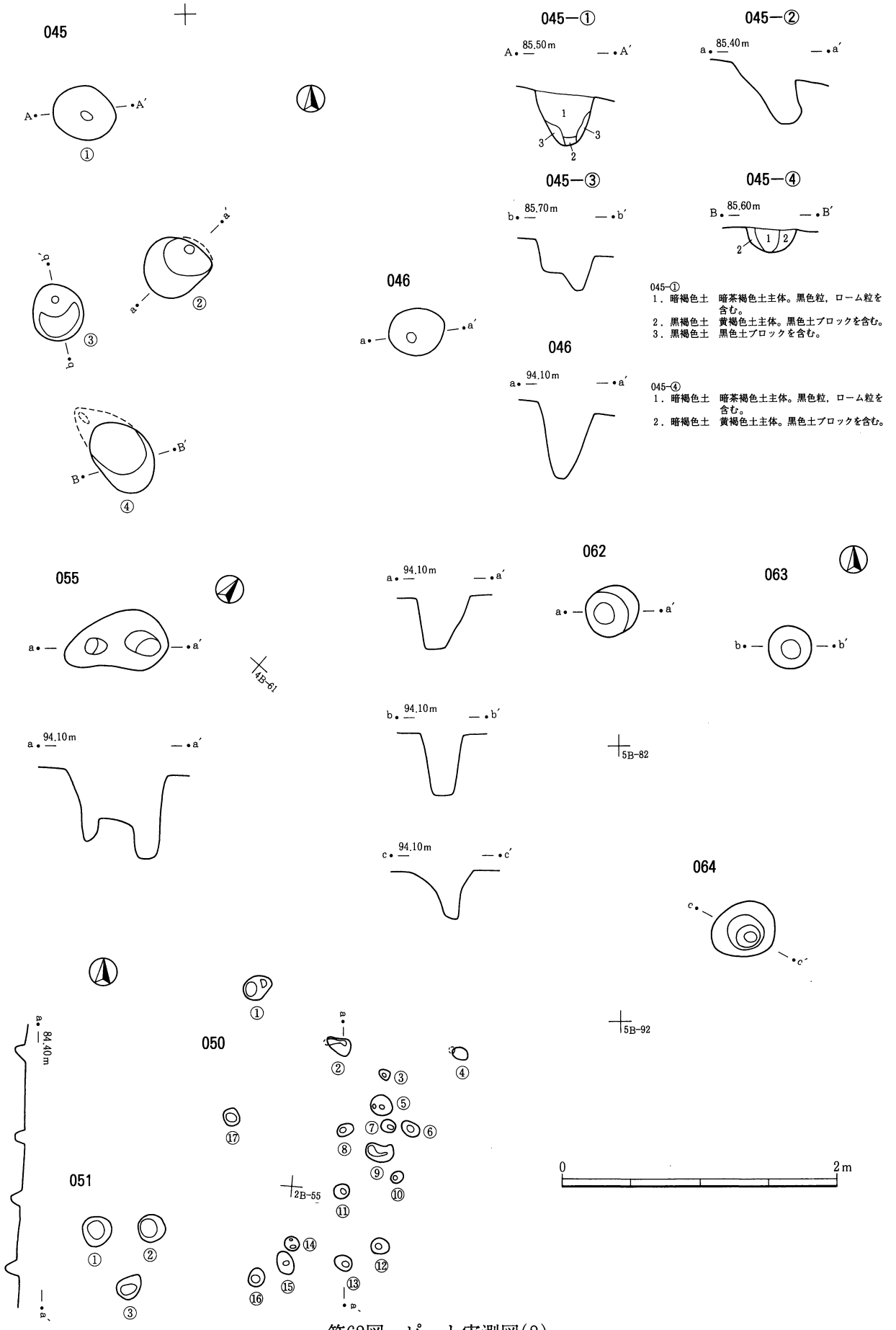
第２群土器（第63図19，図版20）

沈線文を特徴とする土器である。19が１点だけ出土した。胴部の少破片である。太い沈線で直線と曲線を組み合わせた文様を描いている。胎土に細かな砂粒を含み，焼成は良い。田戸下層式に比定される。

第３群土器（第65図20・22）



第61図　ピット実測図(1)



第62図　ピット実測図(2)

胎土に繊維を含む土器である。20は深鉢形土器の胴部，22は底部付近の破片である。外面は幅10㎜程度の扁平な工具で，丁寧にナデられているのが特徴である。内面の調整はやや粗くナデられる。同様の破片が他に39点出土しているが，貝殻条痕文が施文された土器は認められなかった。

第４群土器（第64図23・24・37，図版25）

中期後半の土器である。23は深鉢形土器の口縁部である。わずかに外反する口縁の，幅広の無文帯を横方向の微隆起線で区画し，その下部に単節ＬＲの縄文を施文している。外面無文部と内面は丁寧にナデられている。加曽利ＥⅢ式に比定される。24は23と同一個体と見られる胴部破片である。同様の破片が他に11点出土しているが，接合できなかった。37は深鉢形土器の底部である。外面には粗い条線が施文され，内面は丁寧にナデられている。

第５群土器（第64図25・26，図版25）

後期の土器を本群とした。25・26の２点だけ出土した。深鉢形土器の胴部破片で，同一個体である。屈曲部に押捺を加えた隆起線を配し，その上下に撚りの太い単節ＲＬの縄文が施される。なお，縄文施文前の刷毛状の整形痕が観察される。内面は丁寧なミガキが施される。加曽利Ｂ式である。

第６群土器（第64図25・26，図版25）

晩期の土器を本群とした。27～35は条線文が施文される。このうち，27・28・33～35は浅い条線が施文され，内面はミガキ調整されている。34の口縁は，わずかに波状で，部分的に指頭状の押捺が加えられ，内削ぎ状になっている。35は口縁に２条の輪積み痕が残る。外面に横方向の弱い刷毛目状の条線文が施され，内面は丁寧に研磨されている。29～32は深く粗い条線で，内面はナデ調整されている。36は上半部に細かい縄文が施文される。内面は丁寧に研磨される。本群は晩期終末に位置づけられる。

（２）石器（第65図～第68図１～28，図版26・27）

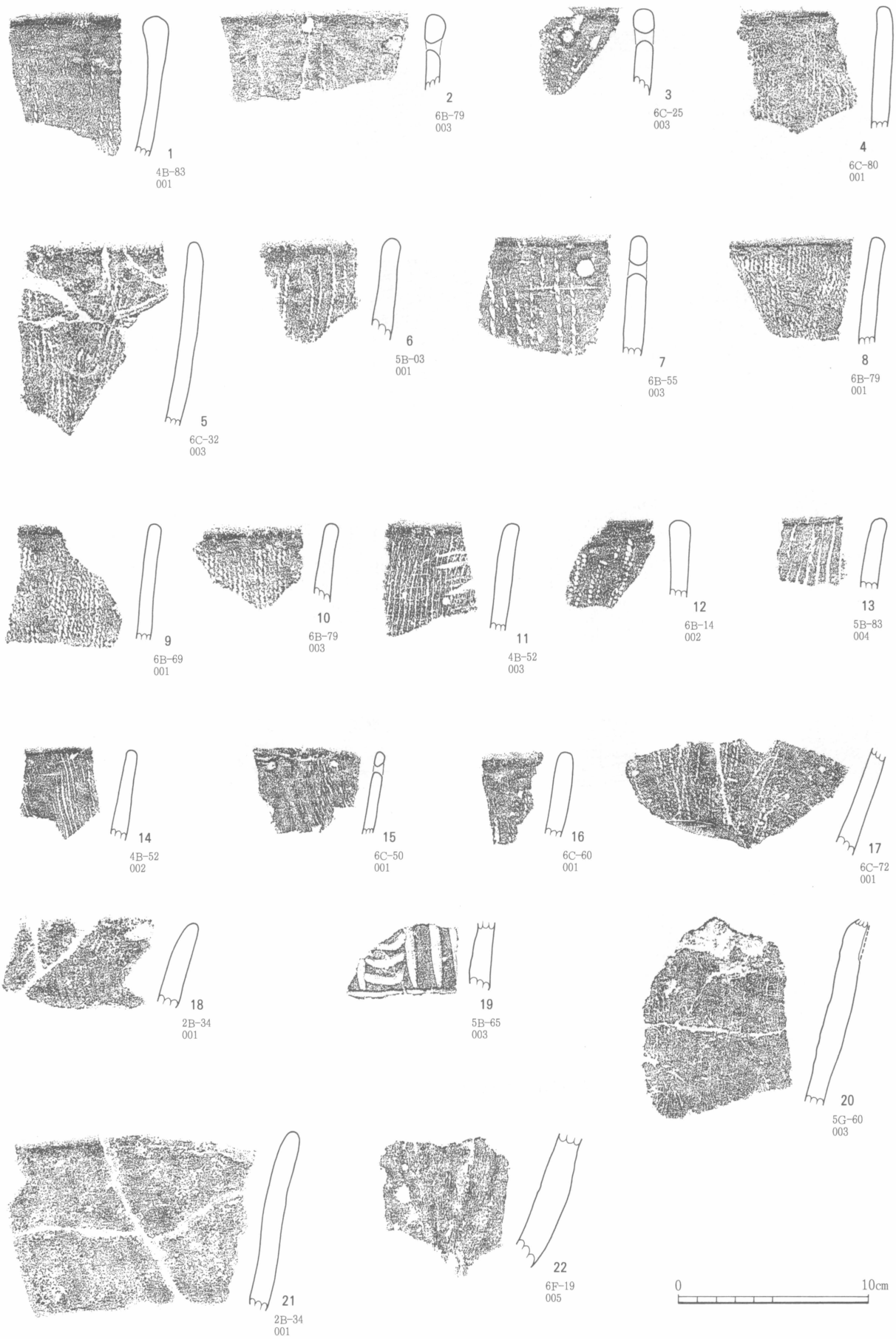
石器は剥片石器12点，礫石器26点の総計38点が出土している。出土位置の分布を見ると，剥片石器では散漫な状況で，特にまとまる傾向は認められない。一方，礫石器では4Ｂ－60・70グリッド付近，５Ｂ－74グリッド付近，６Ｂ-85グリッド付近，６Ｃ-24・34グリッド付近の礫群の集中する区域と重なるような分布を示していることが特徴である。

剥片石器12点のうち図示したのは２点であり，ほか10点は石器属性表（表12）に掲載した。石材は黒曜石８点，安山岩３点，メノウ１点である。安山岩３点は同じ母岩である。

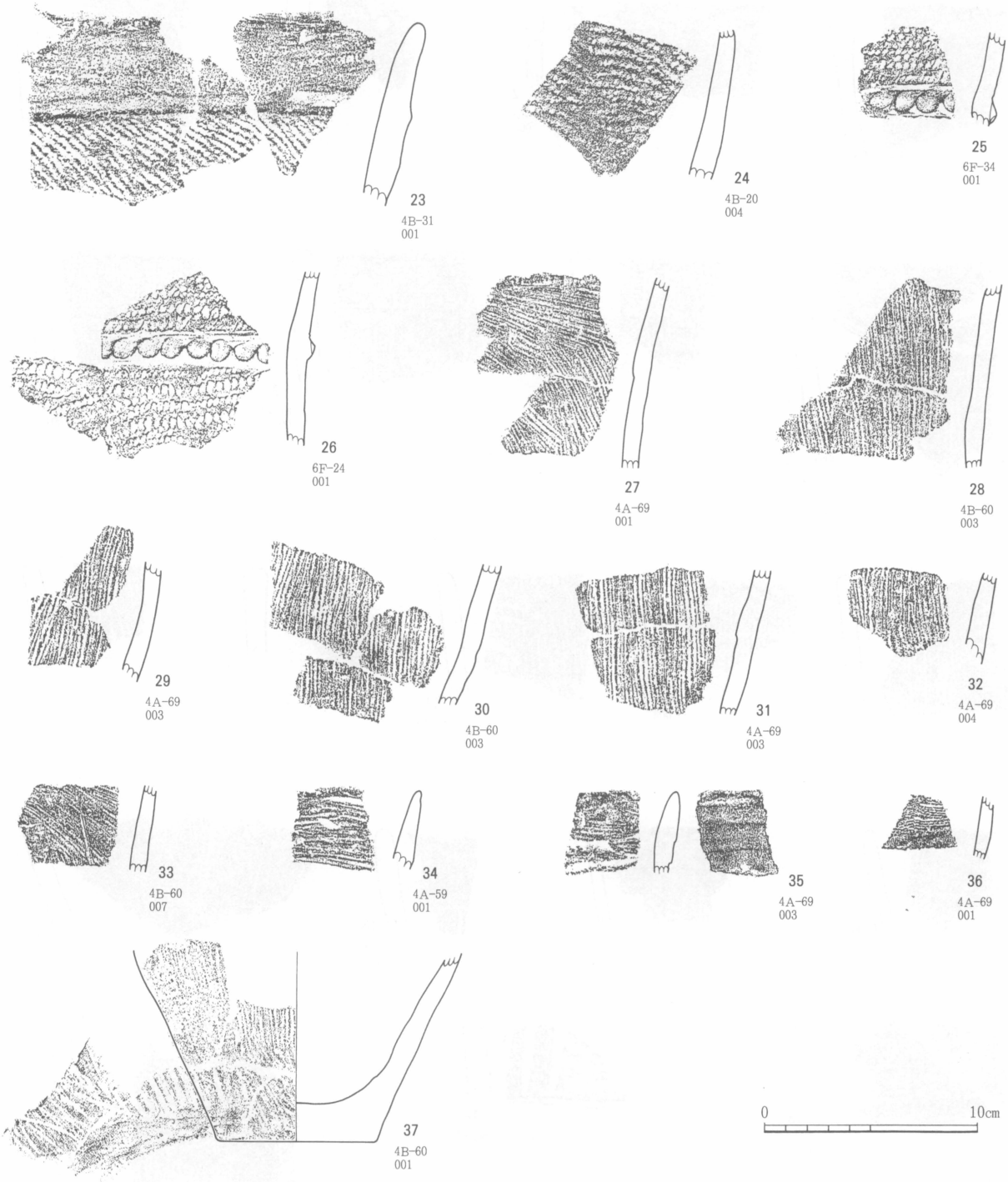
礫石器は打製石斧10点，磨製石斧２点，礫器３点，磨石類９点，石棒（石剣）１点，砥石１点がある。石器の素材は，概ね自然の円礫を加工したものや板状の片理を持つ素材を加工したものが多く，礫石器を素材にしたものはわずかである。石材は砂岩，ホルンフェルス，安山岩，凝灰岩，流紋岩など多様なあり方をしている。

１は黒曜石製の石鏃である。形態は凹基形式で，小形の部類に入る。大きさから見ると抉りが深い。２は剥片である。右側縁部に二次的な調整剥離が認められる。

３～12は打製石斧である。形態的には短冊形や楕円形が多く，不定形のものも若干含まれる。３・７・10・11は板状の素材を利用し，調整剥離を行っている。４・５・６は不定形の礫の両面に調整を加えており，特に４・６では背面に着柄加工が施される。なお，６は調整の少ない背面全体が砥石として再利用されており，刃部の一部がこのために変形している。８・９は円礫の片面に調整を加える。背面の刃部は研磨される。12は残欠品。同様に片面の加工をしているが，磨石類を素材としている可能性もある。



第63図　遺構外出土縄文土器(1)



第64図　遺構外出土縄文土器(2)

13・14は小形の磨製石斧である。2点とも礫素材を利用している。特に13は素材の形状を巧みに利用して刃部を作出している。14は扁平な礫の両面を丁寧に研磨している。

15～17は礫器とした。15・16は先端の両面から粗い加工を施している。17は円礫の片面に調整を加え，先端に斜めの平坦面を作出している。この面と背面には若干擦れた痕跡が認められる。調整後の欠損が背面の一部にあるが，先端部全体が折れてはいないため，磨石様の用途に利用した可能性が考えられる。

18～26は磨石類である。素材は円礫が多い。用途は20～23・25が主に擦り（磨き）のもの，18・19が擦り（磨き）と敲きを併用しているもの，24・26が敲きだけのものに分けられる。25は下部に二面の研磨面（擦り）を残すが，側面を研磨して握りやすく加工している。

27は石棒あるいは石剣の欠損品である。良く研磨されているが上下と背面を欠いているため，判断できない。形状から見ると石剣とした方が良いかもしれない。図の下側が先端部と考えられる。

28は砥石である。不定形の砂岩を利用している。面全体を平均に擦るというより，筋状の擦り痕が残る。

（3）礫群

本遺跡で出土した礫は，グリッド及びトレンチの遺物包含層（Ⅱb，Ⅱb′層）から出土した礫が4,043点，他に遺構出土のものが計32点，東西の調査区一括で取り上げたものが72点，総数4,147点である。

遺物包含層の礫4,043点のうち，完形礫が858点に対して破損礫が3,186点となり，破損率は79％と高い。礫の質量は完形礫平均が49.1ｇ，大きさで見ると径5㎝以下の小円礫が多数を占めている。赤化率は全体で40％である。完形礫と破損礫の比較では，完形礫の赤化率44％に対して破損礫では39％である。石材ではチャート，流紋岩，砂岩の3種が圧倒的に多く，中でもチャートが約半数の45.8％を占める。これらのほかホルンフェルス，安山岩，凝灰岩などがある。礫の分布は遺構の分布と必ずしも一致しないが，集中箇所は4Ｂ，5Ｂ，6Ｂグリッド付近の西側調査区にまとまる傾向にあり，早期撚糸文土器の分布とほぼ重なっている。

第3節　弥生時代

1　遺構外出土遺物（第73図，図版27）

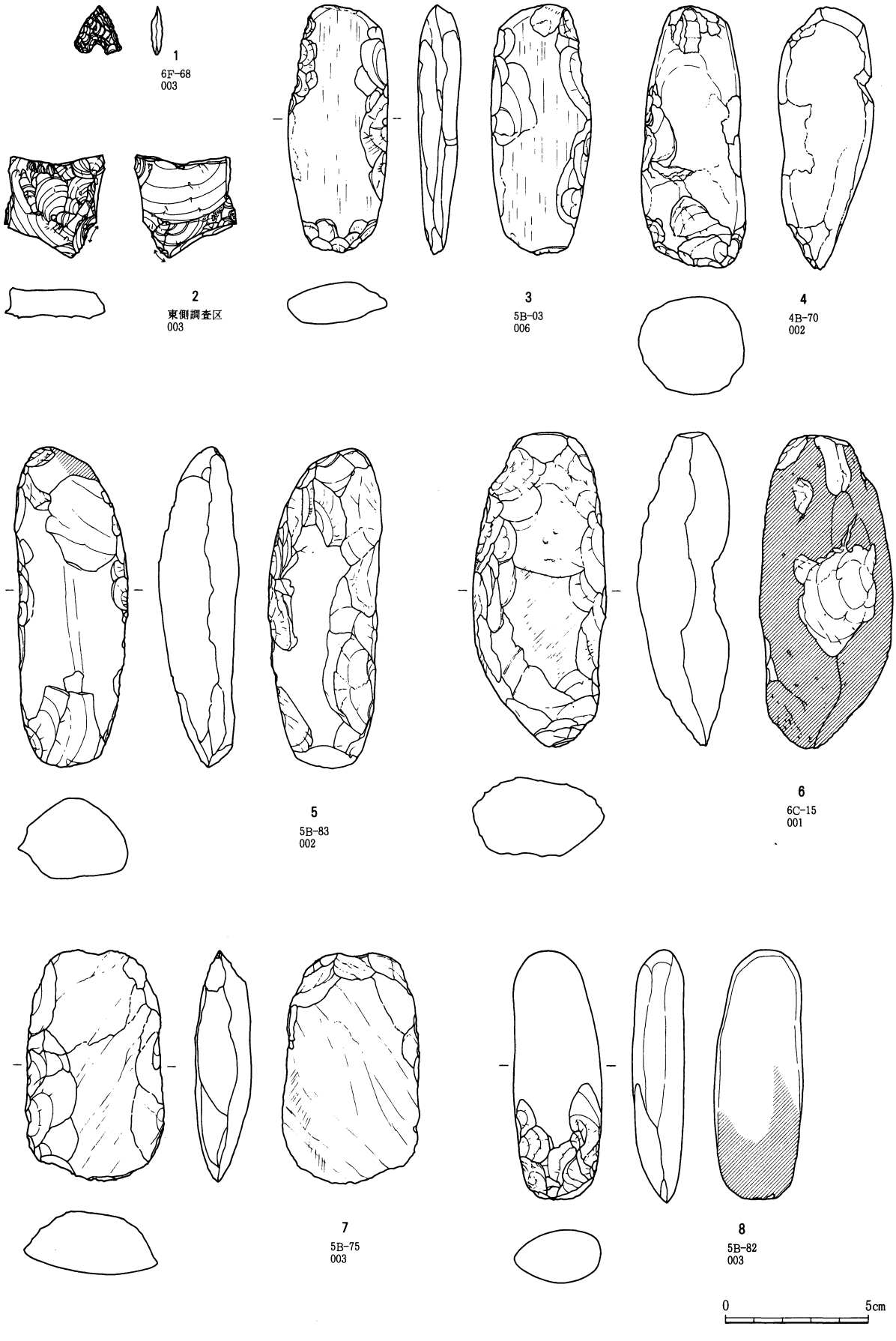
弥生時代の遺物は非常に希薄で，土器片16点である。4Ｂ-60グリッド付近に集中しており，遺構が存在した可能性がある。出土した層は，Ⅱb層である。図示した5点はいずれも壷形土器で，中期後半の宮ノ台式に比定される。

1は頸部である。胴上端から強くくびれる器形で，頸部全体の長さも比較的短い部類に入るだろう。下半部に単節ＬＲの縄文を帯状に施文している。上半部は縦方向に丁寧なミガキがされる。2は底部である。内外面とも全体にナデ調整されるが，上端部にわずかに細かな刷毛目が認められる。3は口縁部で，口唇上に単節ＬＲ縄文が施文される。内外面とも丁寧にナデ調整される。4，5は胴部の破片で，外面は細かな刷毛調整の後，丁寧にナデられている。調整・胎土の共通性から，2と同一個体と思われる。

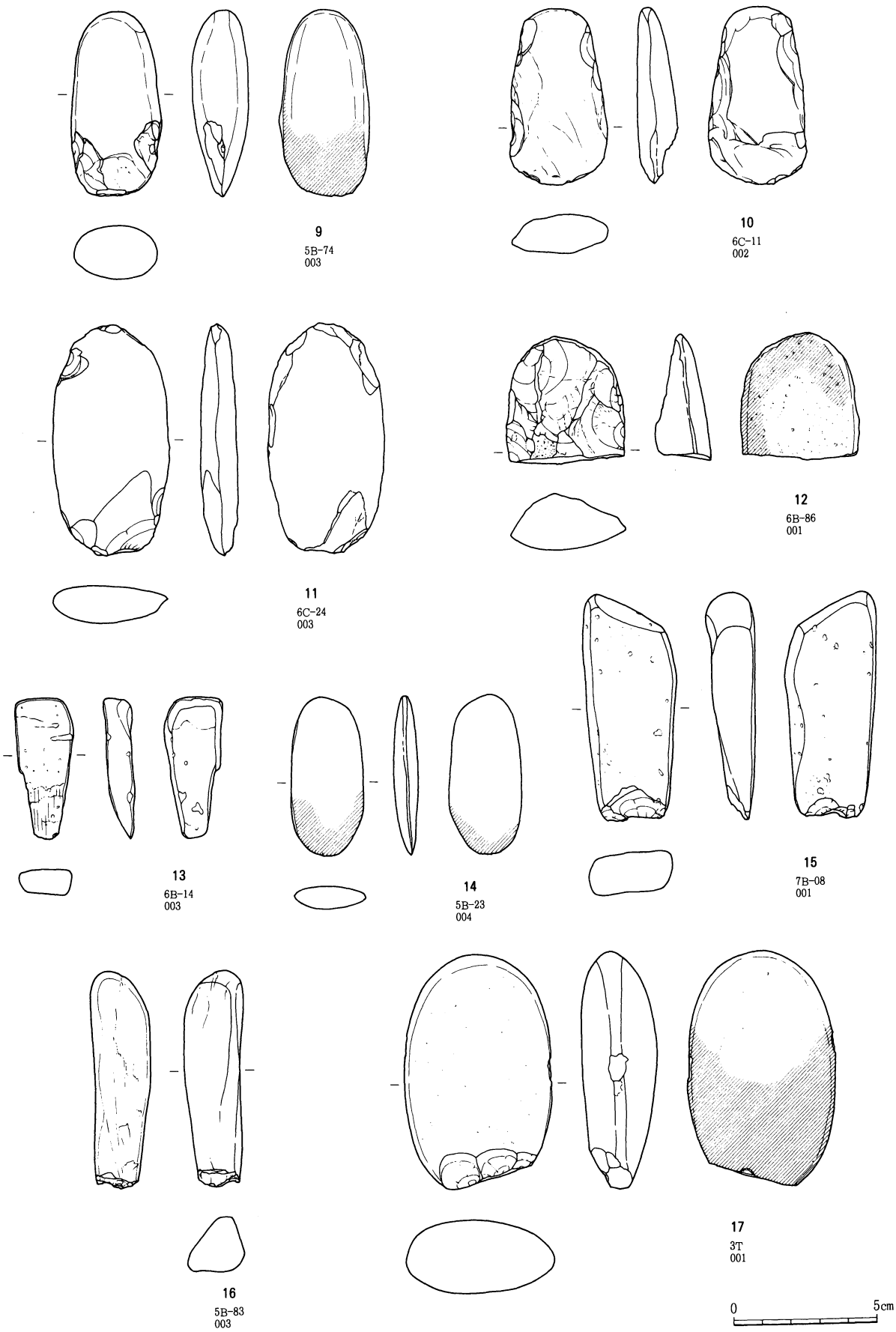
第4節　古墳時代～奈良・平安時代

1　概要

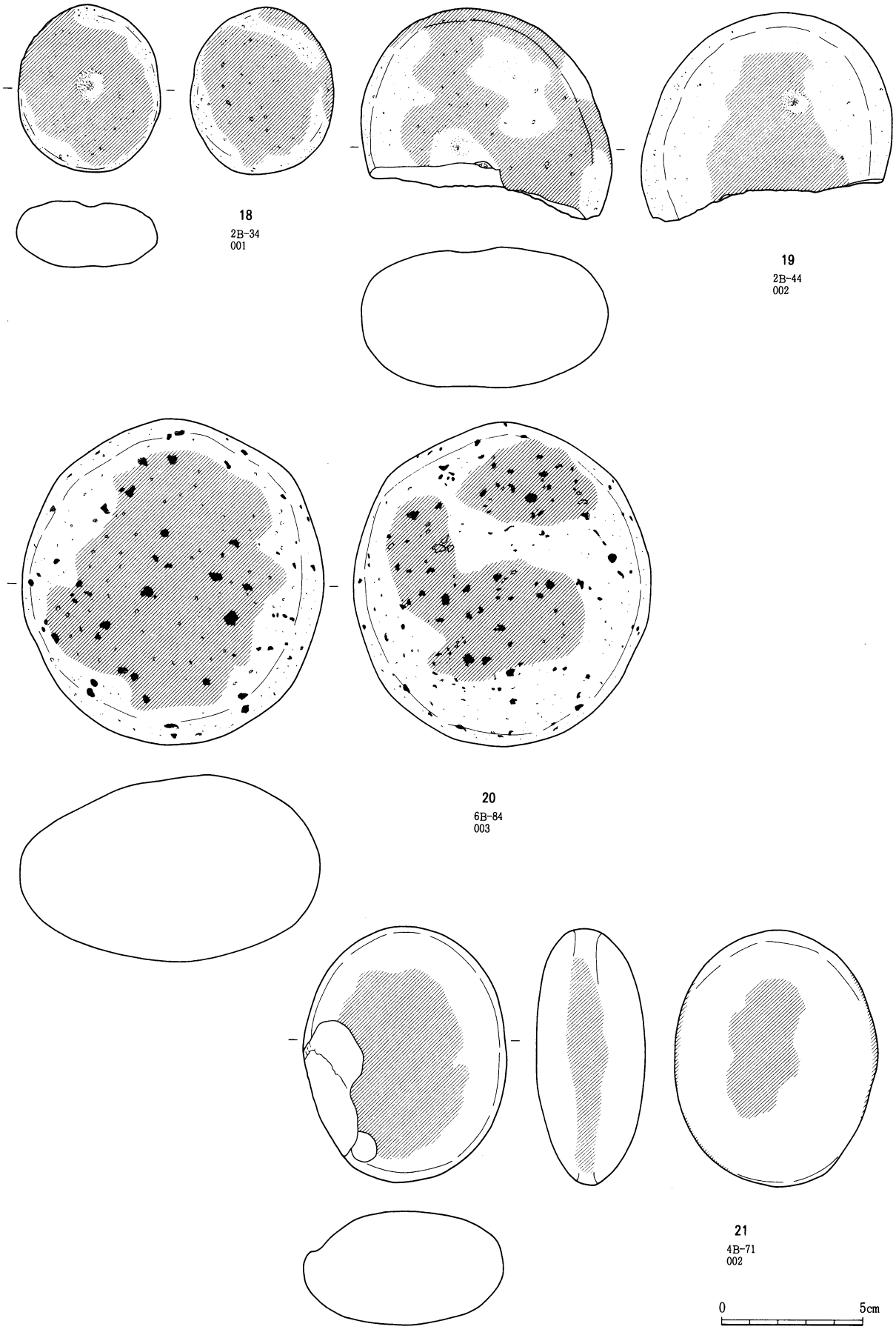
古墳時代～奈良・平安時代は，最も本遺跡を特徴づける時期である。遺構では3基の火葬墓と1基の方形周溝状遺構が発見されている。火葬墓は土坑と骨蔵器を伴うもの，石組による石櫃などそれぞれ異なる



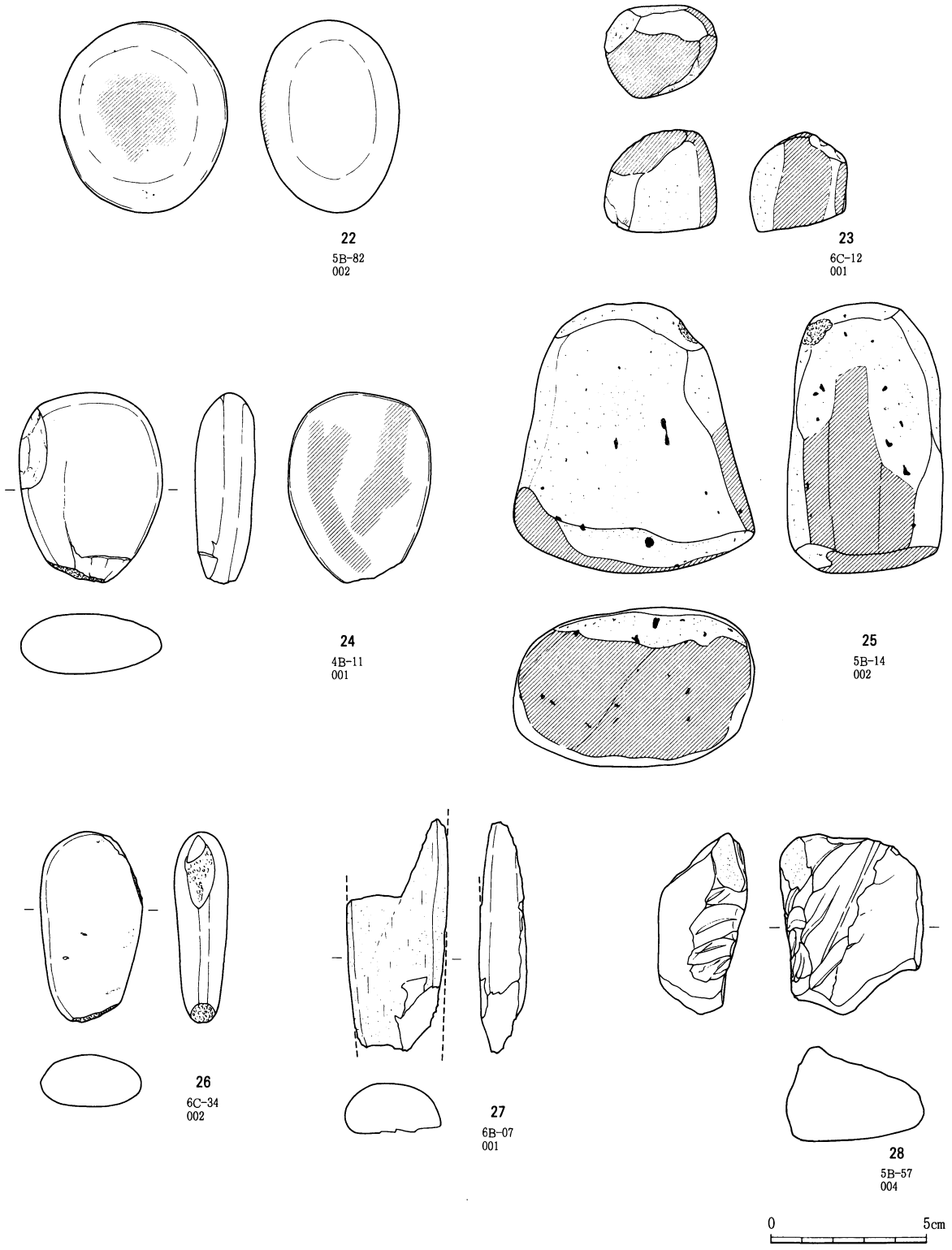
第65図　縄文時代石器(1)



第66図　縄文時代石器(2)



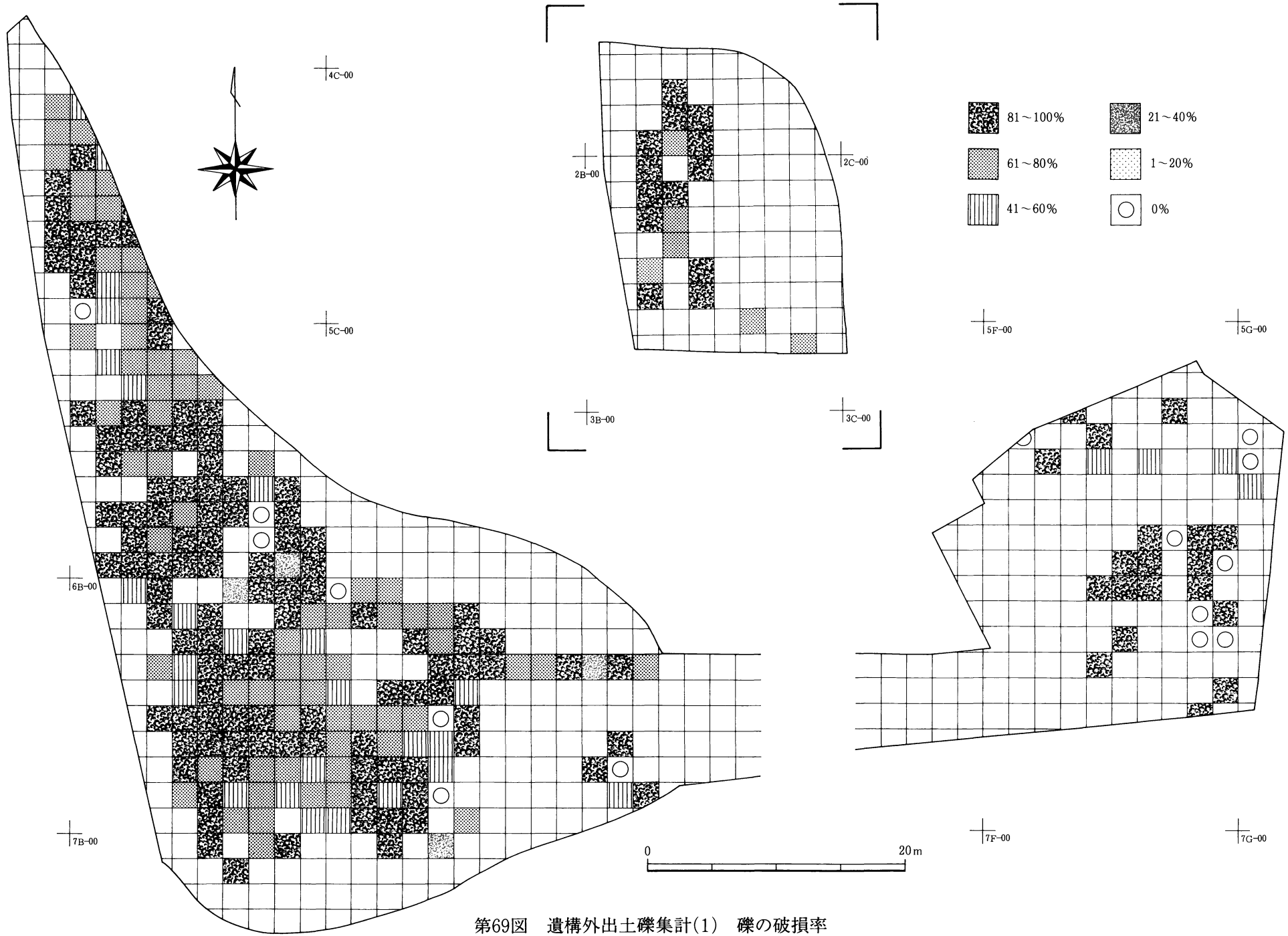
第67図　縄文時代石器(3)



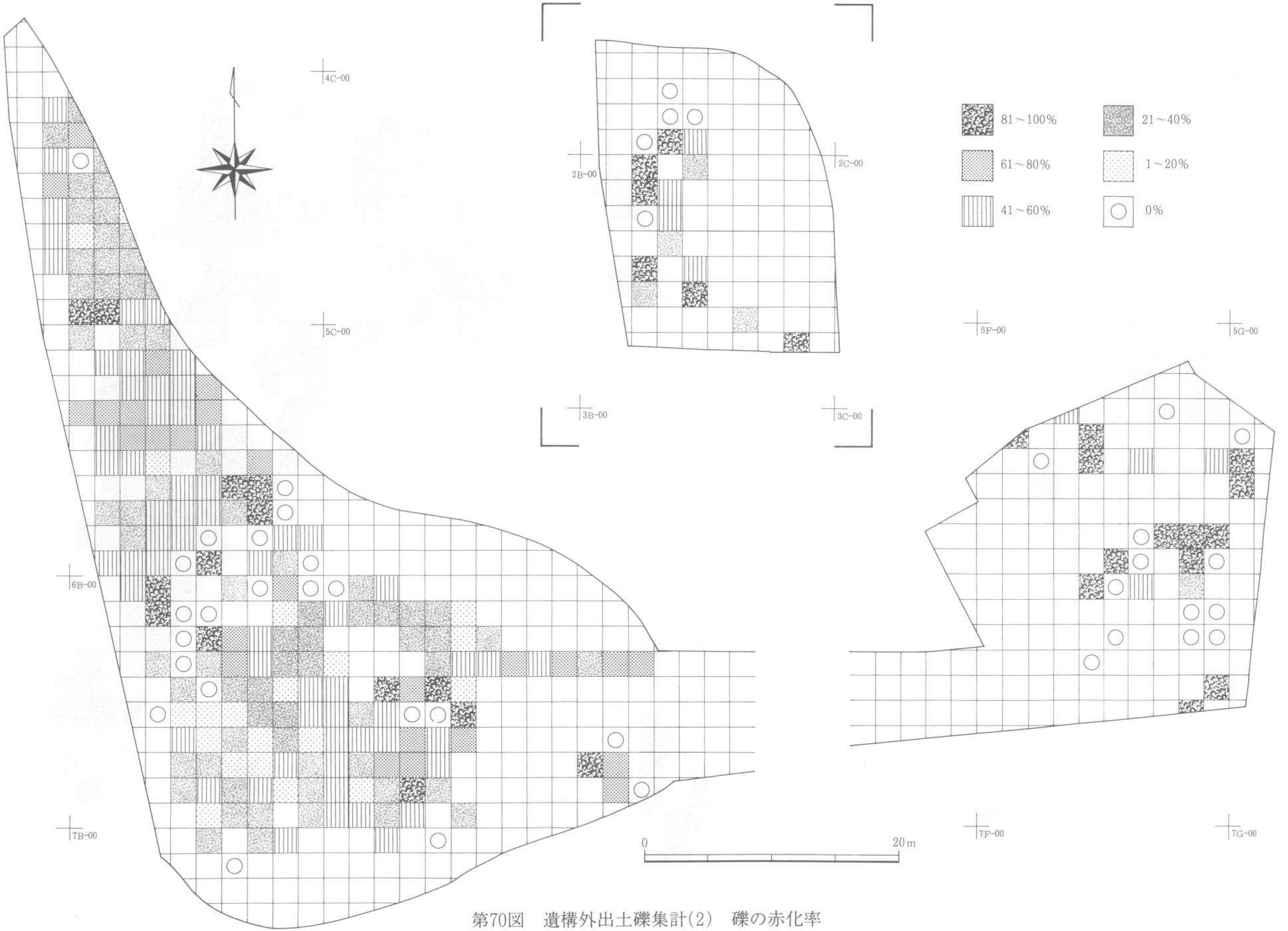
第68図　縄文時代石器(4)

第12表　石器観察表

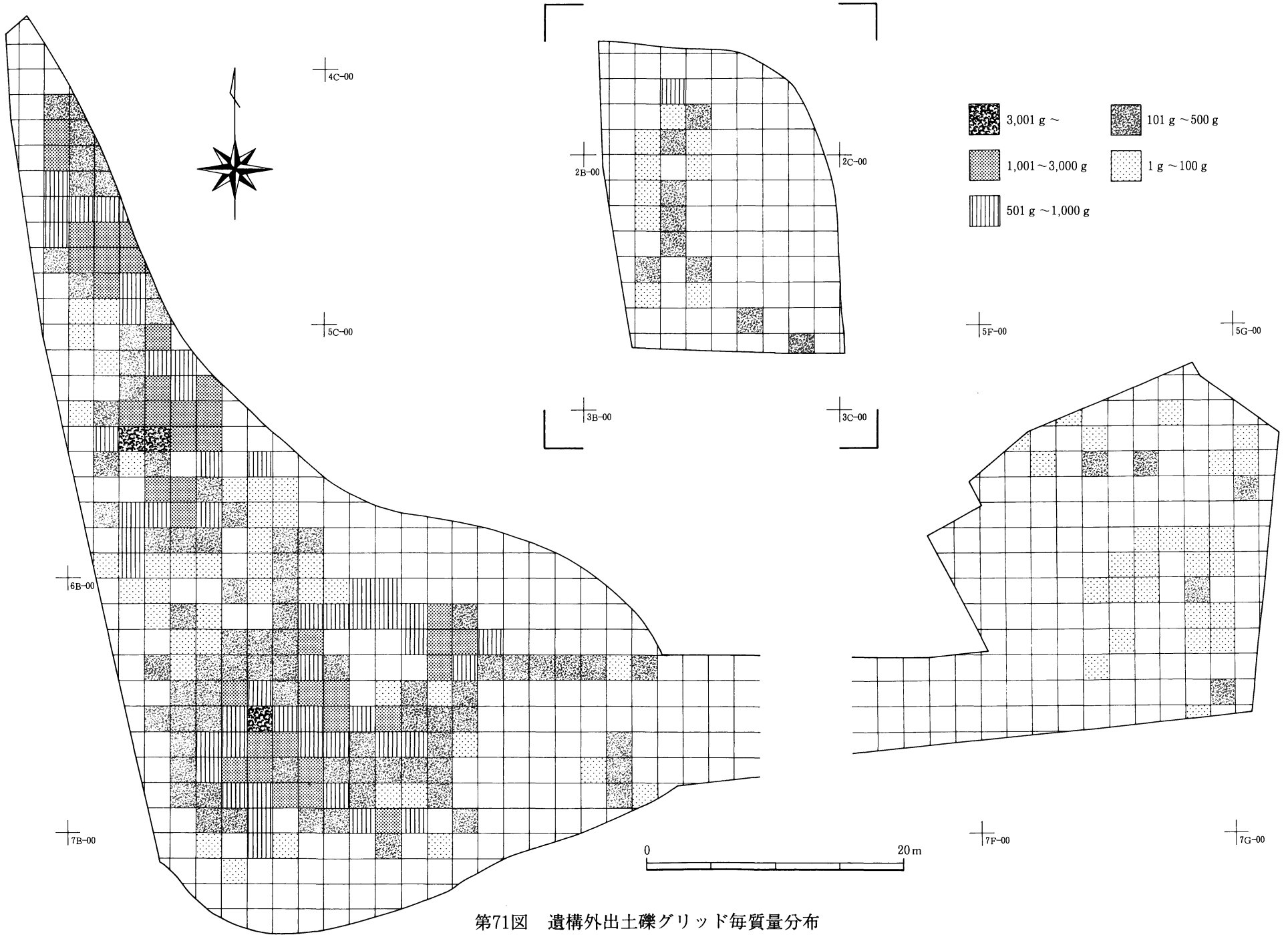
縄文時代										
挿図No.	器　種	石　　質	遺構・グリッド		遺物No.	長さ(mm)	幅 (mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備　　考
1	石鏃	黒曜石	6F	68	3	17.8	16.4	3.7	0.67	
2	Rフレイク	黒曜石	東一括		3	35.4	34.8	11.0	12.42	
3	石斧	緑色片岩	5B	3	6	88.5	35.1	14.5	70.54	
4	石斧	凝灰岩	4B	70	2	92.3	36.6	33.8	157.54	
5	石斧	砂岩	5B	83	2	111.8	39.8	27.6	148.61	
6	石斧	安山岩	6C	15	1	109.7	46.6	27.1	204.43	
7	石斧	ホルンフェルス	5B	75	3	80.6	48.2	21.4	110.47	
8	石斧	砂岩	5B	82	3	87.0	30.8	18.5	71.57	
9	石斧	ハンレイ岩	5B	74	3	65.6	31.2	18.5	56.24	
10	石斧	ホルンフェルス	6C	11	2	62.8	33.9	13.4	35.99	
11	石斧	ホルンフェルス	6C	24	3	80.5	40.6	13.1	60.44	
12	石斧	砂岩	6B	86	1	44.5	41.3	19.7	36.05	
13	石斧	砂岩	6B	14	3	49.0	20.4	9.2	13.99	
14	石斧	蛇紋岩	5B	23	4	55.6	25.3	8.1	19.13	
15	礫器	流紋岩	7B	8	1	79.1	32.2	17.5	65.70	
16	礫器	チャート	5B	83	3	75.8	20.6	18.9	43.20	
17	礫器	砂岩	3T		1	81.7	51.9	25.2	164.51	
18	磨石	凝灰岩	2B	34	1	60.2	50.5	23.3	87.76	
19	磨石	安山岩	2B	44	2	74.8	89.2	49.7	479.27	
20	磨石	流紋岩	6B	84	3	110.6	105.6	65.4	1065.57	
21	磨石	砂岩	4B	71	2	90.5	72.4	39.3	367.06	
22	磨石	砂岩	5B	82	2	61.8	54.1	44.1	198.14	
23	磨石	砂岩	6C	12	1	32.4	35.8	30.4	45.86	
24	敲石	砂岩	4B	11	1	60.7	46.2	19.3	71.75	
25	敲石	砂岩	6C	34	2	61.1	32.6	16.2	45.17	
26	磨石	閃緑岩	5B	14	2	86.5	77.8	50.8	500.76	
27	石棒	ホルンフェルス	6B	7	1	74.6	31.4	15.5	38.07	
28	砥石	砂岩	5B	57	4	58.2	46.6	29.6	72.80	
	剥片	メノウ	5B	54	1	16.7	26.6	6.7	2.63	
	剥片	安山岩	5B	74	2	36.5	42.3	26.9	40.48	①
	剥片	安山岩	5B	74	2	22.9	40.2	14.5	11.82	②
	剥片	安山岩	5B	74	2	26.1	26.4	10.3	5.96	③
	剥片	黒曜石	1B	94	1	19.5	22.5	9.9	3.60	①
	剥片	黒曜石	1B	94	1	10.5	13.8	5.3	0.55	②
	剥片	黒曜石	6F	5	7	21.7	37.9	10.6	6.35	
	剥片	黒曜石	6F	27	1	18.4	8.5	7.1	0.77	
	剥片	黒曜石	6F	68	1	26.3	36.8	9.0	7.49	
	剥片	黒曜石	SD	3	5	20.9	8.1	6.3	0.64	
中・近世										
挿図No.	器　種	石　　質	遺構・グリッド		遺物No.	長さ(mm)	幅 (mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備　　考
4	砥石	砂岩	5B	93	4	32.6	28.0	26.6	32.98	
5	砥石	凝灰岩	4A	29	2	51.3	31.4	15.1	21.89	
6	砥石	凝灰岩	5B	22	2	82.1	35.5	32.4	85.41	



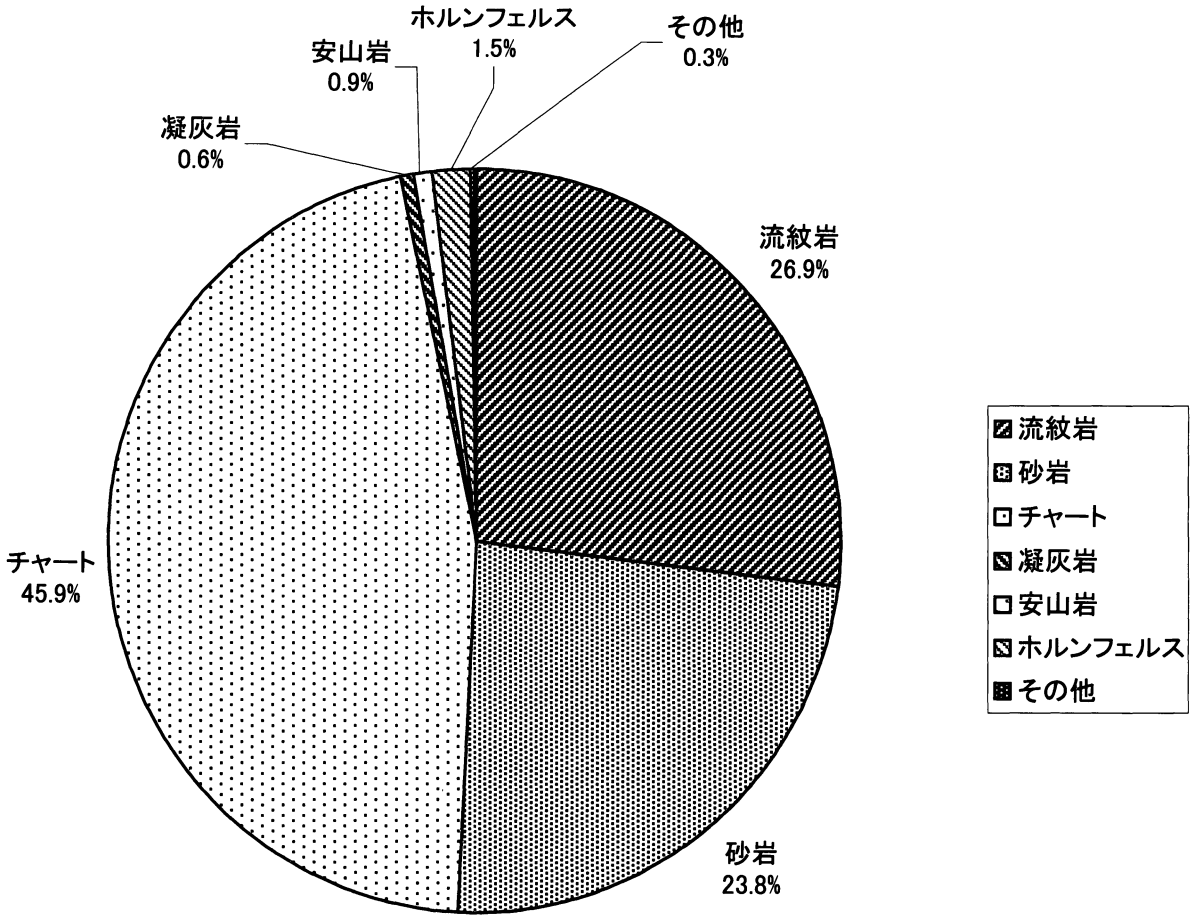
第69図　遺構外出土礫集計(1)　礫の破損率



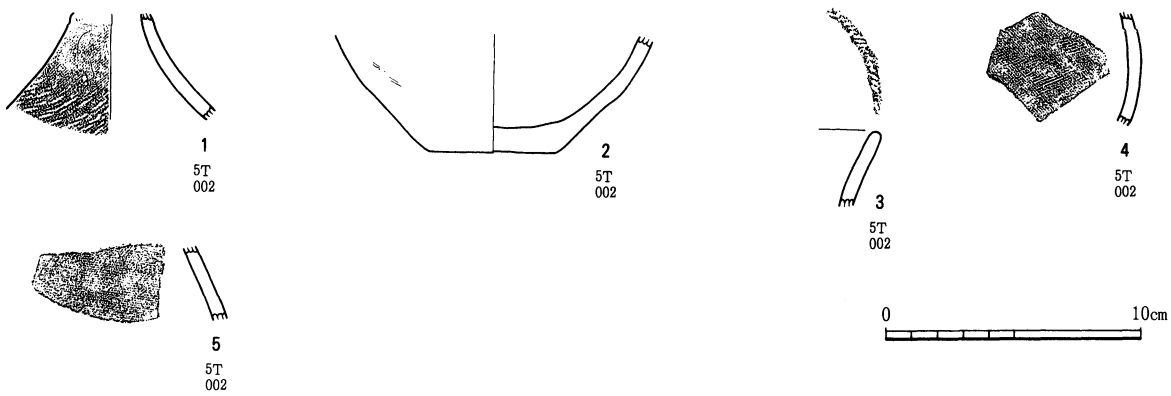
第70図　遺構外出土礫集計(2)　礫の赤化率



第71図　遺構外出土礫グリッド毎質量分布



第72図　礫の石材比率(定形礫・破損礫)



第73図　遺構外出土弥生土器

様式を持っており，その点でも特色ある遺構群である。火葬墓の分布は，調査区西側と東側に偏在しており，それほどまとまった分布とは言えない。遺構外出土遺物は，少ないながらも須恵器の壷や土師器杯がある。調査区東側の２，３のグリッドにまとまる傾向にあるため，上層に遺構が存在した可能性が強い。

２　遺構と遺物

００４（第74・75図，図版21・28）

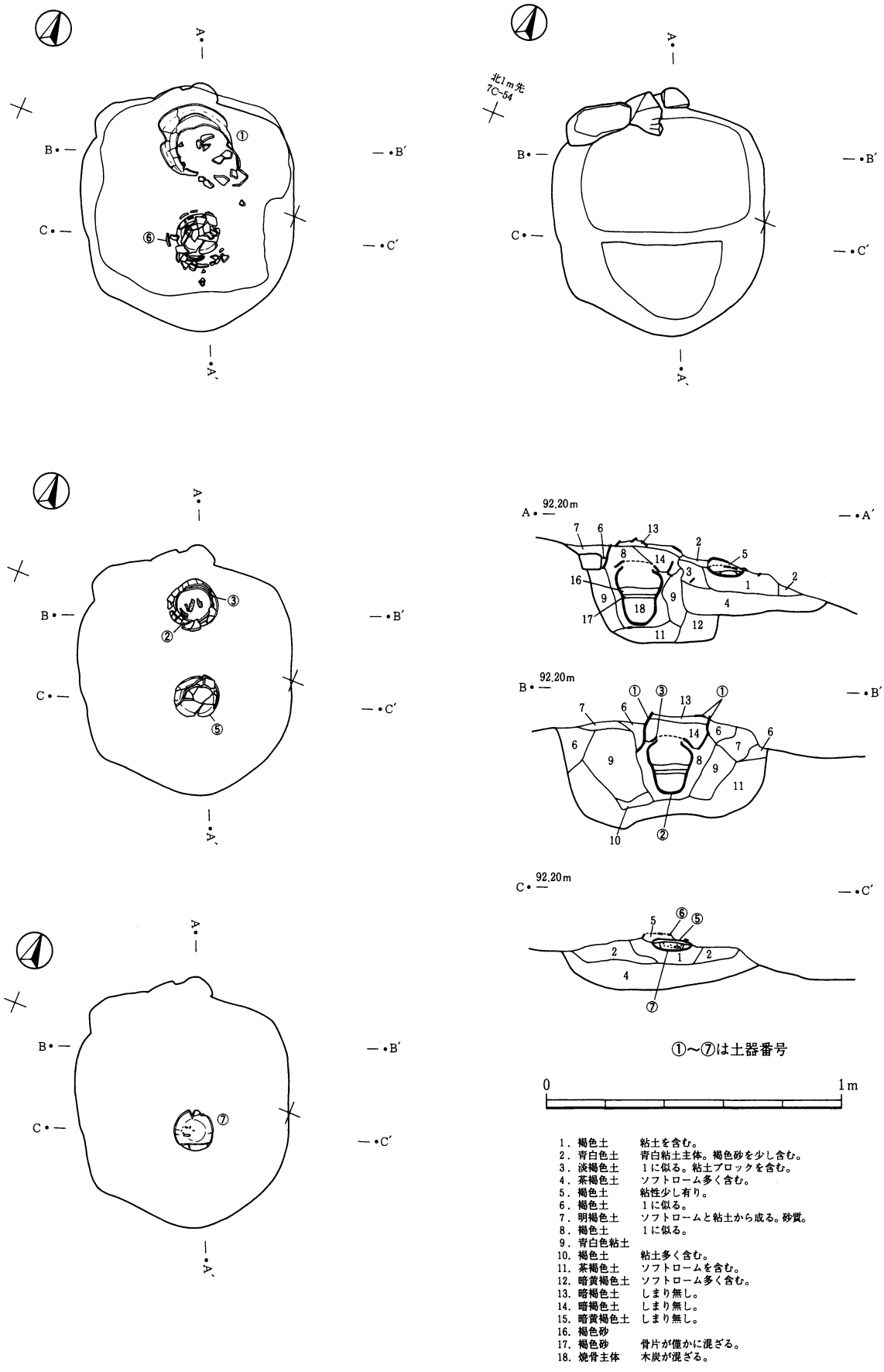
調査区西側，７Ｃ-54グリッドに位置する。南北方向に連なる，二つの重複する土坑内に葬られた骨蔵器で構成される火葬墓で，北側を骨蔵器１，南側を骨蔵器２と呼称した。トレンチ調査の際に発見されたが，丁度，南側斜面下の道路から調査現場への重機の進入路に接していたため，上面が削平された状態であった。結果的には，骨蔵器１の外容器・甕の上半部は壊れた状態で検出された。

骨蔵器１　方形の土坑内に外容器に土師器の甕，蓋に土師器の杯，骨蔵器は土師器の専用壷という３種が組み合わせられて，埋葬されている（第75図１～３）。外容器の甕１は，骨蔵器にかぶせられている。骨蔵器の壷２は，土坑内のほぼ中央に安置され，土師器杯３を蓋として転用している。壺内に火葬骨が残っていた。土坑の規模は東西方向で72cm，深さ30cm～35cm，骨蔵器２と重複する南北方向は，70cm前後の幅であろう。土坑底面は中央部がわずかに盛り上がっている。覆土の観察では，ローム土を含む土で土坑内の底辺部と外周部を固めた後，青白色粘土を郭のように充填し，その後骨蔵器を納めていることが理解できる。甕の外側，土坑の北壁際には，３個の凝灰質砂岩が敷設されている。

１の甕は口径23.2cm，現存高18.1cmである。口縁部が短く外反する。外面は口縁下から胴部全体を縦方向のヘラケズリ，口縁部は横ナデ，内面は全体に丁寧なナデ調整である。部分的に二次的な火熱を受け，器面が荒れている。胎土中に２mm～３mmの石粒を含むのが特徴的である。２は特異な形態の壷である。骨蔵器として専用に作られた容器であろう。全体の形は瓢形を思わせる形態で，丸くふくらんだ胴上半部から次第にすぼまりながら底部へと移行する。底部は丸みを持ち，安定感に欠ける。口縁部は短く斜めに反るように立ち上がる。外面は胴部全体をヘラケズリ調整，口縁部は横ナデ，内面はナデ調整をしている。内面中位に輪積み痕が残る。胎土に少量の砂粒と白色針状物を含み，色調は橙褐色である。法量は口径11.4cm，器高18.3cm，胴部最大径16.6cmである。３の杯は口縁部の一部から底部を欠く。体部外面は，やや粗雑なヘラケズリ，口縁部及び内面は横ナデ調整である。内面体部中位にわずかな稜がある。胎土や焼成，色の調子が２の骨蔵器と非常に良く似ていることや形態的にもやや特異な感を受けることから，蓋として専用に作成された器であろう。法量は口径（推定）13cm，器高5.1cmである。

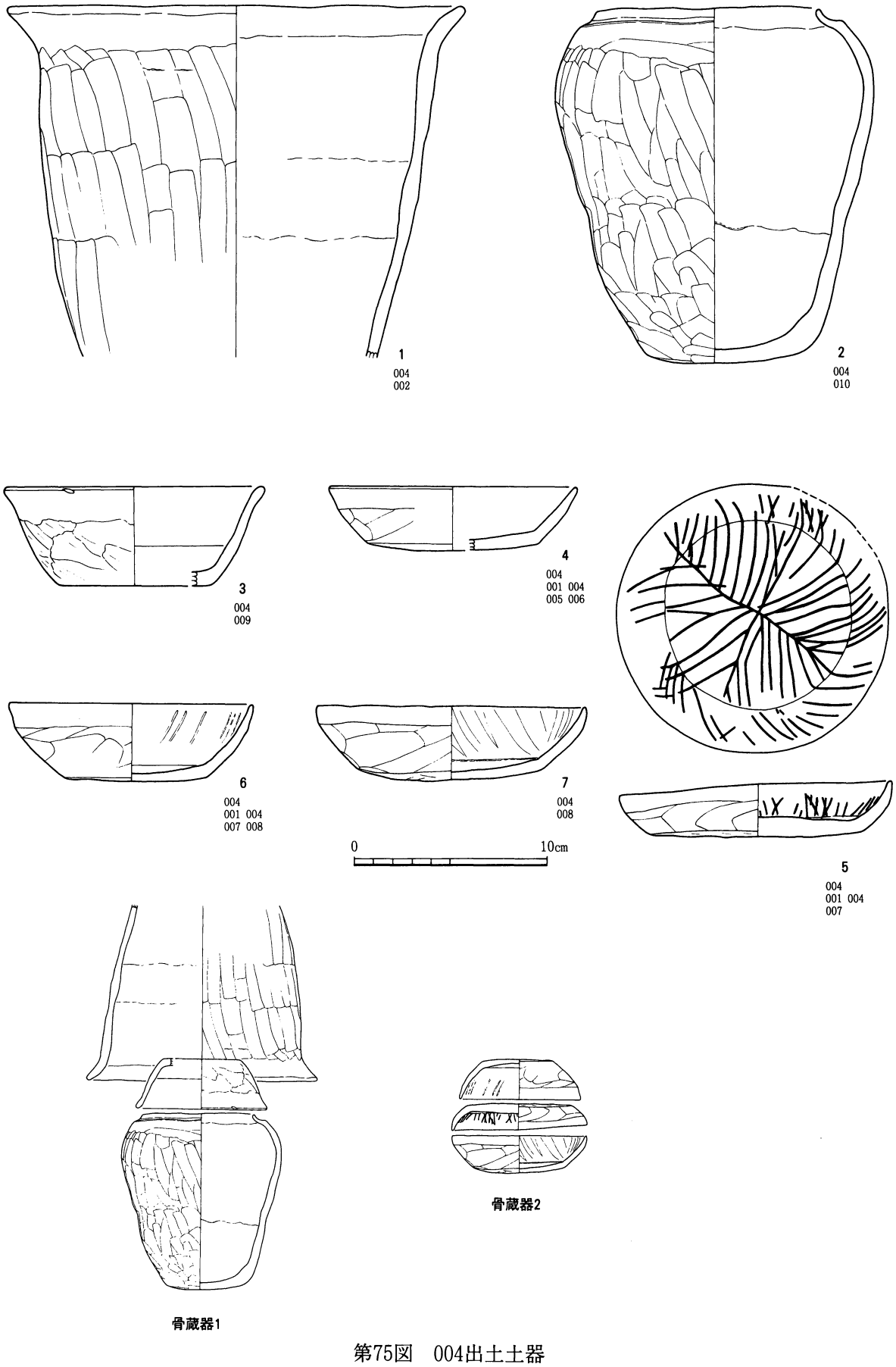
骨蔵器２　平面形が楕円形と思われる土坑内に外容器，蓋，骨蔵器ともに計４個体の土師器の杯を転用して埋葬している（第75図４～７）。土坑は骨蔵器１の南側を切って掘り込まれる。従って，新旧関係では骨蔵器１が古く，本跡（骨蔵器２）が新しいことになる。規模は東西幅69cm，南北幅は推定50cm，確認面からの深さは中央付近で18cm，南端で４cmである。骨蔵器を取り巻く覆土中には，青白色粘土が認められる。骨蔵器は土師器杯５と７を合子状に組み合わせ，その上にさらに蓋として二つの杯（４・６）が使用されていたようである。上二つの杯のうち，６は口縁を下に伏せた状態で検出されているが，もう一つの４は上面削平の際に散乱したため，どのような状態で埋納されていたのか，不明である。おそらく二つが重ねられた状態であったと考えられる。

４～７の杯はすべて非ロクロ成形である。４は全体の約１/２を欠く。体部は直線的に立ち上がり，口縁部がわずかに屈曲する。外面は体部を手持ちヘラケズリ，口縁部は横ナデする。内面は底部の屈曲がや



1．褐色土　粘土を含む。
2．青白色土　青白粘土主体。褐色砂を少し含む。
3．淡褐色土　1に似る。粘土ブロックを含む。
4．茶褐色土　ソフトローム多く含む。
5．褐色土　粘性少し有り。
6．褐色土　1に似る。
7．明褐色土　ソフトロームと粘土から成る。砂質。
8．褐色土　1に似る。
9．青白色粘土
10．褐色土　粘土多く含む。
11．茶褐色土　ソフトロームを含む。
12．暗黄褐色土　ソフトローム多く含む。
13．暗褐色土　しまり無し。
14．暗褐色土　しまり無し。
15．暗黄褐色土　しまり無し。
16．褐色砂
17．褐色砂　骨片が僅かに混ざる。
18．焼骨主体　木炭が混ざる。

第74図　004実測図



第75図　004出土土器

や強く，口唇部には煤が付着している。法量は口径（推定）12.7cm，底径（推定）8.7cm，器高3.3cmである。5は扁平な形態をとる皿状の杯である。径の大きい底部から内湾ぎみに口縁部が立ち上がる。内面に十字を基本とした綾杉文状の暗文が描かれる。法量は口径14.0cm，底径11.0cm，器高2.8cmである。6，7はともに体部下半が手持ちヘラケズリ整形で内面見込みに稜を有する杯である。6はやや小振りで，体部から口縁部が直立ぎみに立ち上がる。内面にはわずかに暗文の痕が残る。法量は口径12.6cm，底径7.5cm，器高4.1cmである。7の内面は体部に格子状の暗文が施される。法量は口径14cm，底径9.6cm，器高3.9cmである。

これらの帰属時期は，骨蔵器2の杯類の器形や整形等から判断して，8世紀後半から9世紀初頭に相当すると思われる。また，骨蔵器2が骨蔵器1への追葬を意識して埋納されたことは遺構の状況から明らかであることから，専用容器を持つ骨蔵器1も骨蔵器2とさほどの時期差がなく，8世紀後半の中で考えておきたい。

００５（第76図）

調査区西側，７Ｂ-17・18グリッドに位置する。土坑内に板状の砂石を組み合わせた石櫃である。検出時には既に全体が東側に傾き，蓋石がずれていた。土坑の平面形は長軸106cm，短軸83.5cmの長方形である。底面は二段に掘り込まれて，確認面からの深さは東側で35.9cm，西側で45.4cmである。最も深い土坑中央部で47.0cmである。石櫃は側石4枚，蓋石1枚，床石1枚の合計6枚が組み合わせられている。現況での大きさは，石櫃の中心線上で外法が長軸98cm，短軸68cm，高さ52cm，内法が長軸68cm，短軸39cm，高さ20cmほどである。側石の大きさは，南北の長辺側石が長さ55cm～56cm，幅24cm～27cm，厚さ14cm，東西短辺側石が長さ46cm～48cm，幅32cm～34cm，厚さ12cm～13cmである。蓋石は長さ71cm，幅57cm，厚さ15cm，床石は長さ68cm，幅38cm，厚さ19cmである。木更津市本名輪遺跡の例[1]に比較すると大形であり，石櫃と言うよりは石棺とした方が良いかもしれない。

床石より若干浮いた位置で，火葬骨片が33cm×26cmの範囲で検出された。分布範囲が石櫃内東側に偏っている。土器など他の遺物は出土していない。

注１　平野雅之　1986　『本名輪遺跡』財団法人君津郡市文化財センター

００６（第77図，図版22）

調査区東側，６Ｆ-24・34グリッドにまたがって位置する。土坑内に骨蔵器が納められた火葬墓である。北側に041が近接する。骨蔵器は土師器の甕を転用しており，土師器杯が蓋として使用されている。土坑はほぼ楕円形の平面形で，長軸79cm，短軸61cmで，確認面からの深さは南側から西側で25cm前後，東から北側で8cm前後である。なお，土坑の東側から北側の一部は，木根の攪乱により掘り方が崩れていた。土坑のほぼ中央に安置された骨蔵器の中は，上部に暗褐色土が流入し，下部に火葬骨が納められていた。火葬骨に混じって炭化材も検出されている。

遺物　土師器杯（第77図１）は，体部が直線的に開く形である。外面の調整は，底部及び体部の半分ほどをヘラケズリし，口縁部を横ナデする。内面は全体に横ナデ調整で仕上げ，底部との境に稜を持つ。法量は口径15.2cm，底径9.9cm，器高4.2cmである。胎土には砂粒及び白色針状物を含み，色調は橙色である。時期的には8世紀中頃と思われる。

土師器甕（第77図2）は，小形で丸みのある胴部から口縁が緩やかに外反する器形である。底径も比較的大きい。外面の調整は，胴部ほぼ全体をヘラケズリ，口縁部は横ナデする。内面は口縁部を横ナデ，胴

部から底部をナデ調整している。口縁内部には部分的に刷毛目が残る。法量は口径11.8cm，底径7.7cm，器高9.2cm，胴部最大径12.3cmである。胎土には砂粒を少量含み，色調は橙色である。器全体にひび割れが入り，歪みが生じている。

００７（第77図）

調査区西側，６Ｃ-83，93グリッドに位置する溝状遺構である。南側斜面に立地するため，遺構の南側部分が消失し，溝全体を確認することができなかったが，形態から方形周溝状遺構と思われる。最も遺存の良い北側で遺構の規模を見ると，周溝の一辺は2.6m，溝は逆台形状に掘り込まれて幅38cm～52cm，確認面からの深さは20cm前後である。周溝内では，北西隅と北東隅の両側に，それぞれ１基ずつピットが掘り込まれている。北西隅のピットは長径34cm，深さ21cmであり，北東隅のピットは長径33cm，深さ13cmである。

遺物は，東溝北側で須恵器の長頸壺１点（第77図１，図版29）が出土している。上面に竹が繁茂していたため，根の攪乱で破砕された状態であったが個体としてはまとまっている。口縁部は斜め上方に引き出された後，口唇部を細く摘み出す。口縁部下端は小さく折り返される。頸部は細く絞られ，胴部上位に最大径を持つ。肩の張りはやや弱い。高台はわずかに外に開き，底部が若干丸みを持つ。口径10.7cm，器高24.5cm，胴部最大径16.1cm，底径6.6cmである。外面の色調は全体に灰色だが，頸部の一部から肩部全体に灰オリーブ色の自然釉がかかる。胎土は緻密で，細かい白色粒や黒色粒が混入しているのが特徴的である。形態や胎土の特徴から湖西窯産と見られ，時期は７世紀末であろう。

３　出土人骨

３基の骨蔵器と１基の石櫃からそれぞれ火葬骨が検出されている。３基の骨蔵器に納められた火葬骨のうち004の骨蔵器１と006の２例は，壺に納められた火葬骨とともに微量の炭化物が検出されている。また，石櫃005では長さ５cmほどの炭化材が火葬骨とともに検出されている。

これらの人骨は全身骨のごく一部で，しかも砕片化しているため，今回は解剖学的な鑑定を依頼せず簡単な観察結果と写真を掲載することとした。なお，人骨の観察は，㈶市原市文化財センター西野雅人氏にお願いした。

１号人骨（図版30）

004骨蔵器１の人骨である。総量は309.9ｇである。四肢骨片多数と頭蓋骨片が見られる。これらは火葬骨として遺存しやすい部位と考えられる。１体分の骨としてはとても少ないが，成人の全身骨の一部であろう。骨は白色化し，収縮や亀裂・変形が著しい。これは遺体の軟部が付着した状態で，比較的高温で火葬されたことを示している。

２号人骨（図版30）

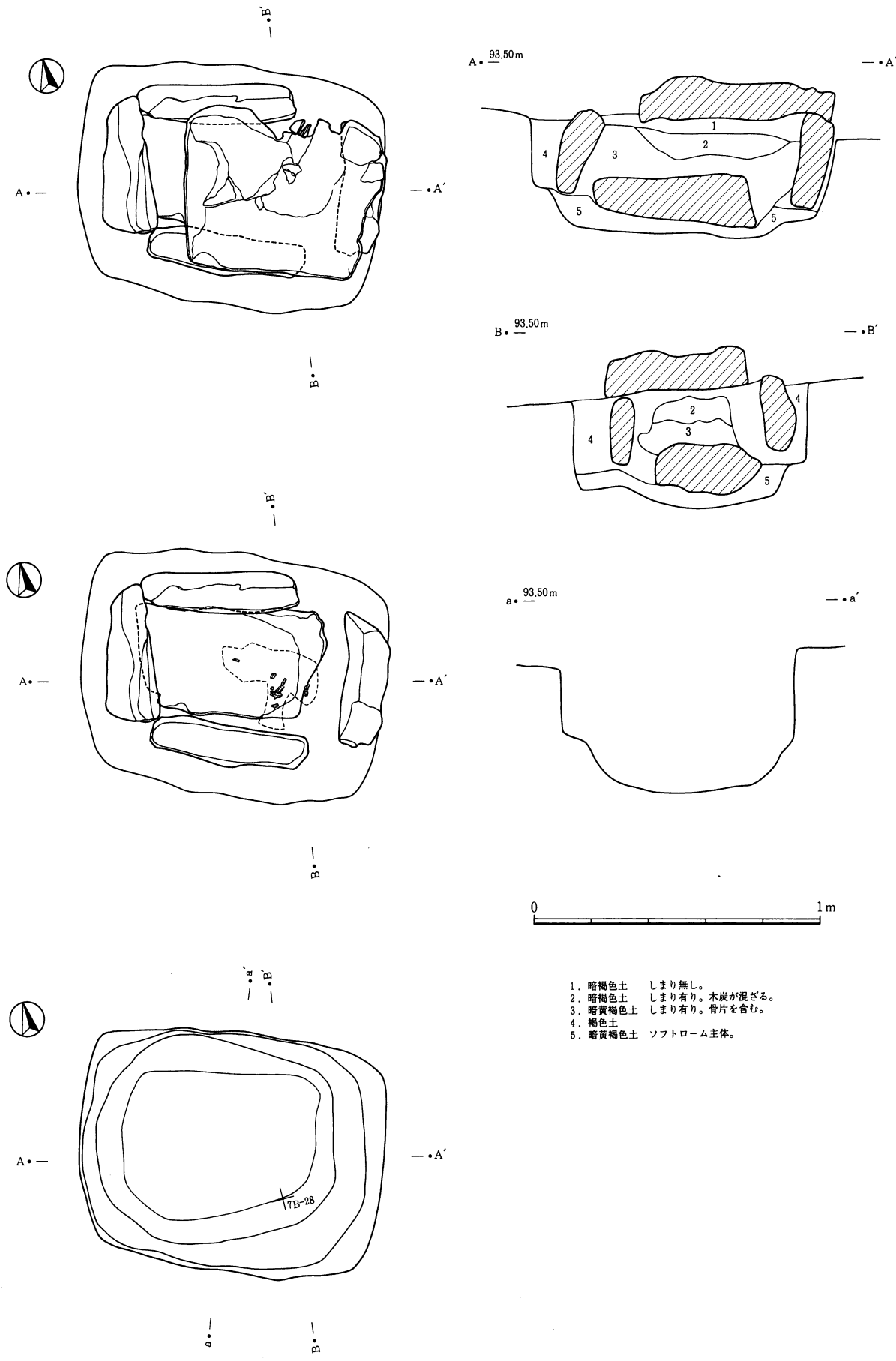
004骨蔵器２の人骨である。白色化したごく小さな骨片が6.1ｇある。遺存状態は悪く，部位の分る破片はない。

３号人骨（図版30）

石櫃（005）内で検出された人骨である。四肢骨片が11.8ｇある。白色化しており，火葬された人骨と見られる。

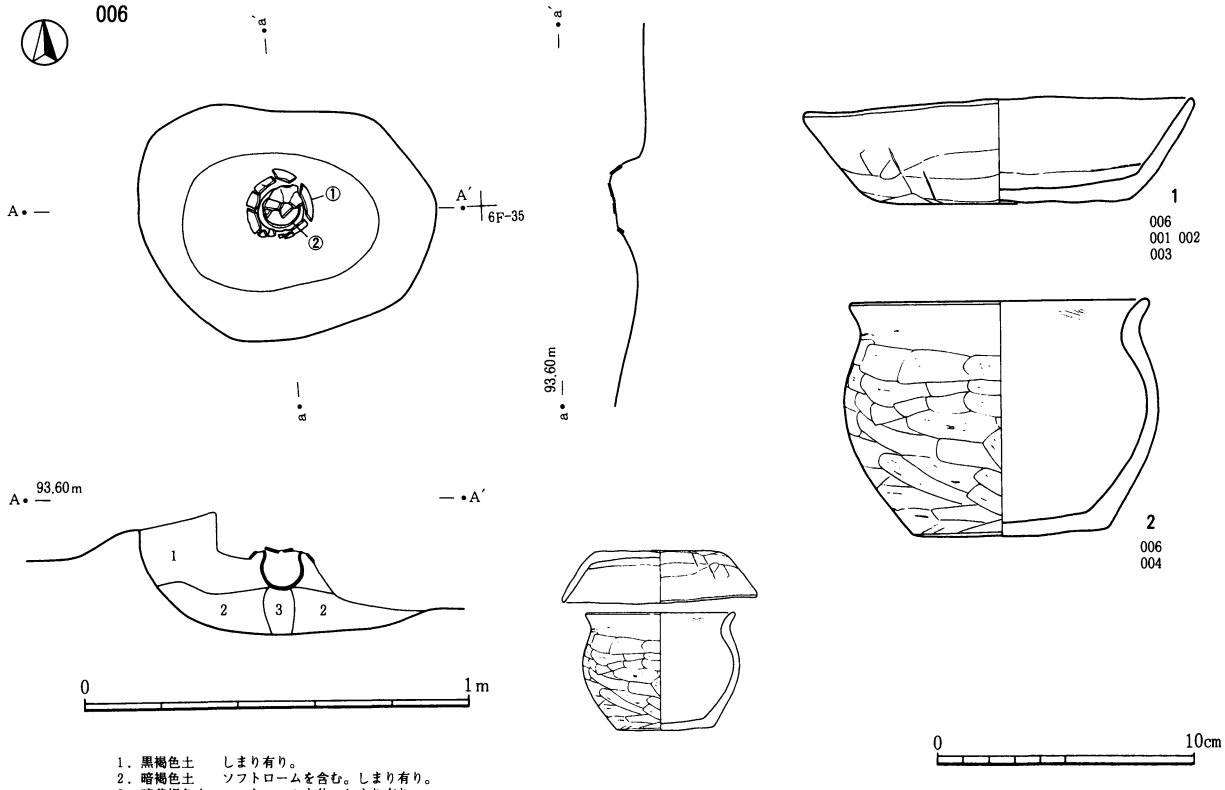
４号人骨（図版30）

006の骨蔵器から検出された人骨である。総量は102.2ｇである。四肢骨小片と遊離歯の歯根部分（歯種

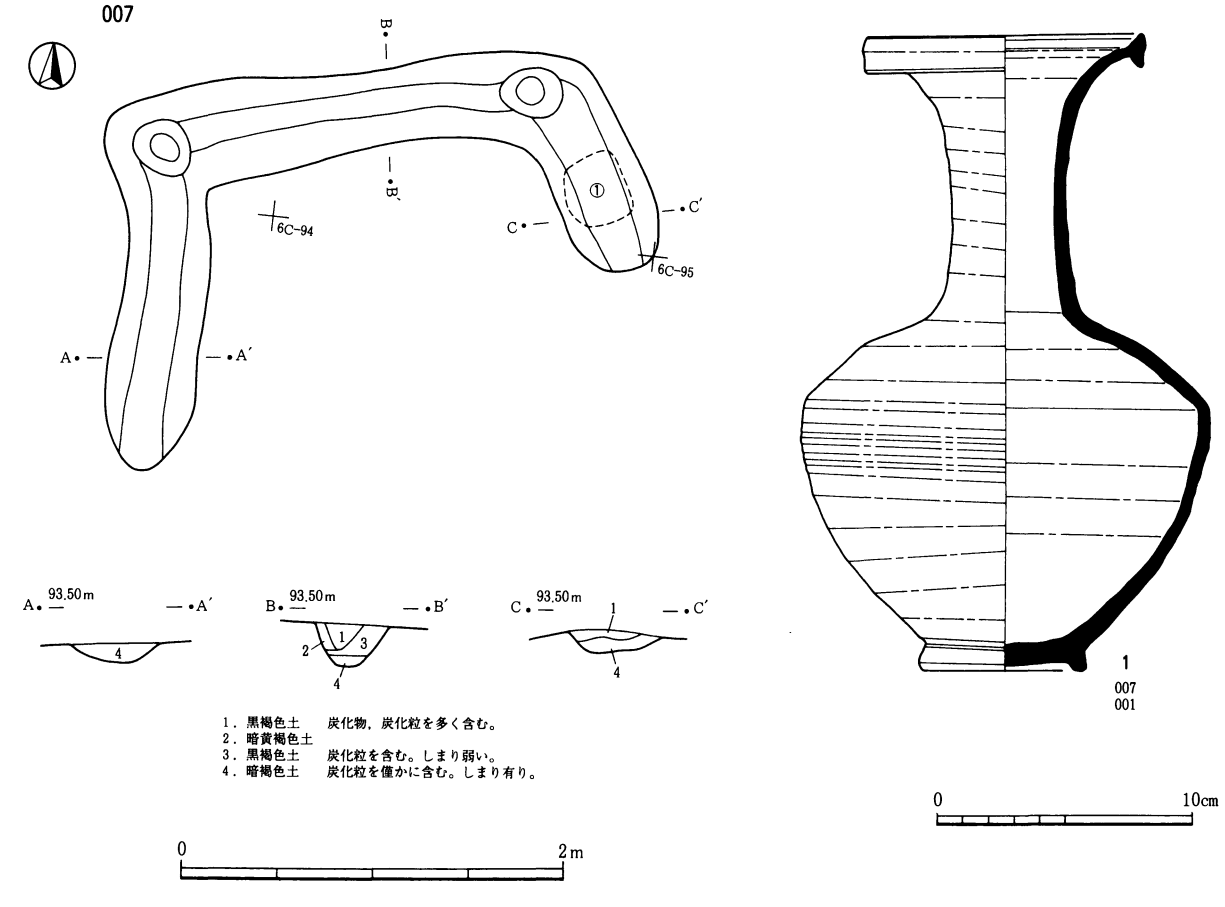


1．暗褐色土　しまり無し。
2．暗褐色土　しまり有り。木炭が混ざる。
3．暗黄褐色土　しまり有り。骨片を含む。
4．褐色土
5．暗黄褐色土　ソフトローム主体。

第76図　005実測図



1．黒褐色土　しまり有り。
2．暗褐色土　ソフトロームを含む。しまり有り。
3．暗黄褐色土　ソフトローム主体。しまり有り。



1．黒褐色土　炭化物，炭化粒を多く含む。
2．暗黄褐色土
3．黒褐色土　炭化粒を含む。しまり弱い。
4．暗褐色土　炭化粒を僅かに含む。しまり有り。

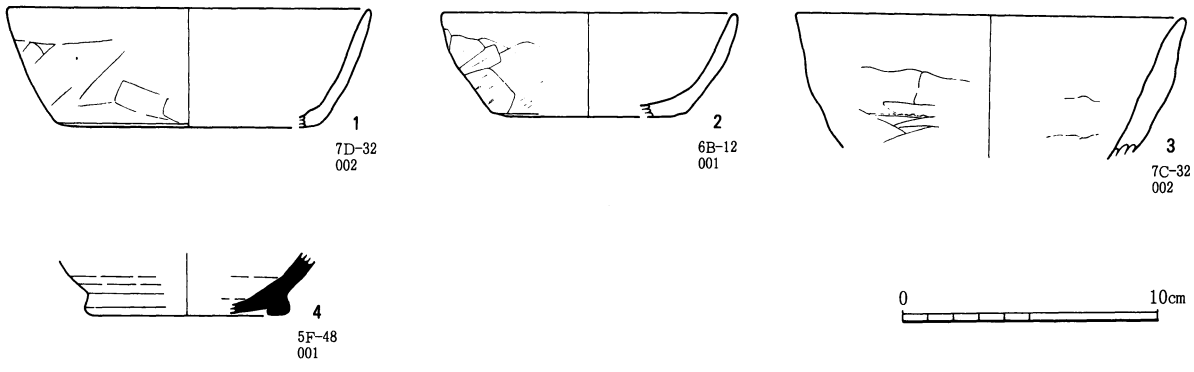
第77図　006・007実測図及び出土土器

比較的高温で火葬されたことを示している。

4　遺構外出土遺物（第78図）

遺構外出土の奈良・平安時代の遺物は，土師器45点と須恵器８点が出土した。そのうち図示できたものは土師器３点，須恵器１点である。

１・２は土師器杯である。１は全体の約１/４弱が残存している。内湾気味に体部が立ち上がり，口縁が直線的に開く器形である。外面は体部をヘラケズリ調整，口縁部を横ナデする。内面はナデ調整である。法量は，推定で口径14.1cm，底径10.3cm，器高は4.5cmである。胎土に砂粒を少量含み，色調はにぶい黄橙色である。２は全体の約１/４が残存している。同一個体の破片が他に１点あるが，接合はしない。体部から口縁部へ内湾気味に立ち上がる器形である。外面は口縁下から体部，底部をヘラケズリし，口縁部を横ナデする。内面は横ナデ調整である。法量は，推定で口径11.4cm，底径7.5cm，器高は4.0cmである。胎土に砂粒を少量含み，色調はにぶい橙色である。３は器壁が厚く，手づくね様の比較的雑な作りの土師器椀である。同種の破片が他に４点出土している。口縁部が胴部中位から内湾気味に立ち上がり，緩やかに外反する。外面の整形は基本的にヘラナデによるが，輪積みの痕を残している。口唇部から内面は横ナデ調整で，丁寧に仕上げている。口径は推定で15cm前後である。胎土に砂粒のほか白色針状物が混ざり，色調は橙色である。４は須恵器壺類の底部である。丸みのある底部で，高台がわずかに外側に張り出す。胎土に黒色粒子を含み，色調は灰色である。底径は推定で8.0cmである。



第78図　遺構外出土土師器･須恵器

第５節　中・近世（第80図～第83図）

１　遺構

中世以降の遺構は，道路跡４条とそれらに付随する溝跡，ピット列等が発見されている。道路跡は，遺跡の立地する丘陵上の狭い尾根に沿って東西方向に延びている。互いに合流して延びる３条（００３，００８，００９）と，これらと平行する１条（０１０）がある。

００３・００８・００９（第79・80図）

００３は，調査区西側５Ｂ-41グリッド付近から中央６Ｄ-50グリッド付近を通り，調査区東側６Ｆ-19グリッドに延びる，総延長103.7ｍの道路跡である。調査区西側から中央部付近で道路跡００９と合流し，また，調査区東側６Ｅ-69グリッド付近で道路跡００８と合流する。硬化面の幅は広い部分で78cm，狭い

部分で25cmである。側溝と硬化面との位置関係が東側と西側で変化しており，調査区中央付近から東側では硬化面の北側に沿っているのに対して，調査区西側では硬化面の南側に検出されている。６C-96グリッド付近の道路断面の観察では，００３の左右両側に側溝が認められるところもあることから，本来は道路の左右に側溝が存在していたと思われる。側溝の規模は場所によって出入りがあり，幅20cm～81cm，深さ13cm～30cmである。

００９は延長67.5mである。硬化面は００３の北側に接しており，幅30cm～68cm，厚さ10cm前後である。調査区西側での断面観察によると，００３の硬化面が００９の硬化面を切っていることから，新旧関係は００９より００３の方が新しいことが理解できる。

００８は延長13.5mである。硬化面の幅は36cm～63cm，側溝は北側に沿っている。幅30cm～50cm，深さ12cm～20cmである。

この３条の道路は，同じ経路で尾根の東西を延びることから，時に応じて多少の道筋が変化してはいるものの，基本的には一つの道筋として機能していたことが窺える。

０１０（第81図）

遺跡のある台地上の尾根筋を東から西に横断する道路跡で，上層部分は最近まで尾根筋の林道として利用されていた。このため，全体的に遺存状況は良くない。５E-88グリッド付近では延長14.5mの溝とピット列を検出した。溝幅は1.6m～2.0m，確認面からの深さは15cm～50.5cmである。溝に付随するピット列は，尾根筋を東西に走る溝の底面，北壁側（斜面側）に接して掘り込まれるのが特徴で，最も東側の溝からはずれたピットを除く９基は，ピット真心の距離が約1.3m前後の等間隔である。道路跡に伴う柵列と考えて良いだろう。ピットの規模は径76cm～58cm，深さ13cm～20cmである。覆土はロームブロックを含む暗褐色土，暗黄褐色土が主体で，最下層に富士宝永テフラと見られる火山灰の堆積が確認されている。なお，５B-56・57グリッドに位置する２基のピット底面からも同様の火山灰が検出され，かつ道筋の延長上に平行して並ぶため，ピット列の一部と判断した。

溝の覆土中から擂鉢１点と銅銭１枚（第82図１・３）が出土している。

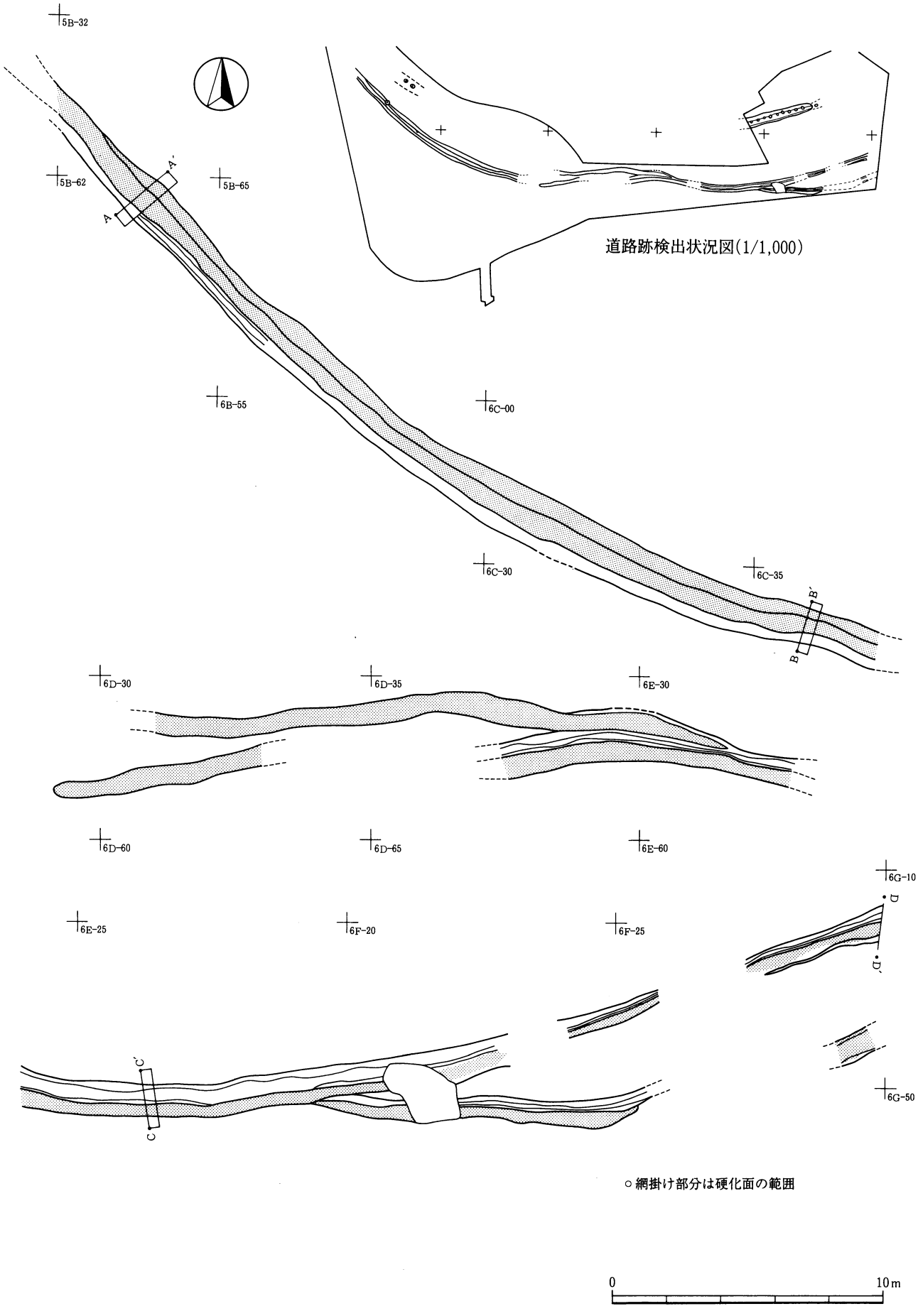
２　遺物（第82図１～６，図版29）

中・近世の遺物は６点と極めて少ない。遺構に伴うものは２点のみである。ここでは遺構外出土の遺物も一括して取り扱う。

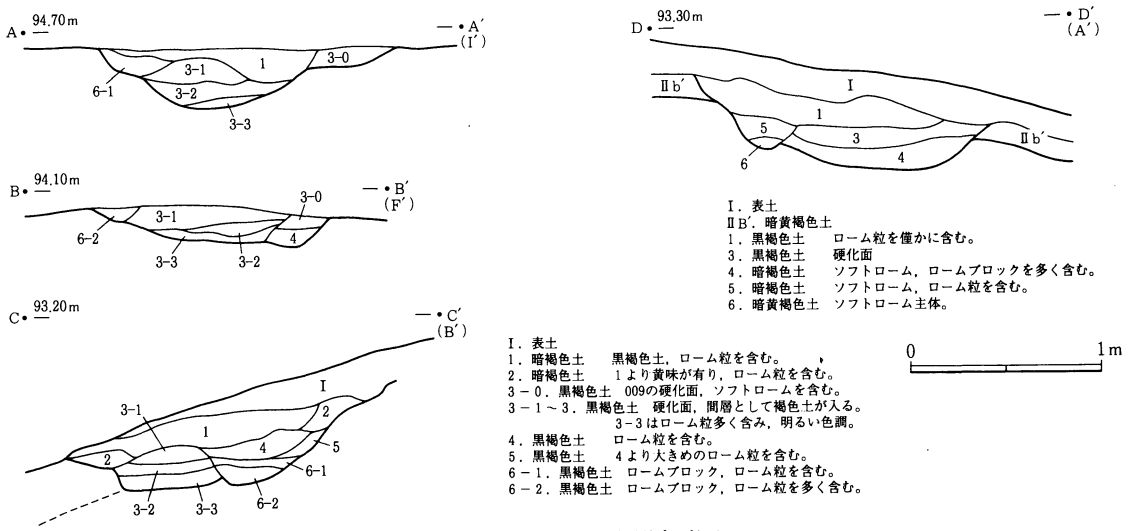
１は擂鉢である。底部破片の破断面を砥石として再利用しており，研磨痕が明瞭に残っている。擂目は15本１単位を基本とする。外面体部は回転ヘラケズリ調整，底部は回転糸切り離しである。内外面ともに錆釉を施される。胎土は灰白色で，黒色粒を含む。近世の瀬戸・美濃窯産である。

２は刀子の破損品である。全体に錆化が進行しており，特に茎側が著しい。現存長72.3mm，最大幅21.1mm，重さ19.65gである。３は青銅製の寛永通宝で，18世紀初期の鋳造品である。外径22.9mm，重さ2.82g。

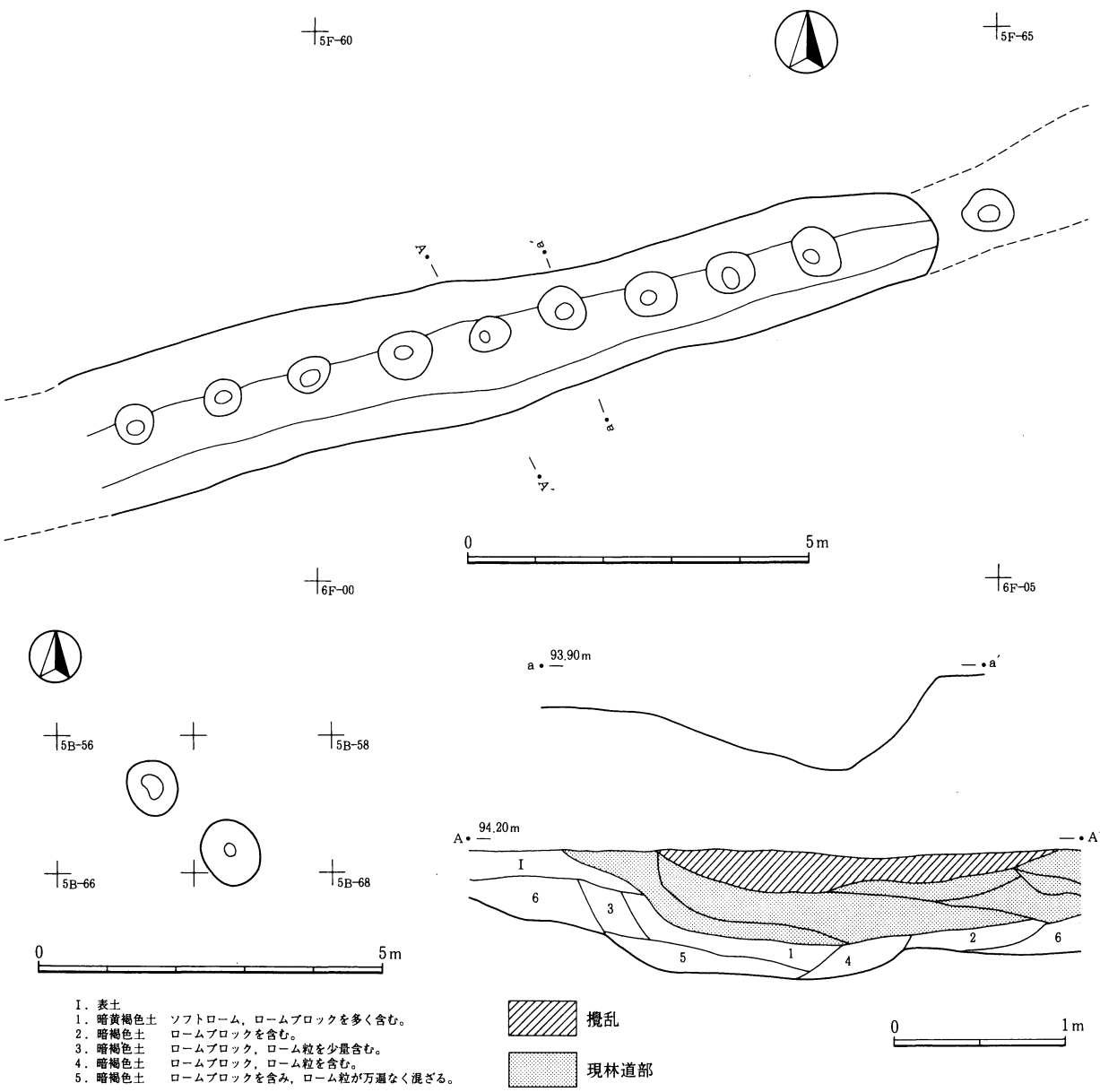
４～６は砥石である。ともに小さく砕けていて，遺存状況は良くない。６は直方体の製品で，側面にハケ目が残る。３点とも凝灰岩製である。



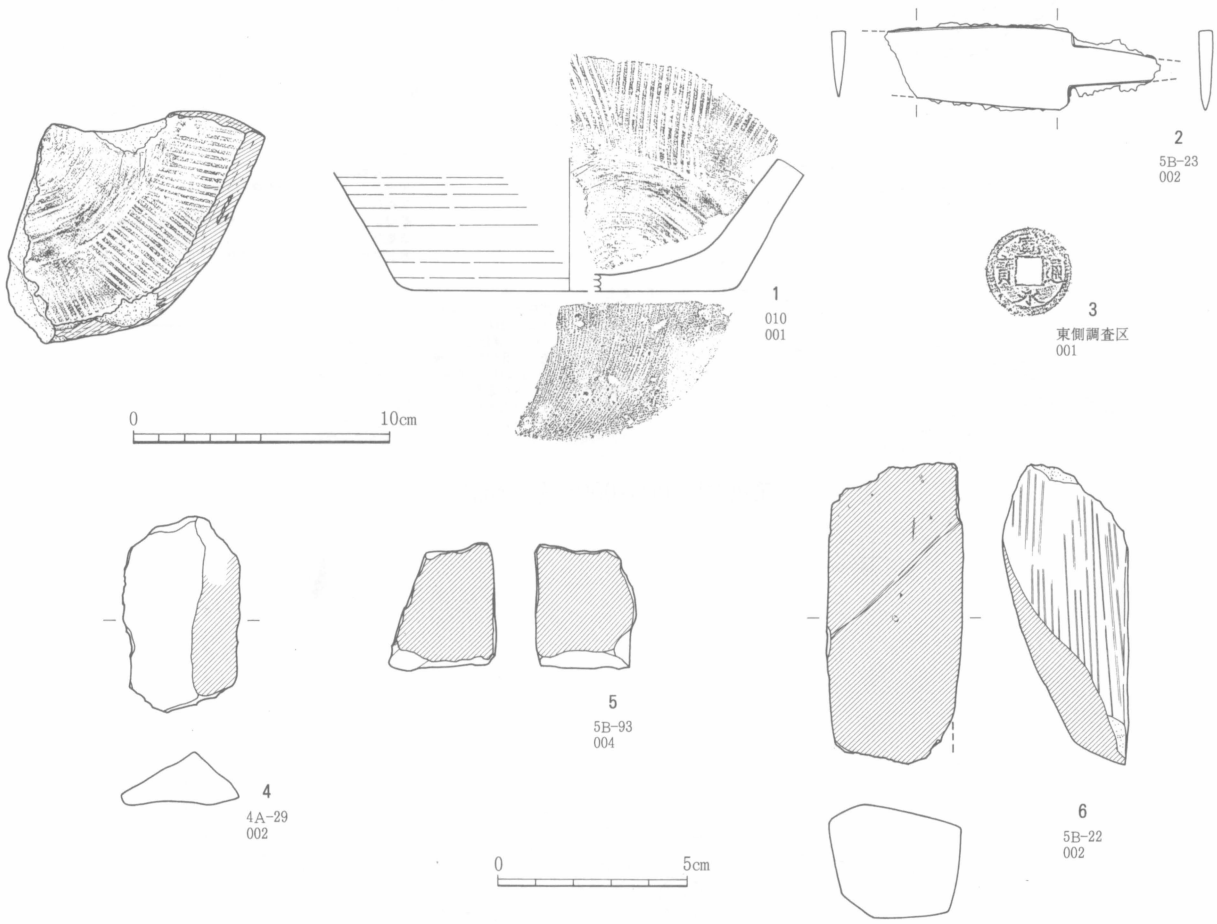
第79図　003・008・009実測図



第80図　003・009土層断面図



第81図　010実測図


1
010
001
2
5B-23
002
3
東側調査区
001
0
10cm
4
4A-29
002
5
5B-93
004
6
5B-22
002
0
5cm

第82図　中・近世遺物

第4章　ま　と　め

金二矢台遺跡

1　旧石器時代

金二矢台遺跡は，平成3，4年に隣接地点の調査が行われており，Ⅳ層・Ⅴ層に出土層位を持つ12か所のブロックが検出され，石刃状の縦長剥片から横長剥片にその主体を移しつつ，ナイフ形石器を主体とする段階に近いものと報告されている。

今回の調査は，前回調査の南側，南に突き出す台地の先端部にあたる。金二矢台遺跡から出土した旧石器時代の遺物は，Ⅲ層～Ⅵ層に出土層位を持つ3枚の文化層で旧石器4か所のブロックと礫ブロック3か所が集中して検出された。

旧石器5F-95ブロックと礫群1，旧石器6F-37ブロックと礫群2，旧石器7G-33ブロックと礫群3がそれぞれ同一文化層において検出されている。旧石器5G-45ブロックは礫群との明瞭な結びつきは認められなかった。3地点において旧石器ブロックと礫群が同時に検出されていることから，石器製作地点と生活域との密接な結びつきが想起され，貴重な資料であろう。文化層の特徴は，石材構成では黒曜石が全体の約82%，頁岩約12%，安山岩・ホルンフェルス・チャートが約6%で構成されている。器種構成では，ナイフ形石器6点，削器3点，楔形石器1点，石刃6点，微細剥離痕剥片11点，石核10点で残りが剥片・砕片である。器種と石材の関係では，ナイフ形石器6点はすべて黒曜石を使用している。楔形石器1点は黒曜石使用，削器は2点が黒曜石，1点が頁岩を使用している。石核は10点のうち頁岩，ホルンフェルスが各1点，残りはすべて黒曜石である。石刃はすべて黒曜石を使用している。接合資料は10個体検出された。5F-95ブロックが6個体，5G-45ブロックが3個体，7G-33ブロックが1個体であった。ブロック間での接合は認められなかった。礫は551個が3か所にまとまって検出された。礫群1は，大部分は5F-95ブロック旧石器出土地点と重なって検出されているが，北側の比較的旧石器の検出が薄い地点にも多量に，かつ環状に検出されている点は興味深い。礫群2は，6F-37ブロック旧石器検出地点と礫検出地点がほぼ一致している。礫群3は，7G-33ブロック旧石器集中出土地点とは重ならず，旧石器検出地点の北側に集中して検出されている点は，旧石器時代の人々の石器製作地点と生活域との関係を知る上で興味深い分布状況を示している。

南羽鳥遺跡

南羽鳥遺跡では縄文時代の遺物包含層，竪穴住居跡1軒，土坑41基，ピット群6基，ピット19基，古墳時代終末の方形周溝状遺構1基，奈良・平安時代の火葬墓3基，中・近世の道路跡3条などを調査した。遺構群は調査区北側の傾斜面，台地平坦部の西側と東側の大きく3か所の地点に集中する傾向が認められた。これらの結果について，周辺遺跡の調査成果をふまえて本遺跡の歴史的な位置づけを行い，まとめにかえたい。

1　縄文時代

縄文時代の遺構・遺物は，概要でも示したように調査区北側，西側，東側の大きく3か所の地点に分散

する傾向があり，早期の撚糸文系土器を伴う礫群と竪穴住居跡１軒，土坑41基・ピット群６群，ピット19基が検出されている。

北側調査区の竪穴住居跡042は，傾斜面に立地するため壁の一部をかろうじて検出したに留まり，全体の形状が判然としない。炉跡の東側（斜面下方）のピットの配置を見ると，概ね南北方向に直線的に並び，西側で検出された壁の向きにほぼ一致していることや二つの炉跡との位置関係を考慮して，楕円形または隅丸方形に近い平面形と推定した。ピットは全体的に規模が不規則であるが，斜面上方の西壁側では小規模なものが多く，斜面下方の東側では比較的規模が大きく深く掘り込まれているものが多いことも特徴の一つとしてあげられる。なお，炉跡が２基存在するが，重複するピットや近接しているピットが多いことから，立て替えが行われた可能性が考えられよう。

土坑，ピット群等の遺構は出土遺物に乏しいことや構造上の特徴もないことから，その性格を推定することは困難である。ただ，ピット群028や064及び042の西側に位置する050・051については，ピットの分布が半円形や長方形に並ぶことから，何らかの建物跡の存在した可能性も考えられる。遺構の時期については，020で撚糸文系の土器片が出土し，016，035・036上面で礫が検出されていることや，遺構群の分布と礫群の分布域とは完全に一致しないまでも西側調査区での礫群の分布域に共通性があることから，早期撚糸文系の時期に位置づけたい。

遺物包含層では総数4,000点を超える礫が出土した。これらの礫は先にも触れたように西側調査区に分布の中心が偏り，早期撚糸文土器や礫石器の分布とほぼ重なっている。礫群の重量，破損率，赤化率の分析結果から見ると，破損率平均が79％と高く，赤化率は平均40％と低い値を示しており，全体的には破損率と赤化率の相関関係は強くは認められない。ただ，個数50個以上を出土したグリッドでの個数対赤化率を見ると高いもので69％，低いもので13％とかなりかけ離れた数値が得られており，場所によっては礫の用途に違いがあることを示しているのかもしれない。特に５Ｂ-42グリッド周辺は礫個数に対する破損率と赤化率の値が高いことからも，そうした状況を窺える。礫の重量は，完形礫平均が49.1ｇ，大きさで見ると径５㎝以下の小礫が多数を占めており，遺跡周辺での礫の産出状況だけでなく，持ち込まれる礫の用途に小円礫を多用したという利用頻度も影響しているかもしれない。石材では，チャート，流紋岩，砂岩の３種が圧倒的に多く，中でもチャートが約半数の45.8％を占める。石材の中でチャートが多数を占めるという状況は，周辺遺跡の調査，例えば金二矢台遺跡や堀ノ内台遺跡[1]でも同じような傾向が認められており，礫の産出状況からだけでなく，その用途や生活を暗示しているのかもしれない。

２　古墳時代～奈良・平安時代

遺構では，３基の火葬墓と１基の方形周溝遺構が発見されている。火葬墓は土坑と骨蔵器を伴うもの，石組による石櫃などそれぞれ異なる様式を持っており，その点でも特色ある遺構群である。007遺構は一辺が2.6ｍと規模が小さく，コ字状に巡る溝の一端が外側に開く点で通常の方形周溝遺構の平面形態とはやや異なっている。遺構が斜面に立地しているため，本来は方形に回る周溝の一端が消失した可能性が大きく，全体の規模や形状を他遺跡の例と比較することは困難であるが，方形周溝遺構或いは方形墳墓の中ではかなり小形の部類になるであろう。溝内から出土した須恵器長頸壺は大網白里町餅木横穴群出土の湖西窯産のものと同様の特徴を有することから７世紀末の年代とした[2]。

３基の火葬墓の分布は，調査区西側と東側に偏在している。火葬墓の形態は三者三様であり，004－骨蔵器１が土師器専用骨蔵器を使用し，骨蔵器２は土師器杯を転用する。また，006が土師器小型甕の転用

容器，005は板状の砂岩を組み合わせた石櫃とそれぞれ異なる様相である。

004－骨蔵器１の土師器専用骨蔵器は，短く反るように立ちあがる口頸部にくびれた胴部を持つ特異な形態の短頸壺である。専用骨蔵器を用いる近隣の例としては木更津市苗見作遺跡，林遺跡，君津市狐山遺跡などを含めて今のところ７遺跡ほど知られている[3]。ここで注目すべきは，東上総地域のこれらの例はすべて無頸壺を使用している点であり，その意味では骨蔵器１の土師器専用骨蔵器の形態は極めて特異な例といえよう。

方形周溝遺構を含めた墳墓・火葬墓の変遷は007遺構が７世紀末，006遺構が８世紀中頃，004遺構の骨蔵器１，２が８世紀後半という年代に位置づけた。上総地域の古墳時代終末から奈良・平安時代への墳墓の変遷は高塚古墳から方形墳墓あるいは横穴墓や火葬墓へと展開するが[4][5]，本遺跡での状況もこの変遷過程と共通しており，火葬墓の盛行した８世紀中頃から後半に相次いで006，004が造られている。石櫃とした005は火葬骨以外に時期を推定する遺物を伴っていないが，２基の火葬墓とほぼ同時期のものであろう。

本遺跡では竪穴住居跡が検出されていない。また周辺でも古墳時代から奈良・平安時代に該当する集落跡が存在していない。なお，遺跡の西側と東側には大規模に造成された住宅地があり，この地区での考古学的な調査成果がいまひとつ不明ではあるが，その意味では集落から離れた地区に墓域だけが形成された遺跡と見るべきであろう。

注１　井上哲朗・小笠原永隆・豊田秀治　2000　『東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書６－木更津市金二矢台・堀ノ内台遺跡』財団法人千葉県文化財センター

２　小林信一・黒沢　崇　1999　『県道山田台大網白里線埋蔵文化財調査報告書２－大網白里町餅木横穴群－』財団法人千葉県文化財センター，この他栗田則久氏，小林信一氏から教示を受けた。

３　山口耕一　1995　「専用型骨蔵器と転用型骨蔵器について」『第５回東日本埋蔵文化財研究会　東日本における奈良・平安時代の墓制－墓制をめぐる諸問題－』第Ⅳ分冊　東日本埋蔵文化財研究会

４　富眞嗣史ほか　1995　「上総・安房国の奈良・平安時代の墓制について」『第５回東日本埋蔵文化財研究会　東日本における奈良・平安時代の墓制－墓制をめぐる諸問題－』　第Ⅱ分冊　東日本埋蔵文化財研究会

５　笹生　衛ほか　1993　「第６章古代の信仰　第３節葬送」『房総考古学ライブラリー７歴史時代(1)』財団法人千葉県文化財センター

写 真 図 版

金二矢台遺跡周辺航空写真

調査前近景（南より）

確認試掘状況

基本土層断面

SK - 001 完掘状況

礫群 1.2 出土状況

礫群 2 出土状況

6F - 37ブロック遺物出土状況

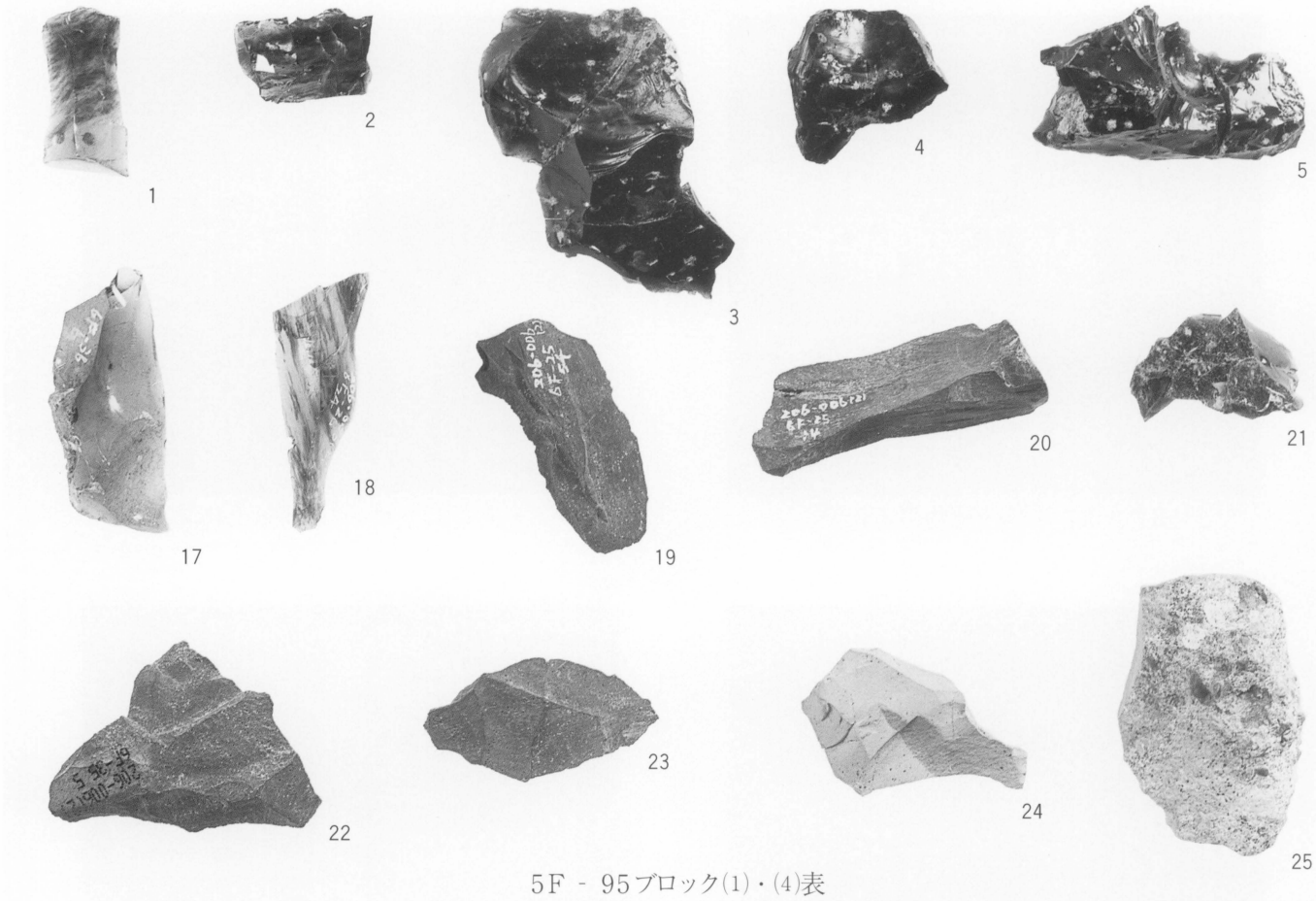
6F - 37ブロック遺物出土状況

5G - 45ブロック遺物出土状況

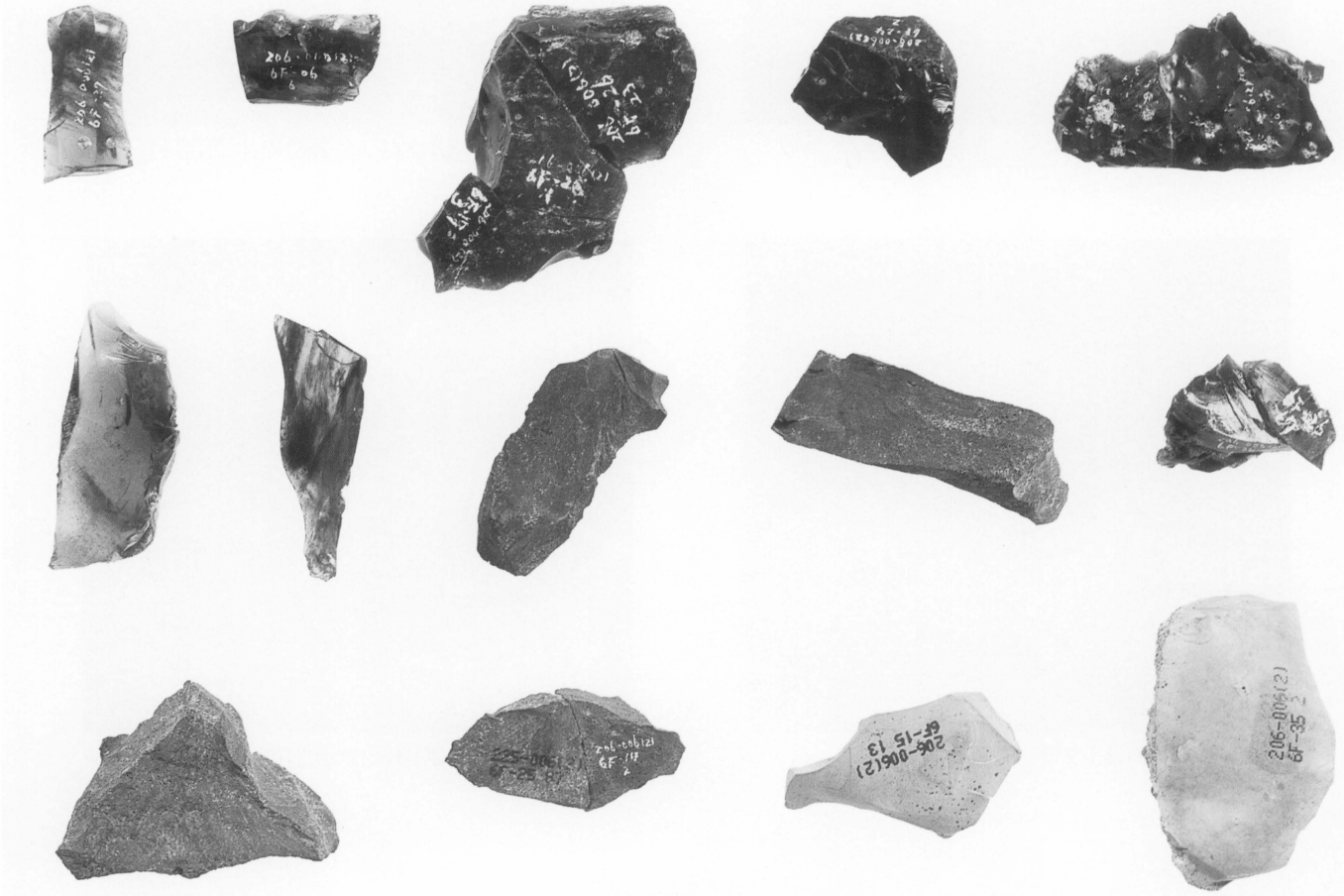
7G - 33ブロック遺物出土状況

7G - 33ブロック遺物出土状況

7G - 33ブロック遺物出土状況

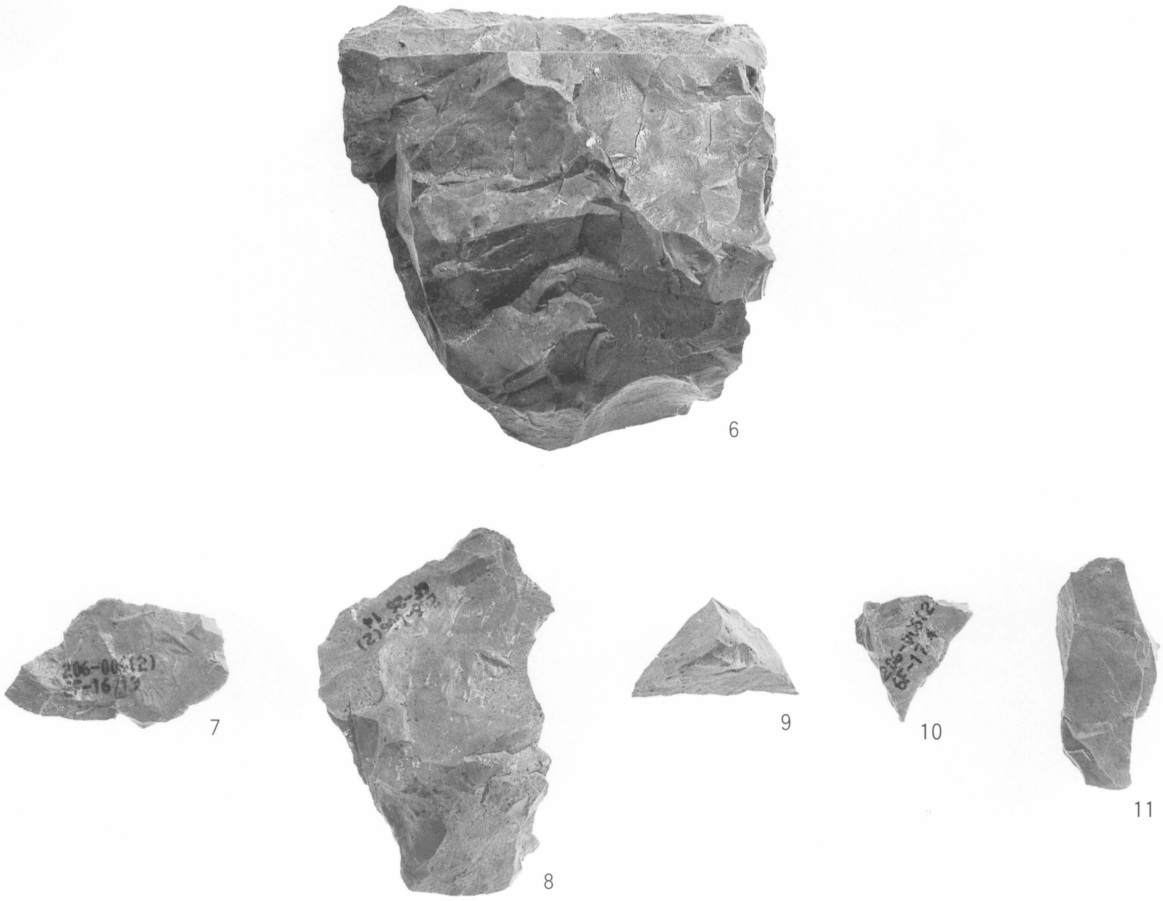


5F - 95ブロック(1)・(4)表

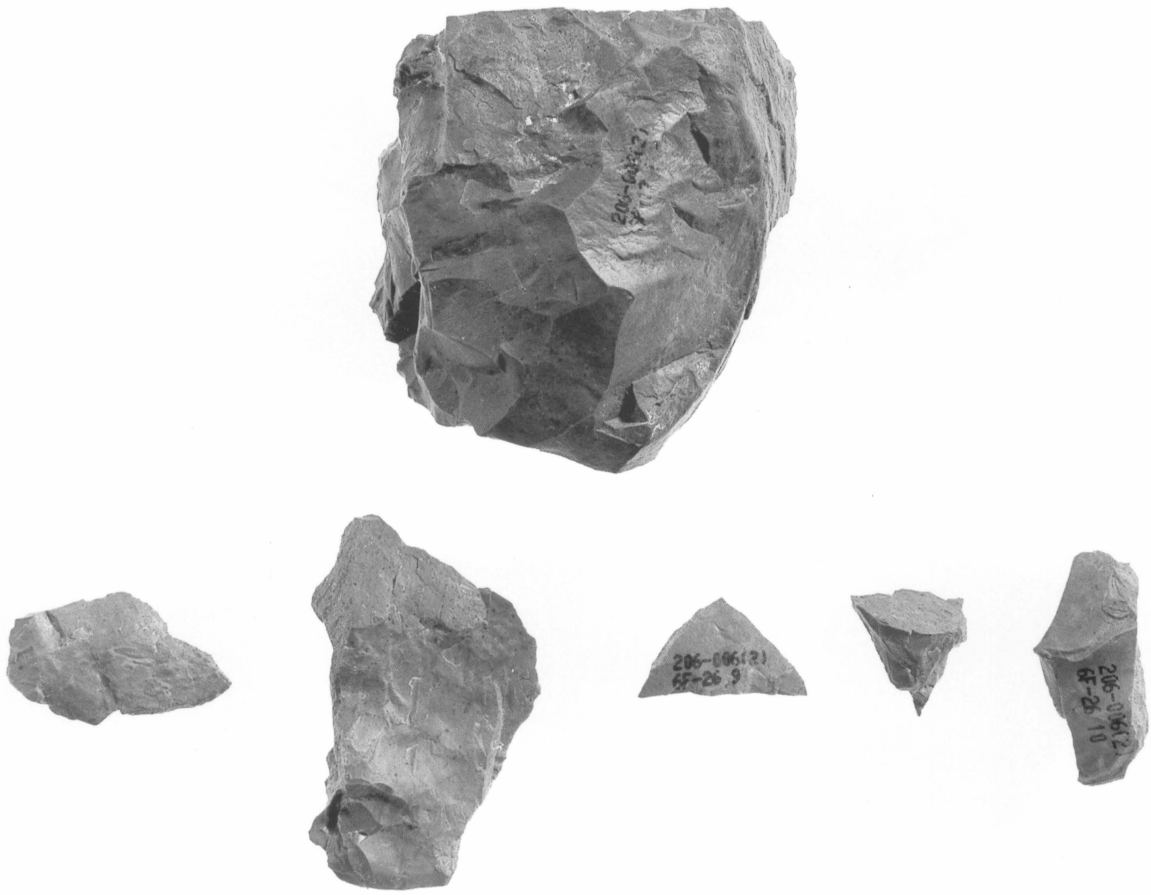


5F - 95ブロック(1)・(4)裏

旧石器時代石器（1）

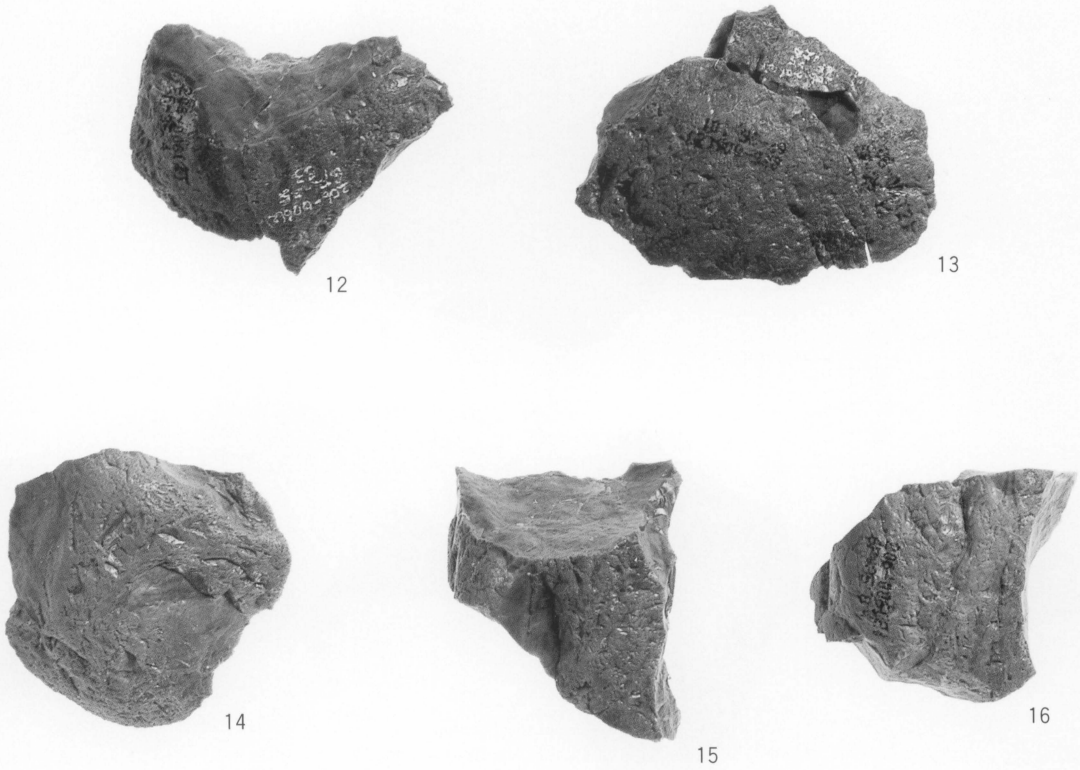


5F - 95ブロック(2)表



5F - 95ブロック(2)裏

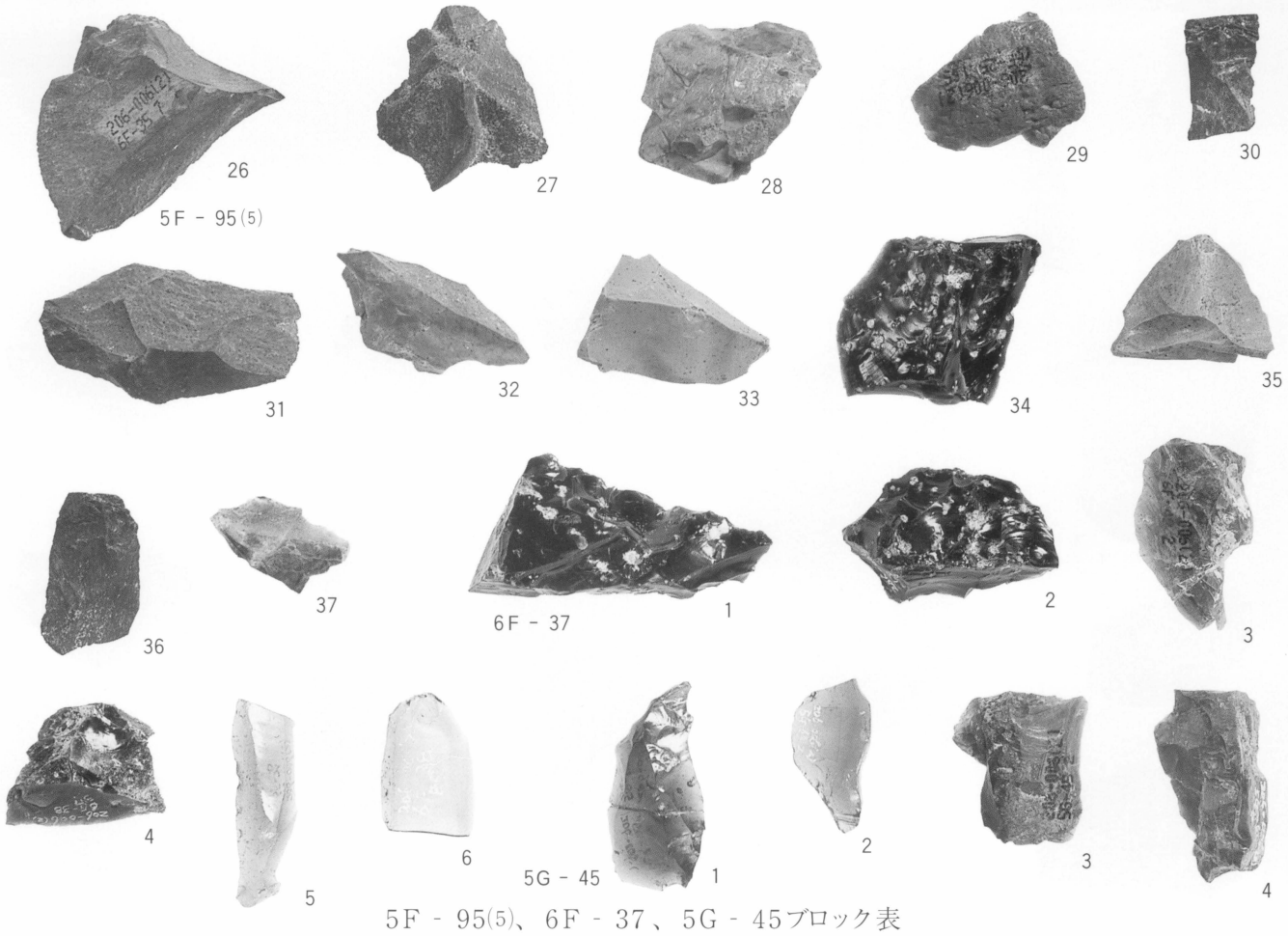
旧石器時代石器（2）



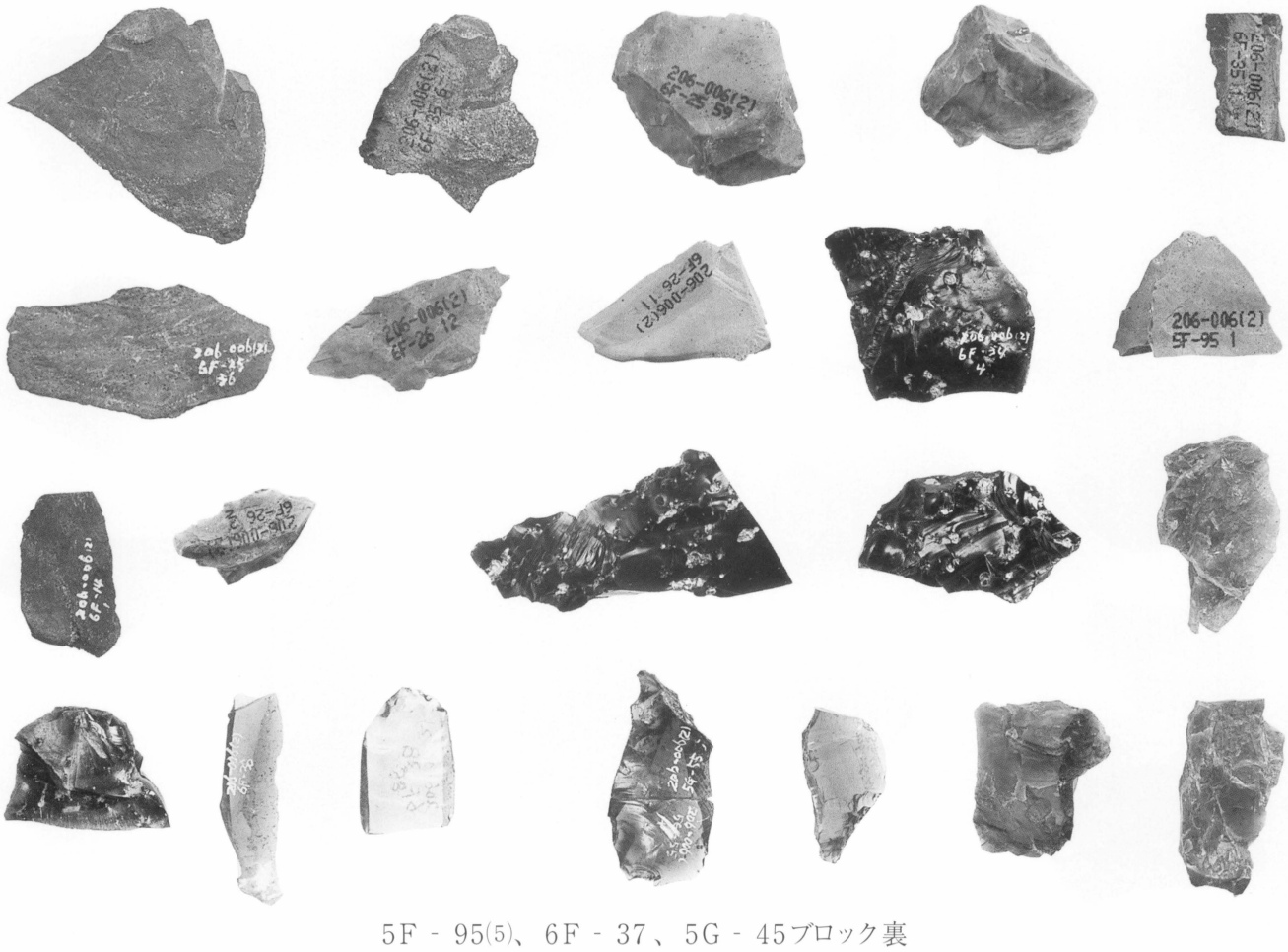
5F - 95ブロック(3)表

5F - 95ブロック(3)裏

旧石器時代石器（3）

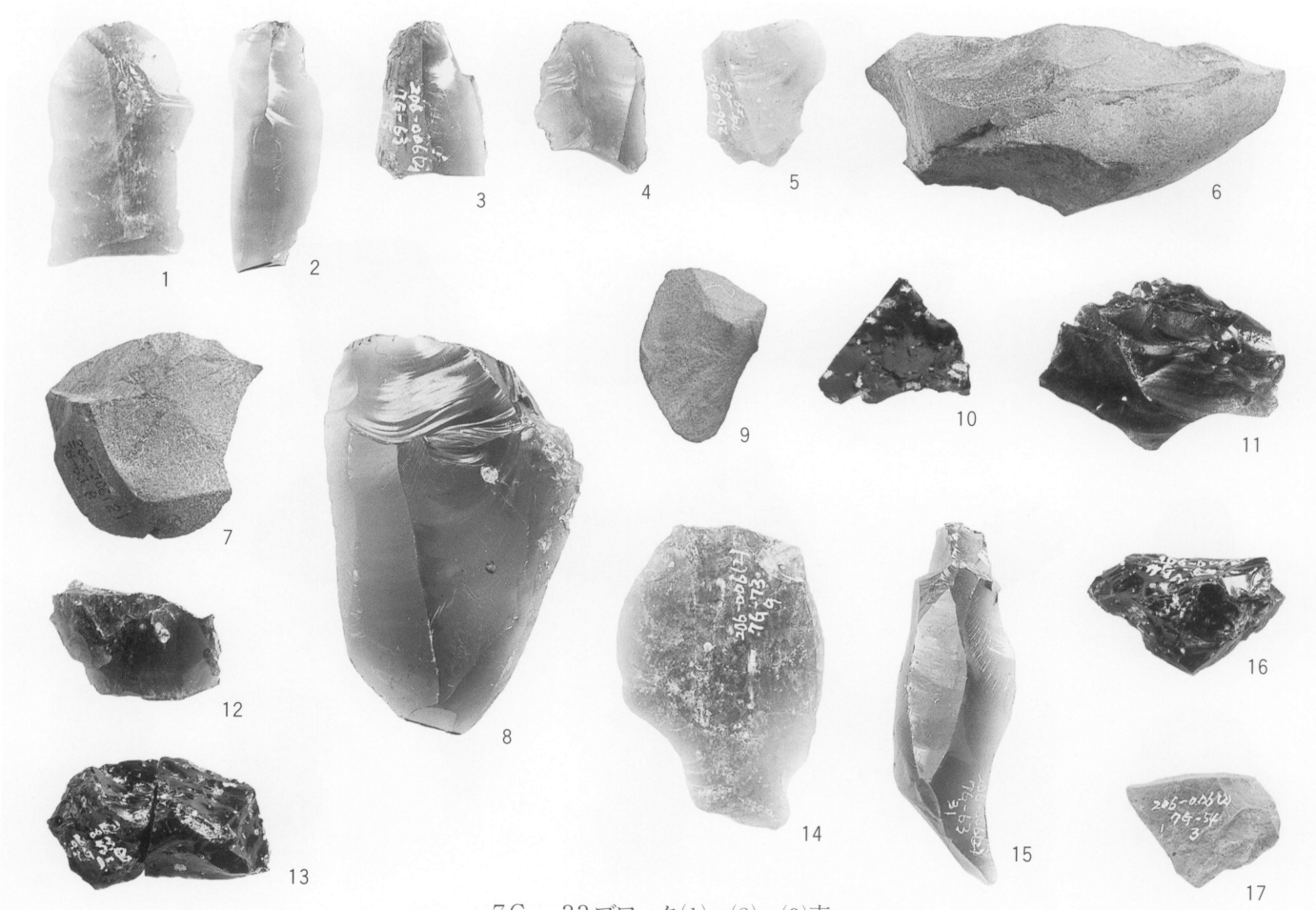


5F - 95(5)、6F - 37、5G - 45ブロック表

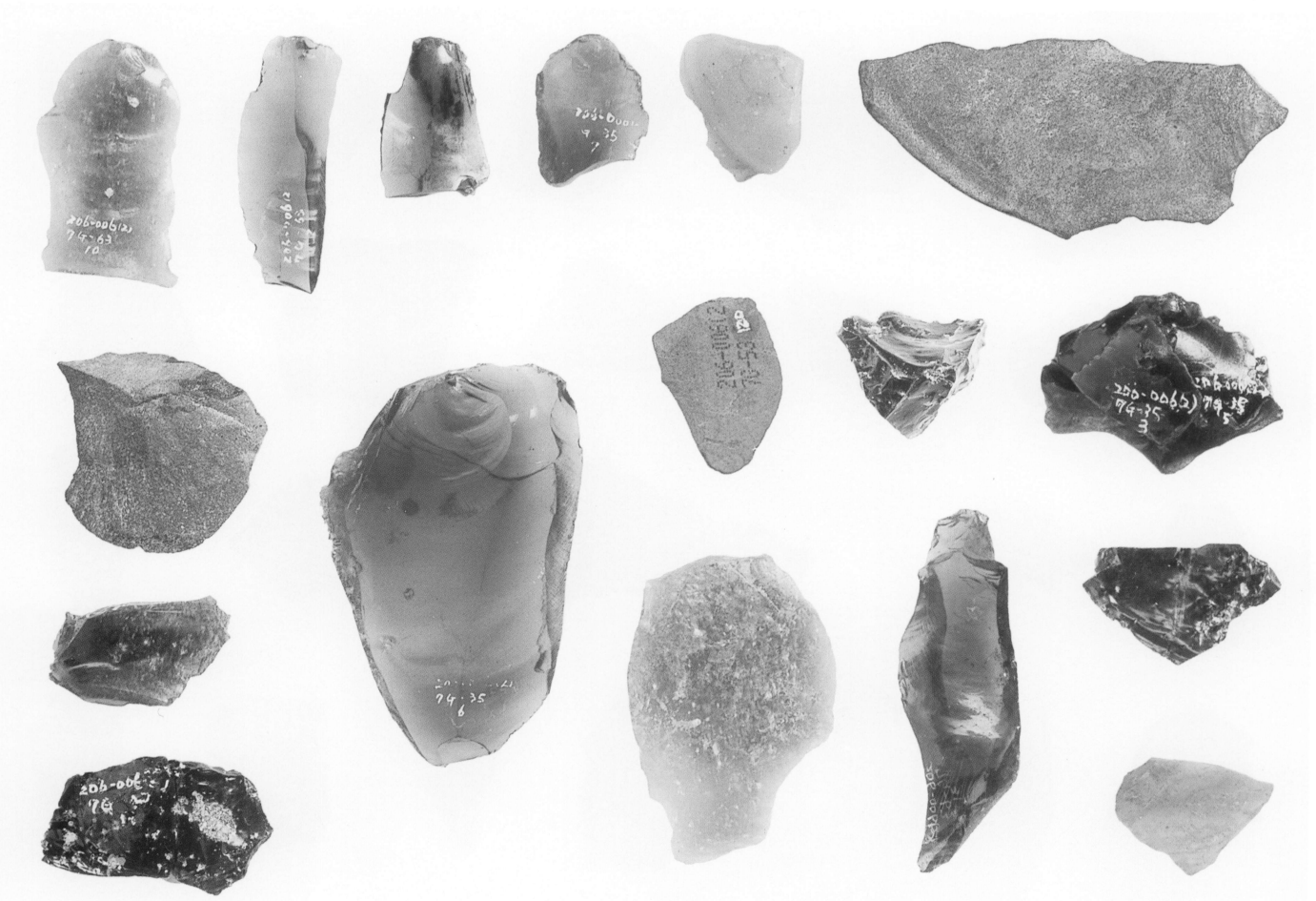


5F - 95(5)、6F - 37、5G - 45ブロック裏

旧石器時代石器（4）

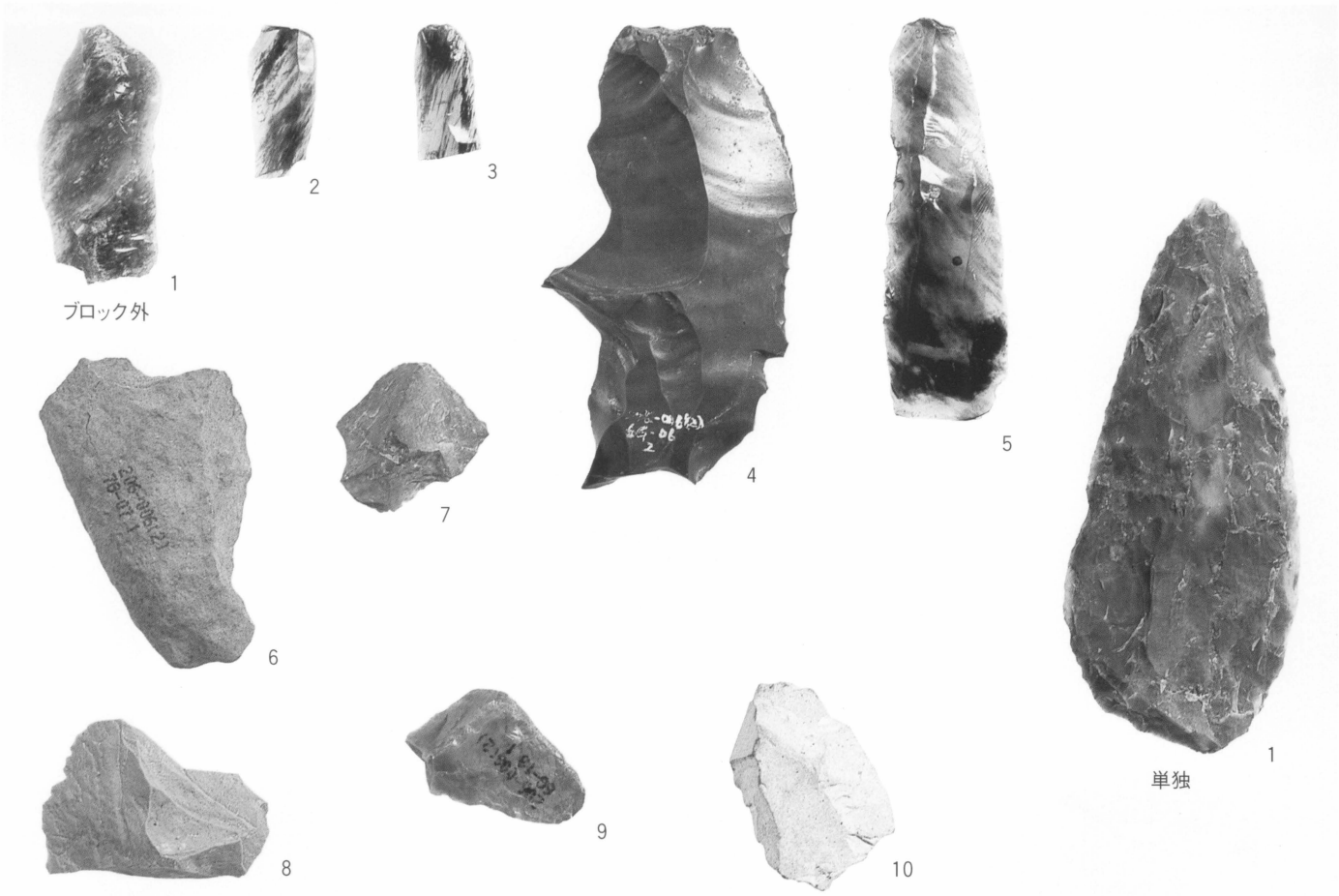


7G - 33ブロック(1)・(2)・(3)表

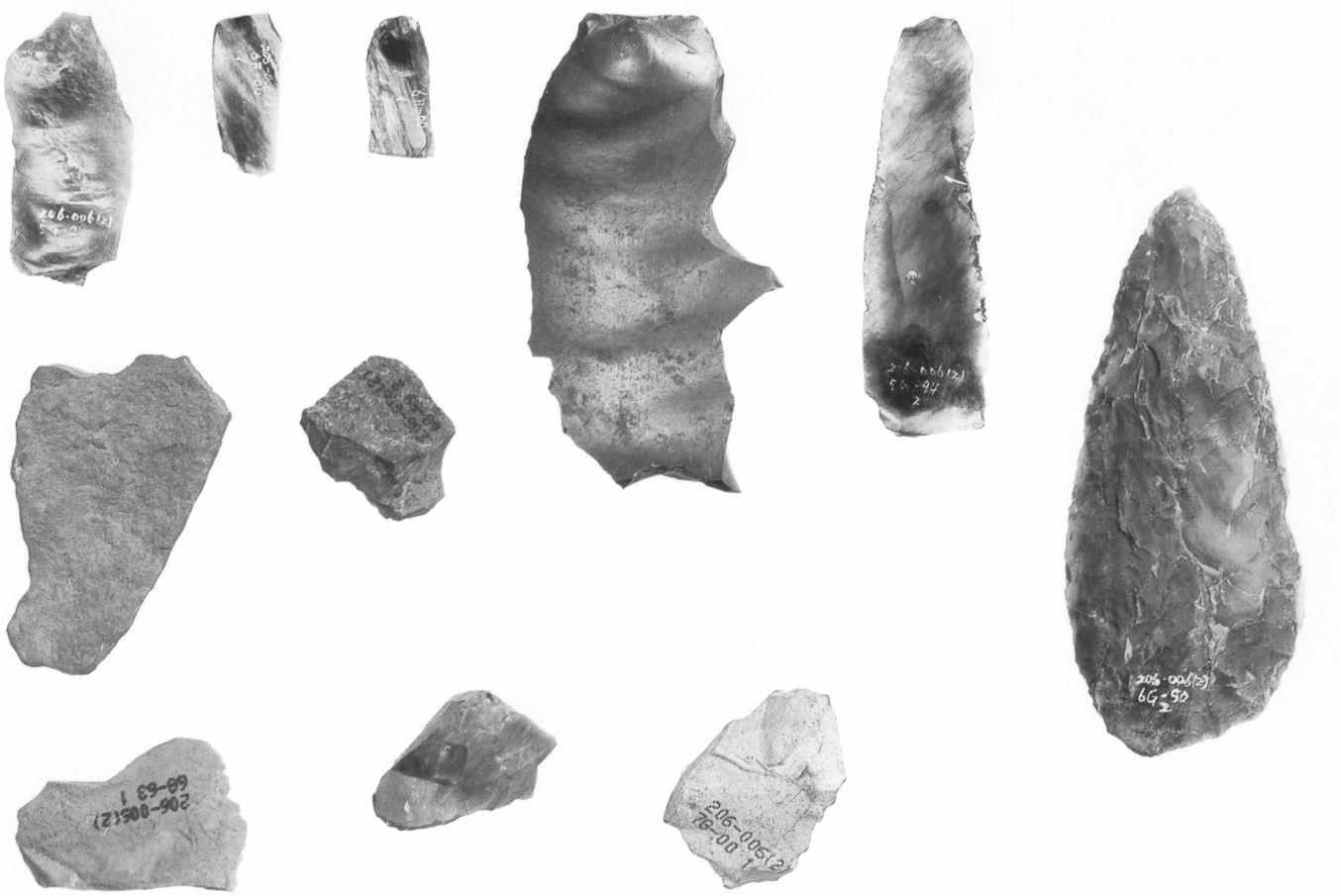


7G - 33ブロック(1)・(2)・(3)裏

旧石器時代石器（5）

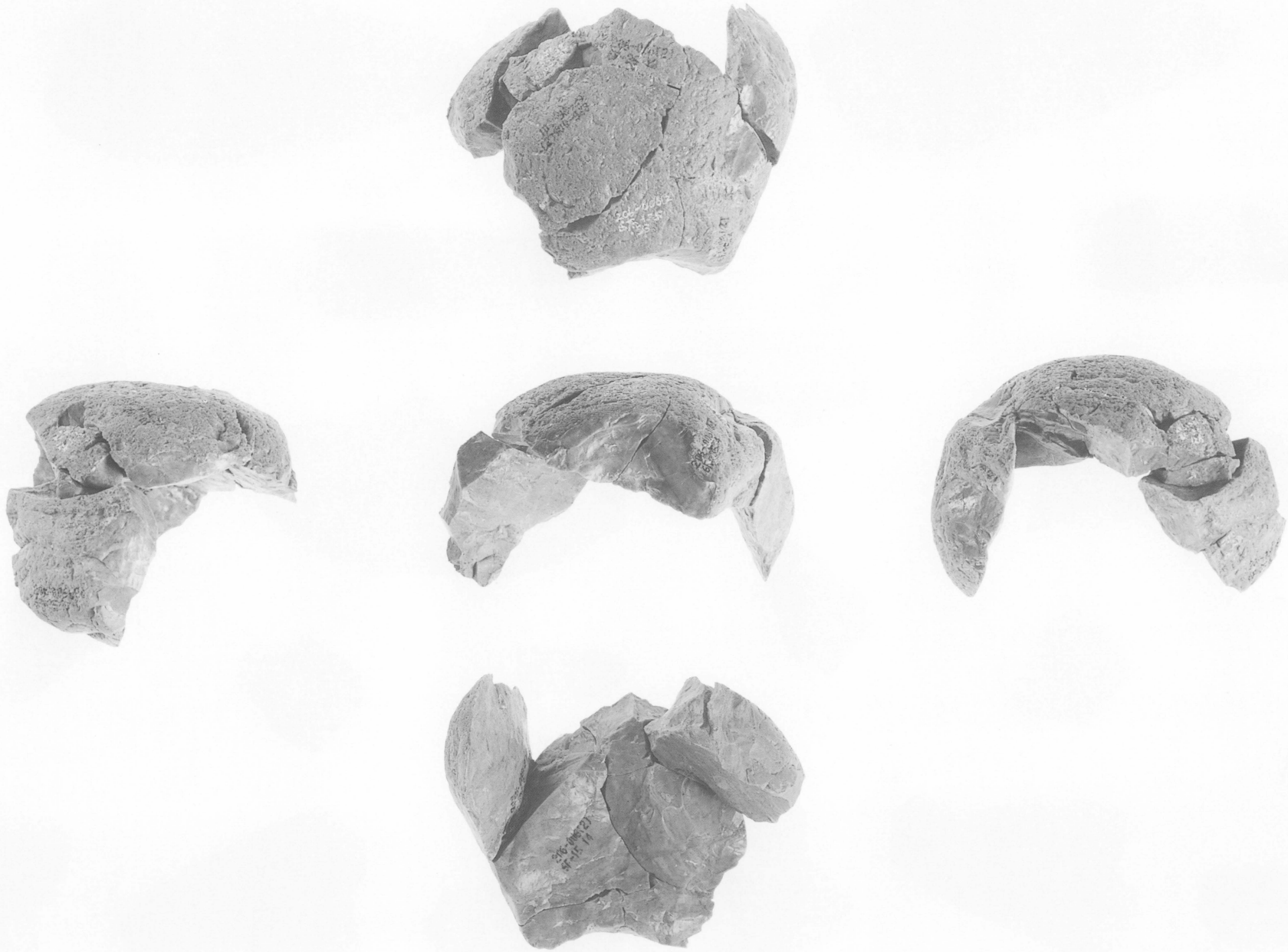


ブロック外(1)・(2)、単独　表



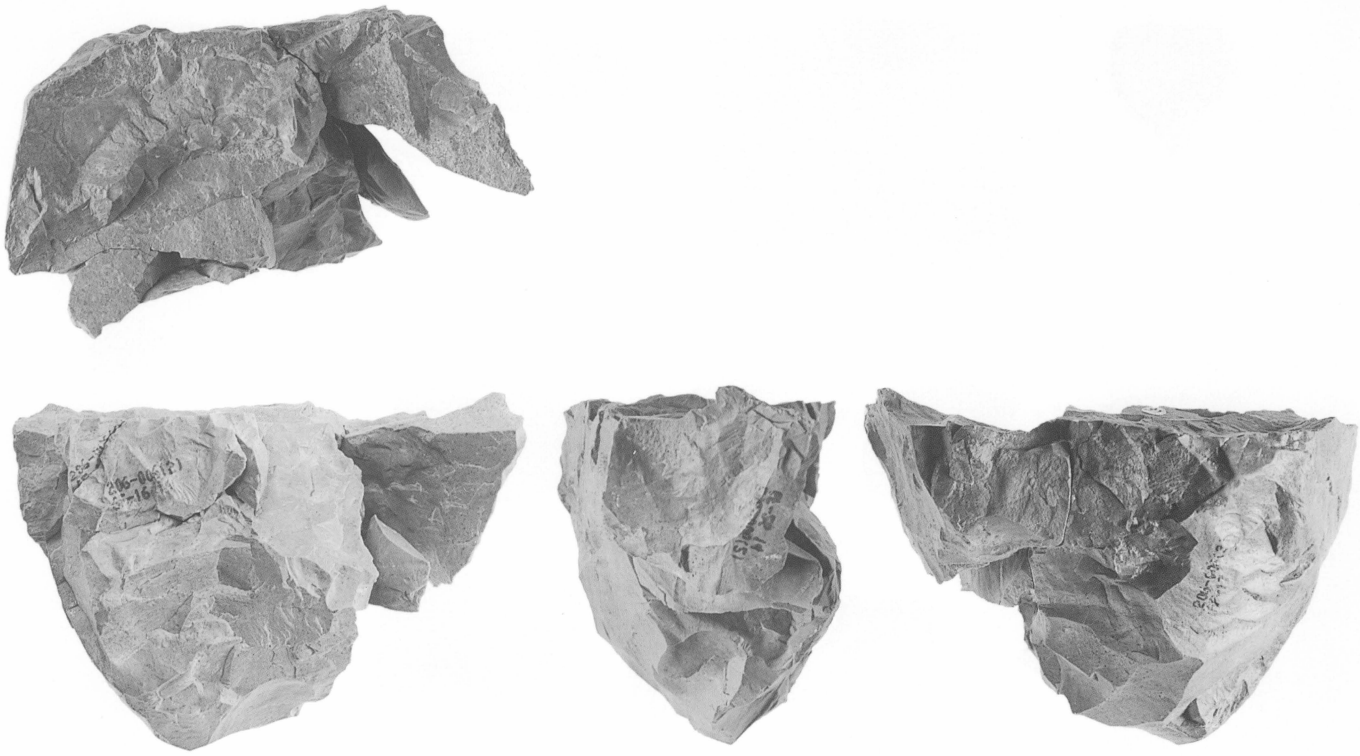
ブロック外(1)・(2)、単独　裏

旧石器時代石器（6）

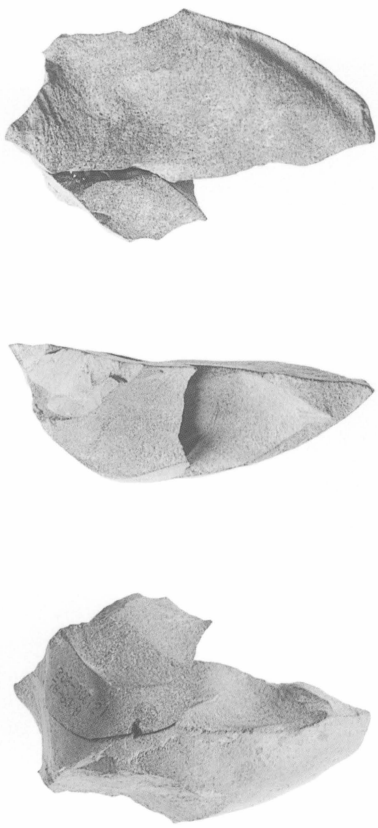


接合資料 1

旧石器時代石器(7)

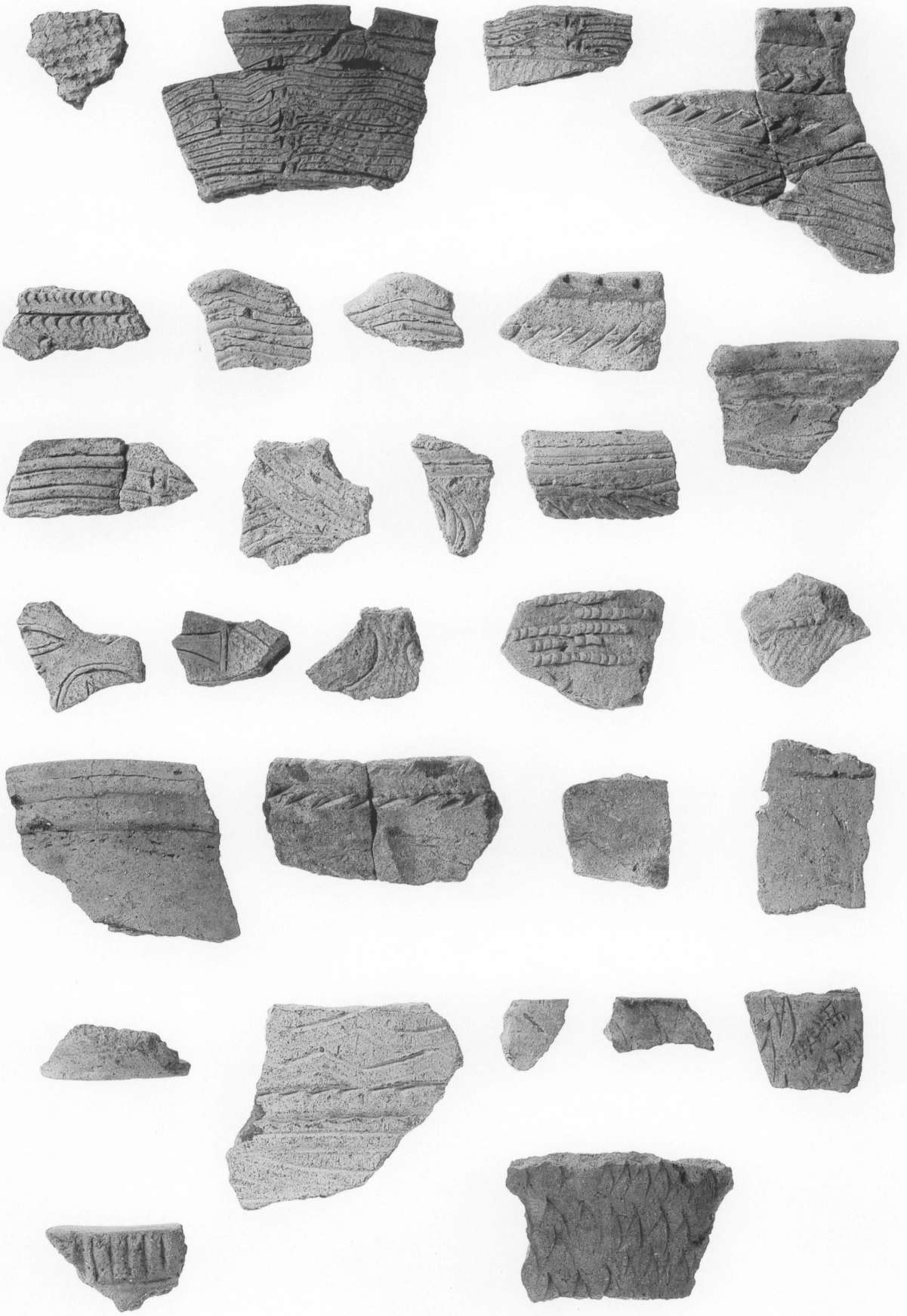


接合資料 2



接合資料 3

旧石器時代石器（8）



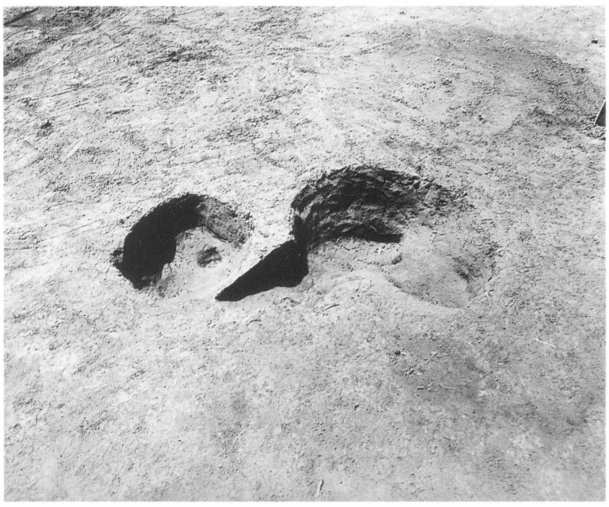
遺構外出土縄文土器

南羽鳥遺跡周辺航空写真（昭和48年撮影）

調査区北側調査前近景

調査区西側調査前近景

042

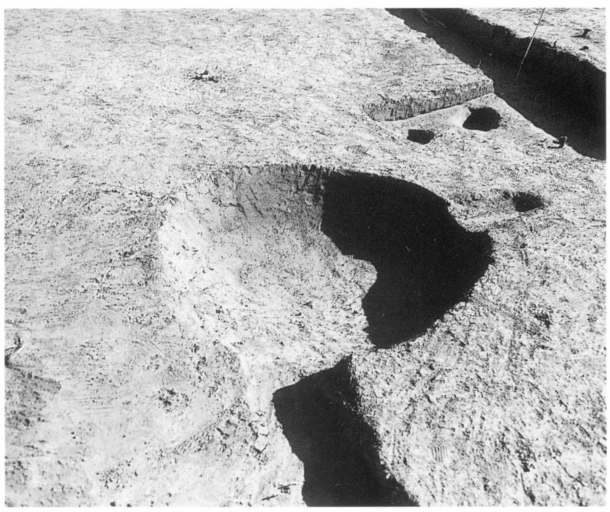


027（左）・014（右）

015（左）・025（中）・026（右）

017

018（左）・040（右）



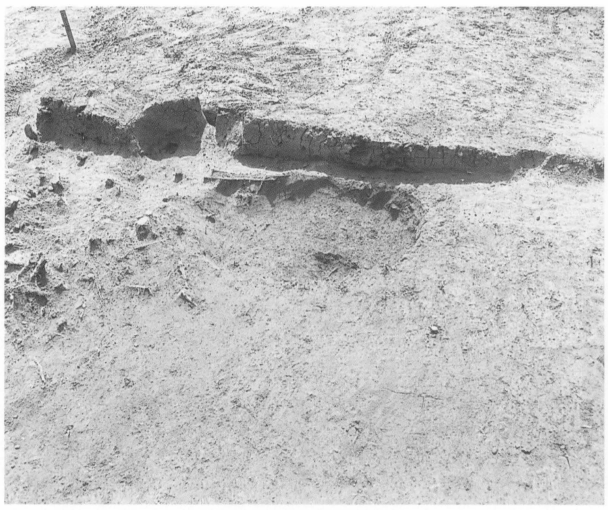
019

020

033（左）・034（右）

035 礫出土状況

035 ・ 036



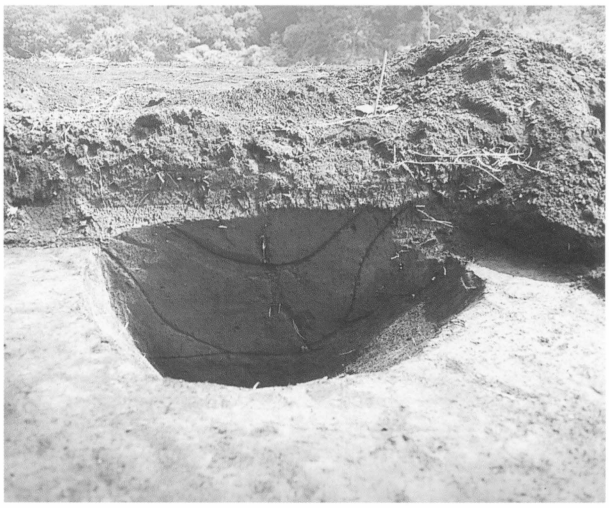
041

043

044

052 ・ 053

054（奥）・ 055（手前）



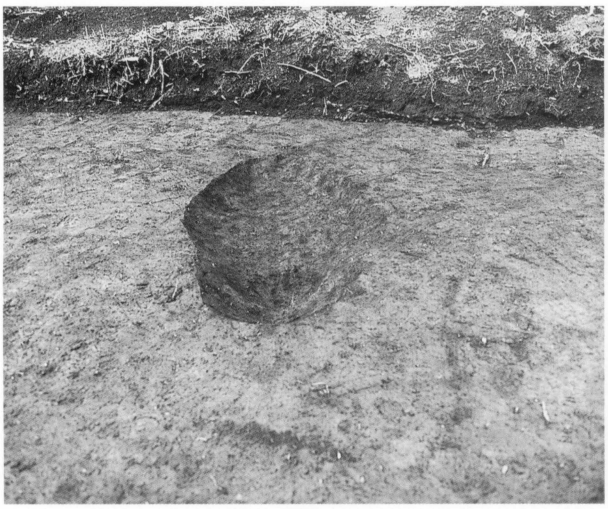
056

057 ・ 058 ・ 059 ・ 060

061

069

071（手前）・070（中）・072（奥）



073

076

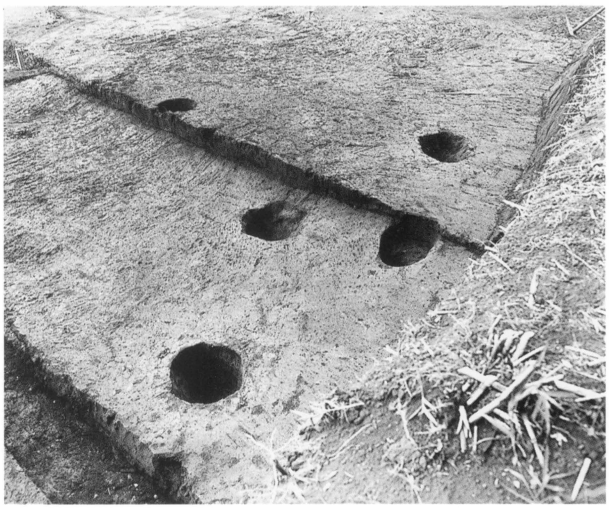
077（手前）・078（奥）

080

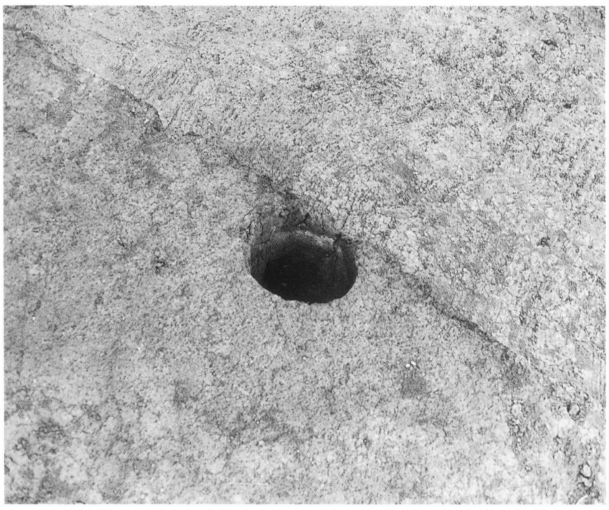
028 ・ 037

032

039



045

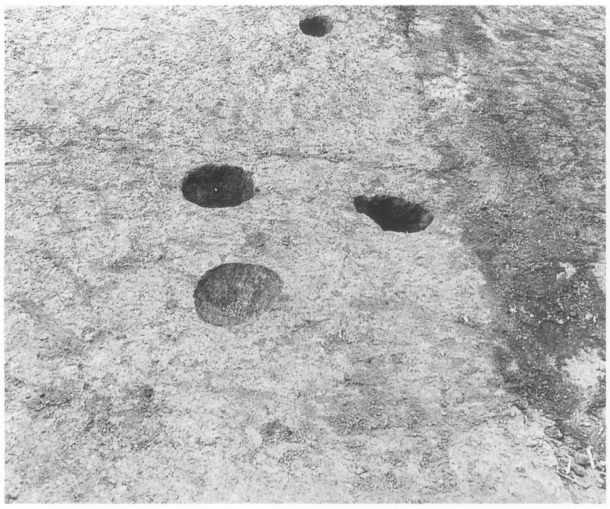


046

047

048

050

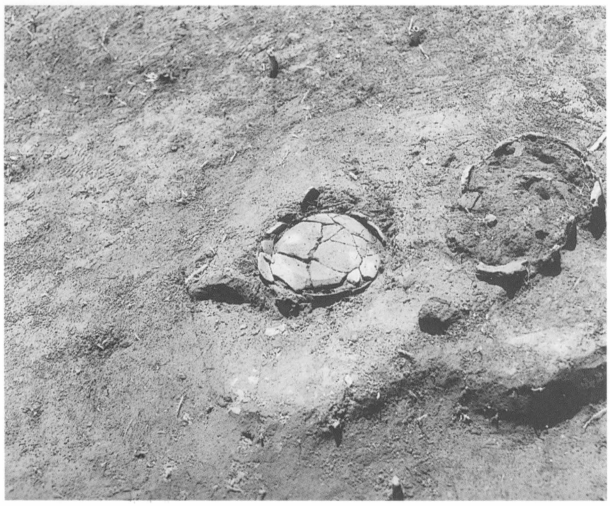


051

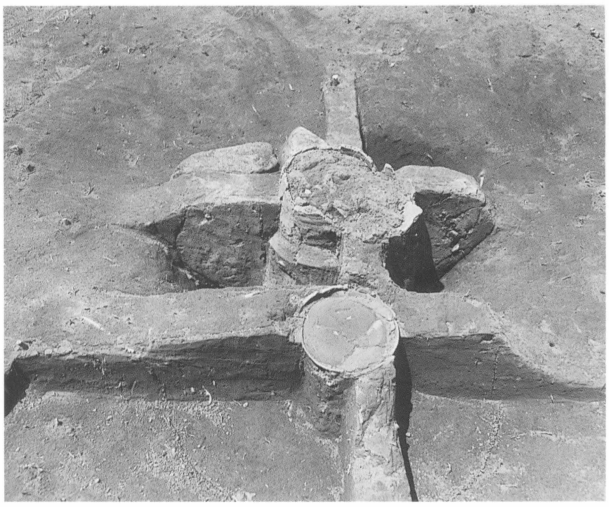
064（左）・062（中奥）・063（右）

074

礫群検出状況　４Ａ・Ｂグリッド付近



004 検出状況（右：骨蔵器 1、左：骨蔵器 2）



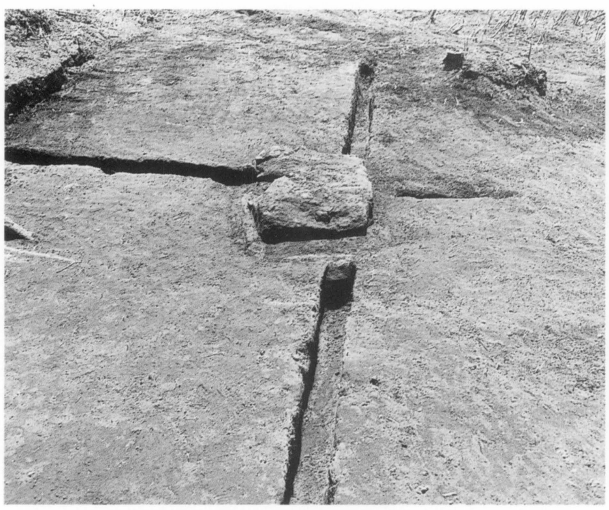
004 断面（C - C’ 側）

004 断面（A - A’ 側）

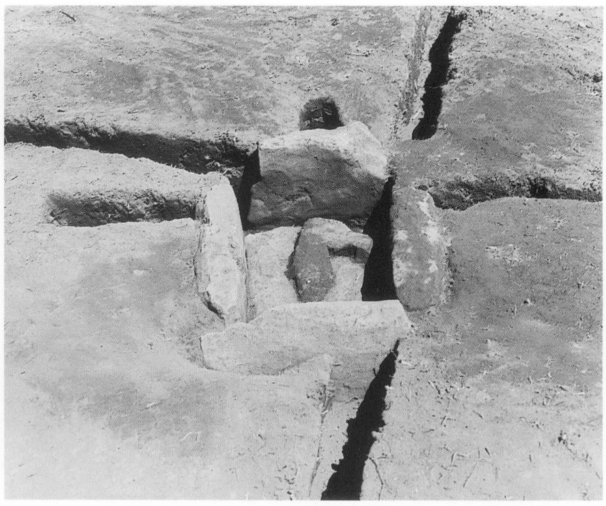
004 骨蔵器 1 内の骨片

004 骨蔵器 1 埋設状況

004 完掘後全景



005 石櫃検出状況



005 石櫃内の状況

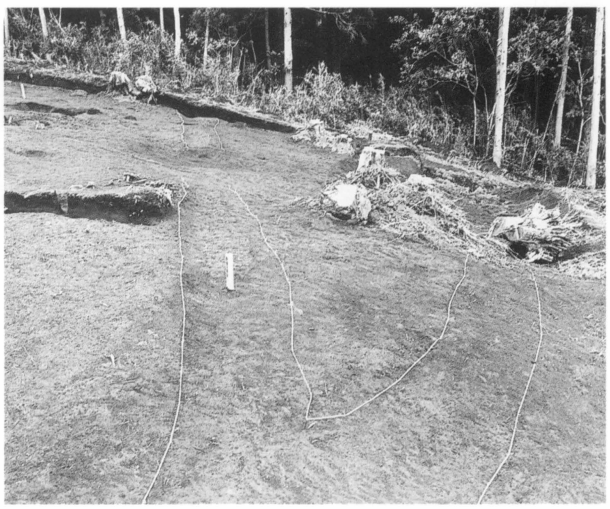
006 検出状況

006 甕内の骨片

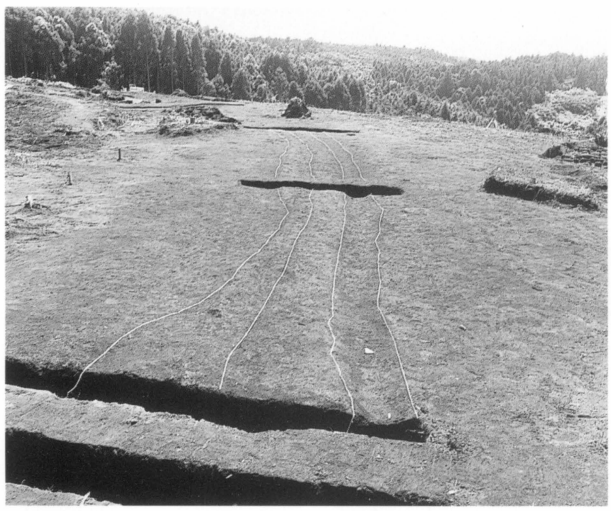
006 全景

006 完掘後全景

007

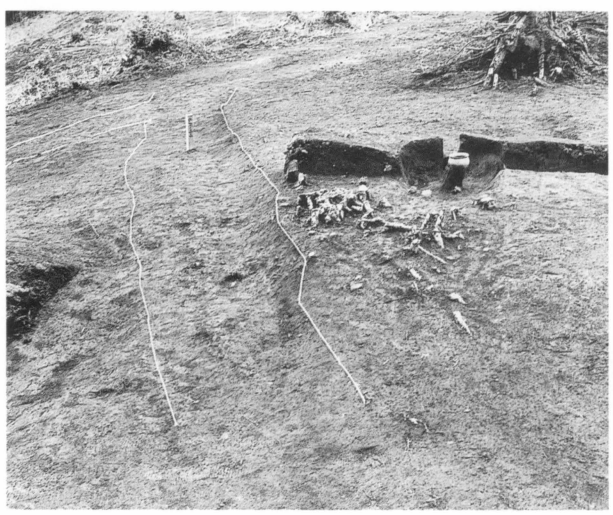


003（左）・008（右）

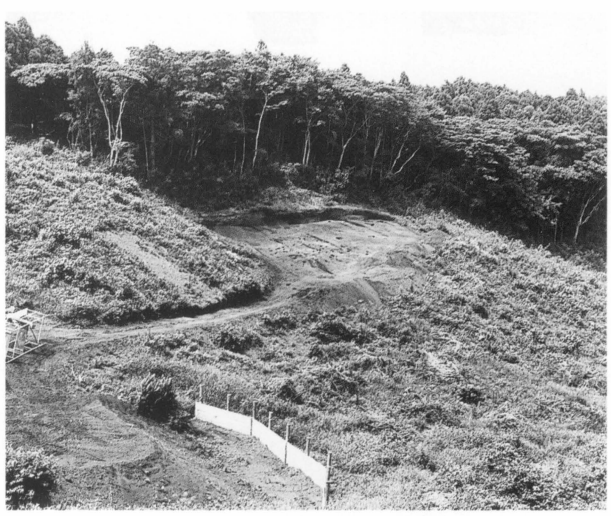


009（左）・003（右）

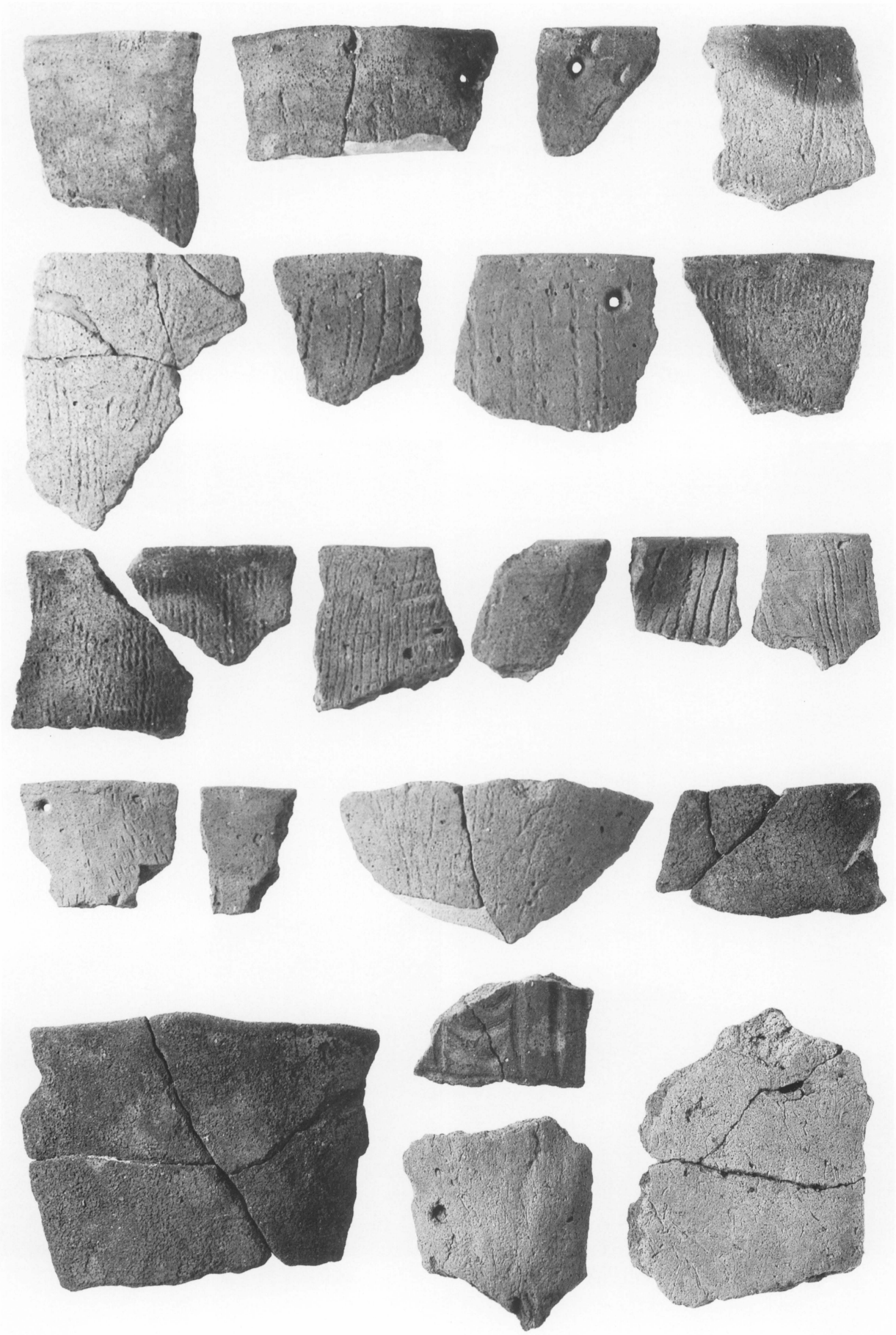
010



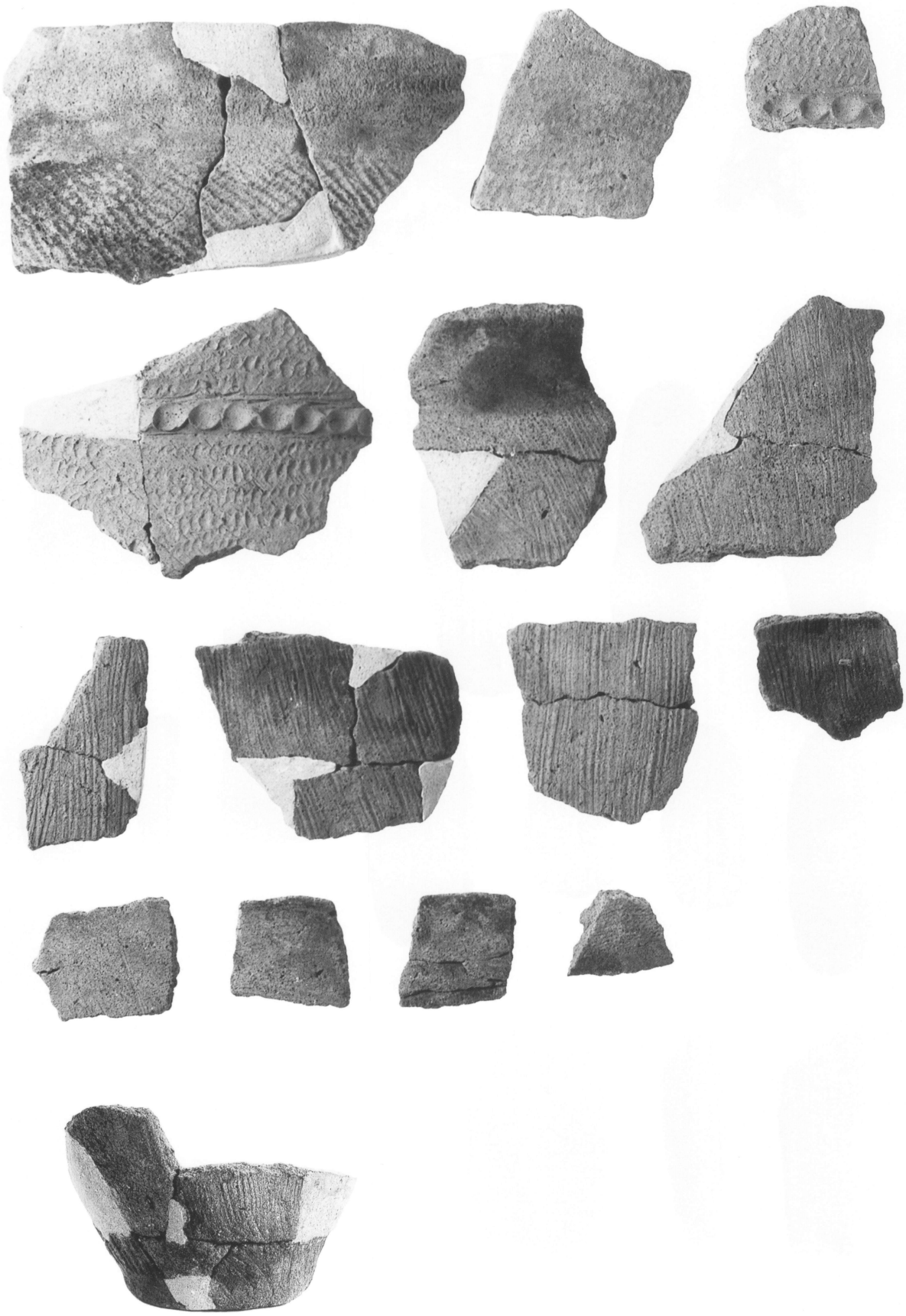
003 硬化面検出状況



調査区北側全景（遺構調査後）



遺構外出土縄文土器（1）



遺構外出土縄文土器（2）

縄文時代石器（1）

縄文時代石器（2）・弥生土器

1

2

3

6

4

5

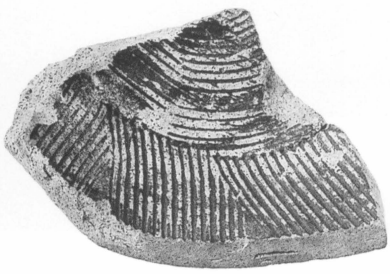
7

004 出土土器

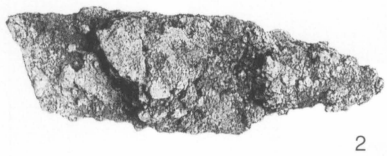
006 - 1

006 - 2

007 - 1



1



2

3

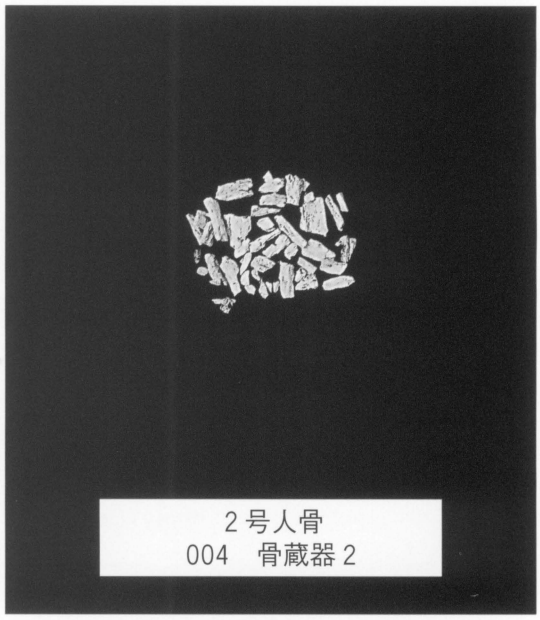
4

5

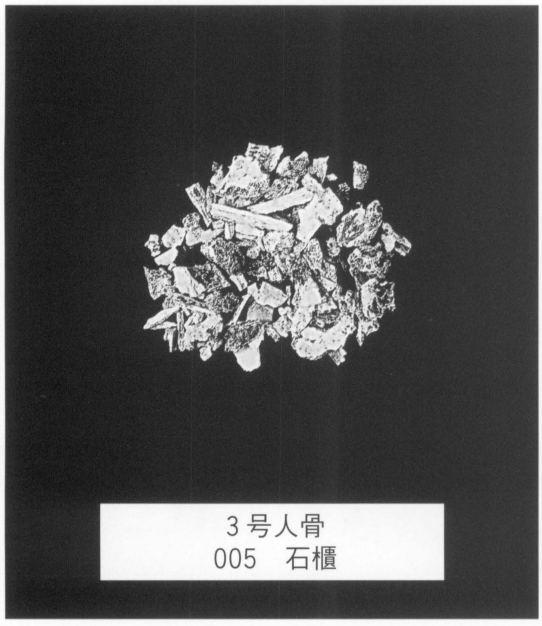
6

006 ・ 007 出土土器、中・近世遺物

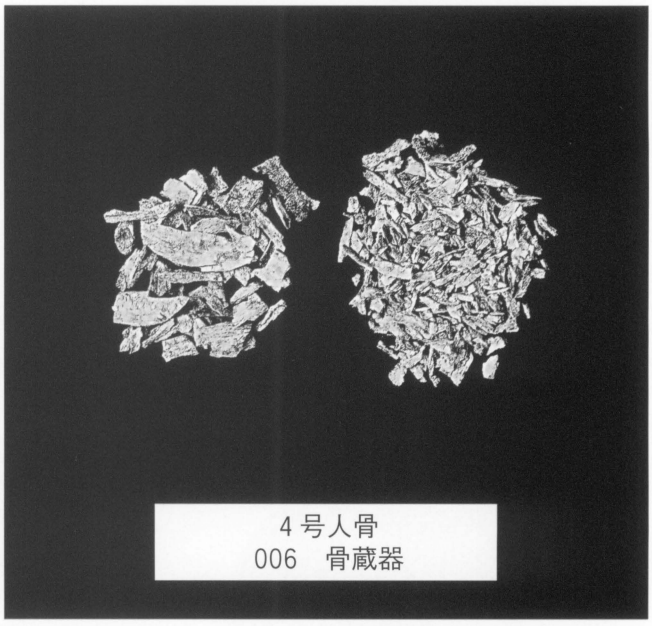
1 号人骨
004　骨蔵器 1



2 号人骨
004　骨蔵器 2



3 号人骨
005　石櫃



4 号人骨
006　骨蔵器

火葬墓出土人骨

報告書抄録

ふりがな	ひがしかんとうじどうしゃどう（きさらづ・ふっつせん）まいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ2
書名	東関東自動車道（木更津・富津線）埋蔵文化財調査報告書2
副書名	木更津市金二矢台遺跡・南羽鳥遺跡
巻次	
シリーズ名	財団法人千葉県文化財センター調査報告
シリーズ番号	第489集
編著者名	土屋治雄　伊藤智樹　田島　新
編集機関	財団法人　千葉県文化財センター
所在地	〒284-0003　千葉県四街道市鹿渡809-2　Tel 043-422-8811
発行年月日	西暦2004年3月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	経緯度 北緯	経緯度 東経	調査期間	調査面積	調査原因
かなふたやだいいせき 金二矢台遺跡	ちばけんきさらづしやな 千葉県木更津市矢那 あざだいもんぐち 字大門口4551-1ほか	206	006(2)	35度 21分 05秒	139度 57分 13秒	20000401～ 20000531	2,000㎡	道路建設
みなみはどりいせき 南羽鳥遺跡	ちばけんきさらづしはたざわ 千葉県木更津市畑沢 あざこそで 字小袖1461-1ほか	206	022	35度 20分 05秒	139度 56分 45秒	20000616～ 20000831	5,057㎡	道路建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺跡	主な遺物	特記事項
金二矢台遺跡	集落跡	旧石器時代 縄文時代	遺物集中地点　7か所 陥穴　1基	石器・礫 縄文土器・礫	旧石器時代は，Ⅲ～Ⅵ層に文化層が形成され量的にもまとまる。
南羽鳥遺跡	散布地 集落跡 墓跡	縄文時代 古墳時代 奈良・平安時代	住居跡　3 土壙 方形周溝状遺構　1 火葬墓　3 道路跡　3	石器・礫 縄文土器 弥生土器 土師器，須恵器 石櫃	火葬墓等葬送形態の時期的な変遷が認められる。

千葉県文化財センター調査報告第489集

東関東自動車道(木更津・富津線)埋蔵文化財調査報告書2

－木更津市金二矢台遺跡・南羽鳥遺跡－

平成16年3月25日発行

編　集　財団法人　千葉県文化財センター

発　行　日本道路公団
東京都港区虎ノ門1-18-1

財団法人　千葉県文化財センター
千葉県四街道市鹿渡809-2

印　刷　大和美術印刷株式会社
千葉県木更津市潮浜2-1-10